

特記仕様書

工事名称	元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）
工事場所	三原市館町二丁目
工事内容	元ゆめきやりあセンターを歴史民俗資料館、放課後児童クラブ及び事務所へ改修する。 【工事概要】（平成14年建築） <ul style="list-style-type: none">・内装改修工事・外装改修工事・屋上防水改修工事
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途工事	<ul style="list-style-type: none">・元ゆめきやりあセンター改修工事（電気設備工事）・元ゆめきやりあセンター改修工事（機械設備工事）・元ゆめきやりあセンター改修工事（外構工事）・歴史民俗資料館展示工事
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法、同施行令、同施行規則・消防法、同施行令・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則・建設業法、同施行令、同施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・石綿障害予防規則・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 別途工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和7年2月27日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和7年2月14日。）
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。

- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日工事の対象工事であり、「三原市週休2日工事等実施要領」（令和6年4月1日制定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
- ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データとすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・1期工事で2階及び屋上の改修工事を行い、児童クラブ他の機能を2階に移してから2期工事として1階の工事を行うこと。施設利用者の動線には配慮すること。
- ・施設の一部を放課後児童クラブとして使用している。原則の使用時間については、小学校の長期休暇中（7月21日～8月31日、12月24日～1月6日、3月26日～4月5日）は終日、それ以外の学校課業日は14時以降、土曜は終日使用する。これ以外で学校行事等の時に使用することがある。
- ・著しい騒音・振動等の発生が予想される作業については、放課後児童クラブの使用時間を避けるなど配慮して作業をするように計画すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音については、騒音規制法(特定建設作業)により、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。工事により著しい作業音の発生が想定される期間については、騒音計による記録を行うこと。
- ・振動については、振動規制法(特定建設作業)により、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。工事により著しい作業振動の発生が想定される期間については、振動計による記録を行うこと。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。

- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ1.8m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・必要に応じて、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算により責任を持って決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・近接する市有地を使用する場合には、仮駐車場整備及び整地を含む復旧費を本工事にて行うものとする。仮駐車場及びその周辺について、維持管理及び清掃（週1回程度）を行うこと。なお、この場合の当該敷地使用料は本工事に見込む。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日の翌日から10年間責任を負うこと。
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証

を行うこと。

- ・改修した防火設備の作動状況の確認及び連動する煙感知器等の作動状況の確認については、資格者（建築基準法第12条4項）による総合試験とすること。
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について5検体を見込んでいる。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（A3縮小版・二つ折り）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-33	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 展開図	A-66	(改修前) 新風会・公明党 展開図
A-01	建築改修工事特記仕様書 (1)	A-34	(改修後) エントランスホール 平面詳細図	A-67	(改修後) 倉庫(5) 平面詳細図
A-02	建築改修工事特記仕様書 (2)	A-35	(改修後) エントランスホール 展開図	A-68	(改修後) 倉庫(5) 展開図
A-03	建築改修工事特記仕様書 (3)	A-36	(改修前) 議会事務局 平面詳細図	A-69	(改修前) 無所属 平面詳細図・展開図
A-04	建築改修工事特記仕様書 (4)	A-37	(改修前) 議会事務局 展開図	A-70	(改修後) 倉庫(6) 平面詳細図・展開図
A-05	建築改修工事特記仕様書 (5)	A-38	(改修後) 展示室(1) 平面詳細図	A-71	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 平面詳細図
A-06	建築改修工事特記仕様書 (6)	A-39	(改修後) 展示室(1)・倉庫(4) 展開図 (1)	A-72	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 展開図
A-07	建築改修工事特記仕様書 (7)	A-40	(改修後) 倉庫(4) 展開図 (2)	A-73	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 平面詳細図
A-08	建築改修工事特記仕様書 (8)	A-41	(改修前) 正副議長室兼議長応接室 平面詳細図	A-74	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 展開図 (1)
A-09	付近見取り図・配置図	A-42	(改修前) 正副議長室兼議長応接室 展開図	A-75	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 展開図 (2)
A-10	敷地求積図・面積表	A-43	(改修後) 展示室(2) 平面詳細図	A-76	(改修前) 委員会室・市民連合 平面詳細図
A-11	求積図・面積表・法チェック表	A-44	(改修後) 展示室(2) 展開図	A-77	(改修前) 委員会室・市民連合 展開図
A-12	外部仕上表 (1)	A-45	(改修前) 議会図書室兼理事者控室 平面詳細図	A-78	(改修後) 児童クラブ 平面詳細図
A-13	外部仕上表 (2) 間仕切壁・外壁リスト	A-46	(改修前) 議会図書室兼理事者控室 展開図	A-79	(改修後) 児童クラブ 展開図
A-14	(改修前・後) 内部仕上表 (1)	A-47	(改修後) 展示室(3) 平面詳細図	A-80	(改修前) 2階喫煙コーナー 平面詳細図・展開図
A-15	(改修前・後) 内部仕上表 (2)	A-48	(改修後) 展示室(3) 展開図	A-81	(改修後) 2階休憩スペース 平面詳細図・展開図
A-16	(改修前・後) 内部仕上表 (3)	A-49	(改修前) 議場兼全員協議会室 平面詳細図	A-82	建具表 (外部) (1)
A-17	(改修前) 1階平面図・建具指示図	A-50	(改修前) 議場兼全員協議会室 展開図 (1)	A-83	建具表 (外部) (2)
A-18	(改修後) 1階平面図・建具指示図	A-51	(改修前) 議場兼全員協議会室 展開図 (2)	A-84	建具表 (外・内部) (3)
A-19	(改修前) 2階平面図・建具指示図	A-52	(改修後) 多目的ホール 平面詳細図	A-85	建具表 (内部) (4)
A-20	(改修後) 2階平面図・建具指示図	A-53	(改修後) 多目的ホール 展開図 (1)	A-86	(参考図) 家具配置図・詳細図
A-21	(改修前) R階・PHR階平面図・建具指示図	A-54	(改修後) 多目的ホール 展開図 (2)	A-87	部分詳細図 (1)
A-22	(改修後) R階・PHR階平面図・建具指示図	A-55	(改修前) 1階 廊下 平面詳細図	A-88	部分詳細図 (2)
A-23	(改修後) サイン詳細図	A-56	(改修前) 1階 廊下 展開図	A-89	部分詳細図 (3)
A-24	(改修前) 1階天井伏図	A-57	(改修後) 1階 廊下 平面詳細図	A-90	部分詳細図 (4)
A-25	(改修後) 1階天井伏図	A-58	(改修後) 1階 廊下 展開図	A-91	1階消火設備・避難設備配置図
A-26	(改修前) 2階・R階 天井伏図	A-59	(改修前) 西側階段 展開図	A-92	2階消火設備・避難設備配置図
A-27	(改修後) 2階・R階 天井伏図	A-60	(改修後) 西側階段 展開図	A-93	仮設計画図 (1)
A-28	(改修前) 立面図	A-61	(改修前) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-94	仮設計画図(1期)
A-29	(改修後) 立面図	A-62	(改修後) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-95	仮設計画図(2期)
A-30	(改修前) 断面図	A-63	(改修前) 創志会 平面詳細図・展開図		
A-31	(改修後) 断面図	A-64	(改修後) 書庫 平面詳細図・展開図		
A-32	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 平面詳細図	A-65	(改修前) 新風会・公明党 平面詳細図		

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 - 表紙・図面リスト	(A3版-71%縮小) 図番
工事完成 令和 年度								建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)			

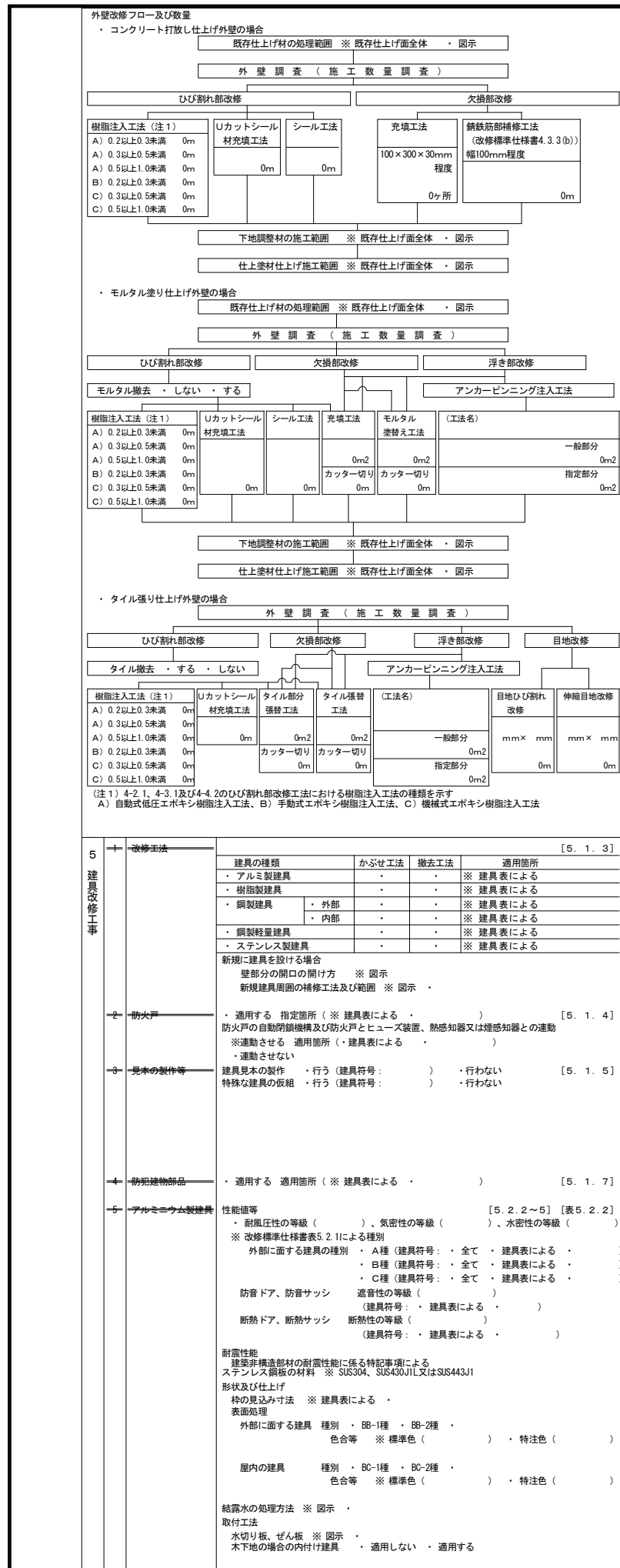
3 防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5)⑦～⑨による。 [3.1.3]		
	② 既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示 ・) [3.1.4] [3.2.3、4、6] ○ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲 ※ 図示 ・) ○ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う(M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ○ 行わない		
	③ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] POS工法及びPOS1工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)④(⑤)①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔置出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する		
← アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2～5] 防水層の種類			
	工法 種類 施工箇所 断熱材	絶縁用シート 立上り部の保護		
	・ P2A ・ A-1 ※ A-2 ・ A-3		※ ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70/㎡程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート ・ れんが押入 ※ JIS R 1250
	・ P1B ・ B-1 ※ B-2			
	・ P2A1 ・ A1-1 ※ A1-2 ・ A1-3	(材質) JIS A 9521に基づく押出断熱材3種 b A (スキ層付き) (厚さ) (mm) ※ 25 ・ 50	※ フラット ヤーンクロス 70/㎡程度	
	・ P1B1 ・ B1-1 ※ B1-2			
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.5から表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)			
	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)			
	平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上			
	乾式保護材 産業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。			
	(品質・性能)			
	分類・規格	・ 産業系パネル I 類 (寒冷地仕様) ・ 産業系パネル II 類 (一般地仕様) ・ 金属複合板		
	寸法 (mm)	厚さ (mm) 幅 (mm)		
	寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
	出荷時の含水率	出荷時において10%以下		
	曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時 (試験サイクル数)	450以上 (200) 300以上 (300)	
	吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下
	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下
	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。
	耐衝撃性能	質量500 (産業系パネル I 類は1,000) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。		質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
	剛性 (E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)			80,000N・cm ² 以上

(試験方法)						
(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めたパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルーラー又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、凍結100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(産業系パネル II 類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥機」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験体の縦線間隔が140mmになるように縦線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンプレータを用いて縦線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び縦線間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL : 吸水による長さ変化率(%) L1 : 乾燥時の縦線間の長さ(mm) L2 : 吸水時の縦線間の長さ(mm) (6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「産業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(産業系パネル II 類は200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 (7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に連する穴の有・無を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。						
屋根露出防水 防水層の種類						
工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	備考
・ M4C	・ C-1 ※ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ※ D-2			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ P0D1 ・ M3D1 ・ M4D1	・ D1-1 ※ D1-2		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※ 25 ・ 50	・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.7から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.3.8から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)						
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺部の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示						
屋内防水						
工法	種類	施工箇所		保護層		
・ P1E ・ P2E	・ E-1 ※ E-2			・ 設ける ・ 設けない		
E-1の場合で工程3を行う部位(※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 保護層 ・ 設ける(※ 図示 ・) ・ 設けない 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋上排水溝 ※ 図示						

改質アスファルトルーフィングシート防水 [3.4.2、3]						
工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	備考
・ M4AS ・ M3AS ・ P0AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M3AS1 ・ M4AS1 ・ P0AS1	・ AS1-T1 ・ AS1-J1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※ 25mm ・ 50mm	・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)						
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度						
絶縁断熱工法の防水湿シート ・ 設置しない ・ 設置しない						
合成高分子ルーフィングシート防水 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]						
工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	備考
・ P0S ・ S4S	・ S-F1			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ○ 設ける ○ 設けない 改修用ドレン ○ 設ける ○ 設けない
	・ S-F2 ・ S-M1			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ○ 設ける ○ 設けない
	○ S-M2			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ○ 設ける ○ 設けない
・ S3S ・ M4S	・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1			・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ P0S1 ・ S3S1 ・ S4S1 ・ M4S1	・ SI-F1 ・ SI-F2 ・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(b)による(種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※ 25 ・ 50	・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-F2 ・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(a)による(種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※ 25 ・ 50	・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-M2		※ 25 ・ 50	・ ※ 製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※ 非歩行用 ○ 経歩行用 S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置 ※ 設置しない ・ 設置する S1-M2の絶縁用シートの種類 ※ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm ・) ・ 機械的固定工法						

屋内防水 防水層の種類						
種類	施工箇所	保護層				
・ S-C1		平場のモルタル塗り 工法 塗厚 ・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り		立上り部の保護モルタルの塗厚 ※ 7mm以下		
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ 合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの						
脱気装置の種類及び設置数量 接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) プレキャストコンクリート部材下地の目地処理(接着工法の場合) ・ 行う(※ 図示 ・) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合) ・ 行う(※ 図示 ・) ・ 行わない 機械的固定工法の場合のルーフィングシートの張付け 1章 17 適用区分による風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法						
防水層の種類 [3.6.2、3]						
工法	種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	備考
・ P0X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H		※ 2成分形アクリル樹脂系 樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ L4X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H		・ コン樹脂系	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ P1Y ・ P2Y	※ Y-2				・ 適用する	保護層 ・ 設ける ・ 設けない 保護層 ・ 設ける ・ 設けない
X-1 (絶縁工法)の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様 X-1 (絶縁工法)の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)						
シーリング [3.7.2、3、3.7.7]						
シーリング改修工法の種類 ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない						
シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による						
施工箇所		シーリング材の種類(記号)				
・ 外壁		・ 変性シリコン系(MS-2)				
仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による ・ 打継目地 シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ※ 引張接着性試験						
といの材質 [3.8.2、3] ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ・ 表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)						
ルーフトレイン		種類 施工箇所				
・ ろく屋根用(・ 縦型 ・ 横型)						
・ バルコニー用						
・ バルコニー中継用						

Main project specification table with columns for design, construction, and technical details. Includes sections for waterproofing, tile work, and structural repairs.



種類	材質	線径	綱目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	綱目寸法15mm

[5.2.3] [5.3.3]

性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2] [5.3.2~5]

耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()
※ 改修標準仕様書5.3.11による種別
外部に面する建具 A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)
B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)
C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 (建具符号: ・ 建具表による ・)
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 (建具符号: ・ 建具表による ・)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
形状及び仕上げ
枠の見込み寸法 ※ 建具表による
表面色 ※ 標準色 ・ 特注色
取付工法
水切り板、ぜん板 ※ 図示
木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する
ガラス ※ 複層ガラス

[5.2.2] [5.4.2~4] [表5.4.2]

性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)
簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3
水密性の等級 ・ W-1
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
S-5
S-6

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()
耐震性能 面内変形追従性の等級 ()
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.21による
使用箇所 ()
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による
性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2] [5.5.2~4]

簡易気密型ドアセット ・ 適用する
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()
耐震性能 面内変形追従性の等級 ()
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
鋼板の材料 ※ 垂鉛めっき鋼板 ・ ビル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.11による
使用箇所 ()
召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板
標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による
性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・) [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2~5]

[5.7.2.3]

性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)
簡易気密型ドアセット ・ 適用する
外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4
S-5
S-6
防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()
断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()
耐震性能 面内変形追従性の等級 ()
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)

11 建具用金物

金物の種類及び見立掛り部の材質等
※ 改修標準仕様書5.7.1及び適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.8.2による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール ※ 標準仕様書5.8.5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による

錠前類
[シリンドラ錠錠及びシリンドラ本締め錠]
(品質)
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。錠付のものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。
(性能)
<使用頻度による性能>
1) (シリンドラ錠錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
2) キーによるデッドボルトの錠錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、錠錠操作に支障がない。(シリンドラ本締め錠のみ) シリンドラ単体の錠錠繰り返し試験は、シリンドラ だけの回転トルクが10N・cm以下とする。
3) キーによる錠錠機構の錠錠繰り返し試験 (10万回) を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、錠錠操作に支障がない。
4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合錠でシリンドラが回転でき、かつ、1箇所1段階浅い剥きをもつ異なるキーでは、シリンドラが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)
<外力に対する性能>
1) デッドボルトの押込み強度試験 (10kN) を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。
2) デッドボルトの側圧強度試験 (10kN) を行った後、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。
3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、錠錠状態 (デッドボルトの突出量が9mm未満) にならないこと。
4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、錠錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。
5) (シリンドラ本締め錠はグレード3以上の形錠錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストライクは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。
<使用頻度の質量に対する性能 (シリンドラ錠錠のみ)>
1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4kN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。

2) レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5kN・cm) を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がない。
3) 握り玉のねじり強度試験 (3kN・cm) を行った後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、錠錠時握り玉が固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がない。
4) ハンドルの引張強度試験 (2kN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がない。
5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2kN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がない。
<鍵>
1) かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。
2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。
錠錠方法は、JIS A 1541-1 (建築物用錠-第1部: 試験方法) による。

【レバーハンドル】
(性能)
<ねじり強度>
レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5kN・cm) を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がないこと。
<引張強度>
ハンドルの引張強度試験 (2kN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がないこと。
<垂直荷重強度>
ハンドルの垂直荷重強度試験 (2kN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、錠錠時ハンドルが固定される錠は、錠錠状態が維持され、かつ、錠錠操作に支障がないこと。
錠錠方法は、JIS A 1541-1 (建築物用錠-第1部: 試験方法) による。

クローザー類 (品質・性能)

区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ
性能試験項目	Grade2	Grade2	Grade2
閉じモーメント (N・m)	30以上	5以上	30以上
効率 (%)	30以上	5以上	30以上
閉じモーメント (N・m)	10以上	10以上	10以上
効率 (%)	35以上	15以上	35以上
閉じモーメント (N・m)	25以上	25以上	25以上
効率 (%)	45以上	45以上	45以上
閉じ速度 (秒)	常温 (5~35℃) 無風状態において、開閉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を5~8秒に調整できること。		
温度依存性 (℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269 (原油及び石油製品の流動点並びに石油製品差り点試験方法) により測定し、-15℃以下であること。		
ストッパ入力 (N・m)	60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下
ストッパ解除力 (N・m)	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上
バックチェック性能 (秒)	ドア開閉方向に荷重60N/m2を閉鎖50°から負荷する。バックチェック開始角度 (70~85°) から更に20°まで開く間の時間は、0.8秒以上としていること。		
ディレードアクション性能 (秒)	開閉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		
戸の開閉位置 (中心吊り込み両自由のみに適用)	—	—	±3mm以内
繰返し開閉後の閉じモーメント (N・m)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
繰返し開閉後の閉じ速度 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—
繰返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	—	—
繰返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)	—	—	耐久試験後±6mm以内
耐久性試験回数 (繰り返し開閉回数)	Grade2 20万回	10万回	30万回

注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。
注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。
(試験方法)
1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築物用錠-第3部: フロアヒンジ、ドアクローザー及びヒンジクローザー) に規定する試験方法による。
2) 試験ドアの質量は、1番手は25k、2番手は40k、3番手は60k、4番手は80k、5番手は100k、6番手は120kとする。

マスターキー ※ 製作する (2 組) ・ 製作しない ・ 既存に組込む
錠の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き)
錠箱 ・ 設ける (個別組) ・ 設けない

引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.8.11による
種類 ・ SSL-1 ・ SSL-2 ・ DSL-1 ・ DSL-2

多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.9.2による
引き戸用検出装置の種類は、多機能トイレスイッチとする

引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書5.9.3による
種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー
戸の開閉方式 ※ 建具表による
防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

14 自閉式上吊り引戸装置
性能値等 ※ 標準仕様書5.10.11による [5.10.3]
(試験方法)
(1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験
閉については外力にちらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。
(2) 耐衝撃性試験
落下高さ170cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。
(3) 気密性能試験
JIS A 1516 「建具の気密性試験方法」による。

15 重量シャッター
シャッターの種類 ・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防塵シャッター
外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
安全装置
急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示
屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの障害物感知機構の設置箇所
※ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」 (昭和48年12月28日建設省告示第263号) に定める基準に適合するもの
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ※ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの
ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1

16 軽量シャッター
開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 上部電動式 (手動併用)
耐風圧強度 () N/m²
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
※ 図示
スラットの材質の種類
※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ Z06又はF06を満足するもの) ・
・ JIS G 3312 (塗装溶融5.5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※ A290を満足するもの)
スラットの形状 ※ インターロック型形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない
ガイドレール (中性床) の材質 ※ ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ1.0mm

17 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
・ フラッシュ
表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※ 標準仕様書16.7.2 (イ) (a) による
表面材の合板の種類
合板の種類 規格等 備考
・ 普通合板 表面の樹脂
生地、透明塗料塗り (※ ラウコン板程度) ・)
不透明塗料塗り (※ しな合板程度) ・)
板面の品質 (広葉樹1等) ・)
接着の程度 (1類 ・ 2類)
・ 天然化粧合板 樹種名 ()
接着の程度 (1類 ・ 2類)
○ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)
表面性能 () タイプ
接着の程度 (1類 ・ 2類)
・ ミディアムデンシティファイバーボード 表面の状態による区分 ()
曲げ強さによる区分 ()
接着剤による区分 ()
可燃性による区分 ()
表面板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.7.6による
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない
・ かまち戸
かまち樹種 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※ 建具表による

18 セクション材料による区分
区分 耐風圧性能 開閉方式による区分 収納方式による区分 ガイドレールの材料
※ スチールタイプ ・ 175 ※ パラネ式 ・ スタタンド形 ※ 溶融亜鉛
・ アルミニウムタイプ ・ 125 ・ チューン式 ・ ローヘッド形 めっき鋼板
・ ファイバーグラストタイプ ・ 100 ・ 電動式 ・ ハリフト形 ・ ステンレス鋼板
・ 75
・ 50
・ パーチカル形

19 セクション材料による区分
区分 耐風圧性能 開閉方式による区分 収納方式による区分 ガイドレールの材料
※ スチールタイプ ・ 175 ※ パラネ式 ・ スタタンド形 ※ 溶融亜鉛
・ アルミニウムタイプ ・ 125 ・ チューン式 ・ ローヘッド形 めっき鋼板
・ ファイバーグラストタイプ ・ 100 ・ 電動式 ・ ハリフト形 ・ ステンレス鋼板
・ 75
・ 50
・ パーチカル形

Table with 2 columns: ① ② ③ ④ ⑤. Content includes material specifications for glass, such as 'ガラス' (Glass) and 'ガラスフィルム' (Glass Film), detailing types, thicknesses, and performance metrics.

Table with 2 columns: ① ② ③ ④ ⑤. Content includes material specifications for '内装改修工事' (Interior Renovation Work), covering items like '既存の壁の撤去及び下地補修' (Removal of existing walls and base repair) and '既存の床の撤去及び下地補修' (Removal of existing floors and base repair).

Table with 2 columns: ① ② ③ ④ ⑤. Content includes material specifications for '造作用単板積層材' (Manufacturing single-layer laminated material) and '合板等' (Veneer, etc.), detailing construction methods and material properties.

Table with 2 columns: ① ② ③ ④ ⑤. Content includes material specifications for '軽量鉄骨天井下地' (Lightweight steel frame ceiling base), 'ビニル床シート' (Vinyl floor sheet), 'ビニル床タイル' (Vinyl floor tile), '接着剤' (Adhesive), 'ビニル幅木' (Vinyl baseboard), 'カーペット敷き' (Carpet laying), and 'ガラスフィルム' (Glass film).

22 合成樹脂塗床 [6.10.2,3] 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ・ 薄膜塗しのべ工法 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 厚膜塗しのべ工法 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 樹脂モルタル工法 ※ 平滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆

23 物せり用塗床 材料 水性アクリル樹脂塗料と、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25k/m2以上とする 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ (※ 標準色) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆

24 フローリング張り [6.11.2~6] 単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用 フローリングボード1等 ・ 釘留め工法 (横張り) ※ なら ・ 15 ・ ・ ・ 釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ ・ 12 ・ ・ ・ 接着工法 ※ なら ・ ・ 8 ・ ・ フローリングブロック1等 ・ 接着工法 ※ なら ・ 15 ・ ・

複合フローリング 種類 工法 樹種 種別 厚さ (mm) 間伐材等の適用 ・ 天然木化粧複合フローリング ・ 釘留め工法 (横張り) ※ なら ・ A種 ・ 15 ・ ・ ・ 釘留め工法 (直張り) ・ ・ ・ B種 ・ 12 ・ ・ ・ 接着工法 ※ なら ・ A種 ・ 12 ・ ・ ・ ・ ※ C種 ・ 12 ・ ・ ・ ※ C種 ・ 12 ・ ・ ・

25 敷板 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (畳床:・KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。衝撃緩和耐量 (畳表:・C1 ・ C2)

26 セッコウボードその他ボード及び合板張り [6.13.2,3] MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放数量 ※標準仕様書19.7.2.(2) (a)~(d)のいずれか

種類	JISの記号	厚さ (mm) ・ 規格等
硬質木毛セメント板	MH	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
中質木毛セメント板	MM	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
普通木毛セメント板	NH	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
普通木片セメント板	NF	・ 30 ・
巾い酸カルシウム板	0.6FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・ 6 ・ 8
ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (不燃) ・ 12 (不燃) ・ ・ ・ 凹凸タイプ (不燃) ・ 15 (不燃) ・ ・
ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・
グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包) ・
セッコウボード	GB-R	※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
不燃積層セッコウボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)
シーシングセッコウボード	GB-S	12.5 (※不燃 ・ 準不燃)
強化セッコウボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 21 (不燃)
セッコウラスボード	GB-L	9.5
化粧セッコウボード	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 ※吉野石膏 (株) :スクエアトーン同等品 ※既存に合わせる部分あり
化粧セッコウボード	GB-D	9.5 (準不燃) ※吉野石膏 (株) :スクエアトーン同等品 ※既存に合わせる部分あり
普通合板		表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度) ・ ・ ・ 不透明塗料塗り (※ しな程度) ・ ・ ・ 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ (※ 1.2) ・
ポリエステル樹脂化粧板		
メディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
単板張り		・ 無研磨板 V N ・ 研磨板 V S
パーティクルボード		・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・

27 壁紙張り

28 モルタル塗り [6.15.3,5,6] 項目 品質・性能 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 セメント重量の5%以下 凝結及び安定性 (凝結時間) 始発:1時間以上 終結:10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。 曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比:70%以上 吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比:95%以下 透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比:80%以下 ただし、透水試験における水圧は、 $3.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ とし1時間行う

29 タイル張り [6.16.2~4] 伸縮調整目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示) 床タイル以外 (※ 図示) ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐摩耗性	耐汚性	備考							
			I類	II類	III類	無	無	特注	有	無	有	無	有	無	有	無

耐汚性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部:耐汚性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 化粧張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下
単位容積質量	1.80k/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上		

(試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるの要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。 繰り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.21に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フローボードガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横300mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。 60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交方向の長さノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = $50 / \text{平均値} \times 100$ (注) 50:リング型わくの直径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すのうの150角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm) を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 M: 既調合モルタルと下地板の界面破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 下地板の母材破断 M: 既調合モルタルの母材破断

ロ) 適用タイルが「小ロタイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すのうの「小ロタイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5) 接着強さ (温冷繰り返し) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びひび割れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。

既調合目地材

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	30.0%以上	吸水量	50以下
長さ変化率	0.2%以下 (収縮) 単位容積質量	1.80k/L以上	

(試験方法) (1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5 RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 (2) 試料の調製 正味質量と標準繰り上がり量より、1.0~1.2Lの試料を繰り上げるの要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の繰り混ぜ水を計算して用意する。繰り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.21に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間繰り混ぜて試料とする。 (3) 保水性 (ろ紙法) JIS R 3202「フローボードガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、横200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(2) で繰り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。 10分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交方向の長さノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 (%) = $50 / \text{平均値} \times 100$ (注) 50:リング型わくの直径 (mm) (4) 単位容積質量 (2) で調整した試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。 (5) 長さ変化率 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 (6) 吸水量 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐摩耗性	耐汚性	備考							
			I類	II類	III類	無	無	特注	有	無	有	無	有	無	有	無

標準的な曲がりの役物は一体成形とする 有機系接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆

29 塗料の塗り [6.17.2,3] 塗厚 (mm) ※10mm程度

7 塗装改修工事 (1) 材料 (2) 下地調整 素地ごしらえ

8 耐震改修工事

9 環境配慮改修工事

7 仕上げ塗料張り [7.4.2,3] 鉄鋼面 塗装面 塗料の種類 工務の種類 SOP 新規見え張り ※B種 ・ ・ A種 ・ ・ 新規見え隠れ ・ ・ B種 ・ ・ EP-G 新規見え張り ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ・ ・ 新規見え隠れ ・ ・ B種 ・ ・ 塗装替え ・ ・ C種 ・ ・ DP 新規 ・ ・ A種 ・ ・ 垂れめつき鋼面 SOP 新規鋼製建具等 ※A種 ・ B種 ・ ・ A種 ・ ・ 新規その他 ・ ・ B種 ・ ・ 塗装替え ・ ・ C種 ・ ・ EP-G 新規鋼製建具等 ・ ・ A種 ・ ・ 新規その他 ・ ・ B種 ・ ・ 塗装替え ・ ・ C種 ・ ・

[7.5.2~7.13.2] 塗装の種類 塗装面 工務 塗替え 新規 ○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ※1種 ・ 2種 木部 外部 ※B種 ・ ・ ※A種 ・ ・ 内部 ※B種 ・ ・ ※B種 ・ ・ 鉄鋼面 ※B種 ・ ・ ※A種 ※B種 垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外) ※B種 ・ ・ ※B種 ・ ・ 垂れめつき鋼面 (鋼製建具) ※A種 ・ ・ ※B種 ・ ・ ・ クリアラッカー塗り (C.L) 木部 ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 木部 ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ ・ 耐水性塗料塗り (DP) コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ ・ A-1種 ・ ・ ・ B-1種 ・ ・ B-1種 ・ ・ ・ C-1種 ・ ・ C-1種 ・ ・ ・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) コンクリート面 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ モルタル面 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ セッコウプラスチック面 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ セッコウボード面 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ 屋内木部 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ ・ 屋内鉄鋼面 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ 屋内垂れめつき面 ※A種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) 木部 ※B種 ・ ・ ・ A種 ・ B種 ・ ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ ・ スチレン塗り ・ ビジメンスチレン塗り ・ オイルステイン塗り (OS) ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ ・ ・ 木材保護塗料塗り (WP) ・ A種 ※B種 ・ ・ A種 ※B種 ・ ・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、セッコウプラスチック面、セッコウボード面、その他ボード面) の塗替えの時のみしめり ※B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめりめシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの時のみしめり ※B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめりめシーラーとする

高反射率塗料塗り 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・ R.A種 ・ RB種 ・ RC種

工程	塗料の種類			塗付量 (k/m2)
	規格番号	規格名称	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射 反射率塗料	2級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による

クリアラッカー塗り A種の色 2の色 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤形着色剤 ・ 油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の色 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 油性顔料着色剤 ・ 溶剤形顔料着色剤) オイルステイン塗りの工程等

特記仕様書 (構造関係) による

石綿含有建材の除去工事 [9.1.1,3~5] 調査 ○ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 質与資料 (分析結果報告書) ○ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリノタイル、クロソライト、トシモライト 分析方法

材料名	分析方法 (定性)	分析方法 (定量)
JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	未定	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
・ 5箇所	・ 5箇所	・ 5箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所
・ 箇所	・ 箇所	・ 箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示

・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点

適用測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・ 測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計点
・ 測定2		調査対象室外部の付近	・ 計点
・ 測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計点
※ 測定4		セキユリティゾーン入口	・ 計点
※ 測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	・ 計点
※ 測定6		処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界	・ 計点
※ 測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計点
・ 測定8	処理作業後	処理作業室内	・ 計点
・ 測定9	処理作業後 (シート除去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・ 計点

事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印

図面名称・縮尺 (A3版-71%縮小) 図番

建築改修工事特記仕様書(6) A-06

<p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <p>測定名称 ・測定4 ・測定5 ・測定()</p> <p>測定方法 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</p> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(l/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5 ・測定()</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし・破碎して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去 除去対象範囲 ※ 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生方法 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ※ 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度) ・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用) ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度) ・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上) ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</p> <p>除去対象範囲 ※ 図示 作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う 試験施工 ※ 行わない ・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(9)、(h)及び(ウ)による</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示</p>	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)	・測定4 ・測定5 ・測定()	25	5	30	・測定()	47	10	120	・測定()	47	10	240	・測定()				<p>⑨ 断熱・防音改修工事 [9.3.2~4]</p> <p>断熱材の種類()、断熱材の厚さ(mm)</p> <p>施工箇所 ※ 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による</p> <p>工法 1章適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ※ 図示 通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け ※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による</p>	種類	防火性能	備考				<p>⑩ 断熱・防音改修工事 [9.3.2~4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td>※ 2種 b A ・ ※ 3種 b A</td> <td>※ 25 ・ ※ 25</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・25</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリ等の床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカロリール試験)に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 原液試験(原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>・断熱材後張り工法 断熱材の種類() 断熱材の厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)</p> <p>・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p> <p>植栽基盤及び材料 [9.4.2~4]</p> <p>屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※ 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>透水、排水層等構成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水路</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td>240L/m²・h以上</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能(排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10⁶ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根腐</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根腐保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 排水基盤の耐荷重性能 (イ) 3×10⁶ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変形・破壊の起らないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根腐から透水路までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>1章 適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※ 引き渡しの日から1年</p> <p>下記以外は、10章その他による [9.5.2~5、9]</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示</p>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・	※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	※ 2種 b A ・ ※ 3種 b A	※ 25 ・ ※ 25	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・	・フェノールフォーム断熱材	・25	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカロリール試験)に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。	項目	品質・性能	透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)	透水路	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。	排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上	耐荷重性能(排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁶ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>⑪ フリーアクセス [20.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>構造</th> <th>置数式</th> <th>支柱調整式</th> </tr> <tr> <td>所定荷重</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> <td>※ 3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> <td>・ 1.0 ・ 0.6</td> </tr> </table> <p>パネル寸法(mm)</p> <table border="1"> <tr> <th>高さ(mm)</th> <th>表面仕上材</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル</td> <td>※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※ 標準仕様書20.2.2(2)(ウ)~(ロ)による</p> <p>スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント 配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</p> <p>空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: ※ 図示)</p> <p>(性能) (1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロード性能 所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 (4) 耐震性能</p> <p>イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記の適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>② 上記①以外の部分が耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記の適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</td> <td>構造床面からの高さの1/50以下</td> </tr> </table> <p><適用地震時水平力> 3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6 3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0 5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6 5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重 [(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ≤300mmの場合のみ) 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 (5) 耐燃焼性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒 (6) 帯電防止性能評価値(U) 0.6以上 (7) 感電防止性能 漏えい抵抗(R) ≥ 1×10⁶ Ω (8) 歩行感 通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行時に違和感がない (9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。</p> <p>(試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高さ≤300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N; 200k 5000N; 350k 加振 0.6; 所定加速度600cm/S² 1.0; 所定加速度1000cm/S² 2) 300mm<設計床高さ≤600mmの場合 ① 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式-支柱分体型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。 ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-2はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。 ② 試験方法-1 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 ③ 試験方法-2 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m²相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 ④ 零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーベット 繊維素材: ナイロン100 % バイル携帯: ルーフバイル バイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材: 塩化ビニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0k/m²~6.0k/m² 人体耐電圧: 2kV以下</p>	構造	置数式	支柱調整式	所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6	高さ(mm)	表面仕上材	施工箇所		※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	項目	性能	① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の適用地震時水平力>以上	② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の適用地震時水平力>以上	③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下	<p>⑫ 表示 [20.2.11]</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p> <p>⑬ デザイン [20.2.14]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックスレールの材質</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>※ 手動 ・電動</td> <td>※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※ アルミニウム合金製 □</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>※ 手動 ・電動</td> <td>※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>※ アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>アルミスラットの材質 横付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>⑭ ロールスクリーン [20.2.15]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製</td> <td>・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様</p> <p>⑮ カーテン [20.2.16]</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ シングル ・ ダブル</td> <td>・ 片引き ・ 引分け</td> <td>・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上</p> <p>⑯ カーテンレール [20.2.16]</p> <p>材質による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材 ・ ステンレス製 強さによる区分 ※ 10-90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形</p> <p>⑰ デザインボックス及びカーテンボックス [20.2.16]</p> <p>溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ・ 集成材(仕上げ:) ・ アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2(※標準色()) ・ 特注色()) ・ 鋼製(仕上げ:)</p> <p>⑱ 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・ 600×600</td> <td>※ 一設形</td> <td>・ 屋内外用 ※ 屋内用</td> <td>※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 気密形</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(AA6)又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材留付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押し出し型材、垂れつき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性(繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回の内巻の垂れ下がりが、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内巻(内枠)の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物、外枠を天井地下取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井地下開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野線の種類は、19番とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2) 試験は、内巻を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内巻の垂れ下がり状態を測定する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ取付箇所	・横形	※ 手動 ・電動	※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製 □	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	・縦形	※ 手動 ・電動	※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式	※ アルミスラット ・クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示	材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示		形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示	(暗幕)	材質	寸法(mm)	形式	外枠	内枠	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一設形	・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ	・	・	・ 気密形			<p>事業年度 年度 設計 令和 年月 三原市都市部建築課</p> <p>大 中 小 地域 施設 種類 工事名 建築 元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)</p> <p>事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印</p> <p>図面名称・縮尺 (A3縦-71%縮小) 図番 建築改修工事特記仕様書(7) A-07</p>
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																				
・測定4 ・測定5 ・測定()	25	5	30																																																																																																																																																				
・測定()	47	10	120																																																																																																																																																				
・測定()	47	10	240																																																																																																																																																				
・測定()																																																																																																																																																							
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																					
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																					
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																					
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	※ 2種 b A ・ ※ 3種 b A	※ 25 ・ ※ 25																																																																																																																																																					
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																					
・フェノールフォーム断熱材	・25	・																																																																																																																																																					
項目	品質・性能																																																																																																																																																						
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカロリール試験)に適合していること。																																																																																																																																																						
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及びひびきがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																						
項目	品質・性能																																																																																																																																																						
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																						
透水路	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																						
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。																																																																																																																																																						
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上																																																																																																																																																						
耐荷重性能(排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁶ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																						
耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																						
耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																						
構造	置数式	支柱調整式																																																																																																																																																					
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N	※ 3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																					
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6	・ 1.0 ・ 0.6																																																																																																																																																					
高さ(mm)	表面仕上材	施工箇所																																																																																																																																																					
	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル	※ タイルカーベット ・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																					
項目	性能																																																																																																																																																						
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																						
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																						
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下																																																																																																																																																						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ取付箇所																																																																																																																																																	
・横形	※ 手動 ・電動	※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製 □	※ 25	※ 鋼製	※ 図示																																																																																																																																																	
・縦形	※ 手動 ・電動	※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式	※ アルミスラット ・クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※ 図示																																																																																																																																																	
材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																		
・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製	・ 電動式 ・ スプリング式 ※ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																			
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																		
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ つまみひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ		※ 図示	(暗幕)																																																																																																																																																		
材質	寸法(mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																																			
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一設形	・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縁縁タイプ ※ 目地タイプ																																																																																																																																																			
・	・	・ 気密形																																																																																																																																																					

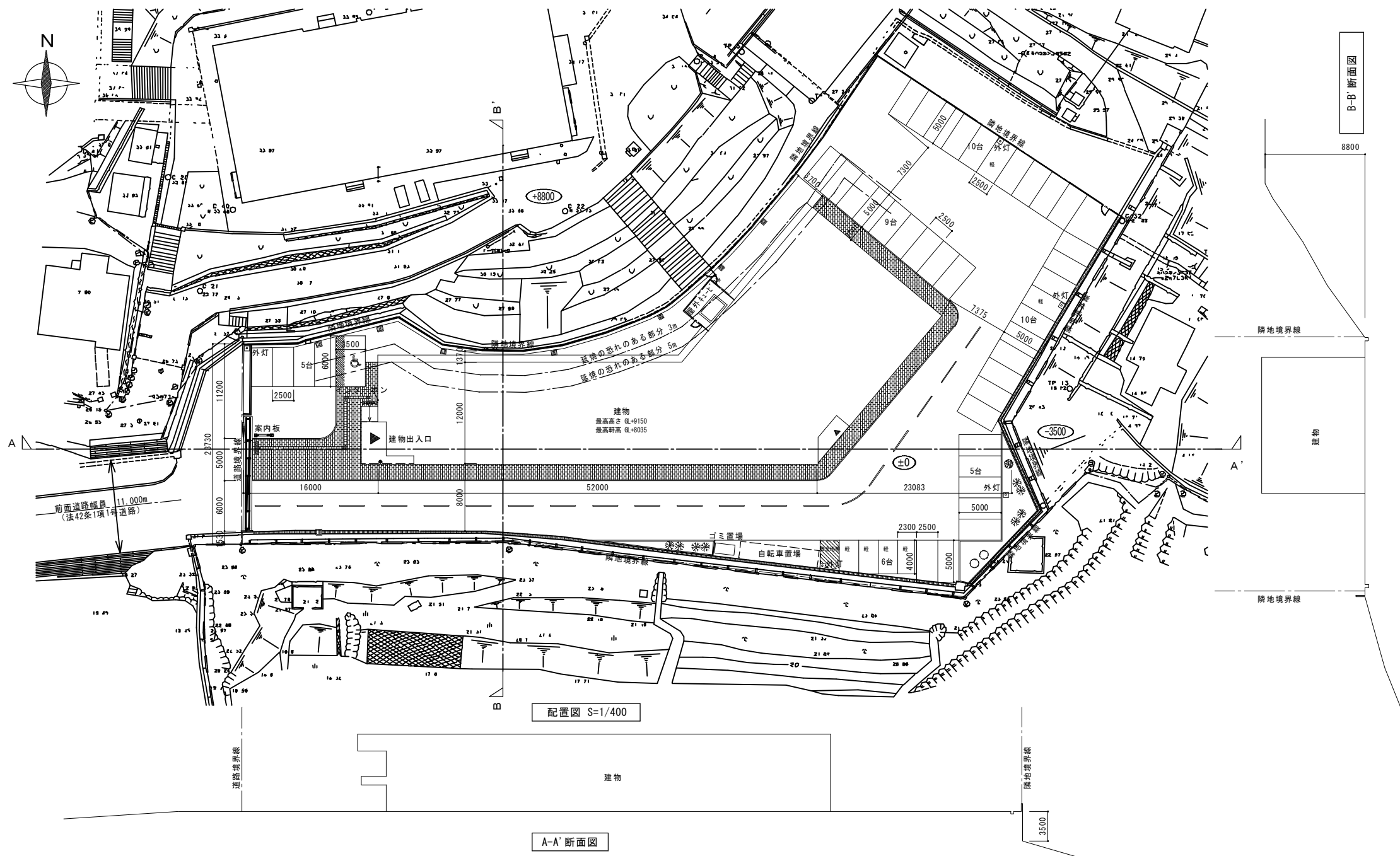
9-1	表点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・銅製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>銅製</td> <td>—</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td></td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td></td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取手</td> <td></td> <td>黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td></td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td></td> <td>蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・銅製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		銅製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—		鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの		取手		黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする		蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		10	手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・銅製パイプ ・ビニル製ハンドレール</td> <td>・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・銅製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G	・35 ・45		11	天井見切り縁等	<p>壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ※アルミニウム既製品 ・ビニル既製品</p>	12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	<p>(11.2.2、19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>※300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0	・セラミックタイル	※300×300	・	・レジンコンクリート製	※300×300	・	屋外	・コンクリート製			・セラミックタイル	※300×300	・	・レジンコンクリート製	※300×300	・	13	鉄筋	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び名	備考	※SD295A	※D16以下		※SD345	※D19以上		14	溶接金網	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※溶接金網			・鉄筋格子			15	鉄筋の継手及び定着	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</p> <p>鉄筋の継手の方法等 ※重ね継ぎ手 ・ 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする ・ 鉄筋の定着長さ ※柱に取り付ける梁の引張鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による ・ 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による 種類 ・摩擦圧接接合 ・結合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定</p>	16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)</p> <p>※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※24</td> <td>※標準仕様書表6.2.2による</td> <td>※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (cm)	適用箇所	※24	※標準仕様書表6.2.2による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	17	セメント	<p>種類 (6.3.1)</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p>	18	型枠	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</p> <p>せき板の材料 ※合板 厚さ (※12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m²℃/kCa以上</p>	19	無筋コンクリート	<p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランブ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※18</td> <td>※15</td> <td>※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による</td> </tr> </table> <p>種類 (8.1.4)(表8.1.5)</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p> <p>仕上げの平たんさは、図示以外は下記による</p> <table border="1"> <tr> <th>改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (蓋敷式)</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)</td> </tr> </table> <p>6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※行う ・行わない</p>	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (mm)	施工箇所	※普通コンクリート	※18	※15	※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による	改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類	施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (蓋敷式)	b種	カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)	20	床コンクリート 直均し仕上げ	<p>(14.1.3)</p>	21	おと地エアンカー	<p>(20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部形状</th> <th>ドアエッジ材質</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能) (1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>耐薬品性及び耐汚染性</td> <td>耐引ひかき性</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら</td> <td>き性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ材質	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	—	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら	き性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。		22	トイレブース	<p>(20.2.5)</p>
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																																														
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・銅製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用																																																																																																																																																																																																																																																
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)																																																																																																																																																																																																																																																			
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																																																
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																																																																	
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度																																																																																																																																																																																																																																																
	銅製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																
二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																																																																	
	その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																																																																	
目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604																																																																																																																																																																																																																																																	
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																																																																																																	
底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																																																																																																																																																
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—																																																																																																																																																																																																																																																
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																																																																																																																																																																																	
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																																																																																																																																																																																	
取手		黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																																																	
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																																																	
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																																																	
		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																																																																																																																																																																	
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																
・集成材 ・ステンレスパイプ ・銅製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G	・35 ・45																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																
屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0																																																																																																																																																																																																																																																
	・セラミックタイル	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																
	・レジンコンクリート製	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																
屋外	・コンクリート製																																																																																																																																																																																																																																																		
	・セラミックタイル	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																
	・レジンコンクリート製	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																																																
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
※SD295A	※D16以下																																																																																																																																																																																																																																																		
※SD345	※D19以上																																																																																																																																																																																																																																																		
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																	
※溶接金網																																																																																																																																																																																																																																																			
・鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																																																			
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																	
※24	※標準仕様書表6.2.2による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランブ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																
※普通コンクリート	※18	※15	※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による																																																																																																																																																																																																																																																
改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																		
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア (蓋敷式)																																																																																																																																																																																																																																																		
b種	カーペット張り、防水下地、セルフベリング材塗り																																																																																																																																																																																																																																																		
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式)																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材の材料	脚部形状	ドアエッジ材質																																																																																																																																																																																																																																																	
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																																																																																																																																																																	
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																																																																																																																																		
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																		
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																																																		
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																		
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																																																																																																																																																																																																																		
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																		
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																		
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																		
ラッチセット																																																																																																																																																																																																																																																			
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																		
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひかき性																																																																																																																																																																																																																																																	
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	—																																																																																																																																																																																																																																																	
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																		
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊 JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残ら	き性試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																																																																																																																																																	
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																		
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																																																		
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番																																																																																																																																																																																																																																						
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	建築改修工事特記仕様書(8)		A-08																																																																																																																																																																																																																																						

01 建築物、敷地に関する事項

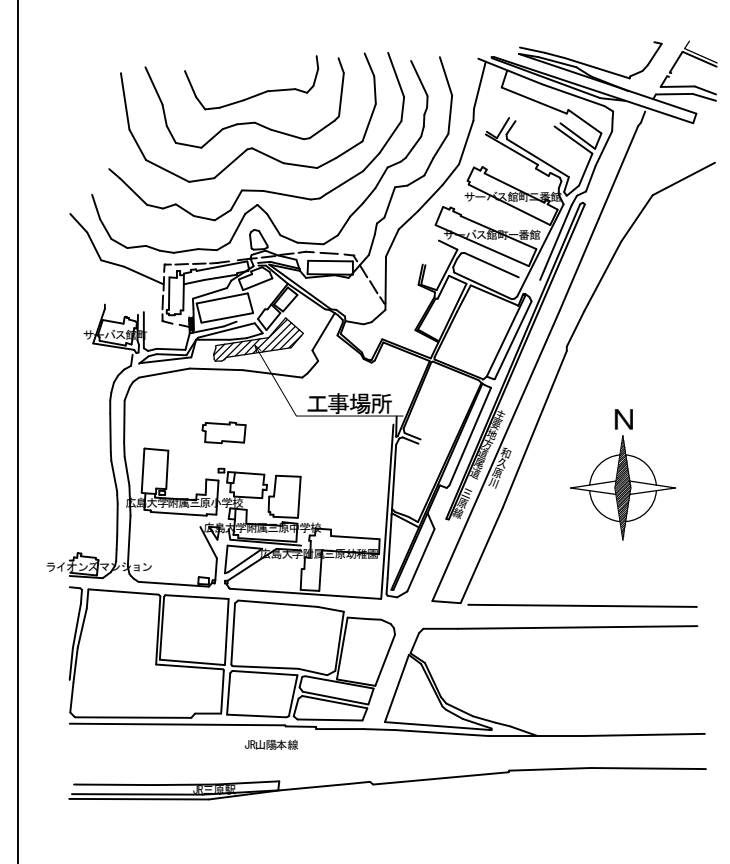
1 工事名称	元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）	9 面積規制	法定許容建ぺい率	%	法53条3項の適用[有 (10%, 20%) . 無]		
2 工事場所	(住居表示) 広島県三原市館町2丁目5-2		指定建ぺい率	60 %			
3 工事種別	新築 増築, 改築, 移転, 大規模の修繕, 大規模の模様替, 用途変更	法定許容容積率	%	特定道路からの距離 m, 前面道路に対する乗数			
4 主要用途	(用途の区分08150) 博物館・(用途の区分08220) 児童福祉施設等・(用途の区分08470) 事務所	指定容積率	200 %				
5 都市計画区域	内: [市街化区域 , 市街化調整区域, 指定なし] 外	10 敷地面積	敷地全体(実測) 3,530.00 m ²				
6 用途地域	第一種低層住居専用地域, 第一種中高層住居専用地域, 第一種住居地域 , 準住居地域, 近隣商業地域, 商業地域, 準工業地域, 工業地域, 工業専用地域, 指定なし	11 主要面積	建築基準法上の面積	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)	
7 防火地域	防火地域, 準防火地域, 法22条地域 , 指定なし		建築面積	1,008.96 m ²	22.57 m ²	1,031.53 m ²	(建ぺい率) 29.23 %
8 道路	幅員 11m 市道(館町9号線)		延べ面積	1,495.01 m ²	194.54 m ²	1,689.55 m ²	(容積率) 47.59 %
			容積算定時延べ床	m ²	m ²	m ²	(容積率) 47.59 %

02 配置図・断面図

1/400

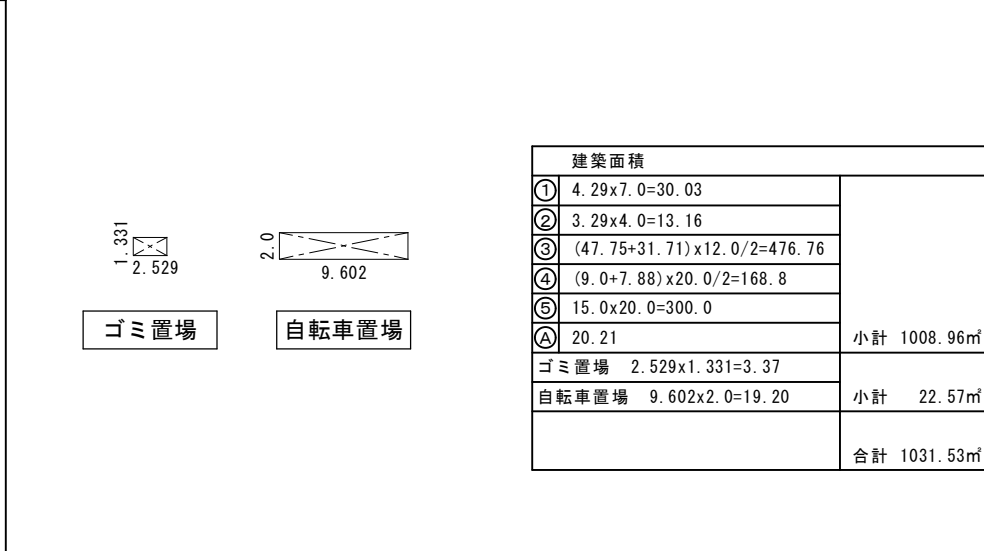
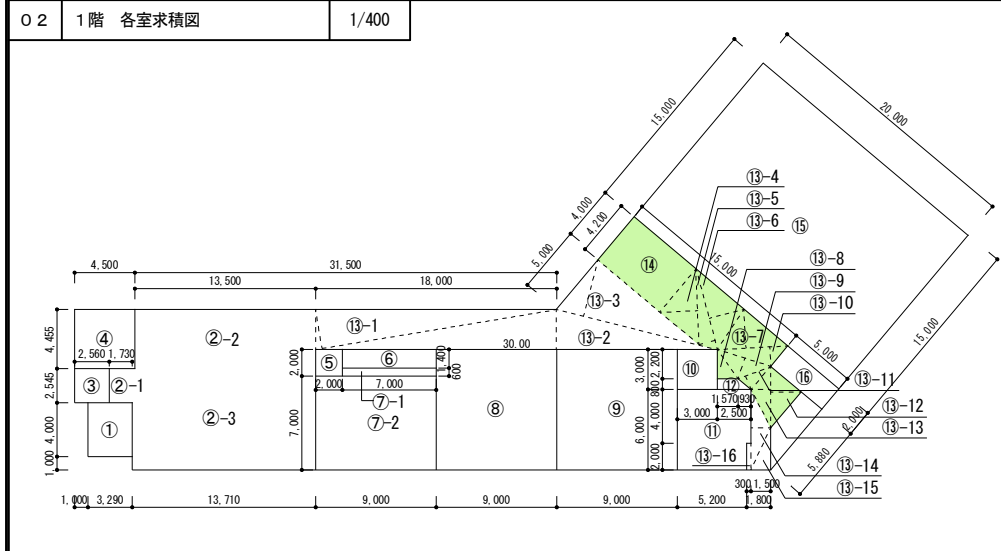
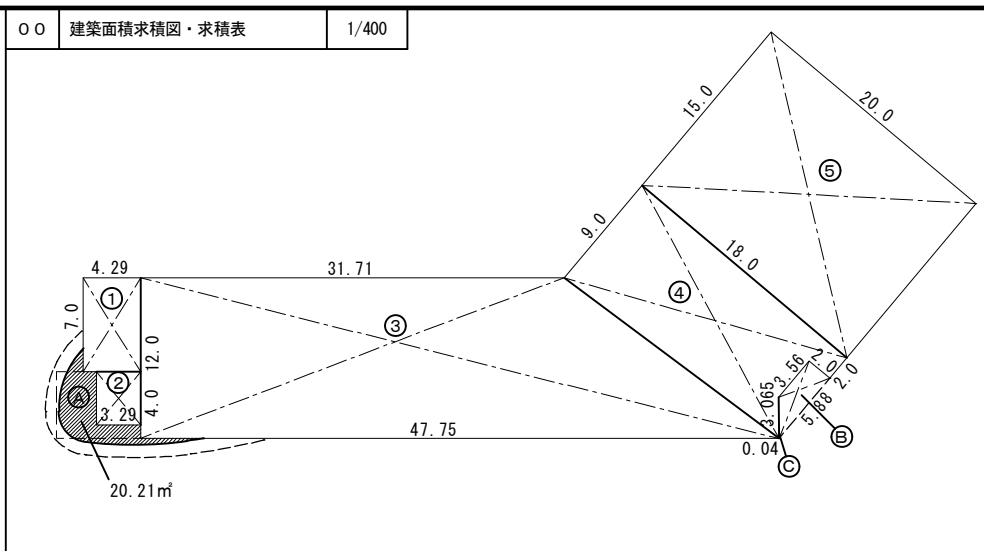
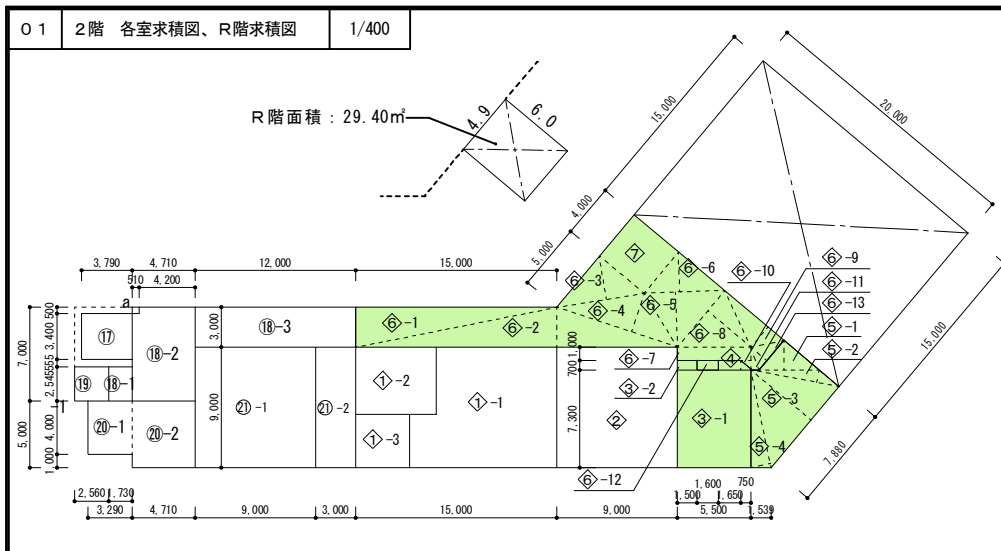


03 附近見取図



04 工事内容

事務所から歴史民俗資料館 放課後児童クラブに用途変更	
1	内部改修
2	外部改修
3	屋上防水改修
4	電気設備改修(別途)
5	空調設備改修(別途)
6	給排水衛生設備改修(別途)
7	外構改修(別途)



04 面積算出表

民俗資料館エリア (1階)				共用エリア (2階)				
記号	室名	計算式	計	記号	室名	計算式	計	
①	風除室	4.00 × 3.29	13.16㎡	⑬-9	廊下	4.17 × 1.62 ÷ 2	3.3777	
②-1	エントランスホール	2.545 × 1.73	4.40285	⑬-10	廊下	2.70 × 1.28 ÷ 2	1.728	
②-2	エントランスホール	4.455 × 13.5	60.1425	⑬-11	廊下	2.59 × 1.08 ÷ 2	1.3886	
②-3	エントランスホール	7.545 × 13.71	103.44195	⑬-12	廊下	4.58 × 1.48 ÷ 2	3.3892	
③	EV	2.545 × 2.56	6.5152㎡	⑬-13	廊下	4.58 × 2.26 ÷ 2	5.1754	
④	階段(1)・倉庫(3)	4.455 × 4.50	20.0475㎡	⑬-14	廊下	6.00 × 1.50 ÷ 2	4.50	
⑤	給湯室	2.00 × 2.00	4.00㎡	⑬-15	廊下	3.49 × 1.35 ÷ 2	2.35575	
⑥	倉庫	1.40 × 7.00	9.80㎡	⑬-16	廊下	2.00 × 0.30	0.60	
⑦-1	展示室(1)	0.60 × 7.00	4.20	⑭	階段(2)防煙垂壁部	4.20 × 6.05	25.41㎡	
⑦-2	展示室(1)	7.00 × 9.00	63.00	⑮	多目的ホール	20.00 × 15.00	300.00㎡	
⑧	展示室(2)	9.00 × 9.00	81.00㎡	⑯	倉庫	2.00 × 5.00	10.00㎡	
⑨	展示室(3)	9.00 × 9.00	81.00㎡	1階 (民俗資料館エリア) 床面積合計			906.94695㎡	
⑩	身障者トイレ	3.00 × 3.00	9.00㎡	1階 (共用エリア) 床面積合計			72.3123㎡	
⑪	男子トイレ・女子トイレ	6.00 × 5.50 - 2.00 × 0.30	32.40㎡	民俗資料館エリア (2階)				
⑫	PS	0.80 × 1.57	1.256	⑰	階段	3.79 × 3.40	12.886㎡	
		0.80 × 0.93 ÷ 2	0.372	⑱-1	廊下	1.73 × 2.545	4.40285	
⑬-1	廊下	18.21 × 2.96 ÷ 2	26.9508	⑱-2	廊下	7.00 × 4.50	31.50	
⑬-2	廊下	30.00 × 3.00 ÷ 2	45.00	⑱-3	廊下	12.00 × 3.00	36.00	
⑬-3	廊下	10.99 × 4.33 ÷ 2	23.79335	a	廊下	0.50 × 0.51	0.255	
⑬-4	廊下	2.84 × 5.695 ÷ 2	8.0869	⑲	EV	2.545 × 2.56	6.5152㎡	
⑬-5	廊下	6.22 × 1.25 ÷ 2	3.8875	㉑-1	書庫	3.29 × 4.00	13.16	
⑬-6	廊下	6.22 × 2.69 ÷ 2	8.3659	㉑-2	書庫	4.71 × 5.00	23.55	
⑬-7	廊下	5.26 × 2.90 ÷ 2	7.627	㉒-1	倉庫	9.00 × 9.00	81.00	
⑬-8	廊下	5.26 × 1.47 ÷ 2	3.8661	㉒-2	倉庫	3.00 × 9.00	27.00	
2階 (民俗資料館エリア) 床面積合計				2階 (民俗資料館エリア) 床面積合計				235.75965㎡
				2階 (共用部) 床面積合計				229.1581㎡

用途別専用面積	割合	1階		2階		用途別床面積	申請面積 (用途変更部分)		
		専用	共用部	専用	共用部		1階	2階	合計
博物館	84%	906.94㎡	60.81㎡	235.75㎡	192.71㎡	1396.21㎡	967.75㎡	428.46㎡	1396.21㎡
事務所	10%		7.19㎡	135.00㎡	22.78㎡	164.97㎡			19.20㎡
児童クラブ	6%		4.31㎡	81.00㎡	13.66㎡	98.97㎡	4.31㎡	94.66㎡	98.97㎡
共用2F		906.94㎡	72.31㎡	451.75㎡	229.15㎡				
合計		1660.15㎡		979.25㎡	680.90㎡	1660.15㎡	972.06㎡	523.12㎡	1495.18㎡

床面積表	1階	2階	R階	合計
本館	979.25㎡	680.90㎡	29.40㎡	1689.55㎡
附属棟	19.20㎡			19.20㎡
自転車置場	19.20㎡			19.20㎡
ゴミ置場	3.37㎡			3.37㎡
合計	1001.82㎡	680.90㎡	29.40㎡	1712.12㎡

外部仕上げ表			改修前												改修後													
符号	場所・部位	下地	仕上げ	下地補修												既存塗膜等の除去			下地調整						符号	仕上げ	備考	
				タイル張り仕上げ												(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)				
				ひび割れ部			欠損部		浮き部					目地														
				(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)													(2)
樹脂注入工法	Uカットシーリング材充填工法	Uカットシーリング材充填工法	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部									
①	根回り	C	タイル金押し	(既存のまま)																					①	—		
②	外壁(1)	GL+1.150	C	45丁掛磁器質施釉タイル張	(既存のまま)																				②	—		
③	外壁(2)		S	成形セメント板 t=60 (認定番号: FP060NE-9036) 【●】 シーリング	(一部撤去) (撤去)																				③	成形セメント板 t=60 (認定番号: FP060NE-9036) 磁器質タイルの上DP塗装・シーリング	(一部新設) (新設)	
④	外壁(3)		S	50角磁器質施釉タイル張	(既存のまま)																				④	—		
⑤	外壁(4)		S	角波サイディング t=0.4	(既存のまま)																				⑤	—		
⑥	外部支柱			タイル張	(既存のまま)																				⑥	—		
⑦	庇		S	タイル張	(既存のまま)																				⑦	—		
⑧	庇上		C	シート防水 コンクリート直押し	(既存のまま)																				⑧	—		
⑨	庇裏		S	タイル張 t=1.0	(既存のまま)																				⑨	—		
⑩	屋根(1)	(屋上)	C	防水断熱断熱工法 [A1-2]	(既存のまま)																				⑩	塩ビシート防水機械固定 [S-M2] (POS)	(新設)	脱気筒 8箇所 (新設)
⑪	屋根(1) (ハケ上①)		S	繊維混入スレート t=15 【●】 タイル製水切り	(撤去)																				⑪	サンドイッチパネルの上、塩ビシート防水 [S-M2] (POS)	(新設)	水切金物 (新設)
⑫	屋根(1) (ハケ上②)		S	成形セメント板 t=15	(撤去)																				⑫	サンドイッチパネルの上、塩ビシート防水 [S-M2] (POS)	(新設)	
⑬	屋根(1) (ハケ上笠木)		S	笠木タイル t=2.0 フッ素樹脂焼付塗装	(既存のまま)																				⑬	既存笠木の上、塩ビシート防水	(新設)	
⑭	屋根(2)	(風除室)	C	シート防水 コンクリート直押し	(既存のまま)																				⑭	クリーニング		
⑮	屋根(3)	(機械室上部)		折板	(既存のまま)																				⑮	—		
⑯	屋根(4)	(機械室下部)		折板	(既存のまま)																				⑯	—		
⑰	ルーフドレン(屋根1)			横型ドレンφ100	(既存のまま)																				⑰	改修用横型ドレン	(新設)	
⑱	ルーフドレン(屋根2)			横型ドレンφ100	(既存のまま)																				⑱	改修用横型ドレン	(新設)	
⑲	軒樋(屋根3)			塩ビ	(既存のまま)																				⑲	—		
⑳	ルーフドレン(屋根4)			自在ドレン	(既存のまま)																				㉑	—		
㉑	縦樋			塩ビ製縦樋φ100 カラVP	(既存のまま)																				㉒	—		
㉒	縦樋(風除室底)			塩ビ製縦樋φ75 カラVP	(既存のまま)																				㉓	—		
㉓	玄関床		M	自然石張	(既存のまま)																				㉓	クリーニング	点字ブロック (新設)	

参考数量

略号 C : コンクリート
M : モルタル塗り
S : 軽量鉄骨
SOP : 合成樹脂調合ペイント
複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
複層塗材RE : 水性エポキシ樹脂エマルジョン系複層仕上塗材

特記事項

1 外壁改修については、設計時の全数調査報告書に基づき、下地補修の前にひび割れ、 コンクリートの剥落、タイルひび割れ・浮き及び仕上塗材の劣化部分等の不良箇所を 十分に調査して、施工数量調査報告書及び工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を 受けた後、改修に着手すること。	3 本工事に支障となるものは、一時取外し、支障のないよう復旧すること。 既設配管等により、取外できない場合は監督員と協議すること。	7 屋外既設 防水層(立上り共)は、撤去とする。脱気テープはφ3.0m程度とする。 8 既存塗膜壁面で脆弱と思われる箇所については、付着強度が1.0 Nmm以上であることを 各面3ヶ所以上であることを確認すること
2 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※ シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、 下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。 また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。	4 水洗い工法は、高圧水洗機(9MPa以上)を使用して、粉化物・付着物等の除去、清掃 を行う。 5 クリーニングは、金属、建具及びガラスに適合する洗剤での水洗い程度とする。 6 外壁塗材の除去 (1) 改修範囲内の塗材除去を行うこと。 (2) 除去作業については、平らな面を兼業装置付ディスクグライダーケレン工法で行い、 建具取合い・出隅・入隅等を超音波ケレン工法で行うこと。	9 外壁のひび割れから常時漏水が認められた場合は、別途漏水防止工事を行う必要がある ため、監督員と協議すること。 10 硬質塩化ビニル製雨樋のSOP塗りは、C-2種を適用する。下地調整は、研磨紙すりによる 目荒しの上、溶剤ぶきにより油類の除去を行う。 11 【●】は7mm以上含有建材(下地調整材)を示す。

外部仕上げ表	改修前	下地補修															既存塗膜等の除去			下地調整								改修後		
		タイル張り仕上げ																		塗装面下地調整										
		ひび割れ部				欠損部				浮き部				目地																
		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)					
符号	場所・部位	下地	仕上げ	樹脂注入工法	Uカットシール材充填工法 (0.2mm~1.0mm)	Uカットシール材充填工法 (1.0mm超)	Uカットシール材充填工法 (撤去部)	タイル部分張替え工法 (0.25m未満)	タイル部分張替え工法 (0.25m以上)	タイル部分張替え工法 (0.25m未満)	タイル部分張替え工法 (0.25m以上)	タイル部分張替え工法 (0.25m未満)	タイル部分張替え工法 (0.25m以上)	目地改修工法 (伸縮調整目地)	目地改修工法 (伸縮調整目地)	サンダー工法	高圧水洗工法 30MPa以上	塗膜はく離剤工法	水洗い工法 9MPa以上	ポリマーセメントペースト	下地調整材 C-2	鉄鋼面	垂鉛メッキ面	モルタル面・ボード面	コンクリート面	符号	仕上げ	備考		
28	ルーフレイン(屋根4)		自在ドレ (既存のまま)	○	○													○		○				28	下地調整塗材C-2	(新設)				
29	壁樋		塩ビ製壁樋φ100 ｶｰVP (既存のまま)																											
30	壁樋(風除室庇)		塩ビ製壁樋φ75 ｶｰVP (既存のまま)																											
31	玄関床	M	自然石張 (既存のまま)																											
参考数量				3.155	2.145.4																				略号	C : コンクリート M : モルタル塗り S : 軽量鉄骨	SOP : 合成樹脂調整ペイント 複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上げ塗材 複層塗材RE : 水性エポキシ樹脂エマルジョン系複層仕上げ塗材			

特記事項		
1 外壁改修については、設計時の全数調査報告書を基に、下地補修の前にひび割れ、コンクリートの剥落、タイルひび割れ、浮き及び仕上げ塗材の劣化部分等の不良箇所を十分に調査して、施工数量調査報告書及び工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けた後、改修に着手すること。	3 本工事に支障となるものは、一時取外し、支障のないよう復旧すること。	7 屋外既設 防水層(立上り共)は、撤去とする。脱気テープはφ3.0m程度とする。
2 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※ シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。 また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。	4 水洗い工法は、高圧水洗機(9MPa以上)を使用して、粉化物・付着物等の除去、清掃を行う。	8 既存塗膜壁面で脆弱と思われる箇所については、付着強度が1.0Nmm以上であることを各面3ヶ所以上であることを確認すること
	5 クリーニングは、金属、建具及びガラスに適合する洗剤での水洗い程度とする。	9 外壁のひび割れから常時漏水が認められた場合は、別途漏水防止工事を行う必要があるため、監督員と協議すること。
	6 外壁塗材の除去 (イ) 改修範囲内の塗材除去を行うこと。 (ロ) 除去作業については、平らな面を集塵装置付ディスクグライダーでケレン工法で行い、建具取合い・出隅・入隅等を超音波ケレン工法で行うこと。	10 硬質塩化ビニル製雨樋のSOP塗りは、C-2種を適用する。下地調整は、研磨紙すりによる目荒しの上、溶剤がきにより油類の除去を行う。

間仕切壁・外壁リスト

1/10

特記事項	
1. 本リストは間仕切壁の仕上り下地の仕様を示し、仕上材の仕様は、仕上表または、部分詳細図による。 2. 一般間仕切壁は特記なき限り W2とする。 また、壁は特記なき限り床スラブより天井スラブ及び、梁下までとする。 3. 特記なき限りUB, USの片面壁仕上下地は W2aとする。 4. 耐火間仕切壁は全て床スラブより天井スラブ及び梁下までとする。 また、取合部設備等貫通部は適切な区画処理を行う。	5. RC外壁及び外壁の柱のボード張下地、内部独立柱は特記なき限りN2とする。 6. 機械室の鉄筋コンクリート壁、ALCパネルに明記してある -GIは、GWマット張り厚50を示す。間仕切壁内に充填するGWは厚50とする。 7. ◀は、シーリング(メーカー指定)10×10とする。

符号	FW1	FW1	WG1	WG1	WG2	WG2	WG3	WG3	WG4	WG4	W1	W1	W2	W2	W3	W3	防火区画壁 (1時間耐火) 押出成形セメント板 t=60
断面																	
注記	・児童クラブ(A・B面)		・児童クラブ(D面)		・展示室(1)(2)(3) ・倉庫(5)(6)(7) ・会議室		・書庫(A面)		・展示室(3)		・新設する壁		・展示室(3)		・給湯室		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	外部仕上げ表(2) 間仕切壁・外壁リスト		A-13

内部仕上表																			
階	室名		床			巾木・腰			壁			天井					備考		
			下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型	
1	議会議務局 給湯室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) (撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000		自動扉 アライント ミニキッチン 流し台 自動ドア上看板 (撤去・移設) (撤去)	
			C	給湯室:ビニル床シート直張 t=2.5										GB-D t=9.5張 (撤去)					
	新設 展示室(1) 倉庫(4) 給湯室	改修後	C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)t=5.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) (既存のまま) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		自動扉 アライント 誘導標識 サイン (既存のまま) (既存のまま) (新設) (新設)	
			C	給湯室:ビニル床シート直張 t=2.5(流し台下補修)															
	正・副議長室兼議長応接室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) (撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000		OHPスクリーン アライント サイン (撤去) (撤去) (新設)	
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) 化粧フィルム張(不燃) (既存のまま) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		誘導標識 (新設)	
	議会図書室兼理事者控室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) (撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000		OHPスクリーン アライント 書庫(チャール) (撤去) (撤去) (撤去)	
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) <展示壁> GB-R t=12.5 ビニルクロス張(不燃) 化粧フィルム張(不燃) (一部新設) (新設) (新設) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		誘導標識 サイン (新設) (新設)	
	議場兼全員協議会室 (撤去)	改修前	C	タイルカベット敷 230㎡ コンクリート金釘押え 防塵塗装 (撤去)	±0	LGS	防塵塗装 H=60	—	LGS	ケイカル板 t=8張	—	LGS	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張 (一部撤去) (一部撤去)	—	塩ビ (既存のまま)	6.000		議長席 手摺 室名札 カーテン (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)	
			C (既存のまま)	ビニル床タイル(木目調)直張 t=5.0 (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=8張 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張 (一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	6.000		サイン 誘導標識 カーテン(遮光) (新設) (新設) (新設)	
	打合せコーナー 応接コーナー エントランスホール	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張 (一部撤去)	—	LGS	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張 (一部撤去)	—	塩ビ	3.000		黒板 床見切 (撤去)	
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 (一部新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張 (既存のまま) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		パーテーション ロールスクリーン カウンター 点字ブロック 床見切 (新設) (新設) (新設) (新設) (既存のまま)	
	西側階段 倉庫(3)	改修前	C	踏面:ビニル床シート直張 t=2.5 ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60 (倉庫(3)一部撤去)	—	LGS	GB-D t=12.5張 (倉庫(3)一部撤去)	—	LGS	階段踊り場上げ裏表しのまま	—	—	—			
			C (既存のまま)	踏面:ビニル床シート直張 t=2.5 ビニル床シート直張 t=2.0 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (倉庫(3)一部新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-D t=12.5張 (倉庫(3)一部新設)	—	LGS (塗替)	階段踊り場上げ裏表しのまま (既存のまま)	—	—	—			
	廊下	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 (撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張	—	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (一部撤去)	—	塩ビ	3.000		床見切	
			C (既存のまま)	ビニル床タイル(木目調)直張 t=5.0 (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 (既存のまま)	—	LGS (塗替)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		床見切 (既存のまま)	
	障害者用トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	ビニル巾木 H=60	—	LGS	ケイカル板 t=8張	—	LGS	ケイカル板 t=6張	—	塩ビ	2.550		手摺(樹脂被覆タイプ)	
			C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=8張 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=6張 (既存のまま)	—	塩ビ (既存のまま)	2.550		手摺(樹脂被覆タイプ) (既存のまま)	
	男子・女子トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せつ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部撤去) (一部撤去) (一部撤去)		LGS	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張	—	LGS	ケイカル板 t=6張 (一部撤去)	—	塩ビ (一部撤去)	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース (一部撤去)	
			C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せつ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部新設) (一部新設) (一部新設)		LGS (既存のまま)	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張 (既存のまま) (既存のまま) (既存のまま) (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=6張 (一部新設)	—	塩ビ (一部新設)	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース (既存のまま) (一部新設)	

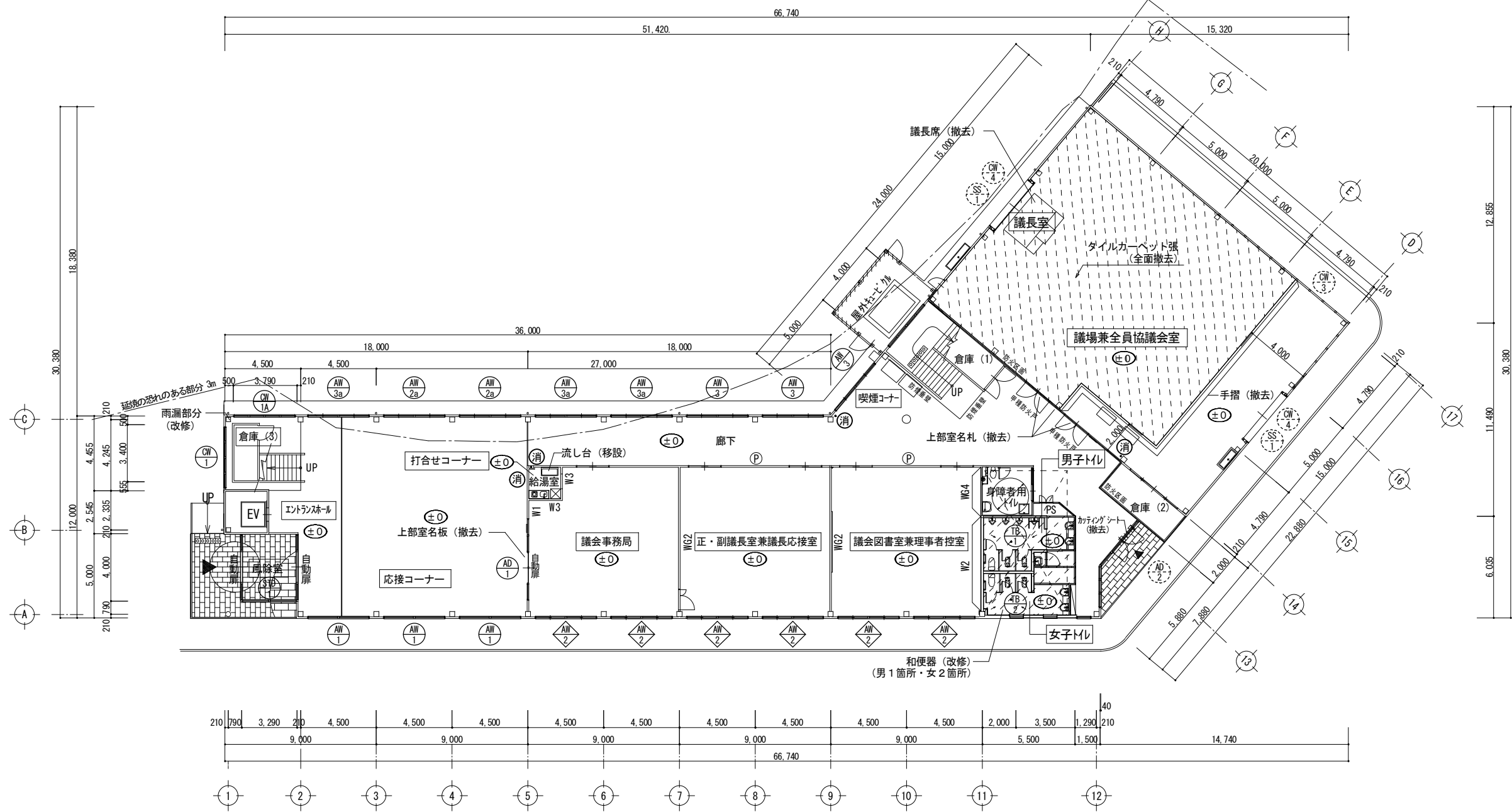
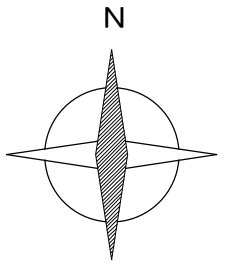
凡 例 (使用材料と記号)												〈特記事項〉 ・鋼製床組は、耐荷重5,000Nとする。 ・タイルカベットは、第一種LPパイルとする。				・ビニル床シートは、F4とする。 ・せつこうボードは、ベベル 下地処理共とする。 ・トイレースは、マニシ化粧板とする。			
C	コンクリート	LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	ジーンク'せつこうボード'	GB-R	せつこうボード'	GB-D	化粧せつこうボード'	GB-F	強化せつこうボード'	DR	ロクカール吸音板						

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課				大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	図番
工事完成	年度	令和 年月										建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	内部仕上表(1)	A-14

内部仕上表																		
階	室名	改修前	床			巾木・腰			壁			天井					備考	
			下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型
2	創志会 (撤去)	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 (撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 GB-R t=12.5張 ガラスケル t=50 ビニルクロス張 (準不燃) (撤去)	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (撤去)	—	塩ビ	3.000		ブライント 室名札 木付ボード (撤去) (撤去)
	新設 書庫	改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.0 (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	<A・B面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ガラスケル t=50 (既存のまま) ビニルクロス張 (不燃) (新設) <C・D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ビニルクロス張 (不燃) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (不燃) (既存のまま) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		ブライント サイン (既存のまま) (新設)
	新風会・公明党 無所属 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS (一部撤去)	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (一部撤去)	—	塩ビ	3.000		ブライント 室名札 木付ボード プロジェクター OHPスクリーン (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 倉庫(5)(6)	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 ビニル床シート張 t=2.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (不燃) (既存のまま) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (一部新設)	3.000		ブライント サイン (既存のまま) (新設)
	新生会 志成会・委員会室 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (一部撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (一部撤去) (一部撤去)	—	塩ビ (一部撤去)	3.000		ブライント 室名札 木付ボード プロジェクター OHPスクリーン (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 事務所・会議室 倉庫(7)	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (既存のまま) (一部新設)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	<会議室・倉庫(7)・事務所A・C・D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ビニルクロス張 (不燃) (新設) <事務所B面のみ> GB-R t=12.5張 (既存のまま) GB-R t=9.5張 (新設) ビニルクロス張 (不燃) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (一部新設)	3.000		ブライント サイン 誘導標識 ミニキッチン (既存のまま) (新設) (新設) (新設)
	委員会室 市民連合 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 ビニル床シート張 t=2.5 (一部撤去) (撤去)	±0	LGS (一部撤去)	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (一部撤去) (撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (撤去) GB-D t=12.5張 (撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000		ブライント 室名札 OHPスクリーン スピーカー 書庫(椅子) (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 児童クラブ	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	<A・B面> GB-F t=21張 (新設) GB-F t=21張 (新設) ビニルクロス張 (不燃) (新設) <D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) GB-R t=9.5張 (新設) ビニルクロス張 (不燃) (新設) <C面> GB-R t=12.5張 (新設) ビニルクロス張 (不燃) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張 (不燃) (新設) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		ブライント サイン 誘導標識 ミニキッチン 流し台 (既存のまま) (新設) (新設) (新設) (1階給湯室より移設)
	ホール・廊下	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	—	LGS	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張	—	塩ビ	3.000		
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.0 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 (既存のまま)	MP・II塗 (新設)	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (既存のまま) (既存のまま)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		
	休憩コーナー	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	—	LGS	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (撤去) (撤去)	—	塩ビ	3.000		
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (新設)	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (不燃) (新設) (新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		
	男子・女子トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せっ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部撤去) (一部撤去) (一部撤去)	±0	LGS	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張	MP・II塗	LGS	タイル板 t=6張 (不燃)	VE塗	塩ビ	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ)
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せっ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部新設) (一部新設) (一部新設)	±0	LGS (既存のまま)	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張 (既存のまま) (既存のまま) (既存のまま)	MP・II塗 (既存のまま)	LGS (既存のまま)	タイル板 t=6張 (不燃) (既存のまま)	VE塗 (既存のまま)	塩ビ (既存のまま)	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース (既存のまま) (一部新設)

凡 例 (使用材料と記号)												〈特記事項〉 ・鋼製床組は、耐荷重5,000Nとする。 ・せっこうボードは、F4とする。 ・タイルカベットは、第一種LPバルとする。		・ビニル床シートは、F4とする。 ・せっこうボードは、レベル 下地処理共とする。 ・トイレースは、タリシ化粧板とする。			
C	コンクリート	LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	シージン'せっこうボード'	GB-R	せっこうボード'	GB-D	化粧せっこうボード'	GB-F	強化せっこうボード'	DR	ロクカール吸音板				

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課				大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名		図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)		図番
工事完成	年度	令和 年月										建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之		内部仕上表 (3)			A-16

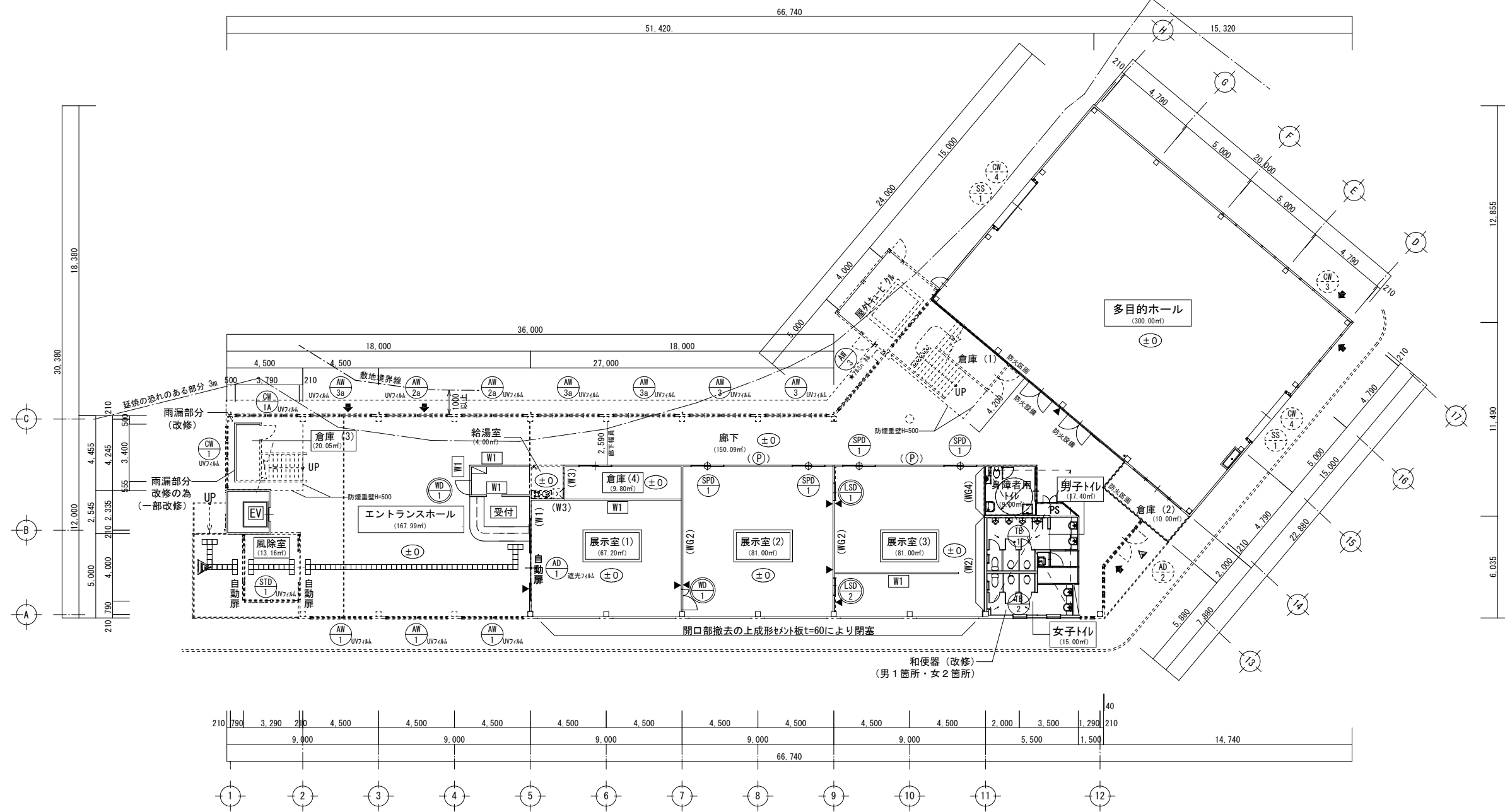
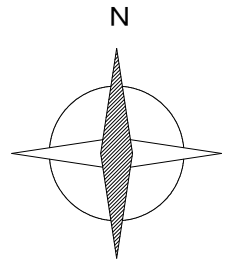


1階 平面図 S=1/200

凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。	符号	既存壁下地を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象建具(撤去)を示す。		工事対象外建具を示す。		消火器(撤去)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 1階平面図		A-17

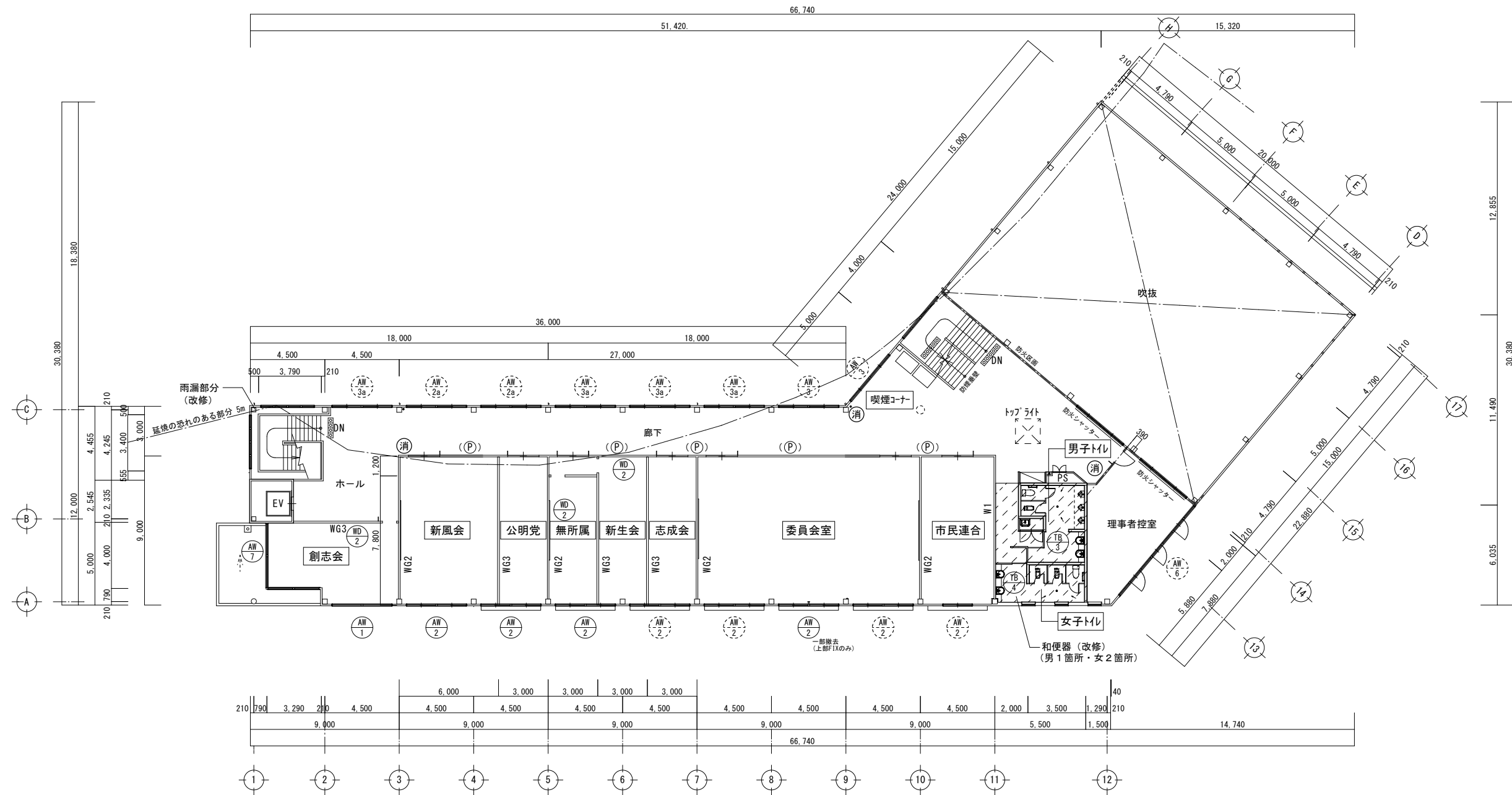
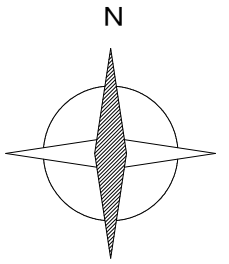


1階 平面図 S=1/200

凡例

	室名	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。		新設		符号	改修後壁下地を示す。		室名札・室名板		消防用窓検討窓を示す。
	室名	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。	室名	工事対象外室を示す。				工事対象外建具を示す。	(符号)				既存壁下地を示す。		鍵交換箇所(内:ソリダ、外:ソリダ) ※施錠種類については工事前に要確認		

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階平面図			A-18

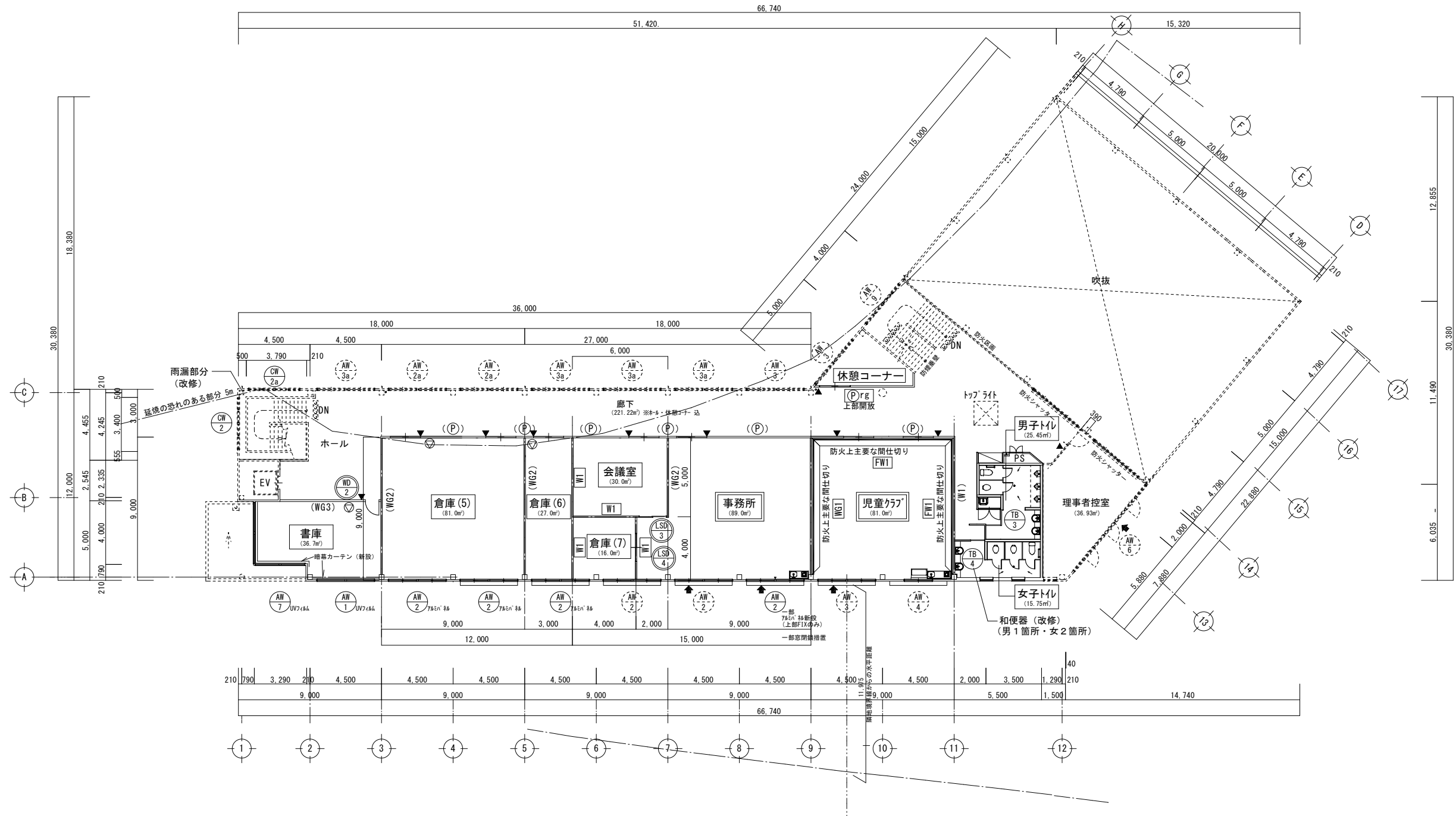
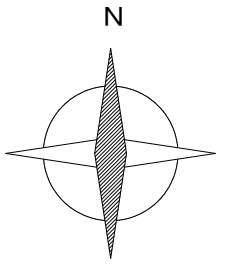


2階 平面図 S=1/200

凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。	符号	既存壁下地を示す。
室名	工事対象外室を示す。				工事対象外建具を示す。		消火器 (撤去)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 2階平面図		A-19



2階 平面図 S=1/200

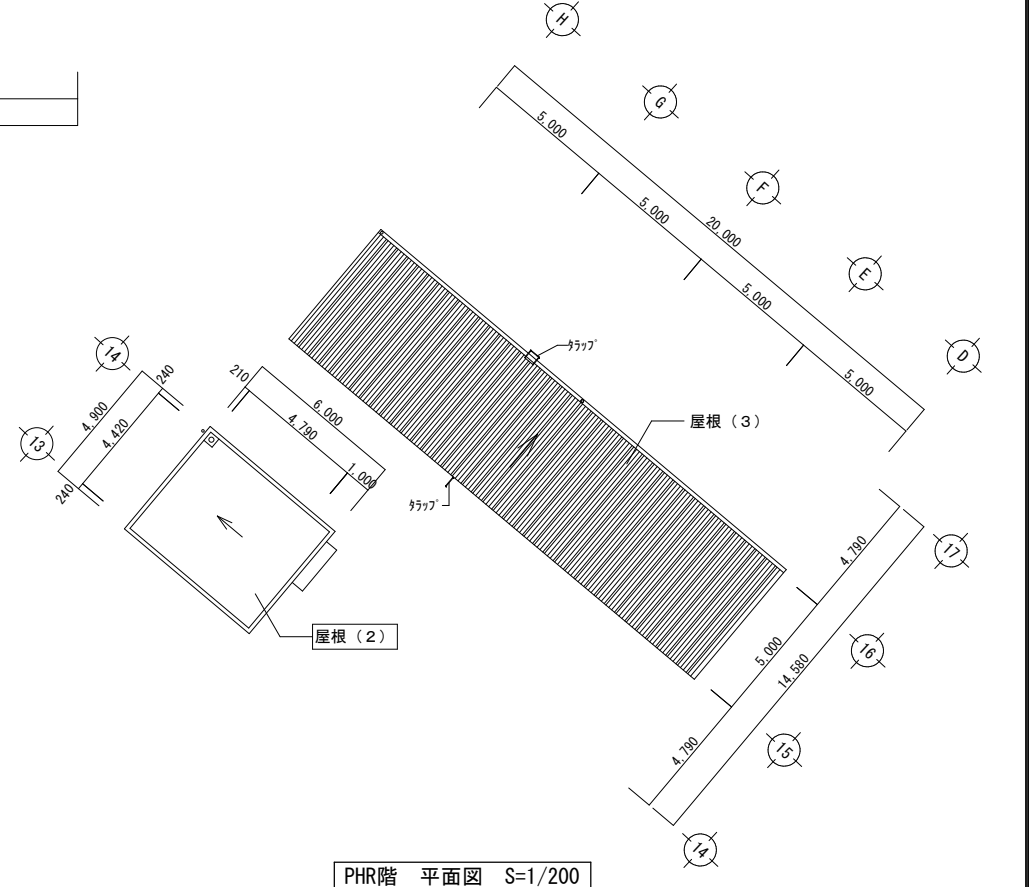
凡例

	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。		新設		改修後壁下地を示す。		室名札・室名板		消防用有窓検討窓を示す。
	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。		工事対象外室を示す。				工事対象外建具を示す。	(符号)			既存壁下地を示す。		許容積載物重表記 (80kg/m ²)		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 2階平面図			A-20



R階 平面図 S=1/200



PHR階 平面図 S=1/200

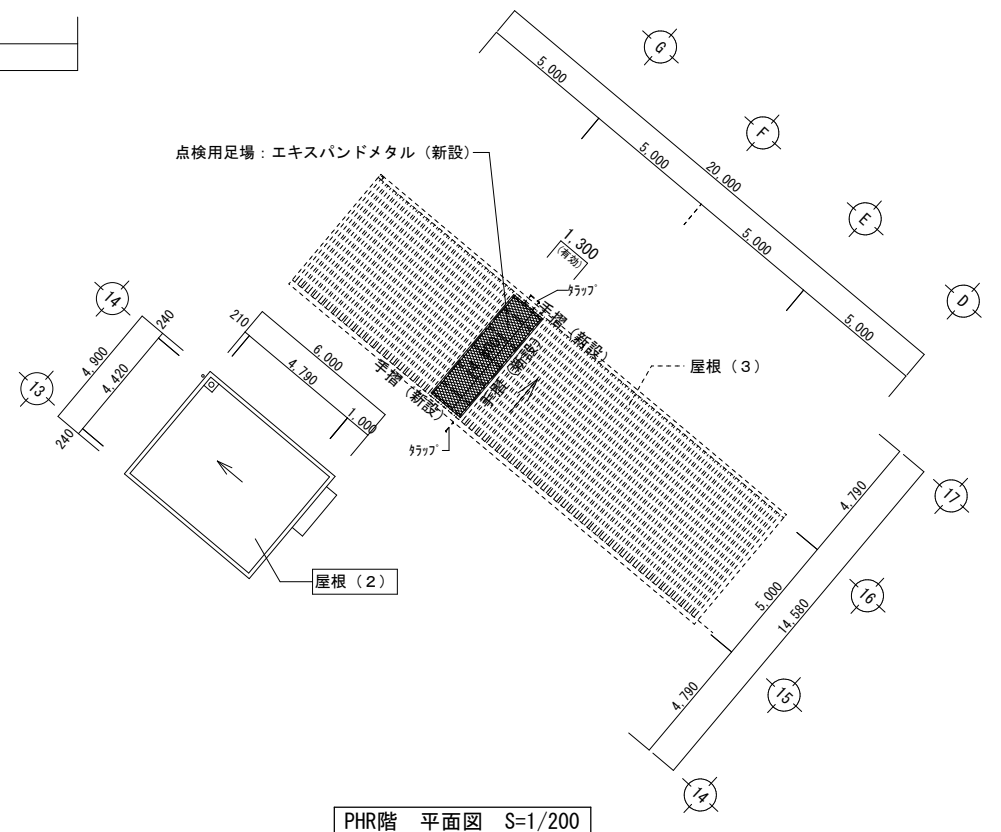
凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) R階・PHR階平面図		A-21



R階 平面図 S=1/200



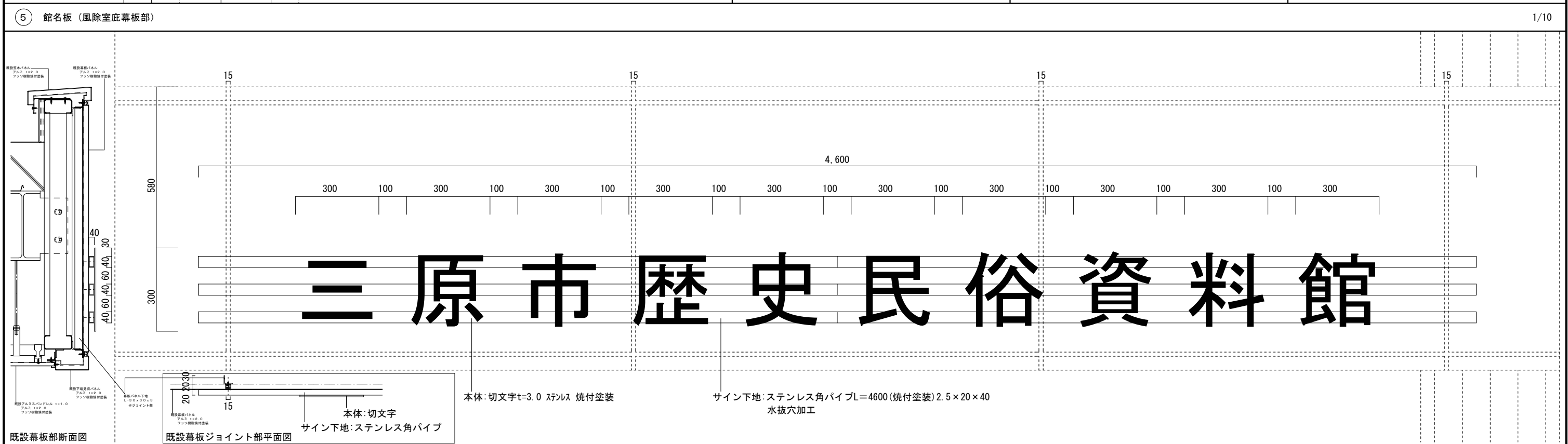
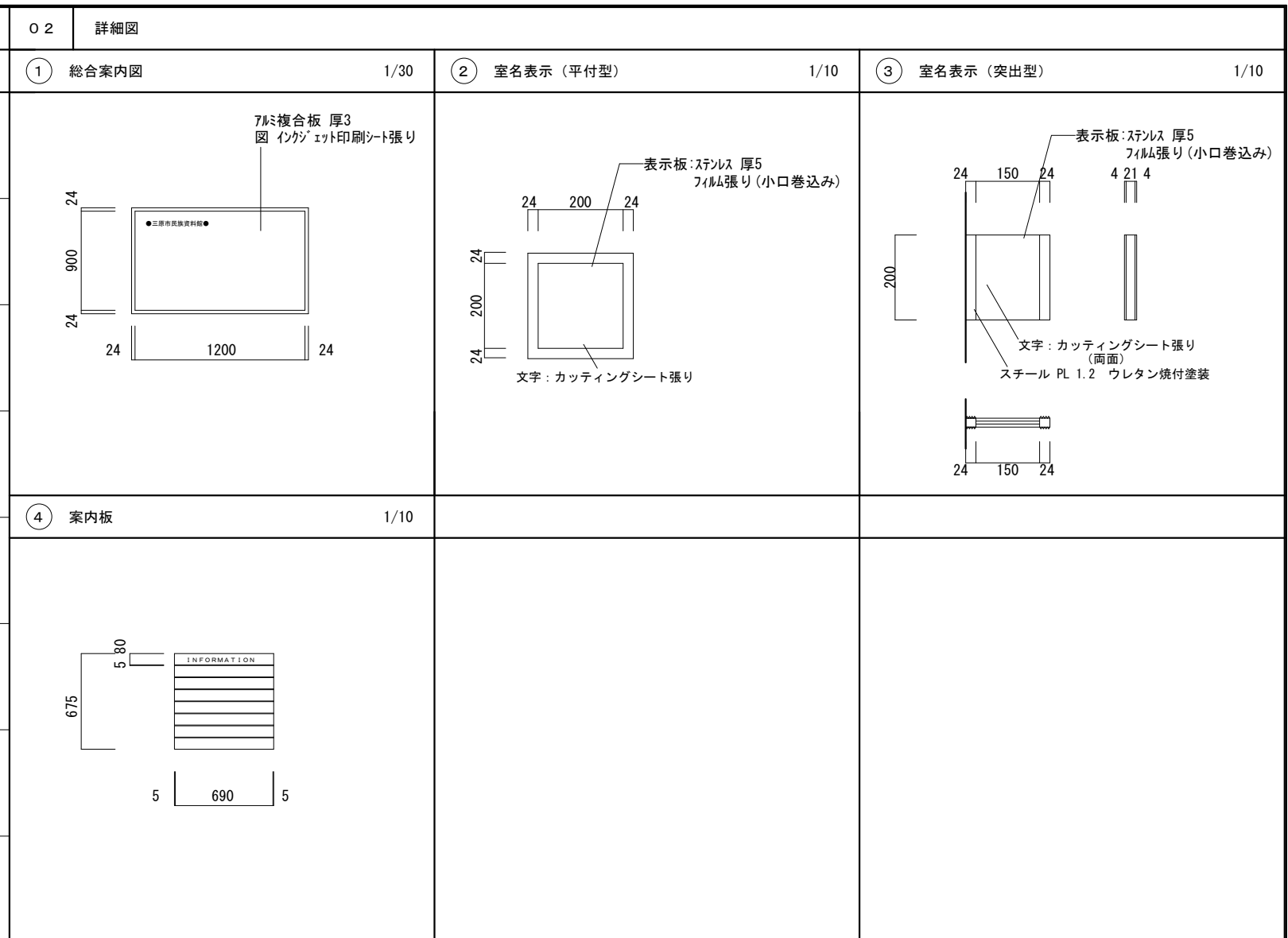
PHR階 平面図 S=1/200

凡例

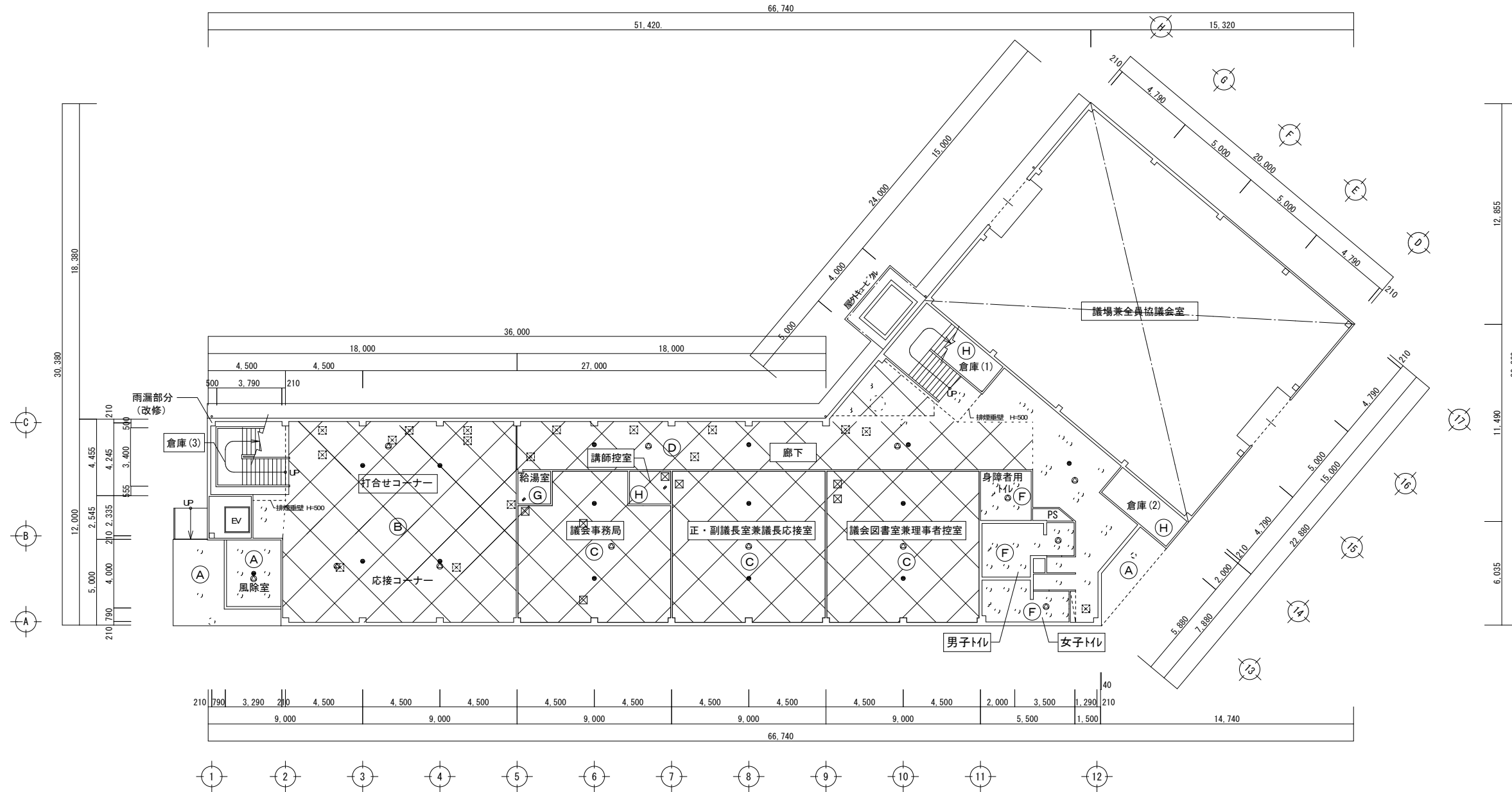
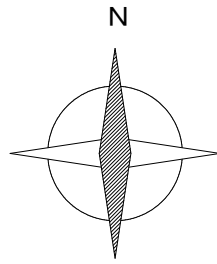
室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) R階・PHR階平面図		A-22

01 サイン平面図		品名		数量	寸法	形状 取付方法	仕様
凡例	サイン名	W	D	H	SH	F G	※1 <取付高さ> サイン下端からFLまたはGLまでの寸法 ※2 <サインの形状> B: 切文字 S: シート L: 電照 P: プレート(フレームなし) F: フレーム付プレート
	W: 両面表示 S: 片面表示					※2 ※3	※3 <取付方法の別> H: 吊り下げ型 W: 壁付型 B: ブラケット突出し型 W(I): 壁面埋込型 G: 自立型(固定) S: 自立型(可動)
①	総合案内図	2	W D H SH	1200 15 948	B B		表示基板: アクリル板 t=5.0 枠: タモ材 図: インクジェット印刷シート張り
②	室名表示(平付型)	11	W D H SH	249 15 249	B B		表示基板: ステンレス板 t=5.0 枠: タモ材 図: インクジェット印刷シート張り
③	室名表示(突出型)	8	W D H SH	198 29 200	F S		ステンレス板 厚3 本体: スチール 枠: ステンレス HL 既設 図: インクジェット印刷シート張り
④	案内板	2	W D H SH	700 9 675	P B		アクリル板 厚5 フィルム張り(小口巻込み) 文字・ピクト: フィルム切文字張り
⑤	館名板	10	W D H SH	300 40 300	B B		箱文字-ステンレス-焼付塗装



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	S=1/10・1/30		A-23



1階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100φ-15ヶ所 ○ : スピーカー200φ-13ヶ所

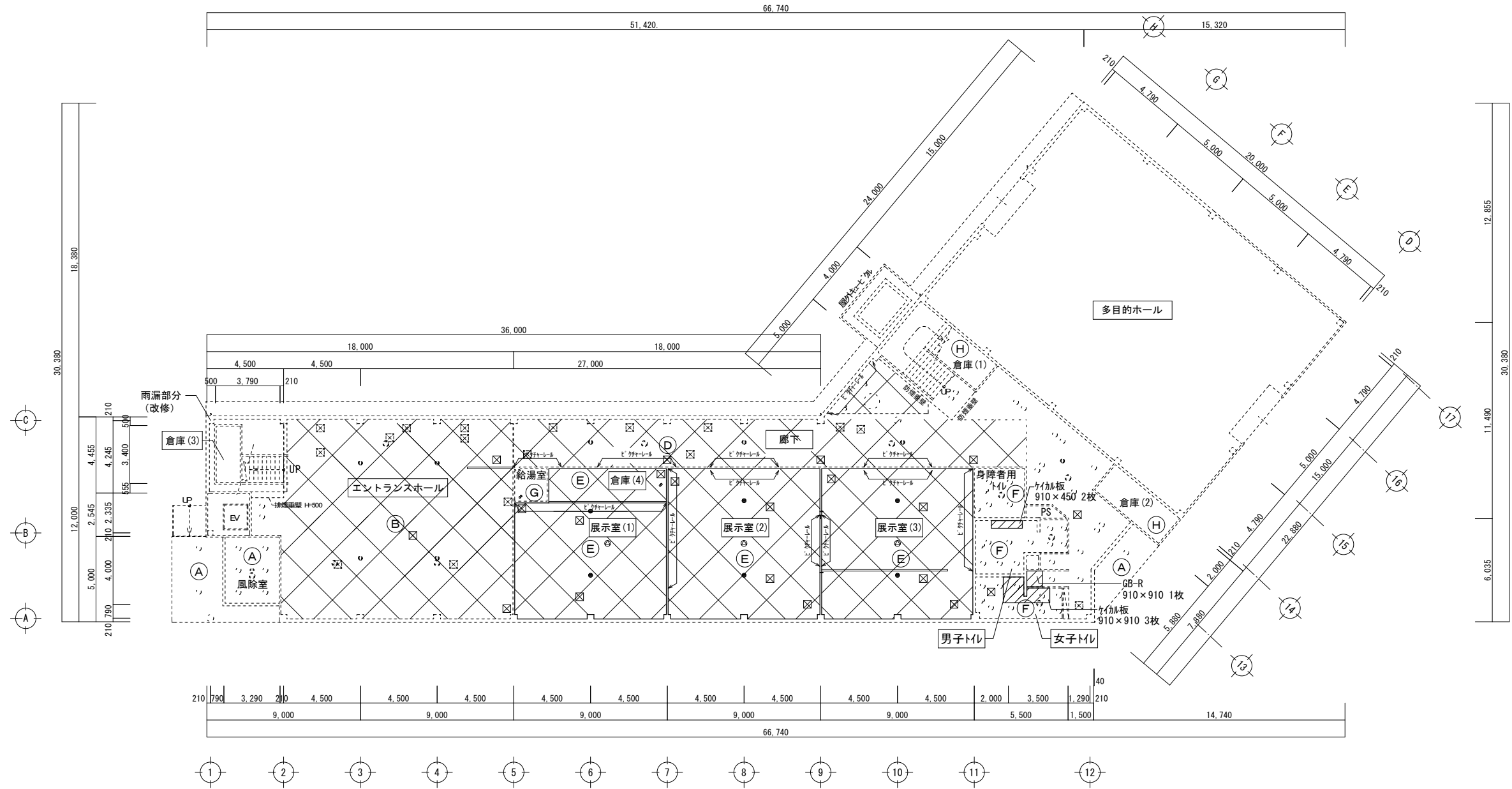
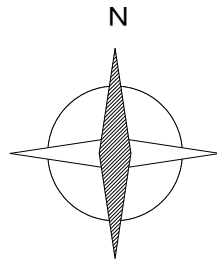
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスバンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (撤去)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	室名	工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	室名	工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 V.P.塗		
(G)	GB-S t=12.5 V.P.塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

凡例

室名	工事対象室を示す		撤去範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		撤去範囲を示す (下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/200	(改修前)1階天井伏図	A-24



1階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-15ヶ所 ○ : スピーカー200Φ-13ヶ所

※ピクチャーレール : 耐荷重30Kg/箇所(本)

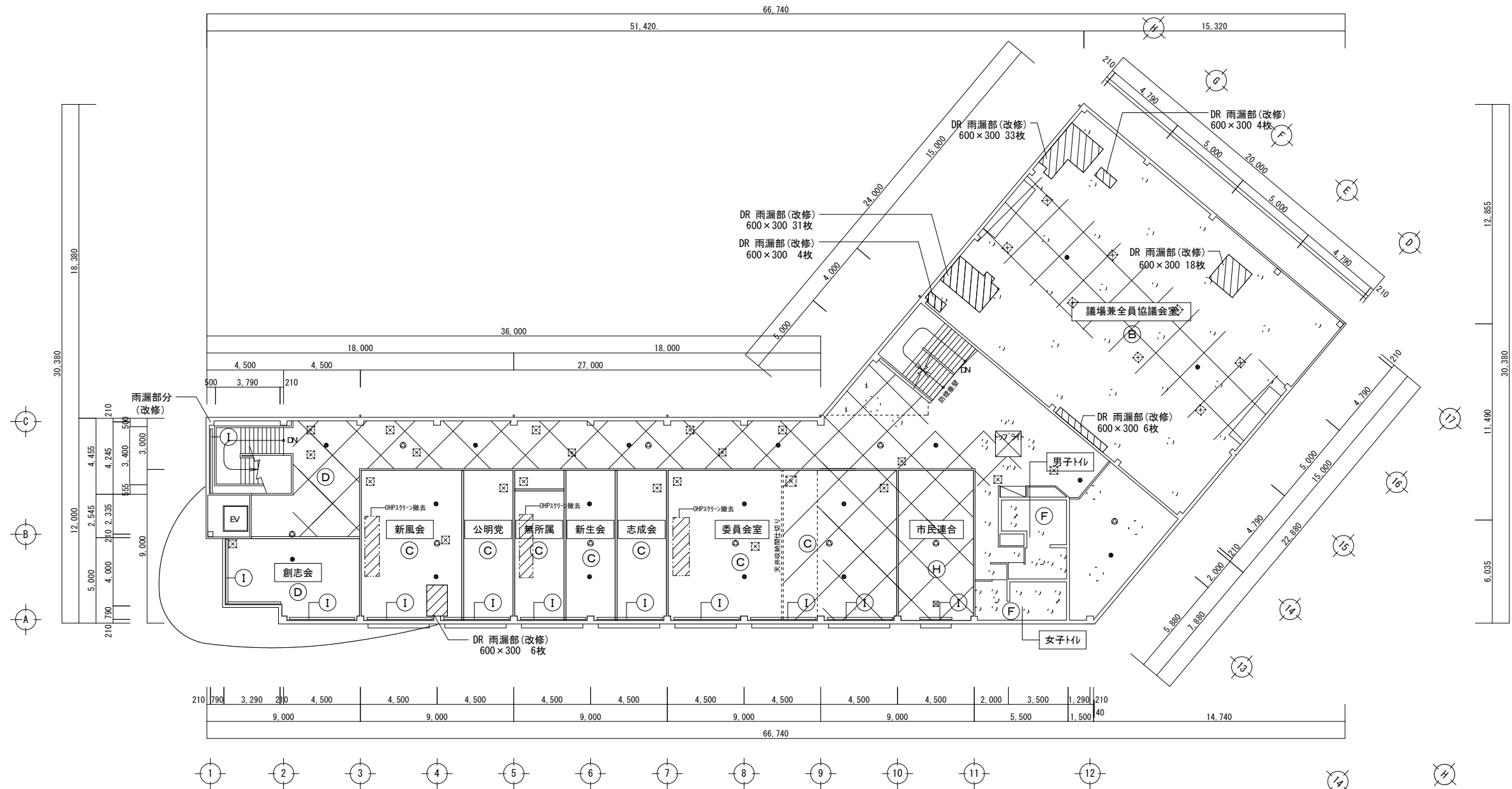
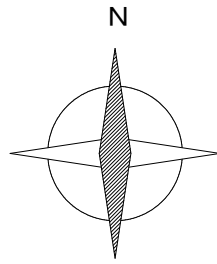
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (新設)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	室名	工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	室名	工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 V P 塗		
(G)	GB-S t=12.5 V P 塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

凡例

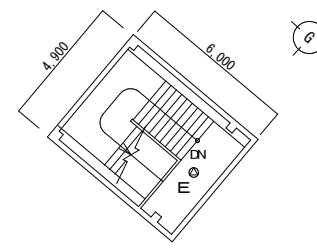
室名	工事対象室を示す		新設範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		新設範囲を示す (下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階天井伏図		A-25



2階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-16ヶ所 ◎ : スピーカー200Φ-12ヶ所



R階 天井伏図 S=1/200 ◎ : スピーカー200Φ-1ヶ所

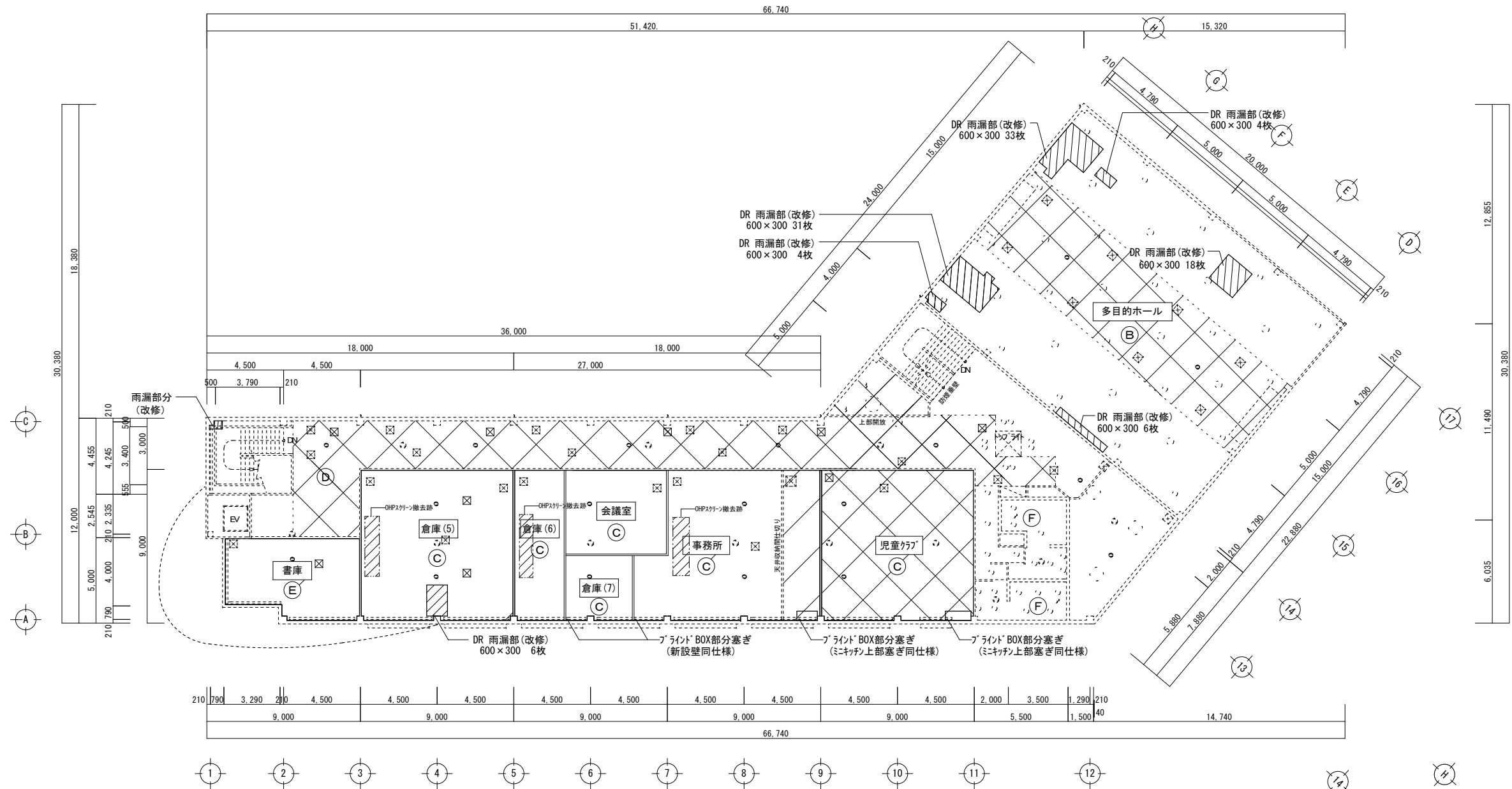
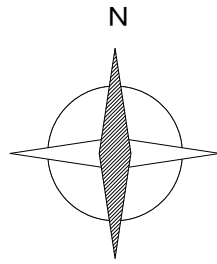
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (撤去)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	室名 工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	☒	室名 工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 VP塗		
(G)	GB-S t=12.5 VP塗		
(H)	GB-D t=9.5張		
(I)	ブラインドBOX		

凡例

室名	工事対象室を示す		撤去範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		撤去範囲を示す (下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 2階・R階 天井伏図	A-26



2階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-16ヶ所 ◎ : スピーカー200Φ-12ヶ所

※ピクチャーレール : 耐荷重30Kg/箇所(本)

R階 天井伏図 S=1/200

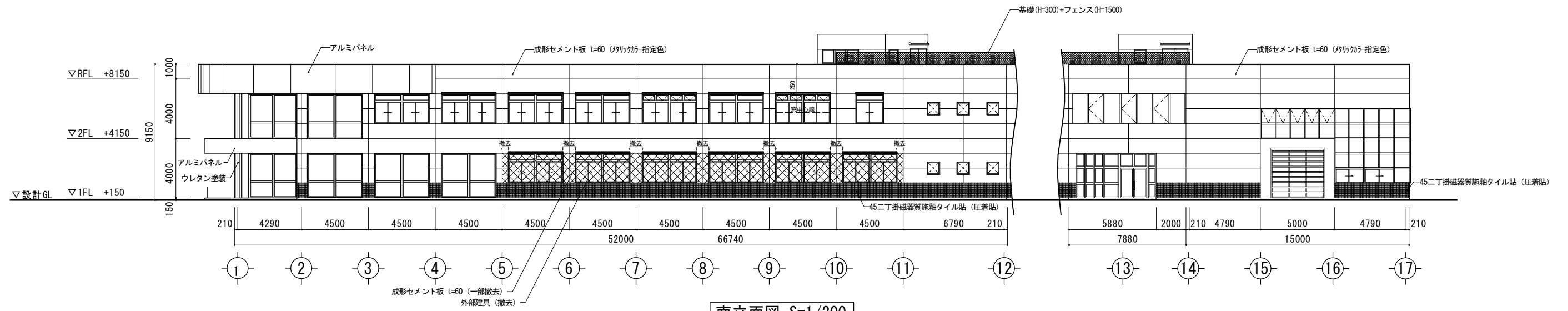
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (新設)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	☐	室名 工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	☐	室名 工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 VP塗		
(G)	GB-S t=12.5 VP塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

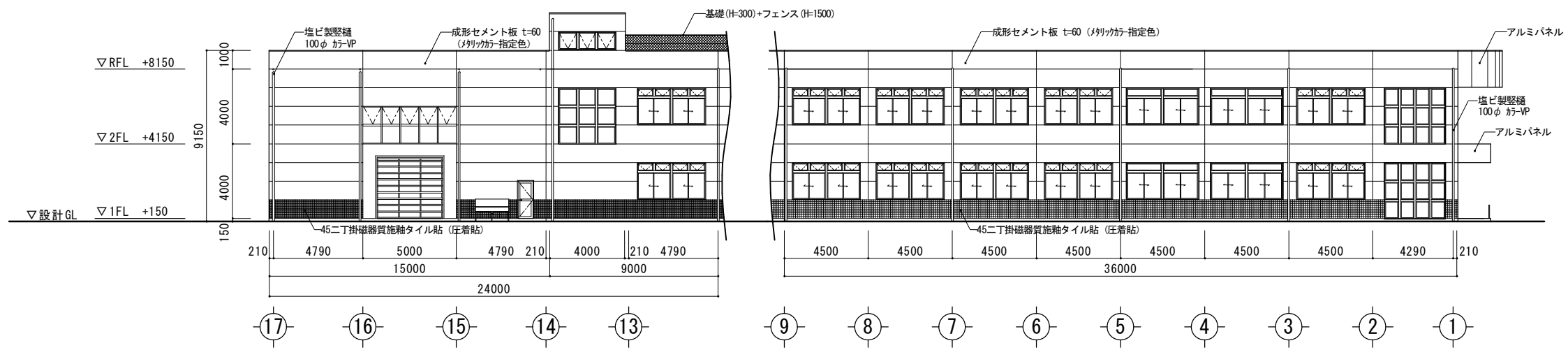
凡例

室名	工事対象室を示す		新設範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		新設範囲を示す (下地共)

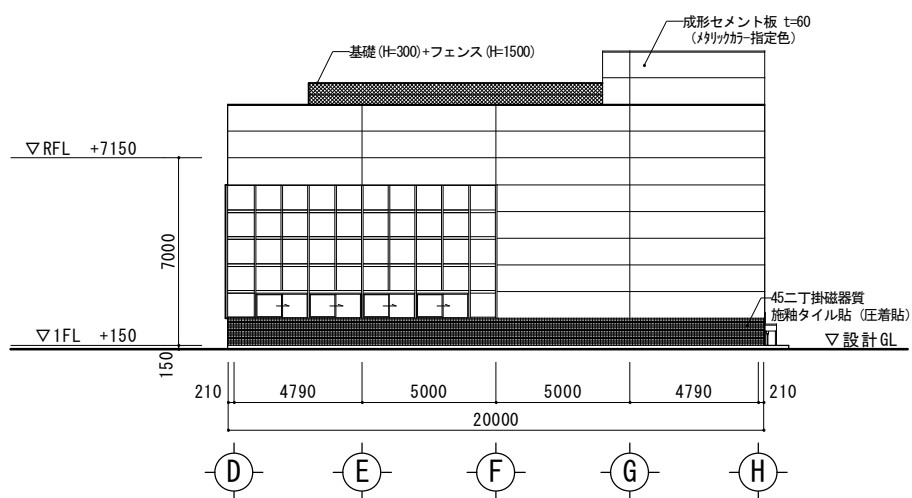
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 2階・R階 天井伏図		A-27



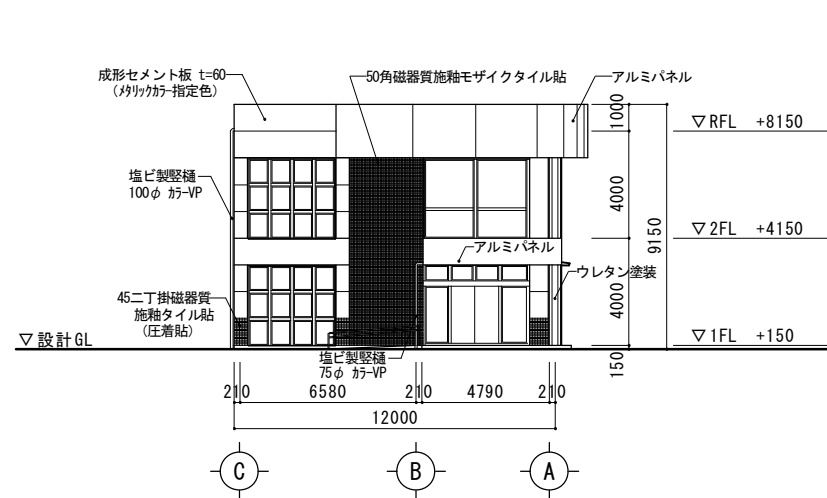
南立面図 S=1/200



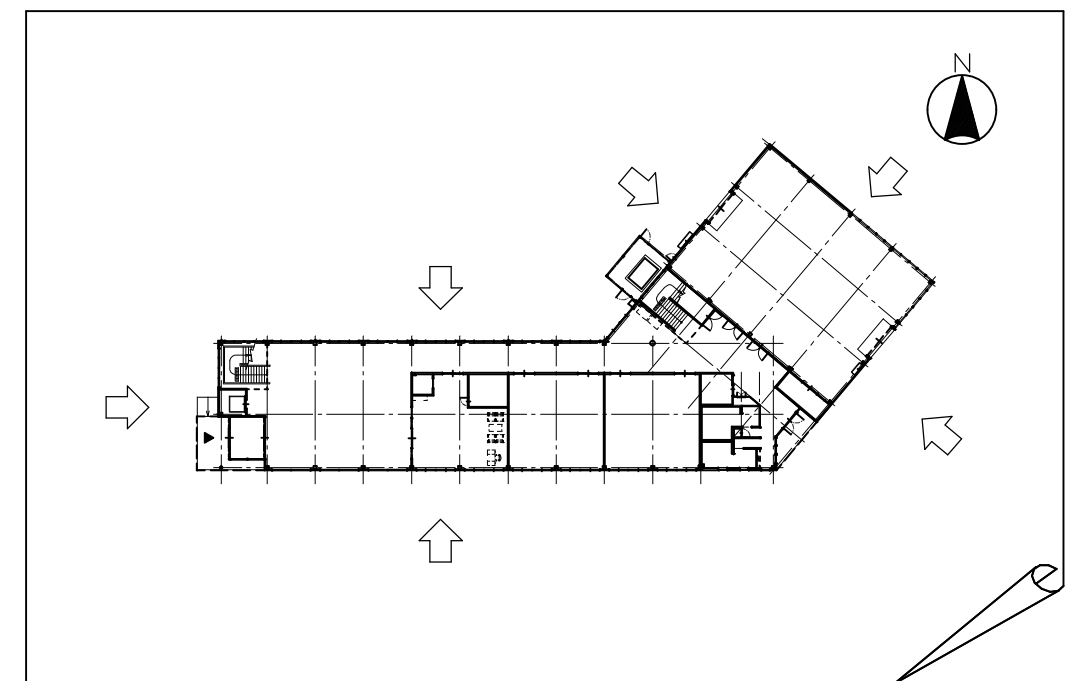
北立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



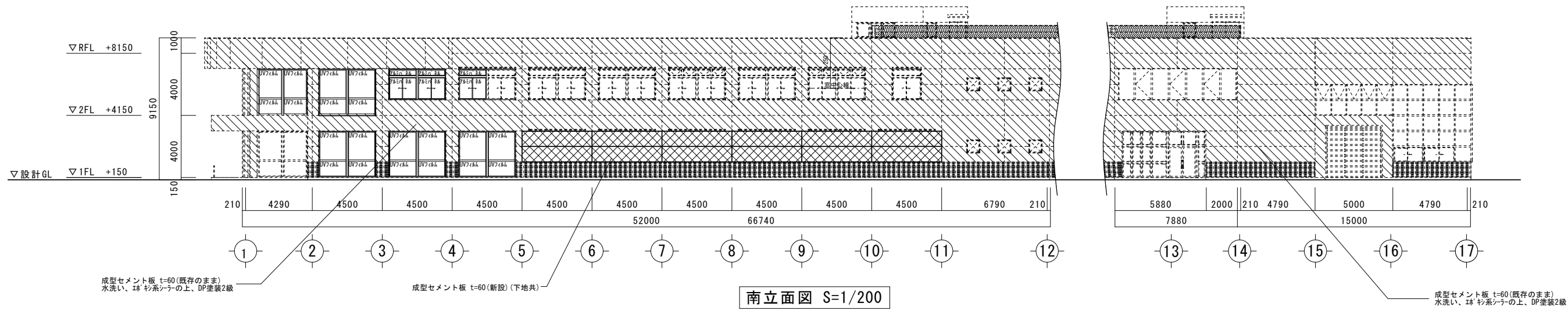
西立面図 S=1/200



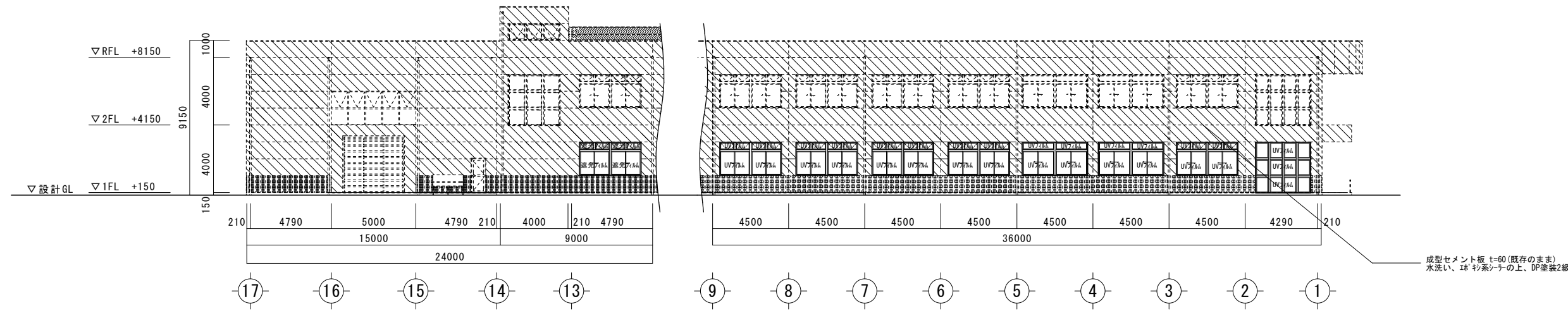
凡例

	撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)
--	---------------	--	-----------------	--	---------------

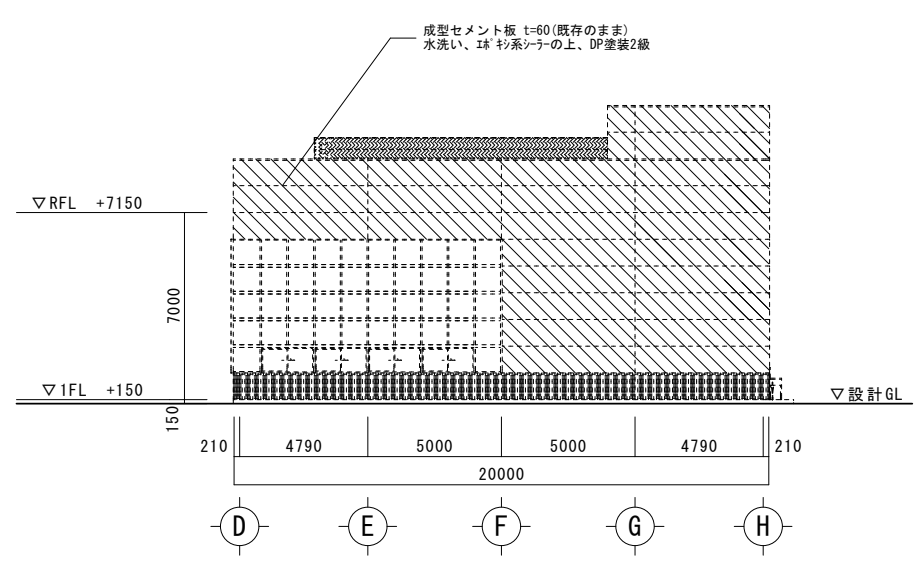
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 立面図		A-28



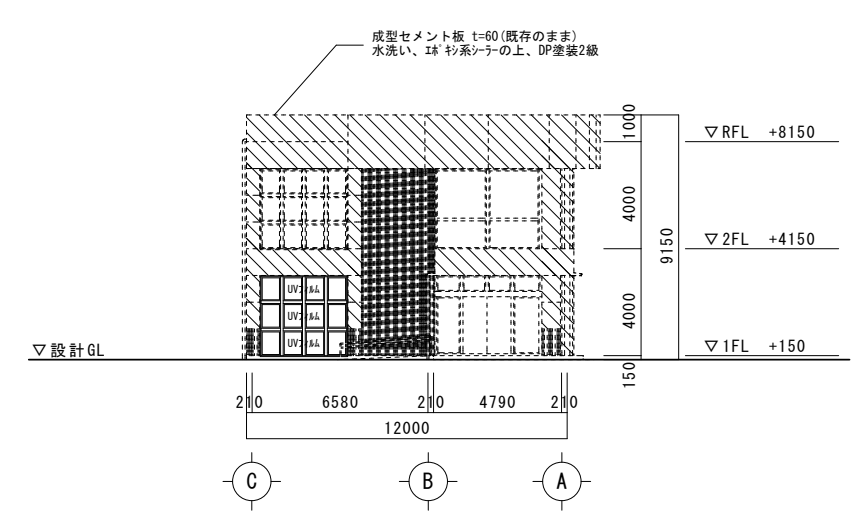
南立面図 S=1/200



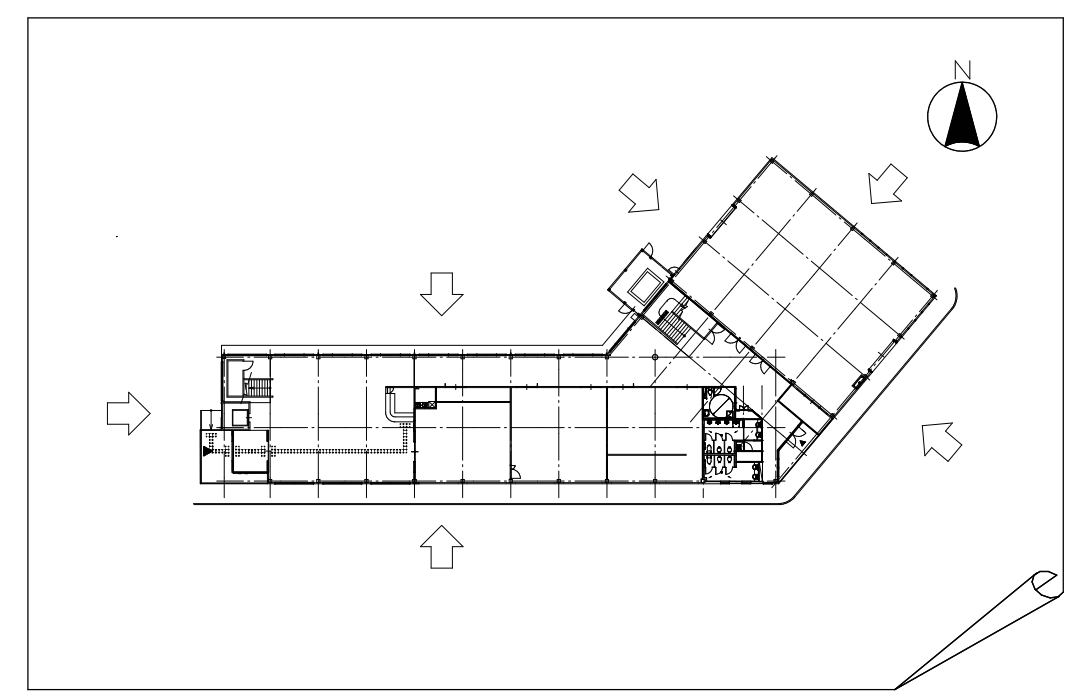
北立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



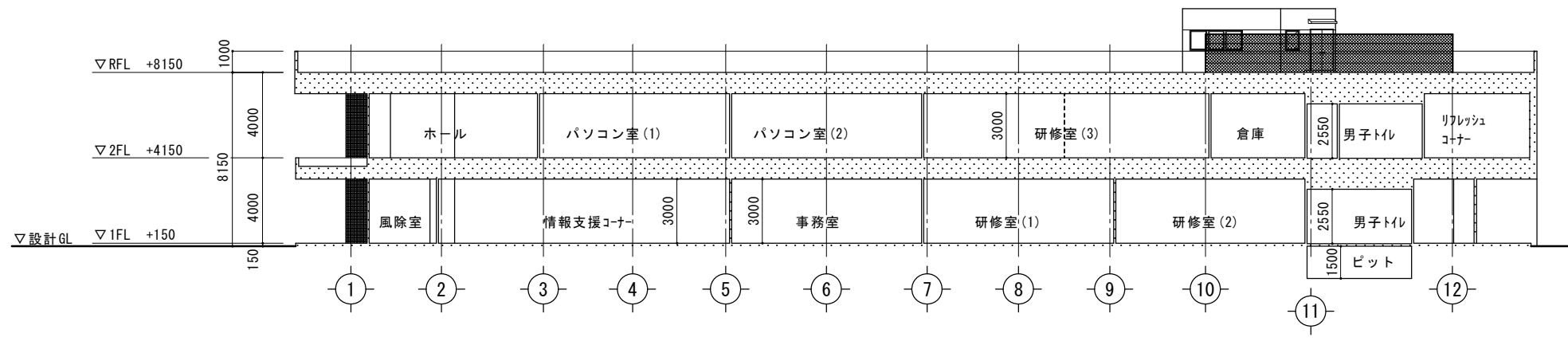
西立面図 S=1/200



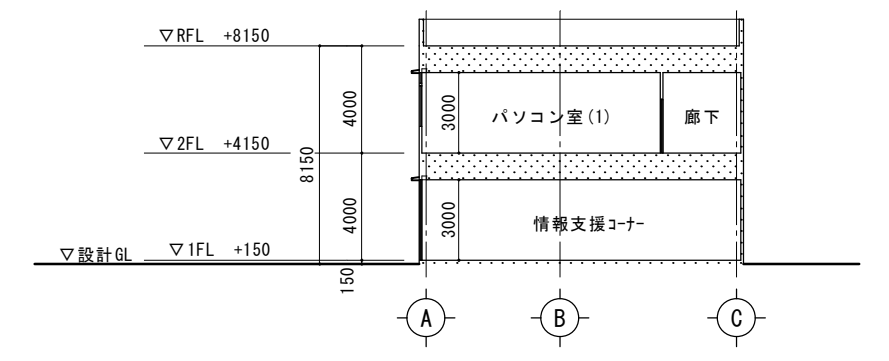
凡例

	新設範囲を示す。(下地共)		新設範囲を示す。(仕上げのみ)		新設範囲を示す。(捨張共)
--	---------------	--	-----------------	--	---------------

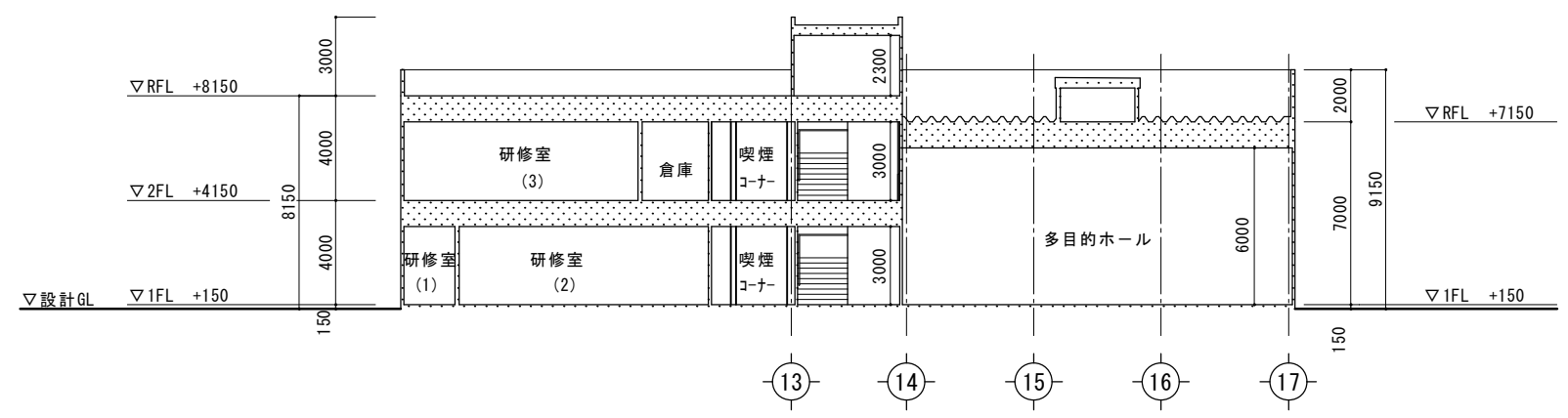
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	S=1/200		A-29
											(改修後) 立面図		



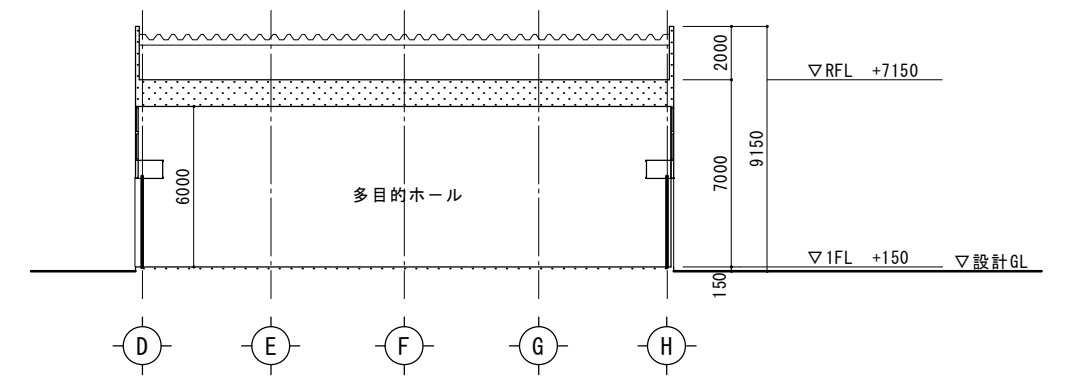
a-a' 断面図 S=1/200



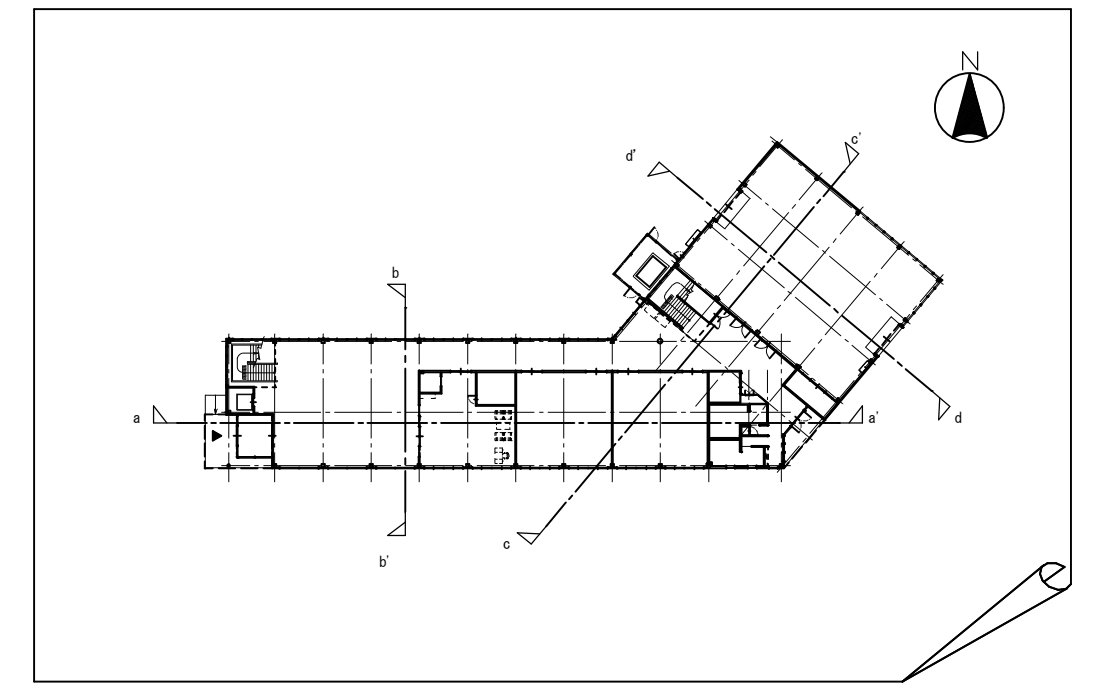
b-b' 断面図 S=1/200



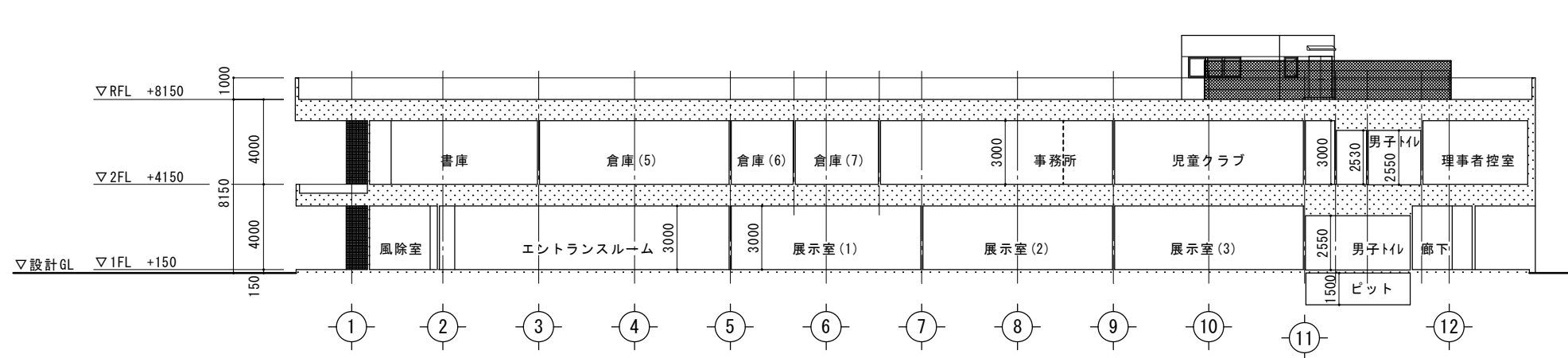
c-c' 断面図 S=1/200



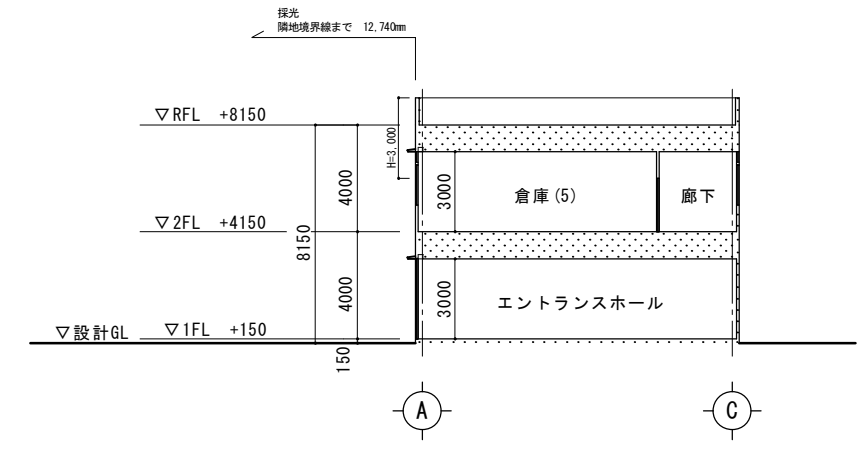
d-d' 断面図 S=1/200



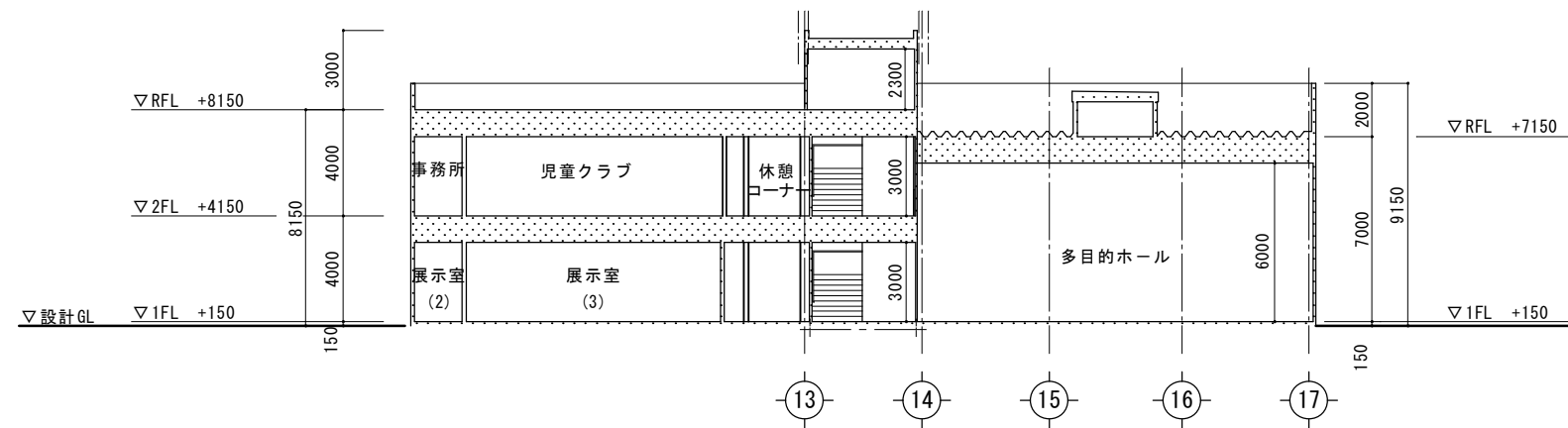
事業年度 年度	設計 令和 年月	大 中 小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	図面名称・縮尺 S=1/200 (改修前) 断面図	(A3版-71%縮小)	図番 A-30
工事完成 年度					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	印			



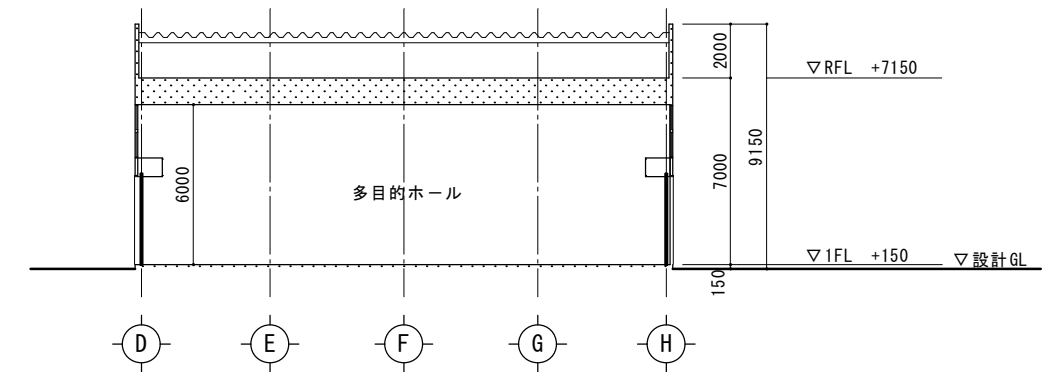
a-a' 断面図 S=1/200



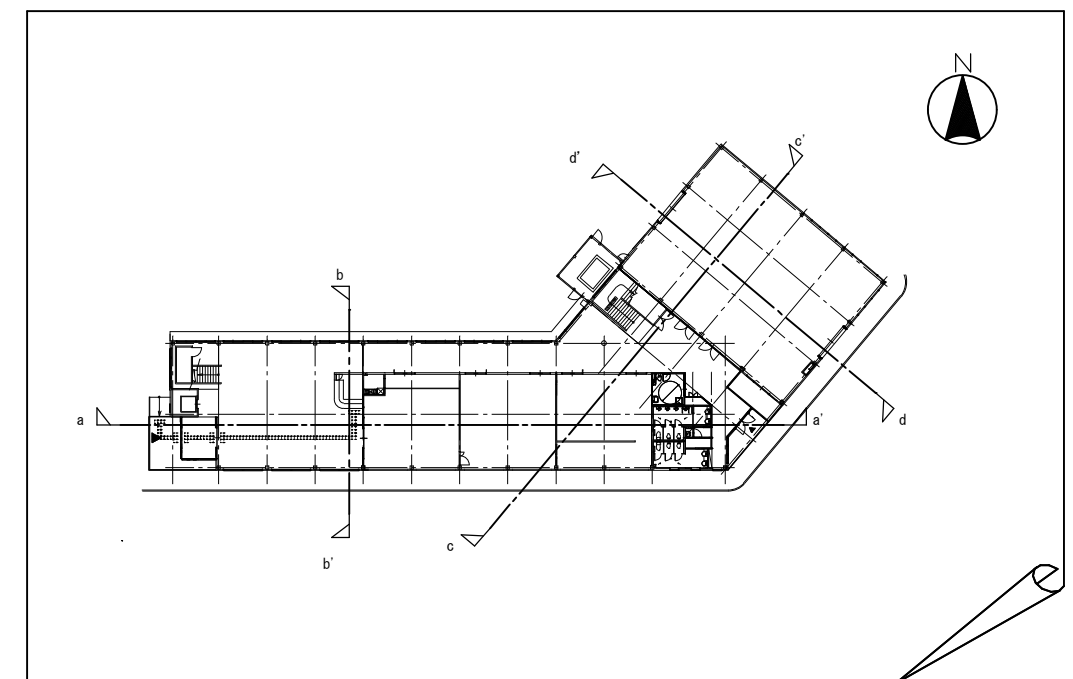
b-b' 断面図 S=1/200



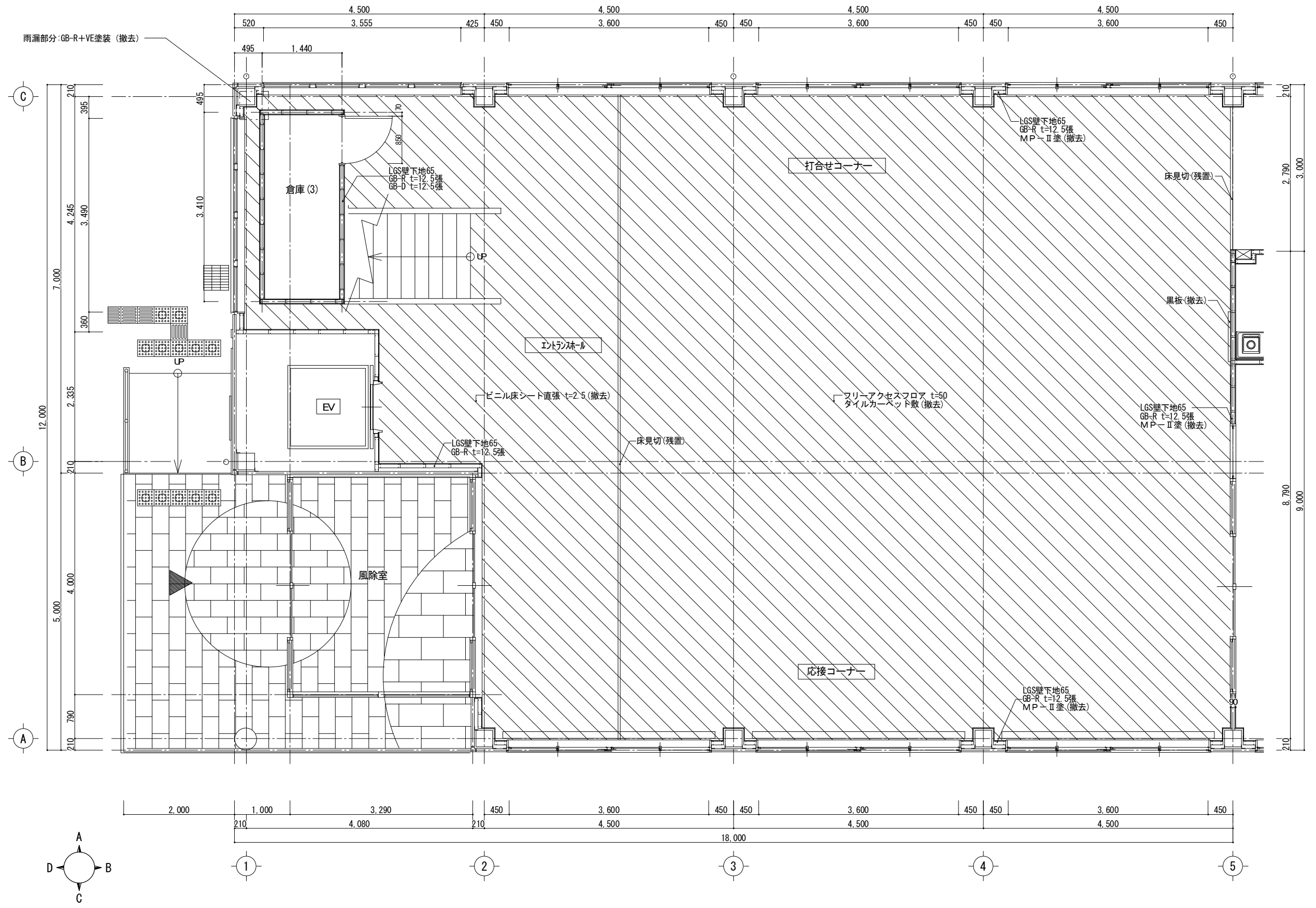
c-c' 断面図 S=1/200



d-d' 断面図 S=1/200



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 断面図		A-31

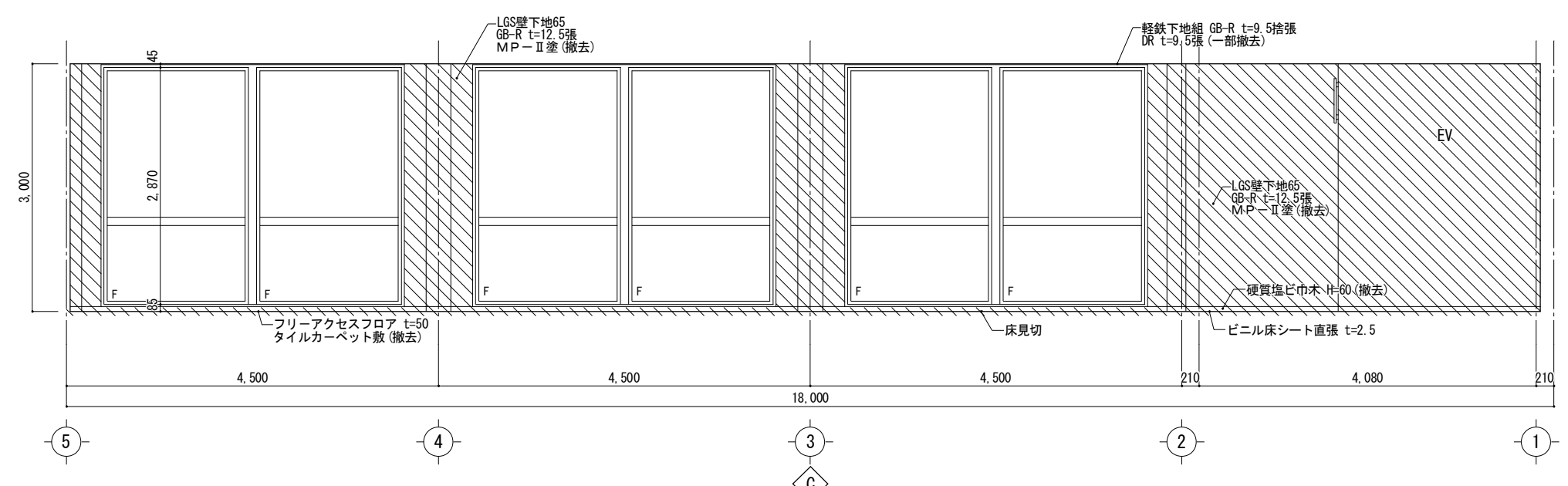
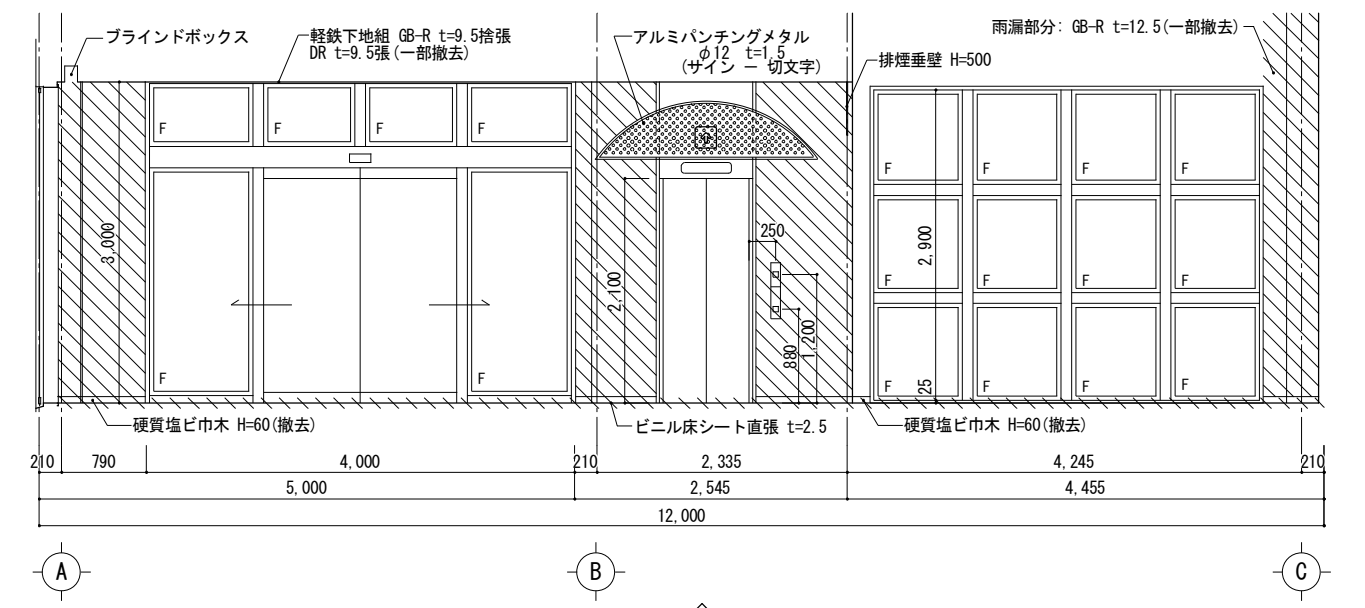
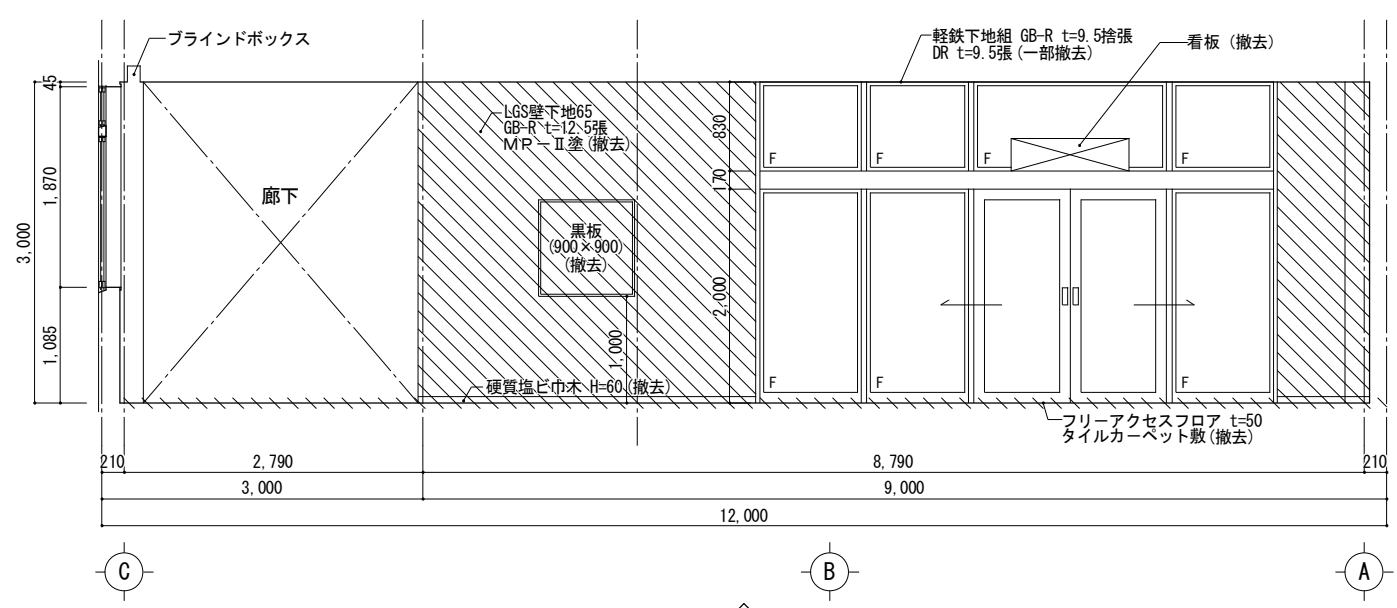
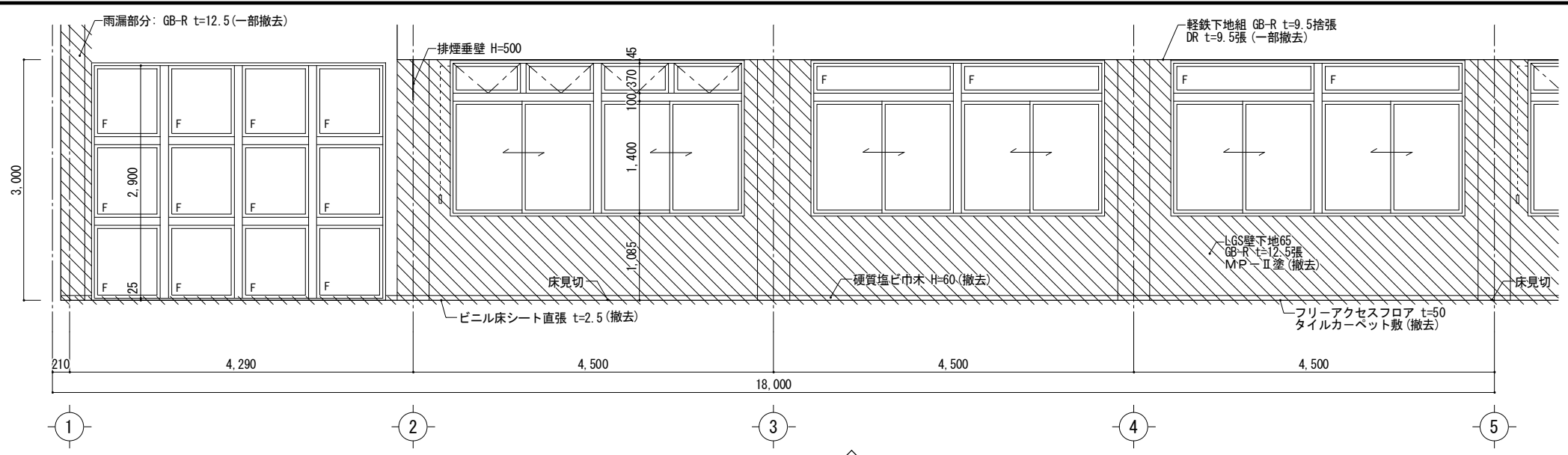


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

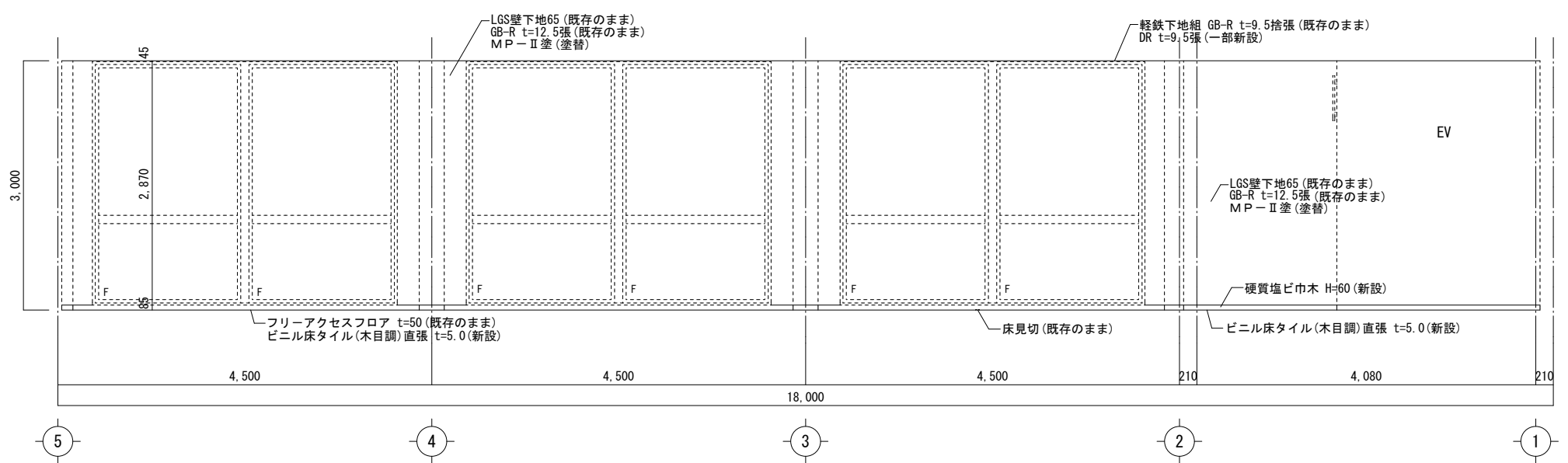
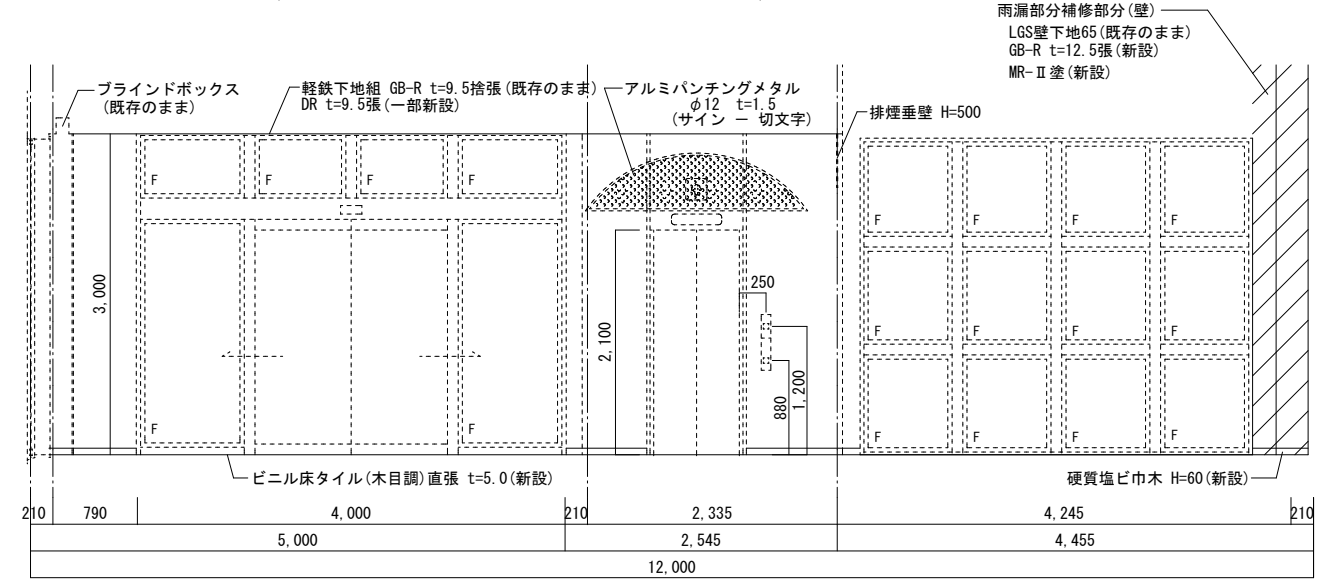
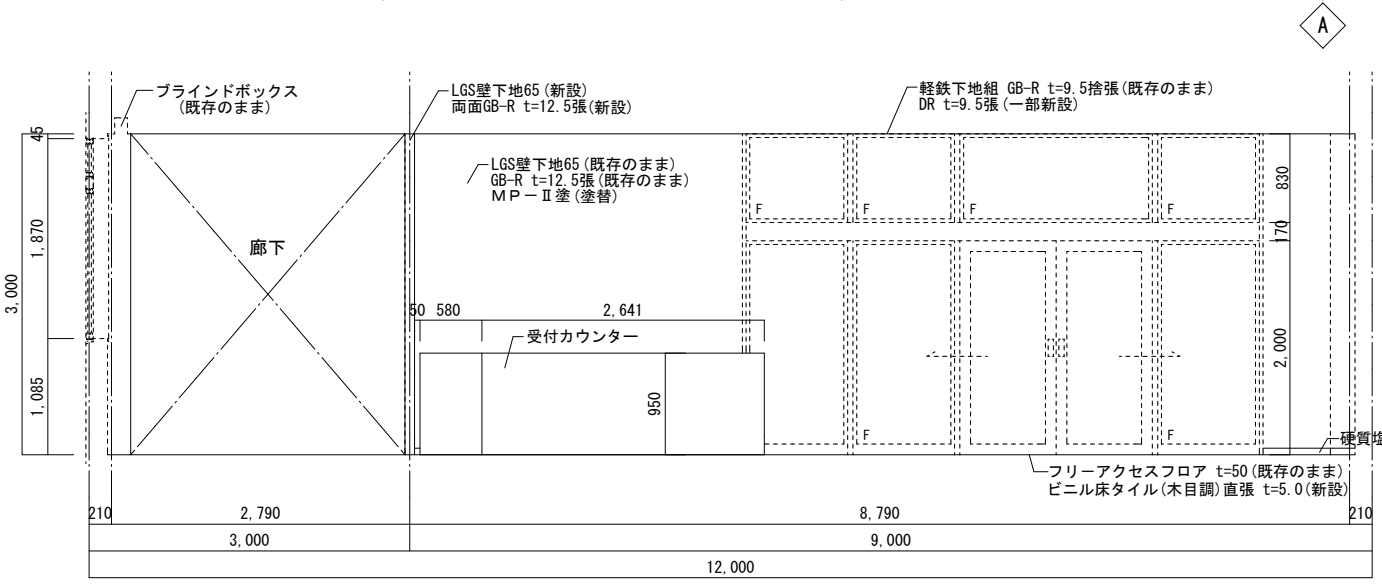
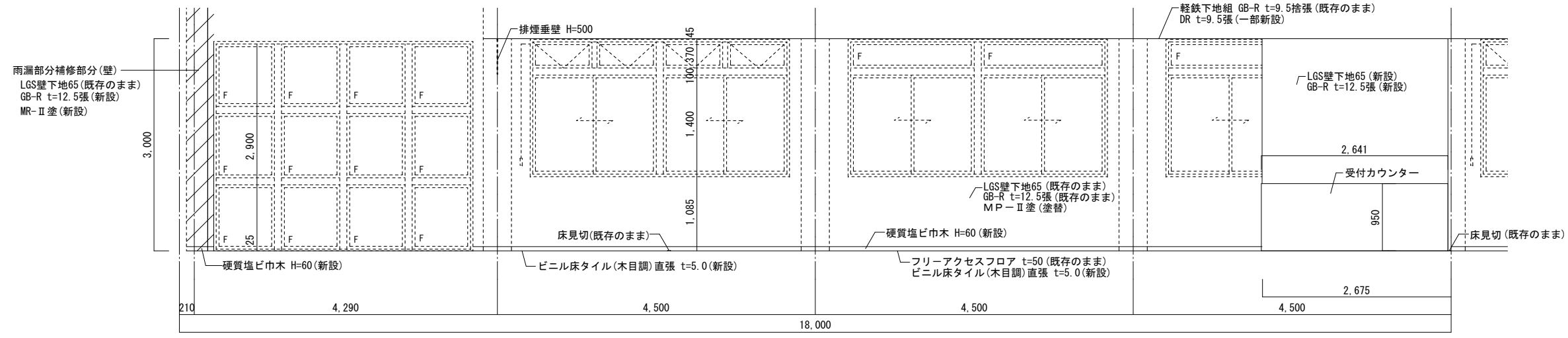
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 平面詳細図	A-32



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

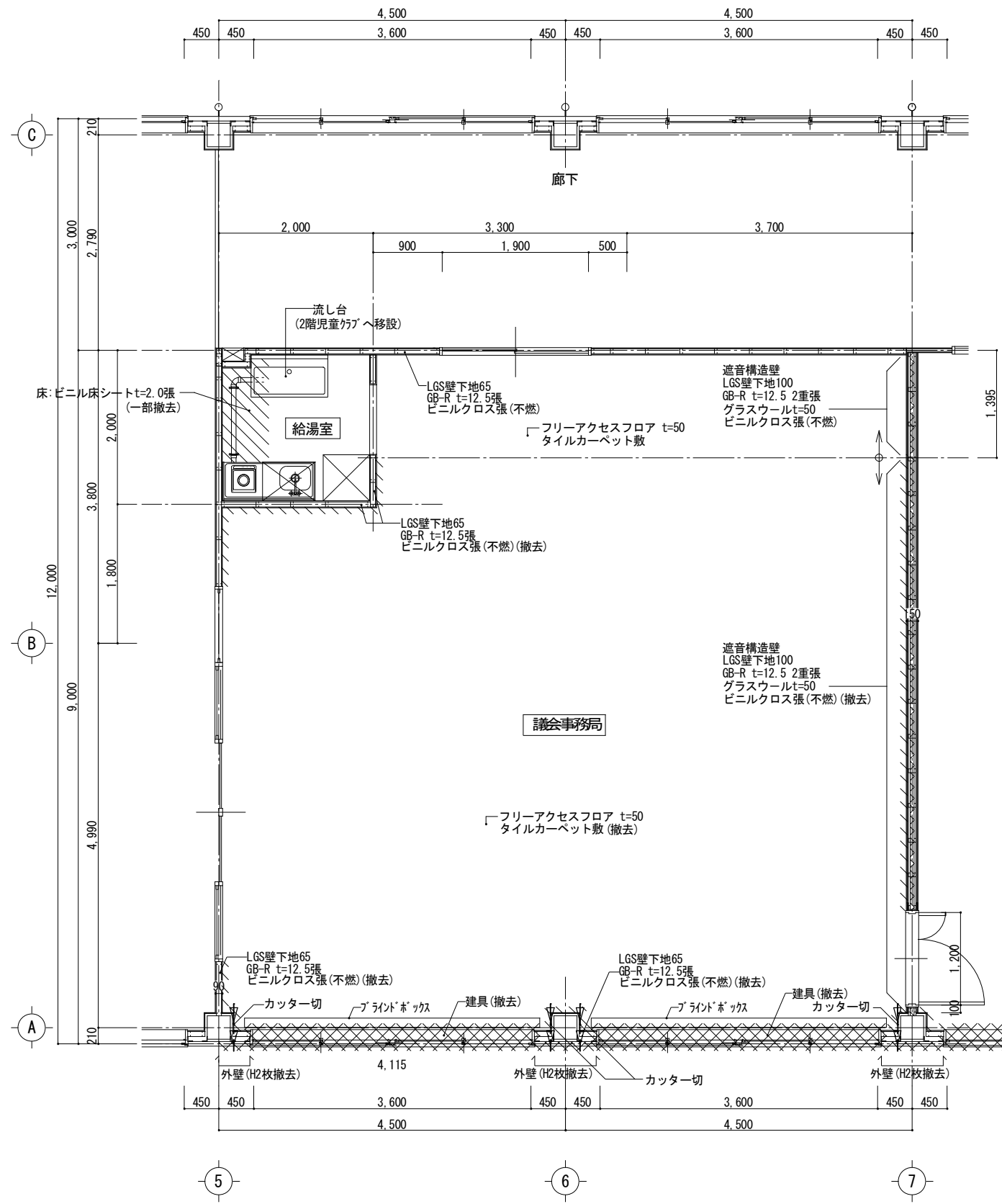
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 展開図		A-33



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-35
工事完成	年度										(改修後) エントランスホール 展開図		

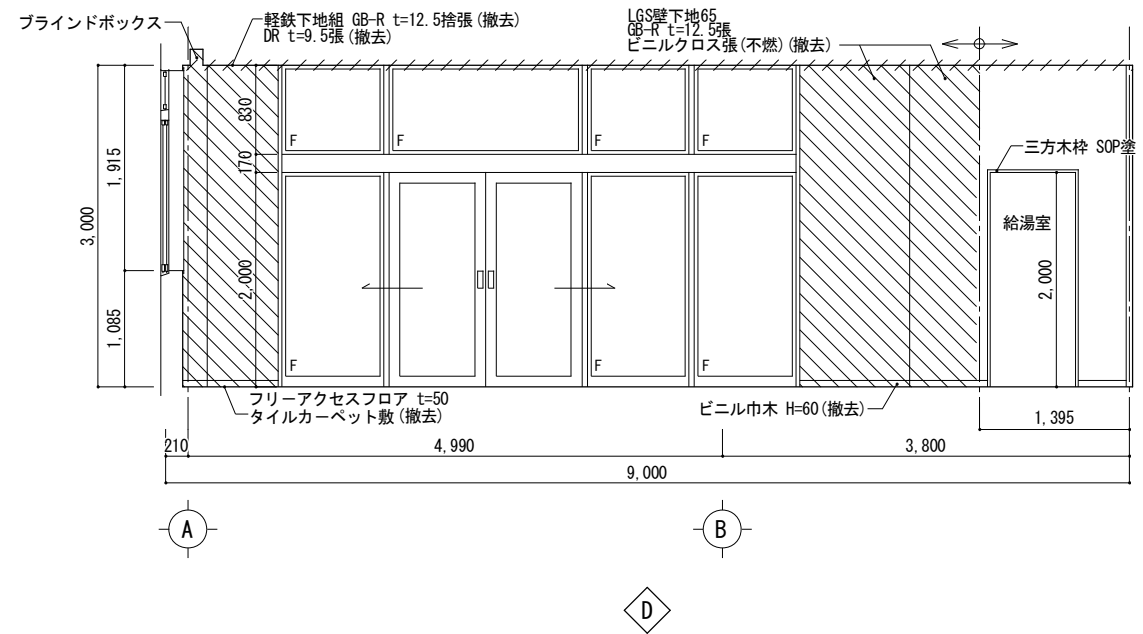
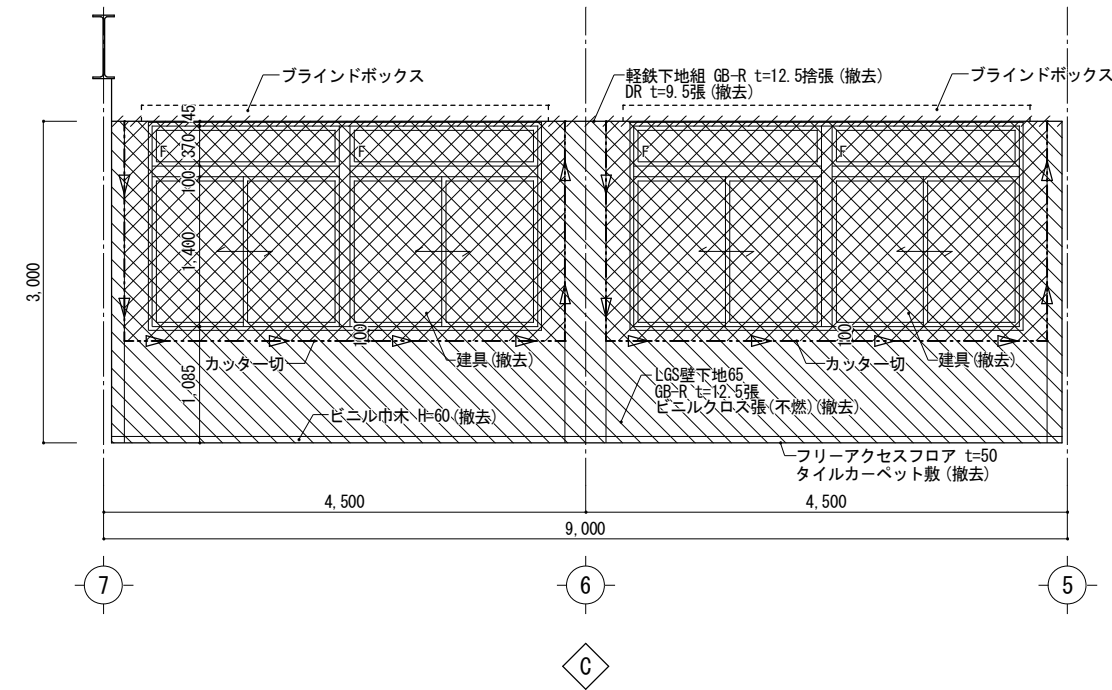
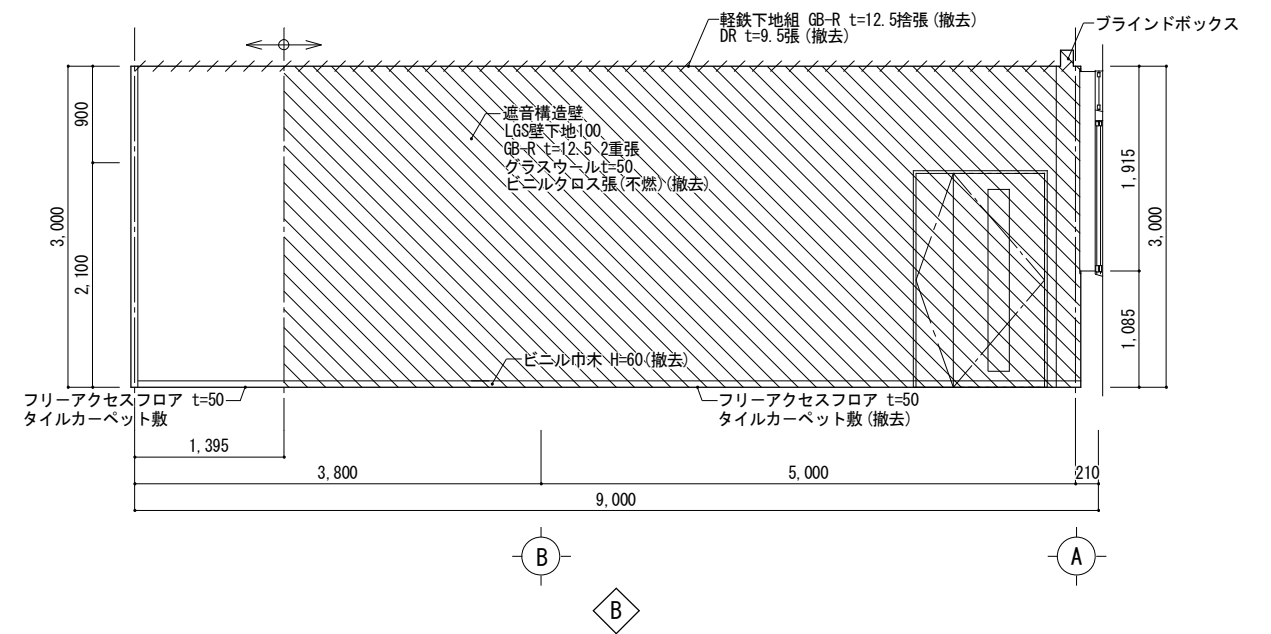
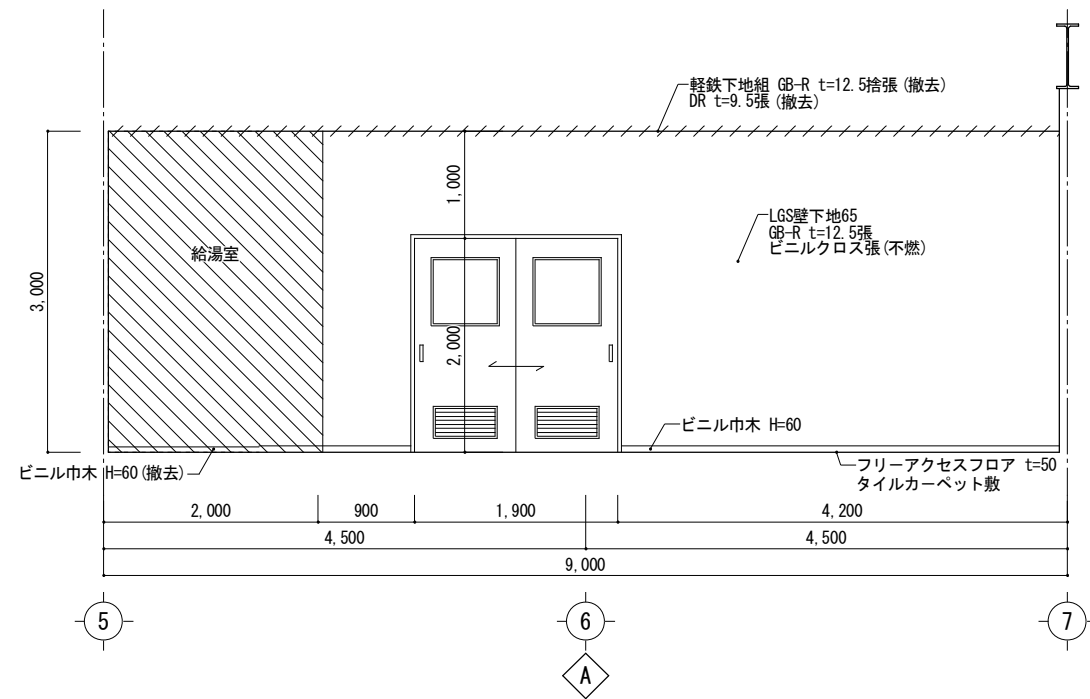


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

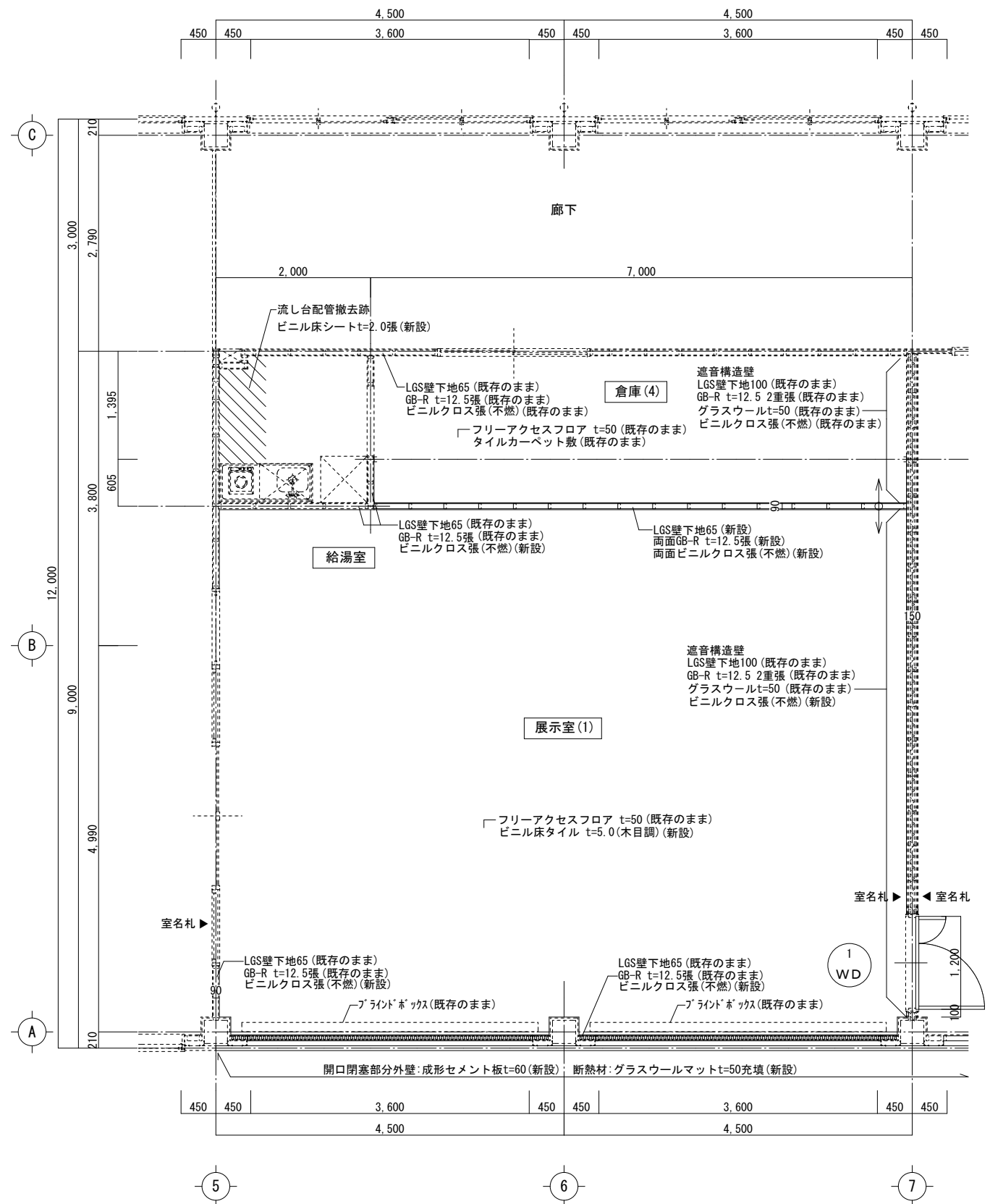
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議会事務局 平面詳細図		A-36



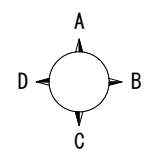
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-37



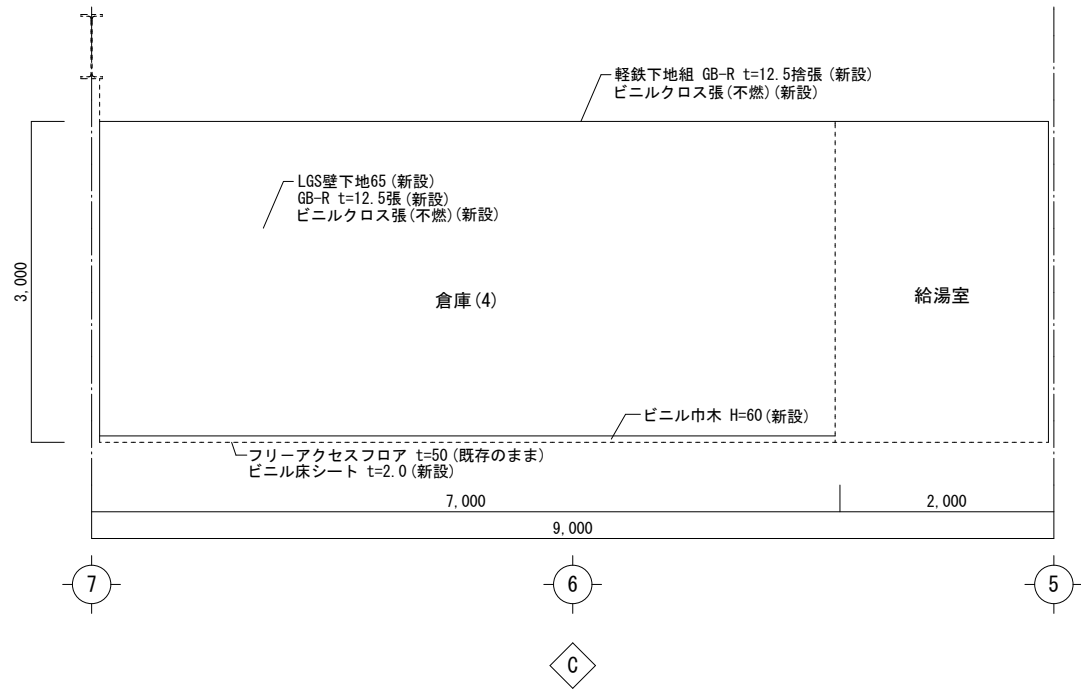
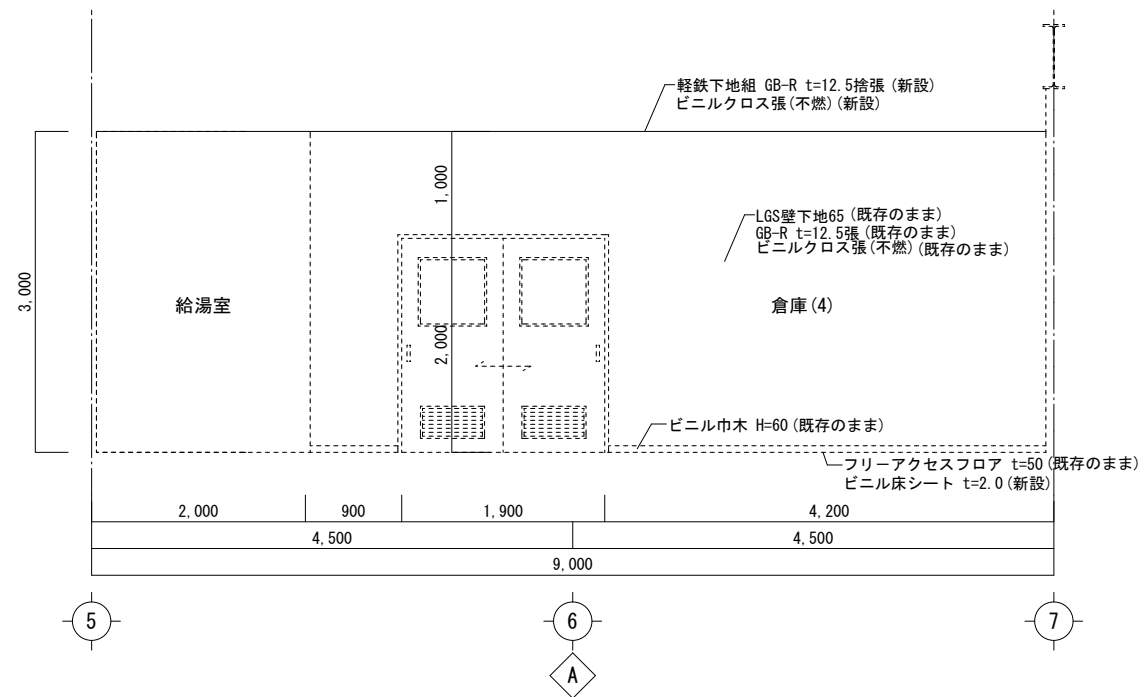
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。		改修範囲を示す。		既存範囲を示す。
--	-----------	---	----------	--	----------

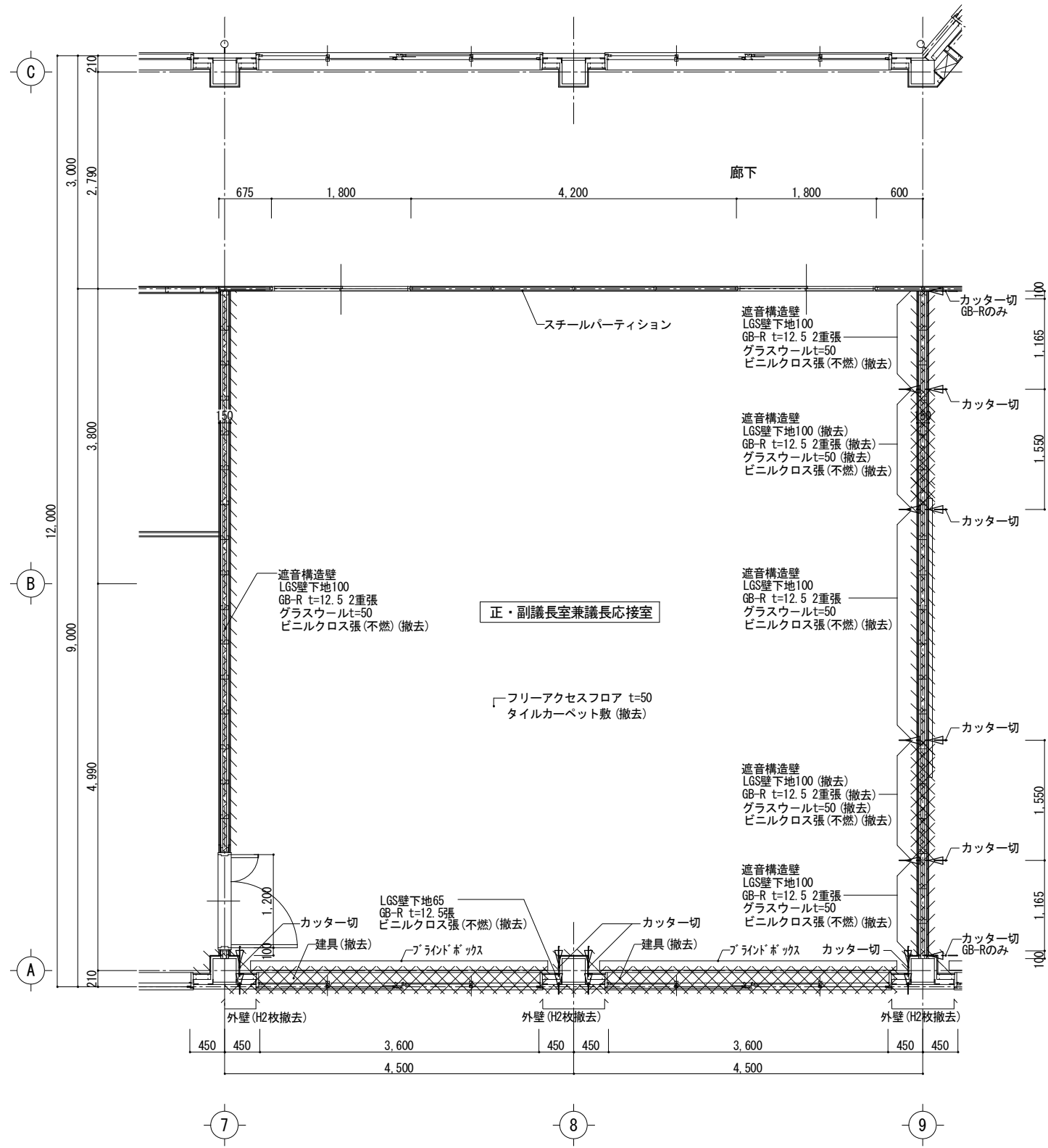
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(1) 平面詳細図		A-38



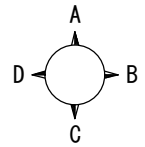
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 倉庫(4) 展開図(2)			A-40



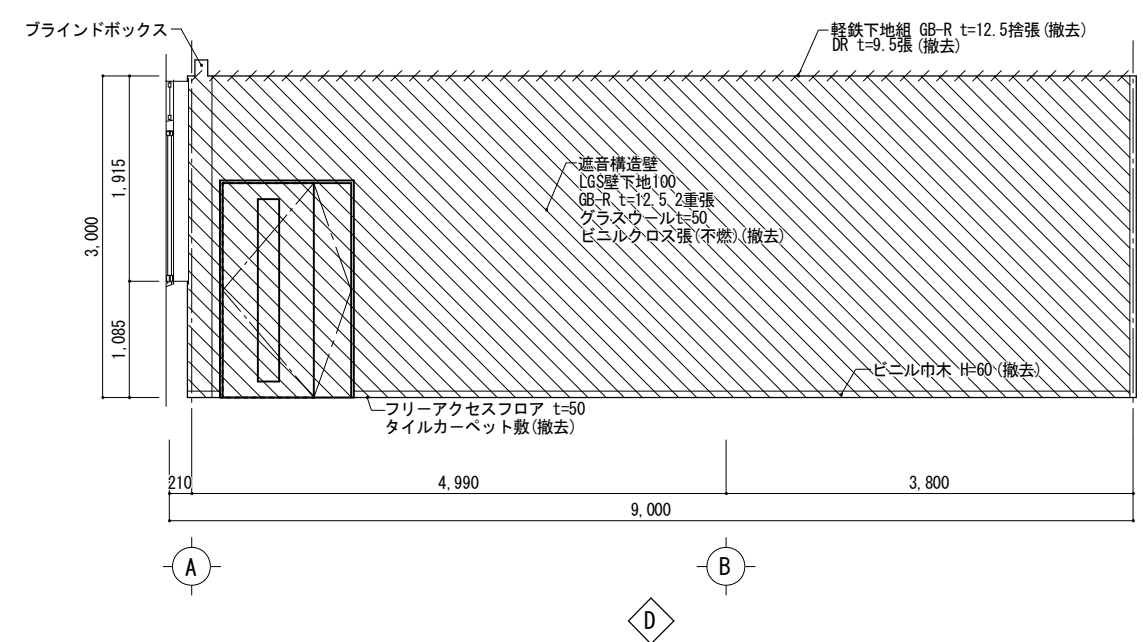
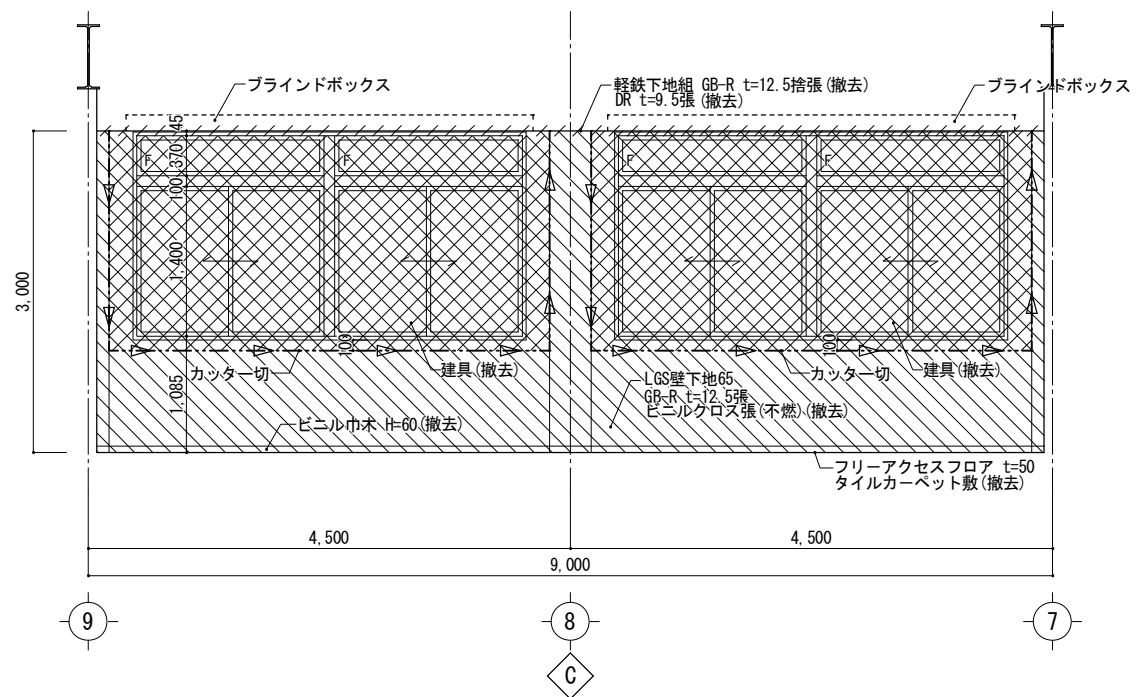
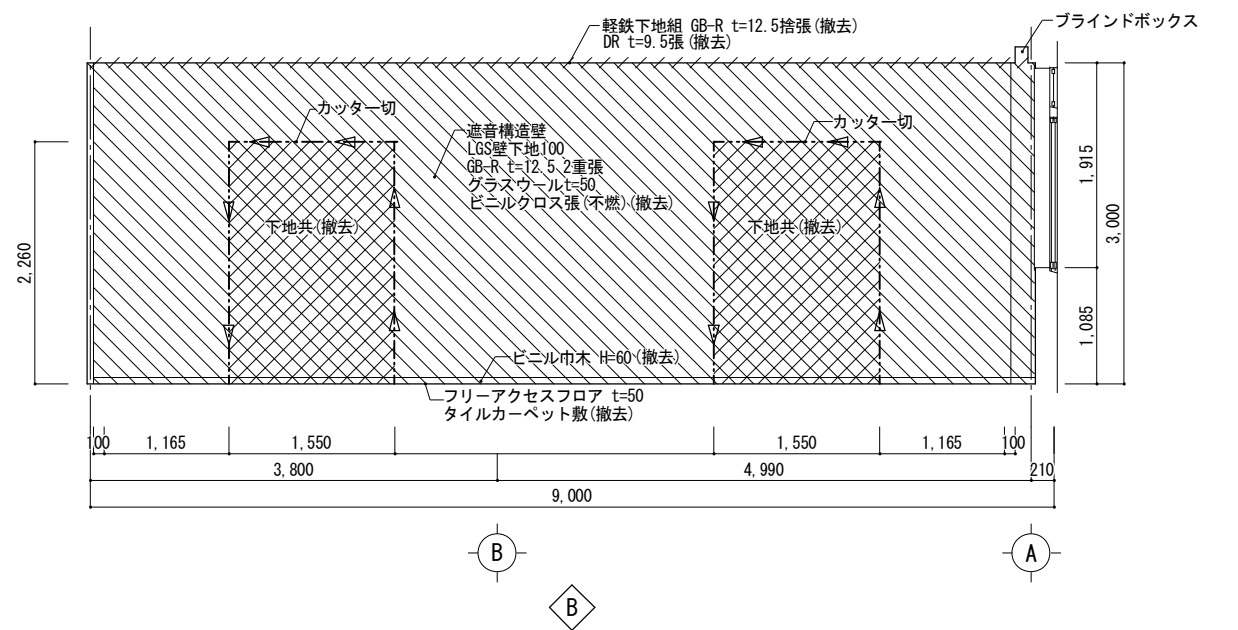
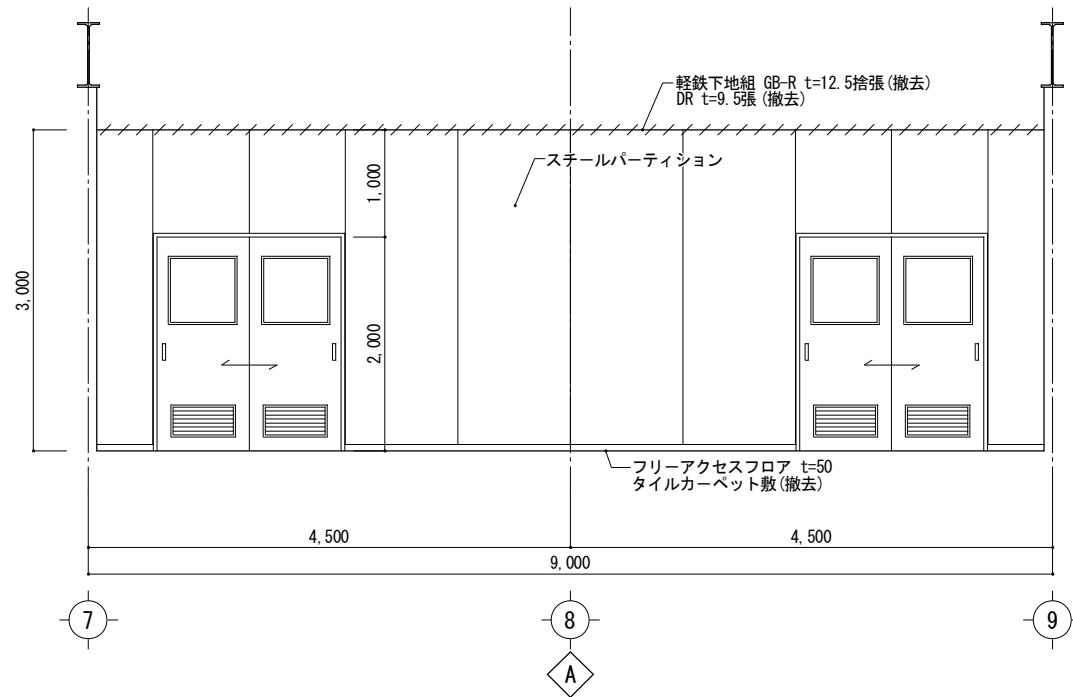
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

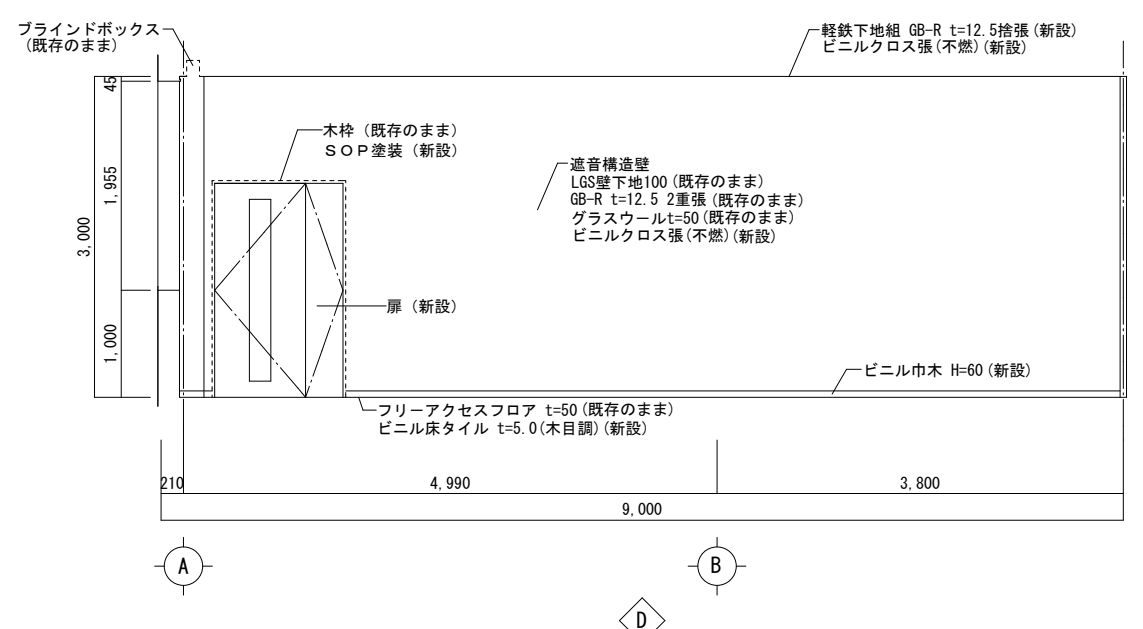
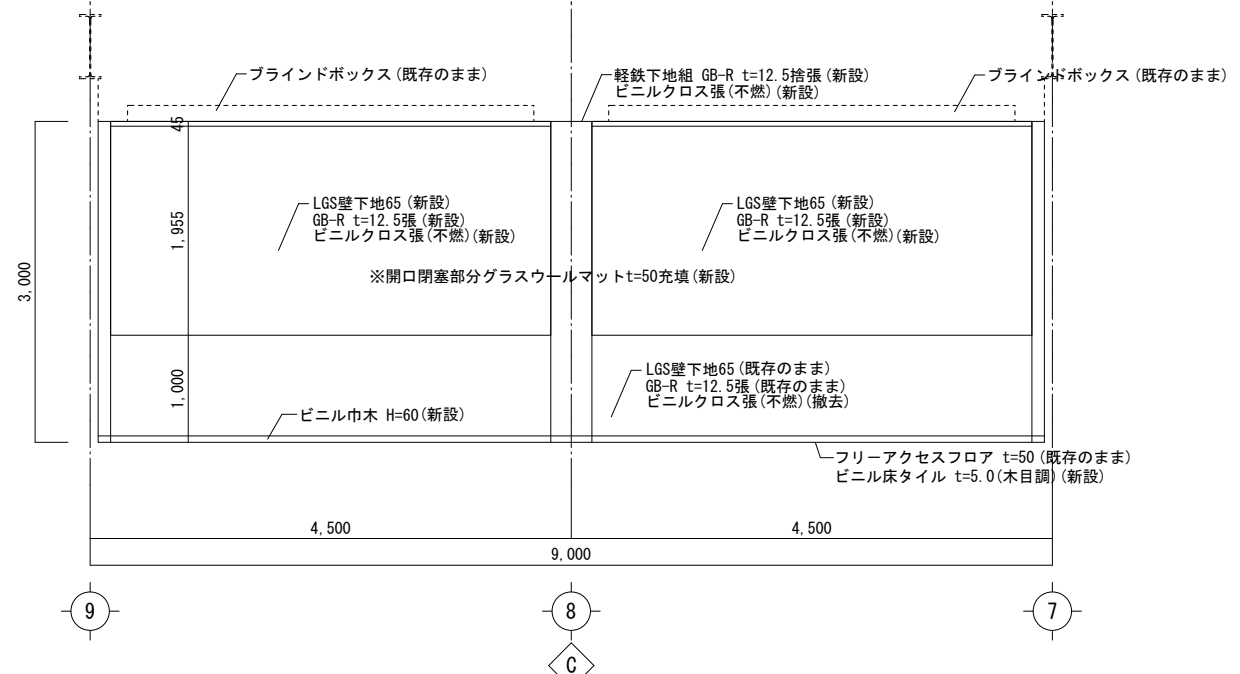
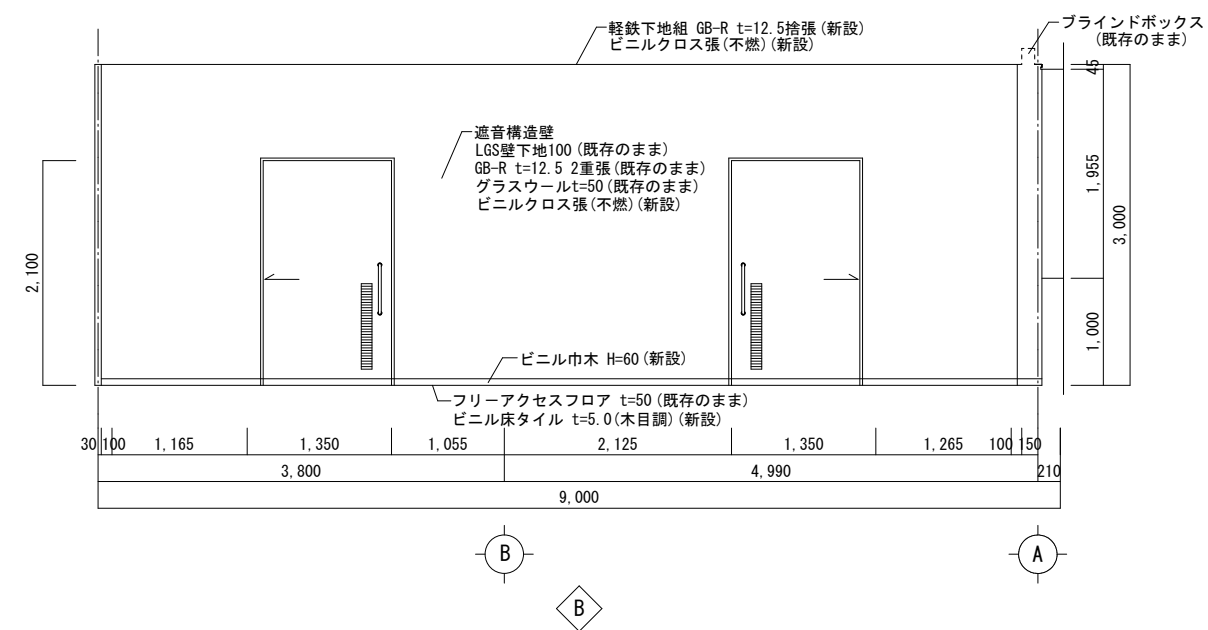
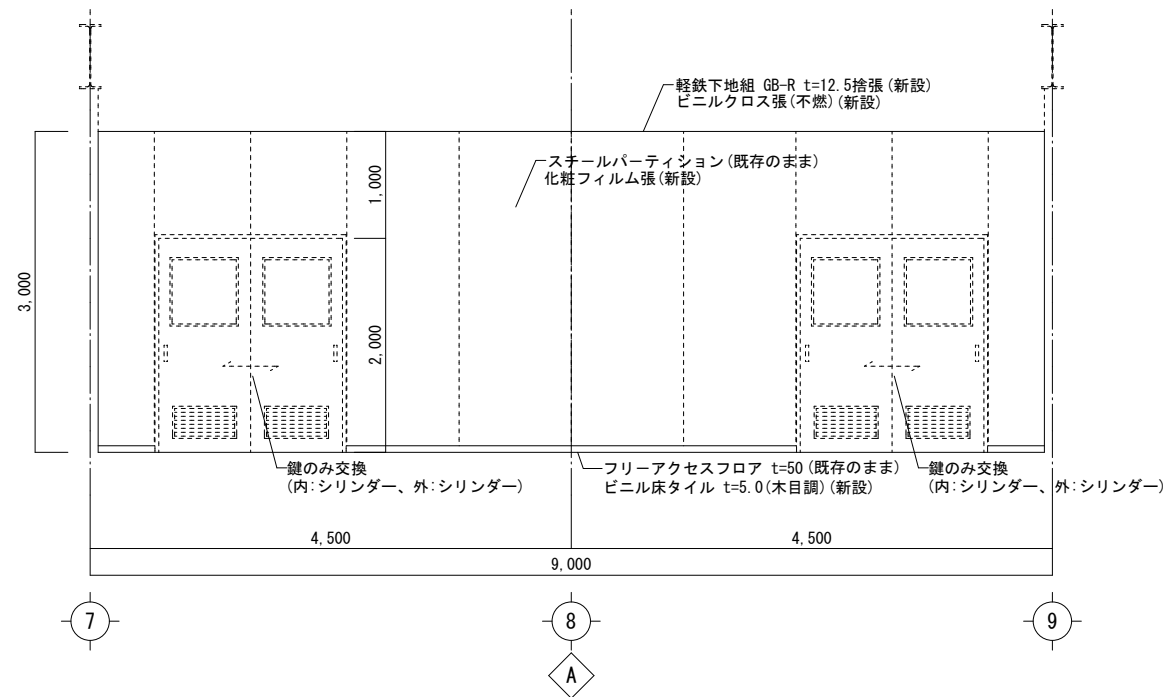
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 正・副議長室兼議長応接室 平面詳細図		A-41



凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

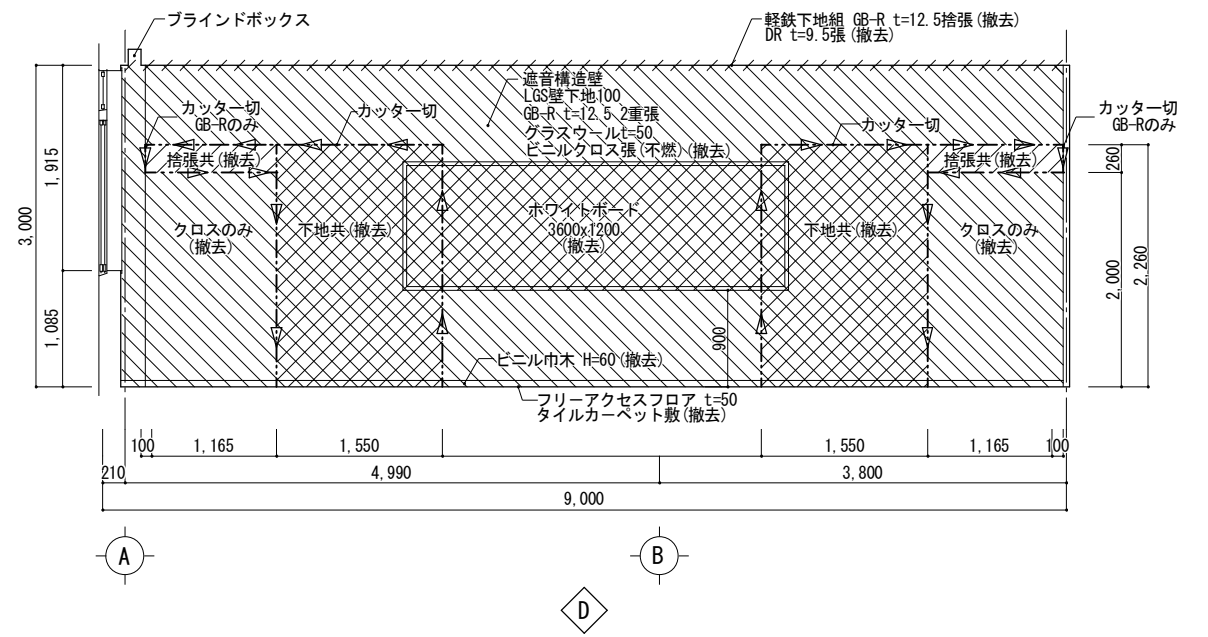
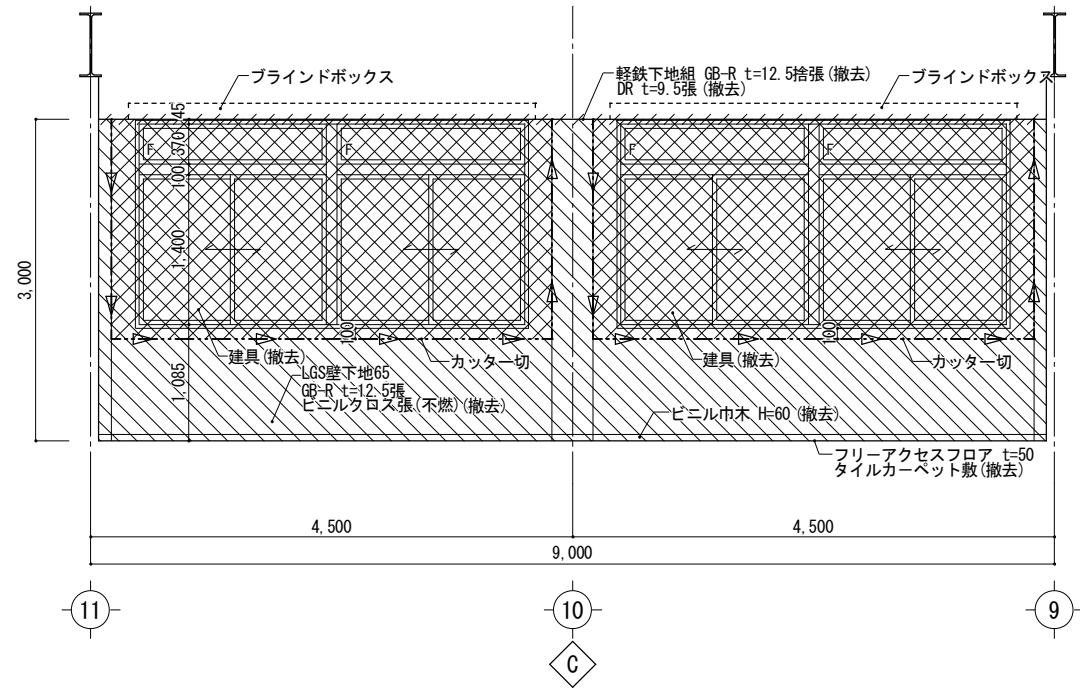
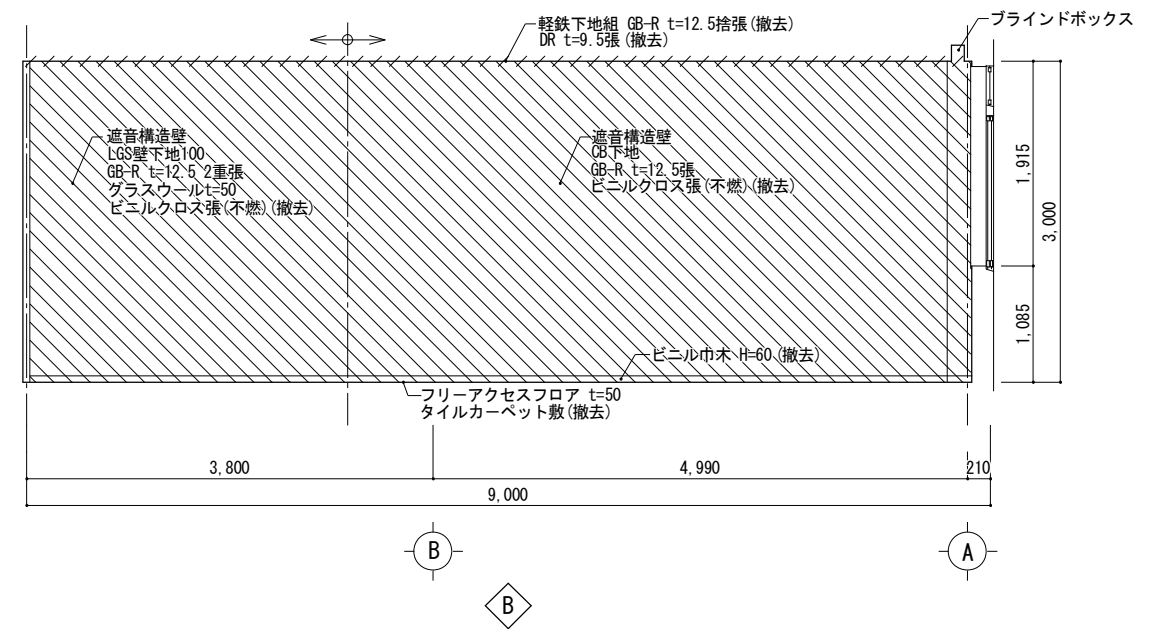
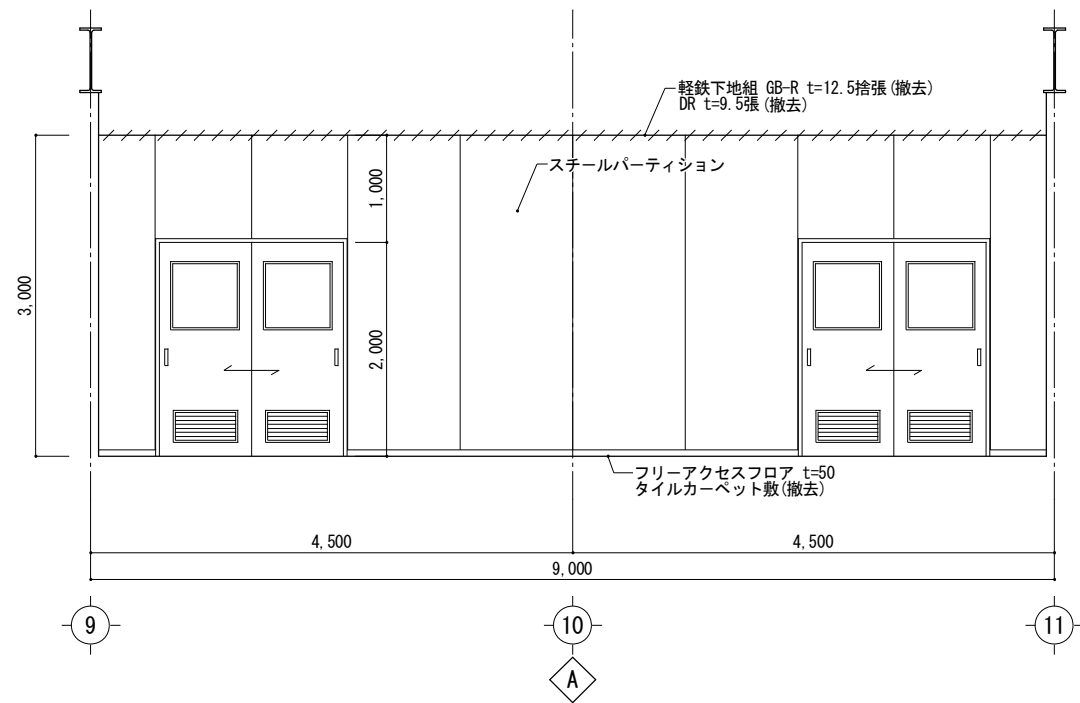
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 正・副議長室兼議長応接室 展開図	A-42



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

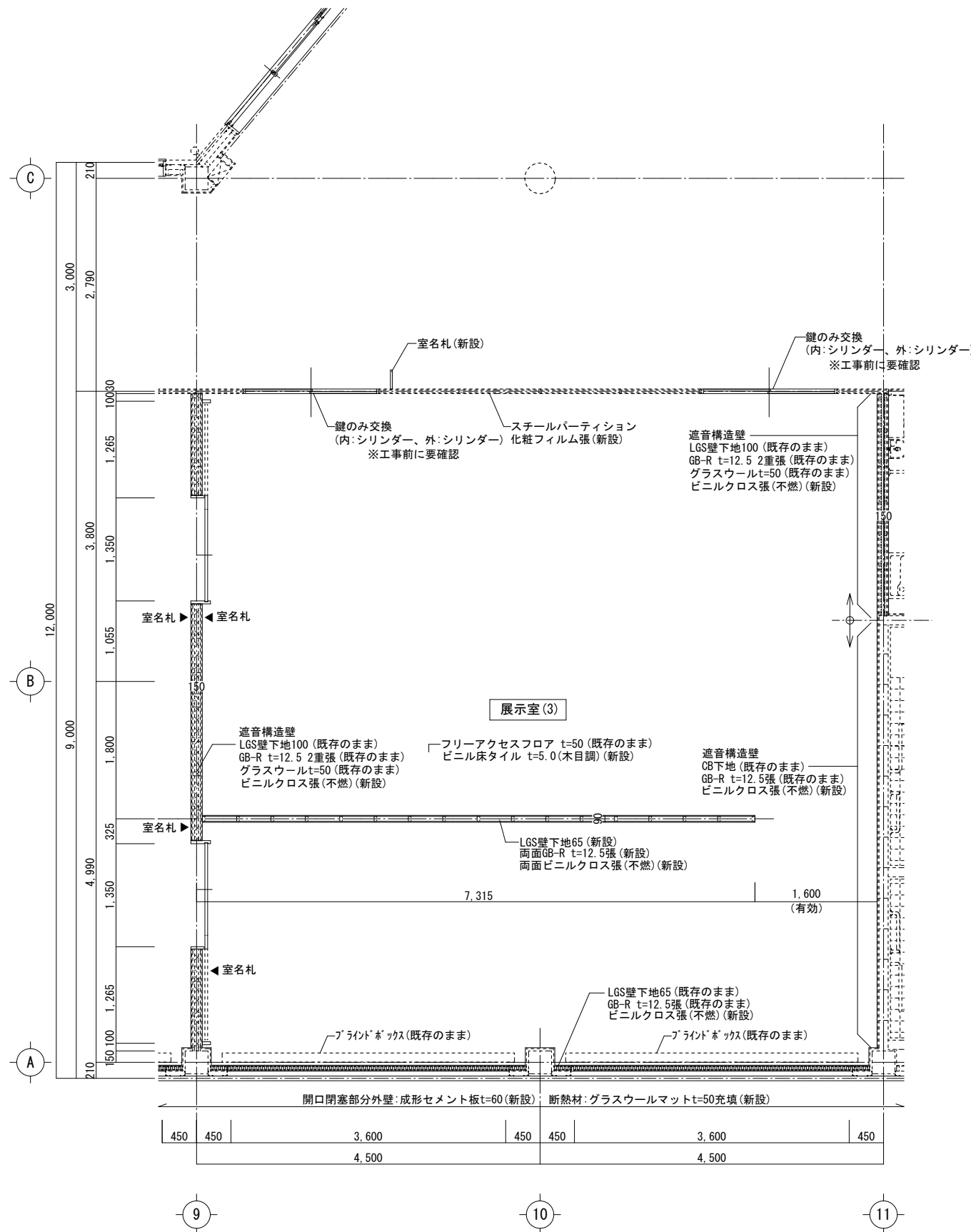
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(2) 展開図	S=1/50		A-44



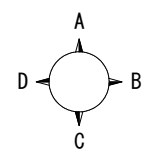
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 議会図書兼理事者控室 展開図	A-46



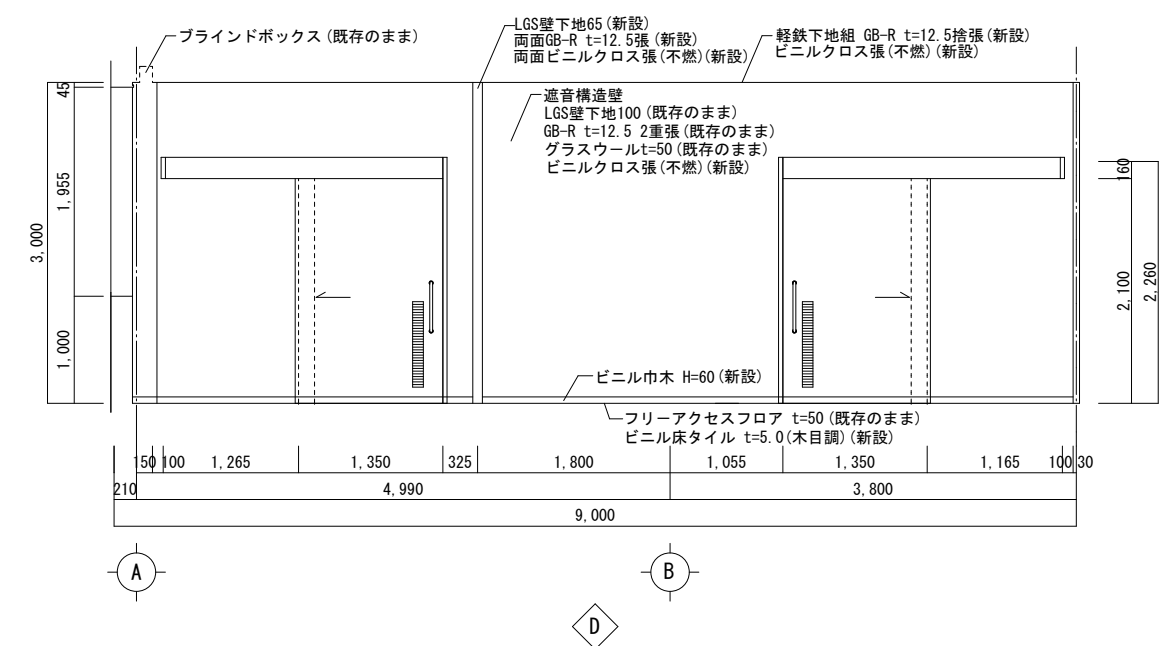
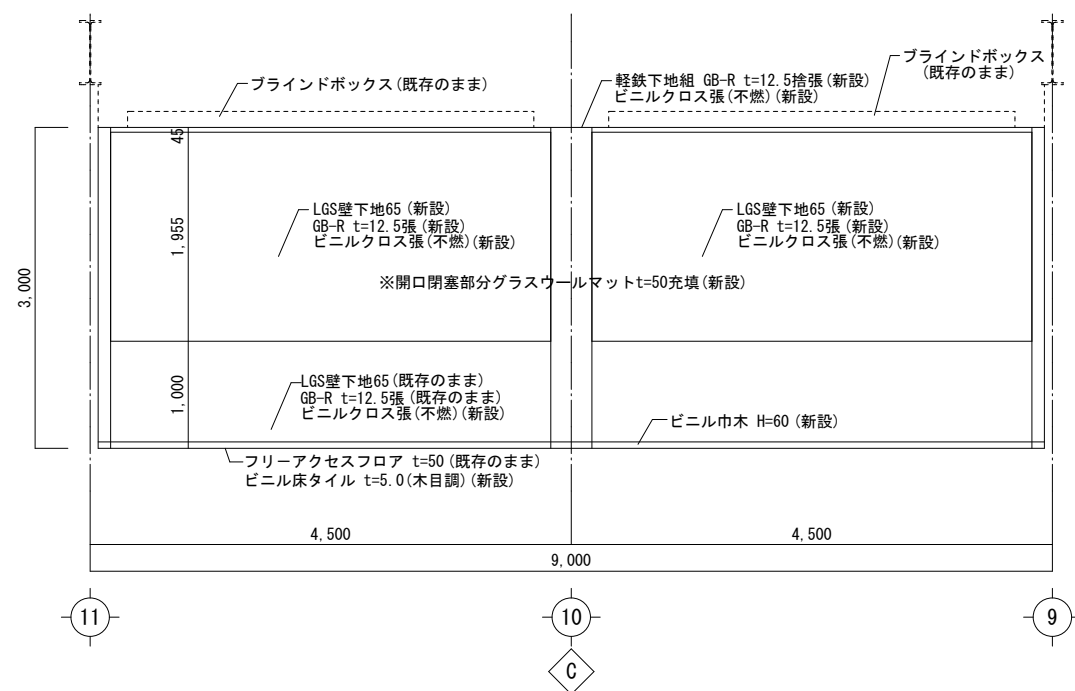
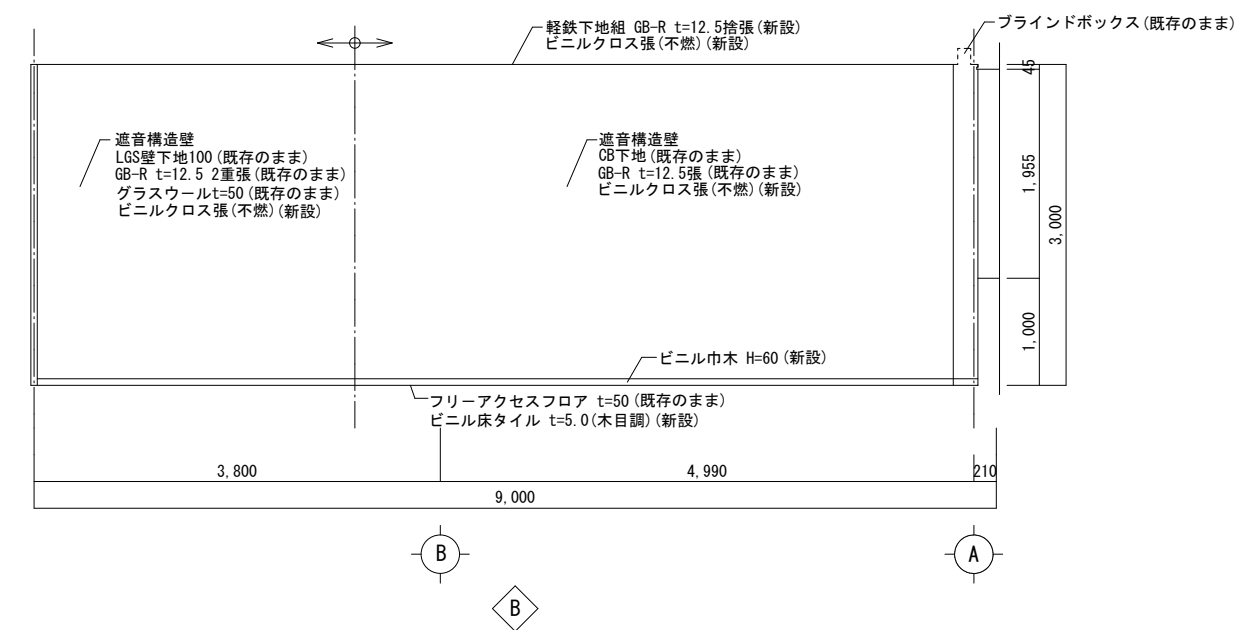
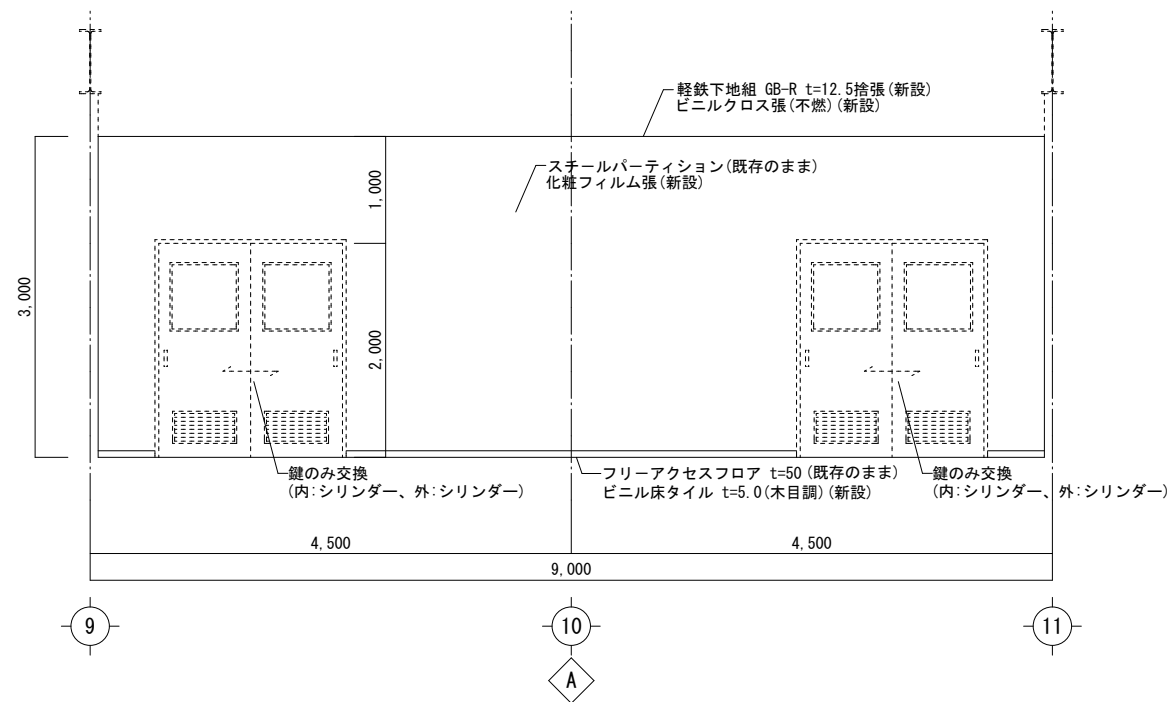
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

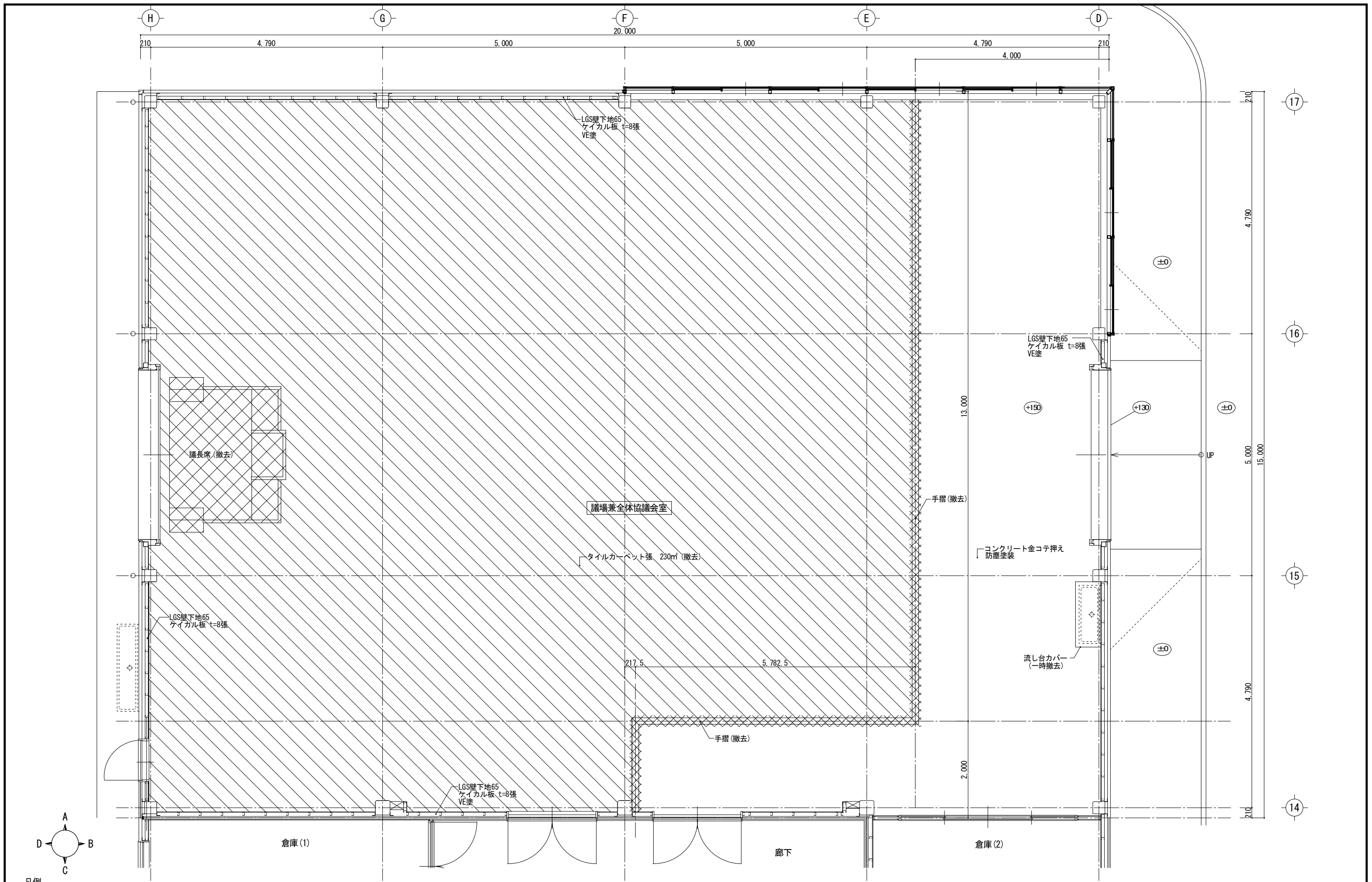
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(3) 平面詳細図			A-47



凡例

室名	工事対象室を示す。	———	改修範囲を示す。	-----	既存範囲を示す。
----	-----------	-----	----------	-------	----------

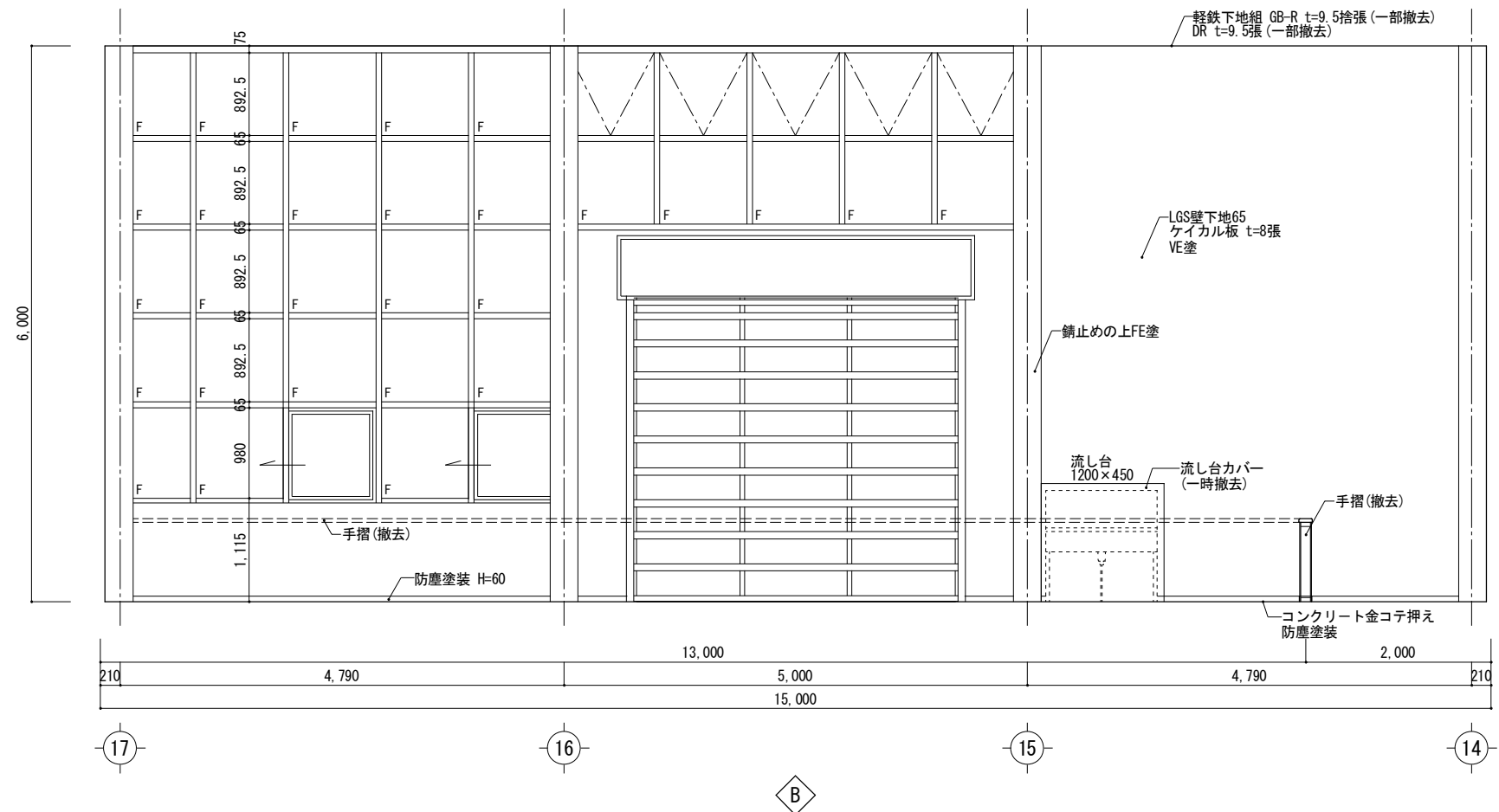
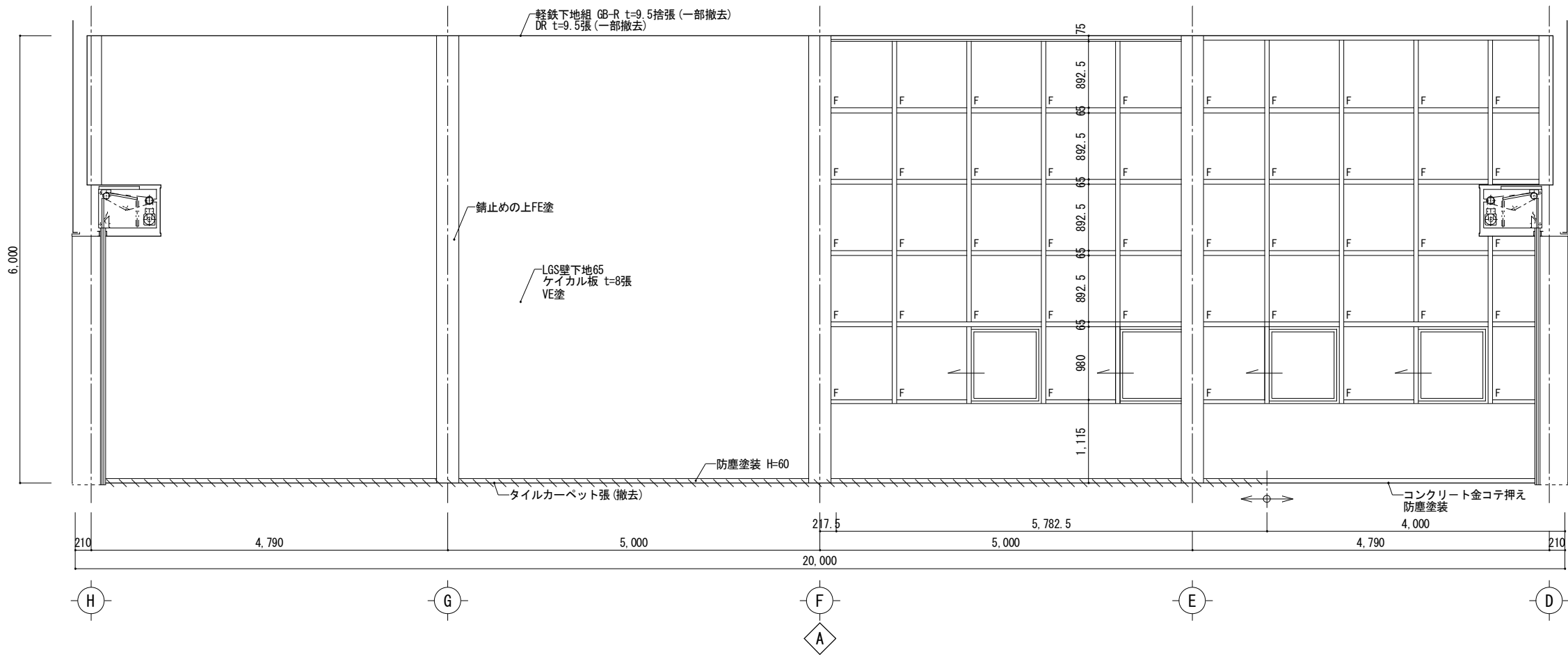
事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月							建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 展示室(3) 展開図		A-48



凡例	室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

平面詳細図 S=1/50

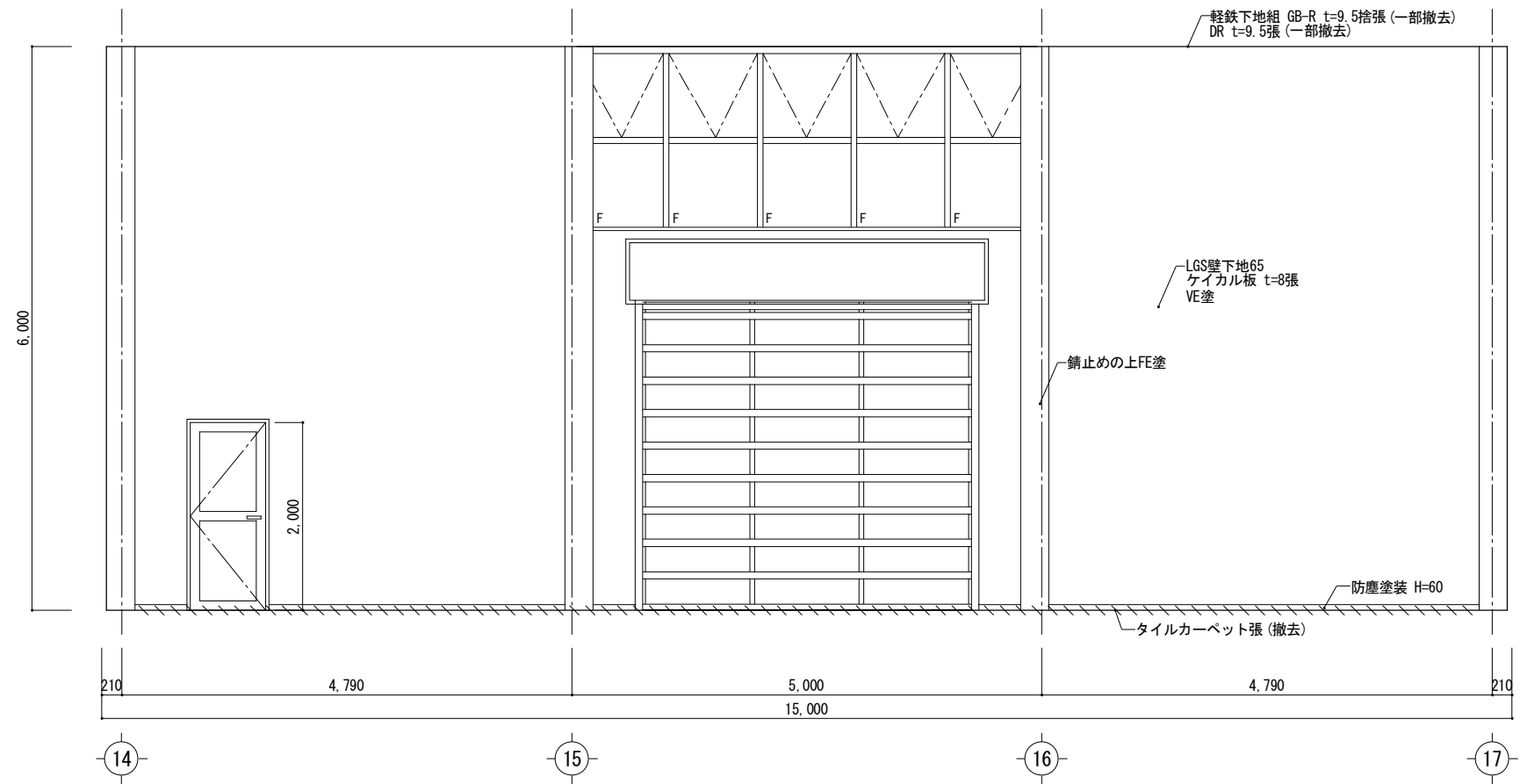
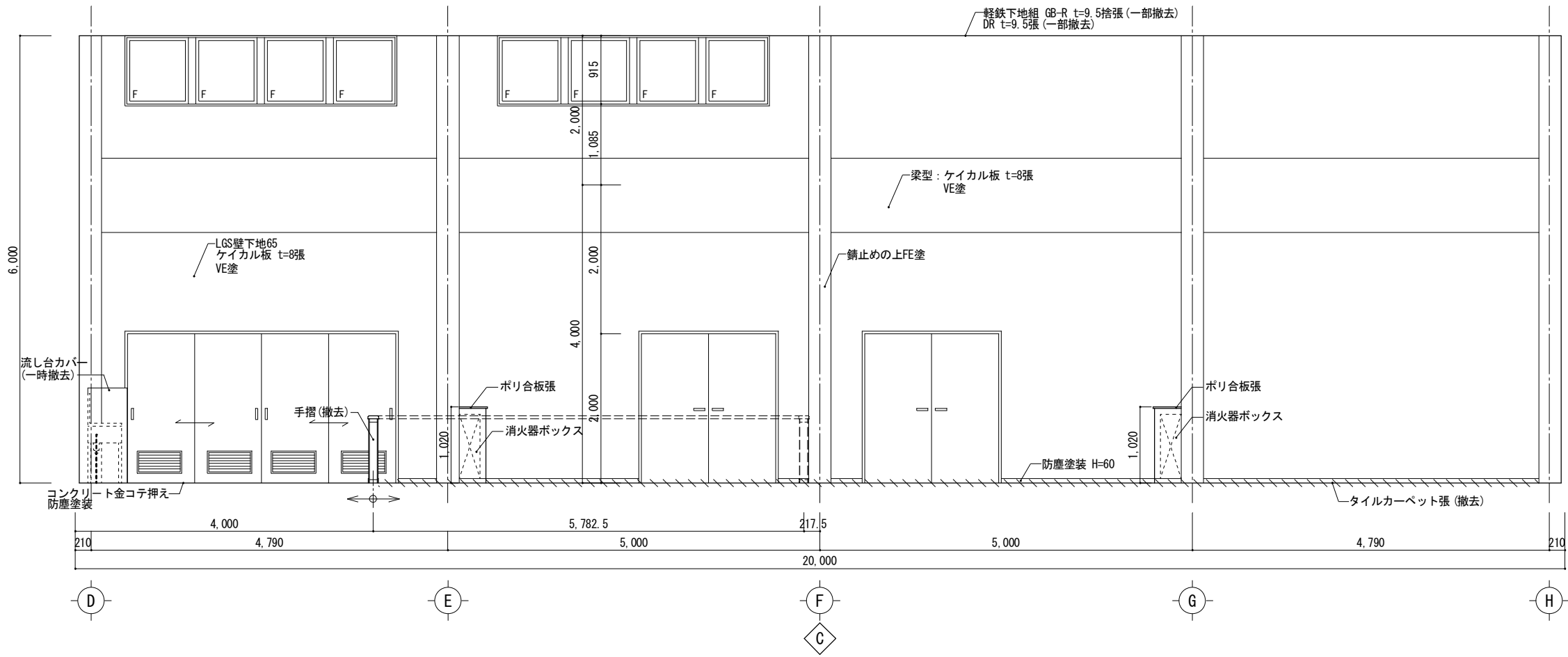
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議場兼全体協議会室 平面詳細図		A-49



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

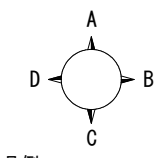
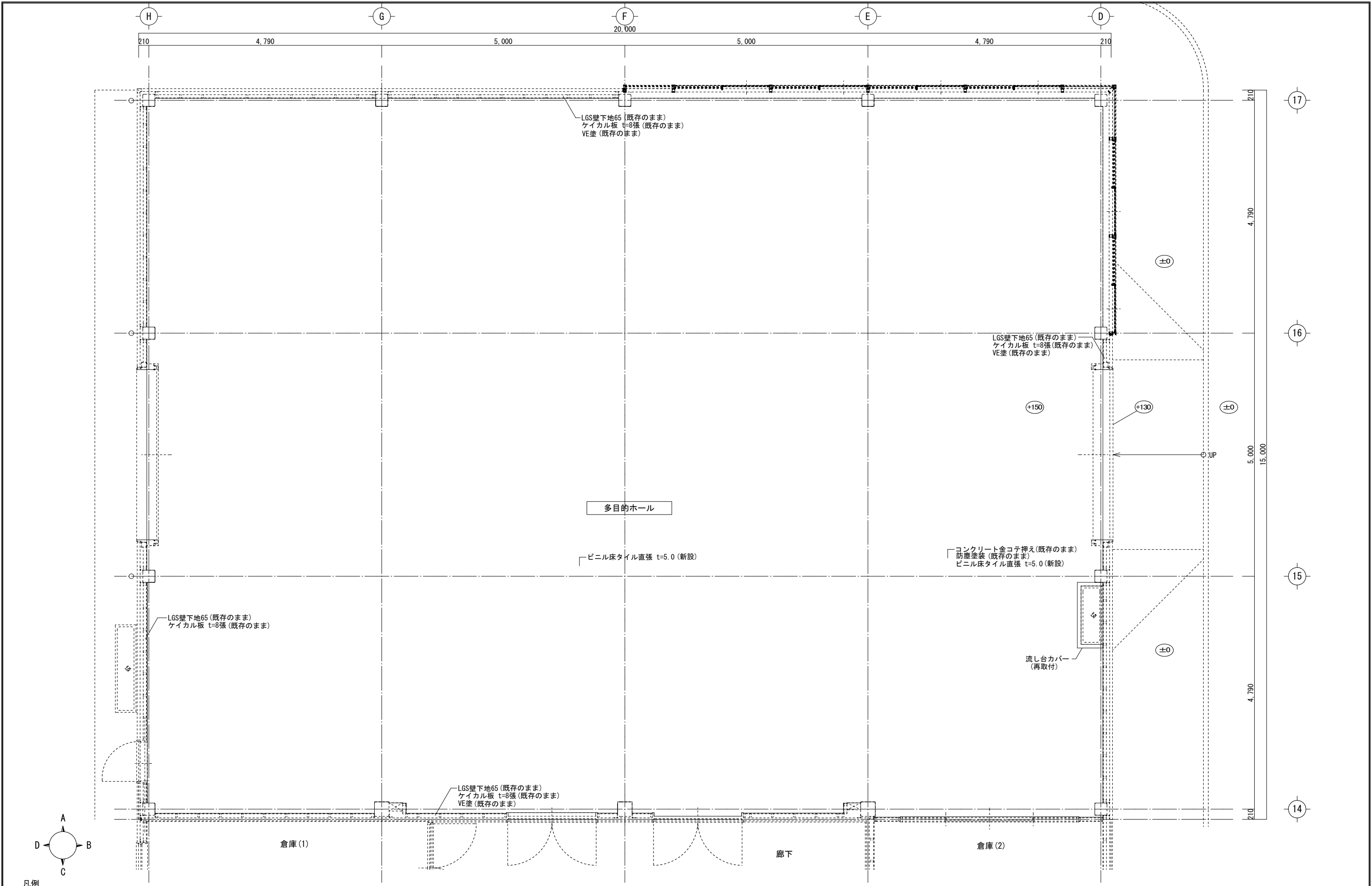
事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 議場兼全体協議会室 展開図(1)	(A3版-71%縮小) 図番 A-50
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	---	------------------------



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議場兼全体協議会室 展開図(2)		A-51

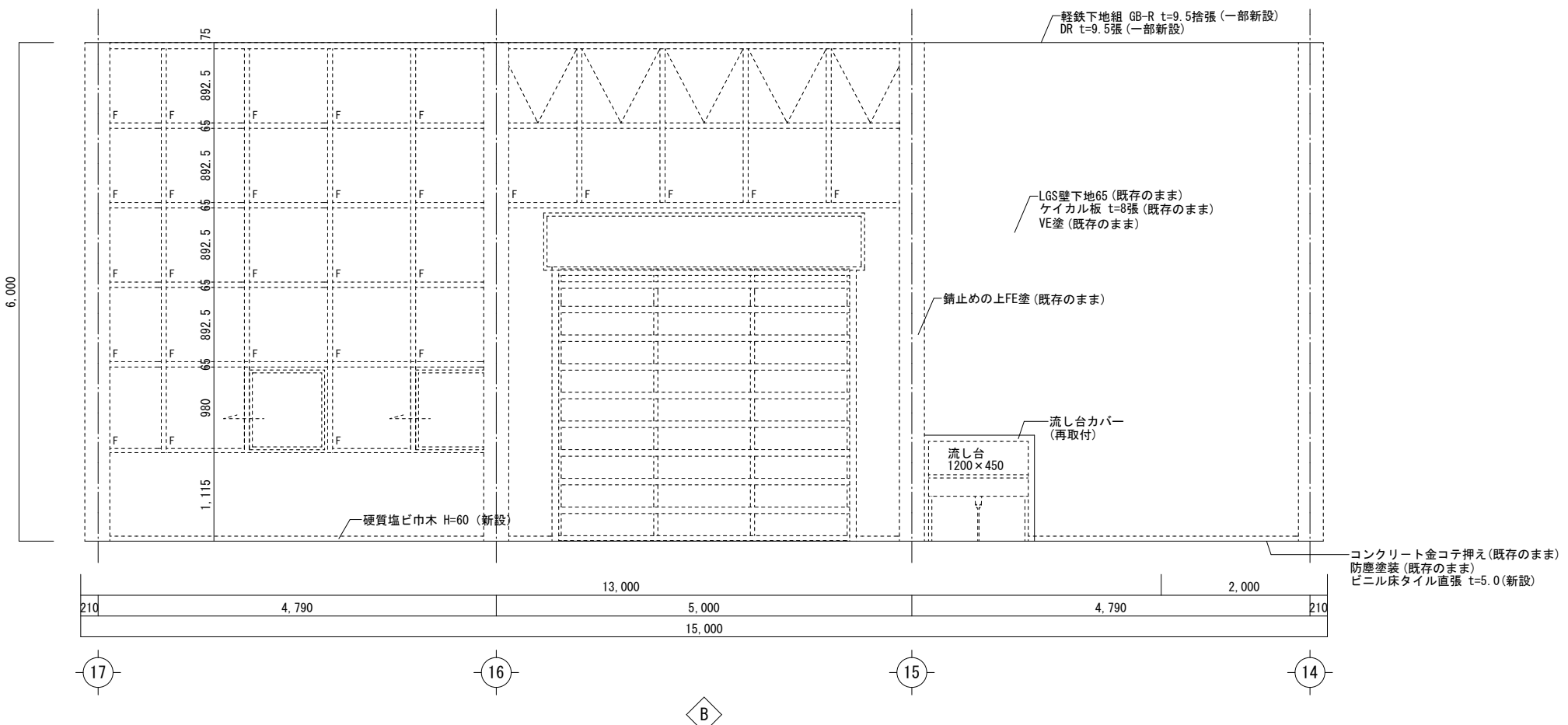
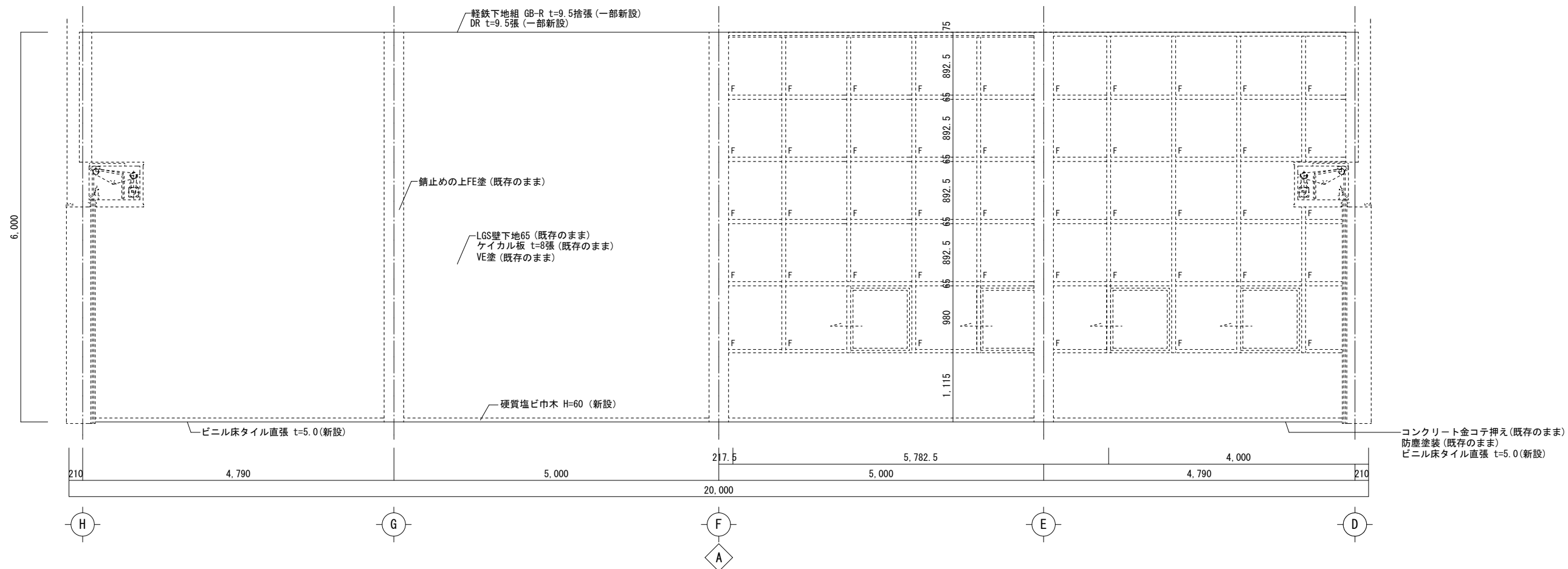


凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

平面詳細図 S=1/50

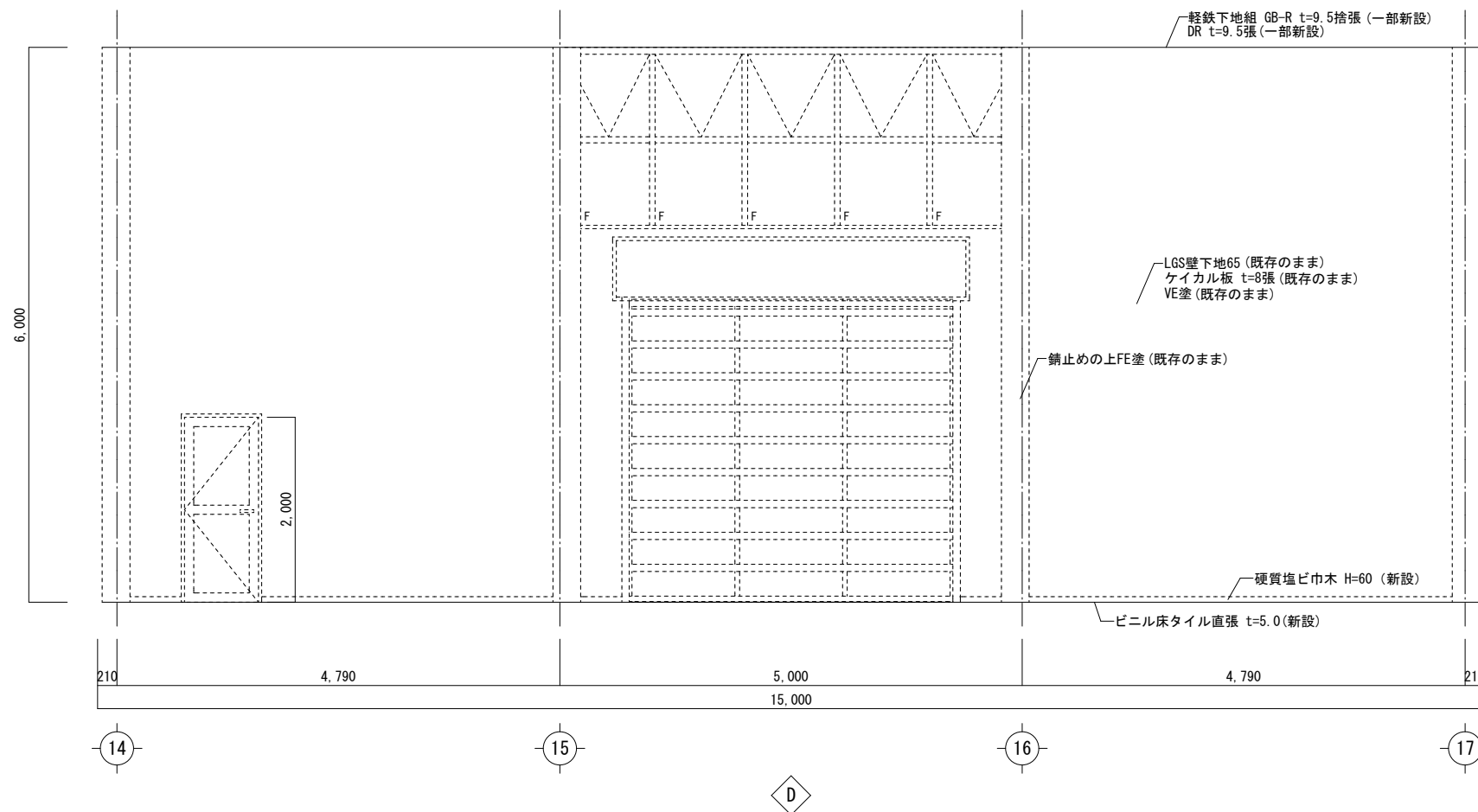
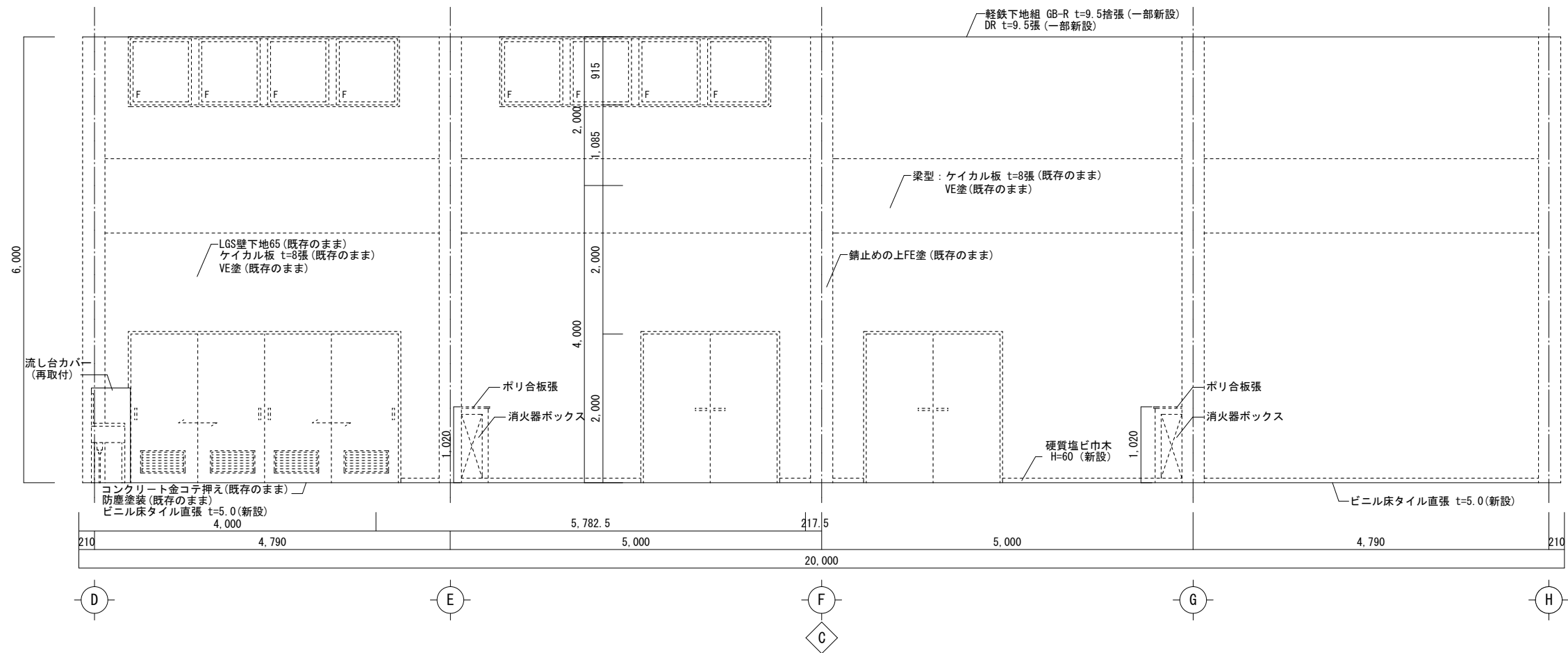
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 多目的ホール 平面詳細図		A-52



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

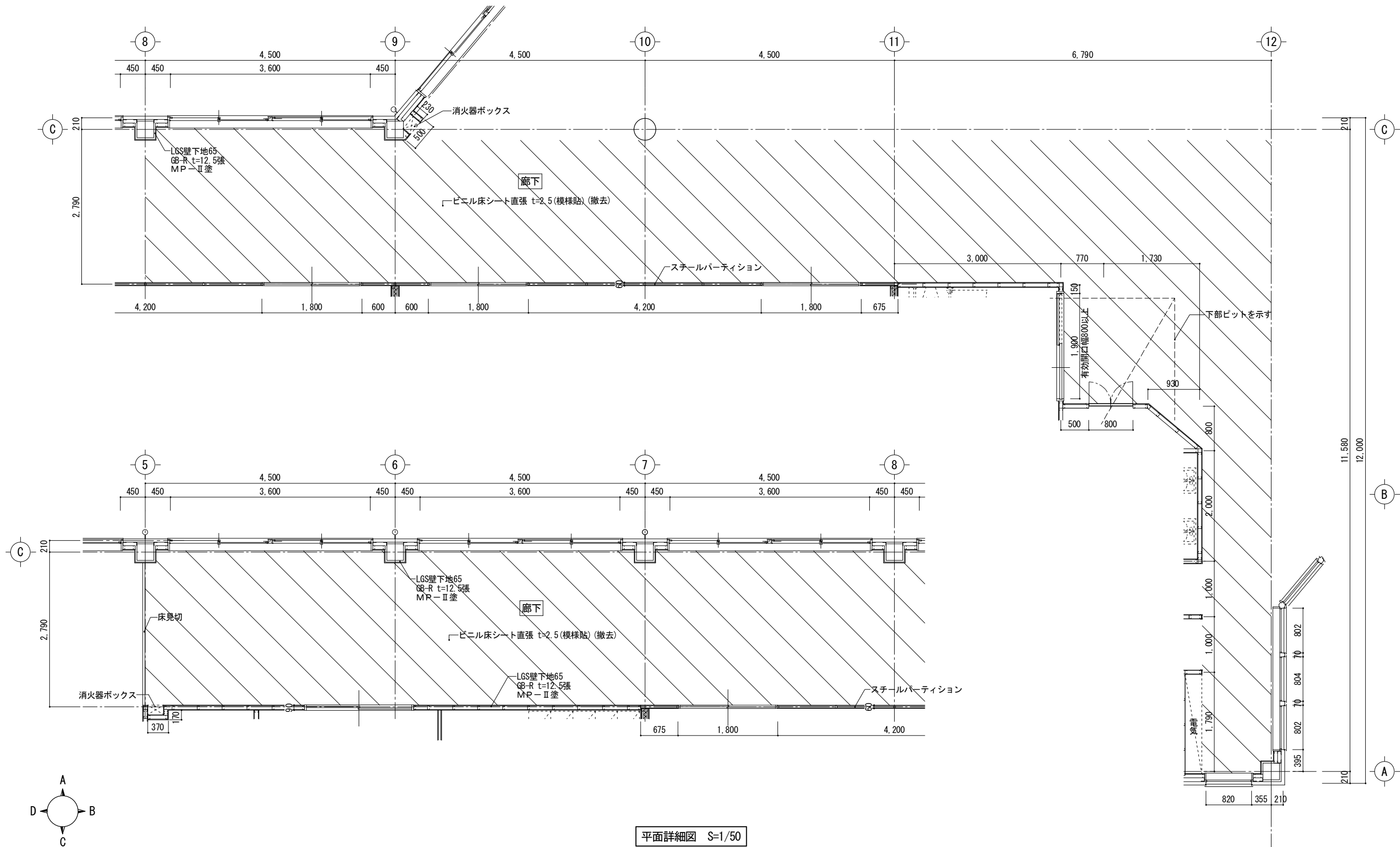
事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	建築	工事名	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺	S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番	A-53
工事完成	年度	令和 年月													(改修後) 多目的ホール 展開図(1)			



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-54
工事完成	年度										(改修後) 多目的ホール 展開図(2)		

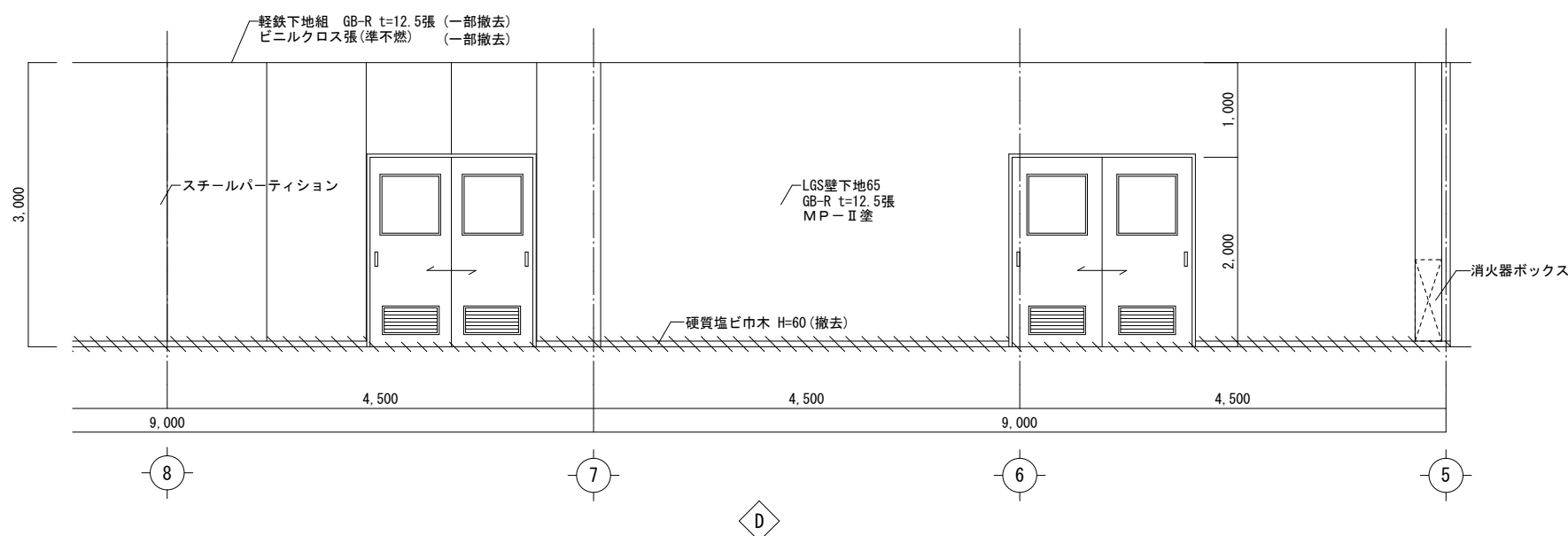
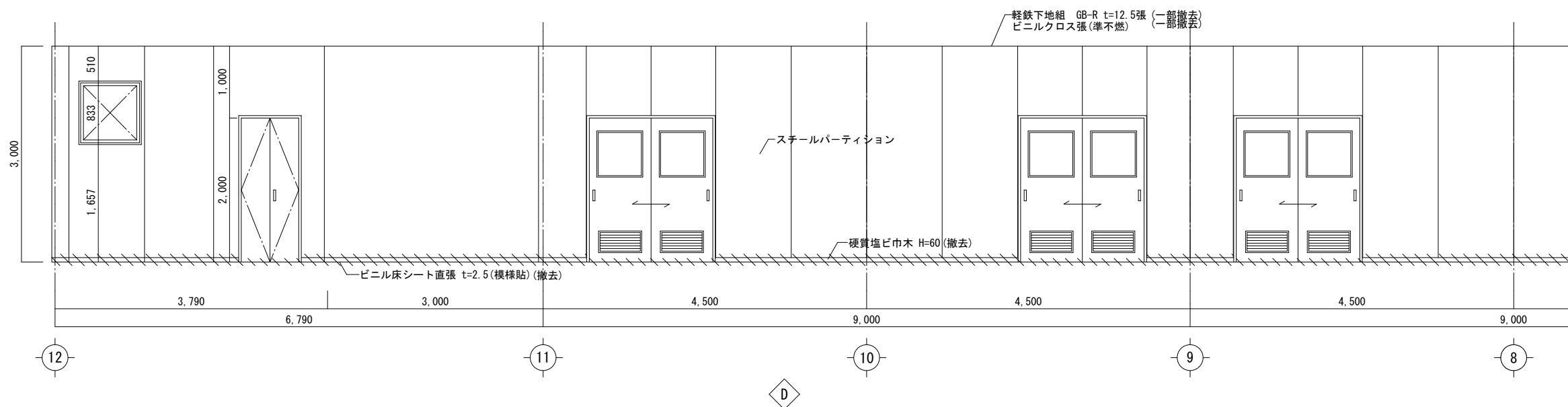
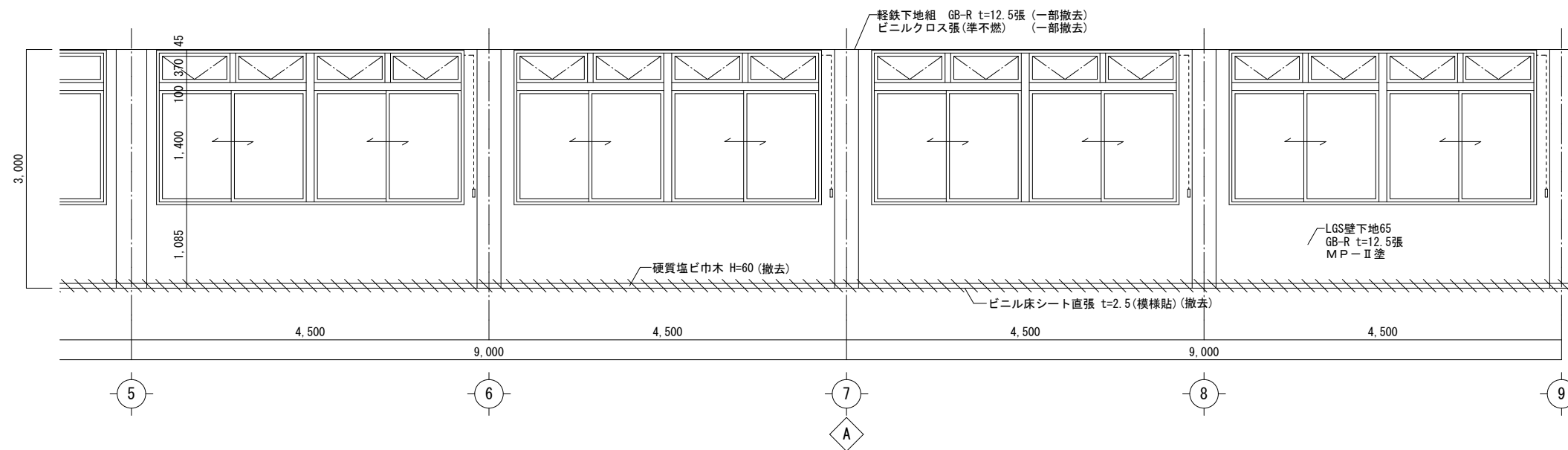


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター一切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	------------

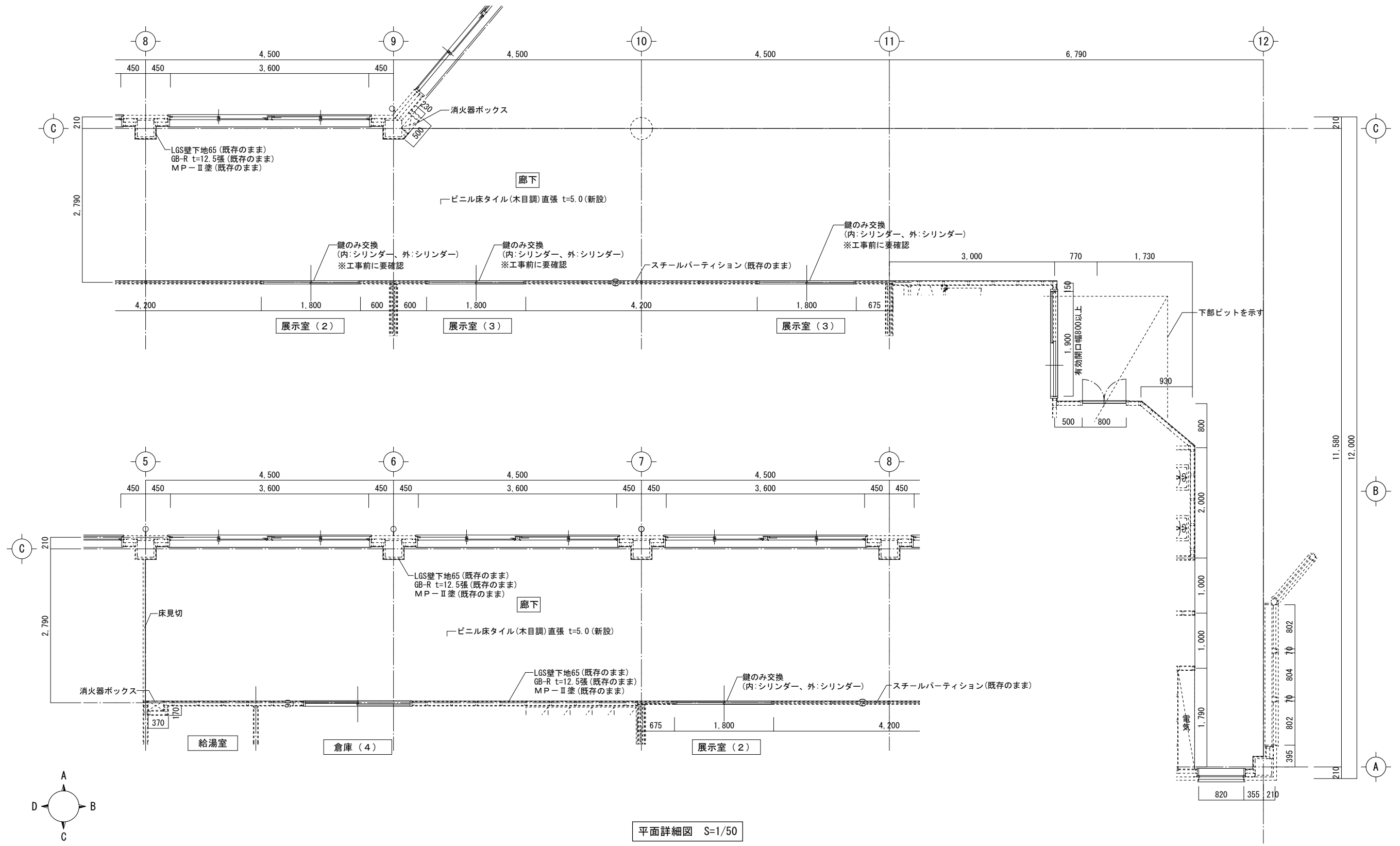
事業年度 年度	設計 令和 年月	大 中 小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 1階廊下 平面詳細図	(A3版-71%縮小)	図番 A-55
工事完成 年度	三原市都市部建築課				建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	印			



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

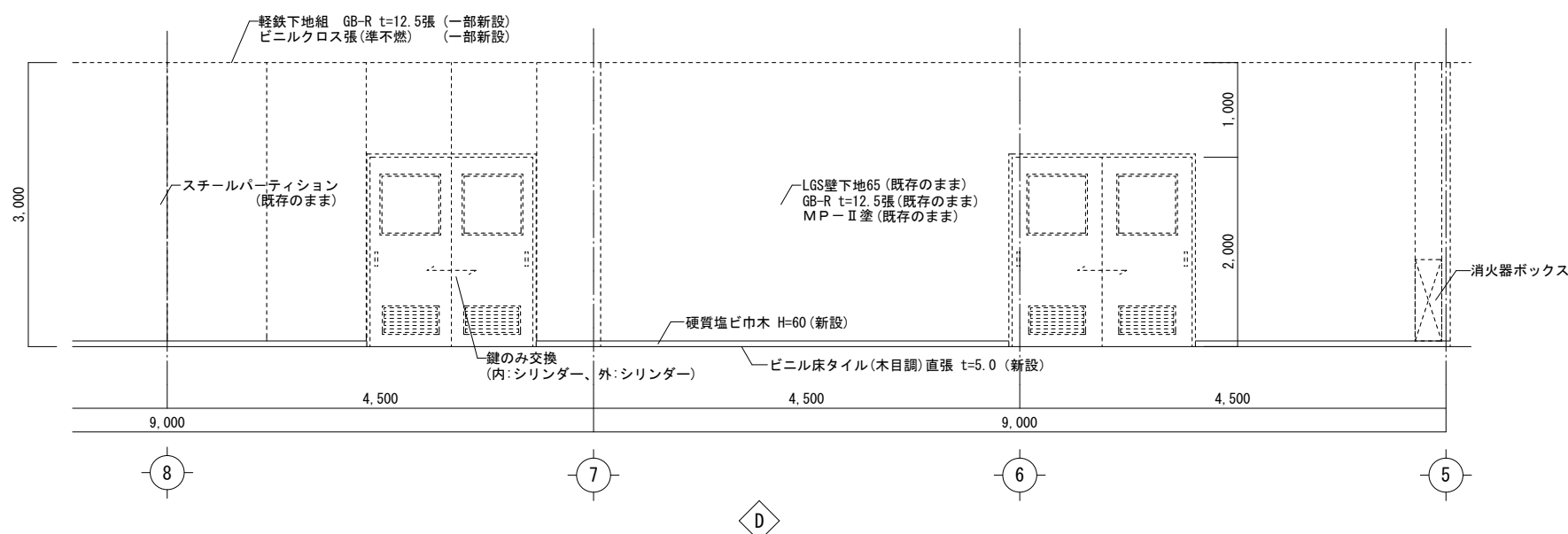
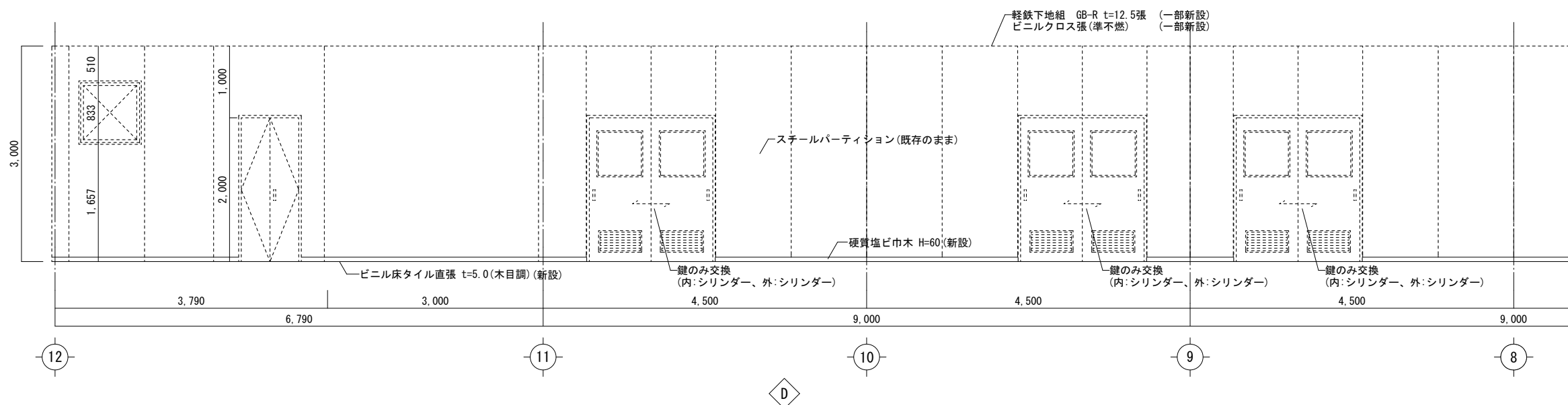
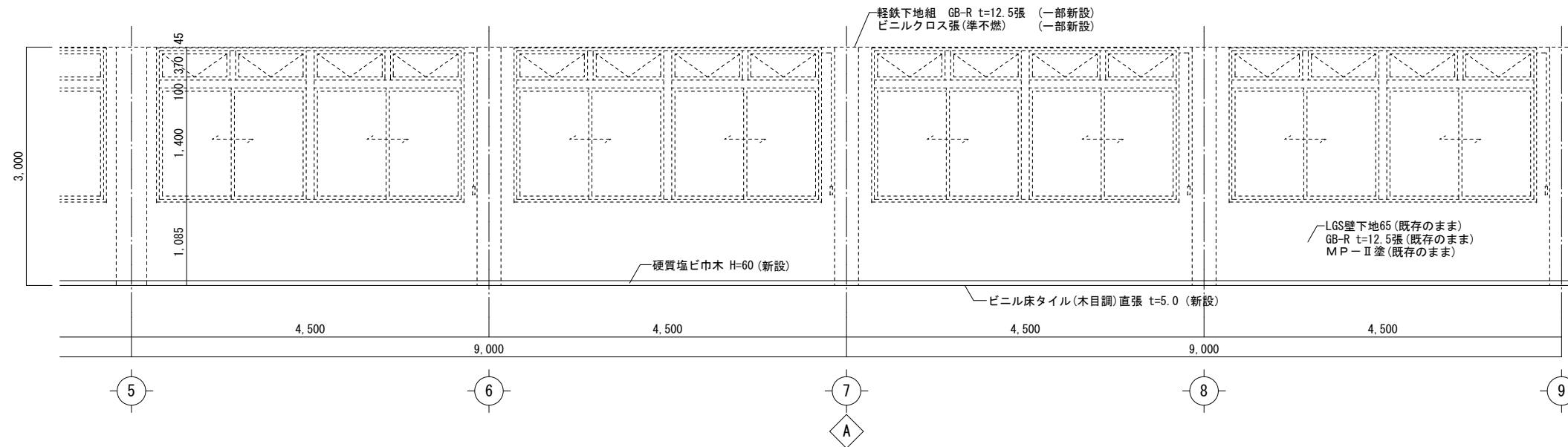
事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 1階廊下 展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-56
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	-------------------------------------	------------------------



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

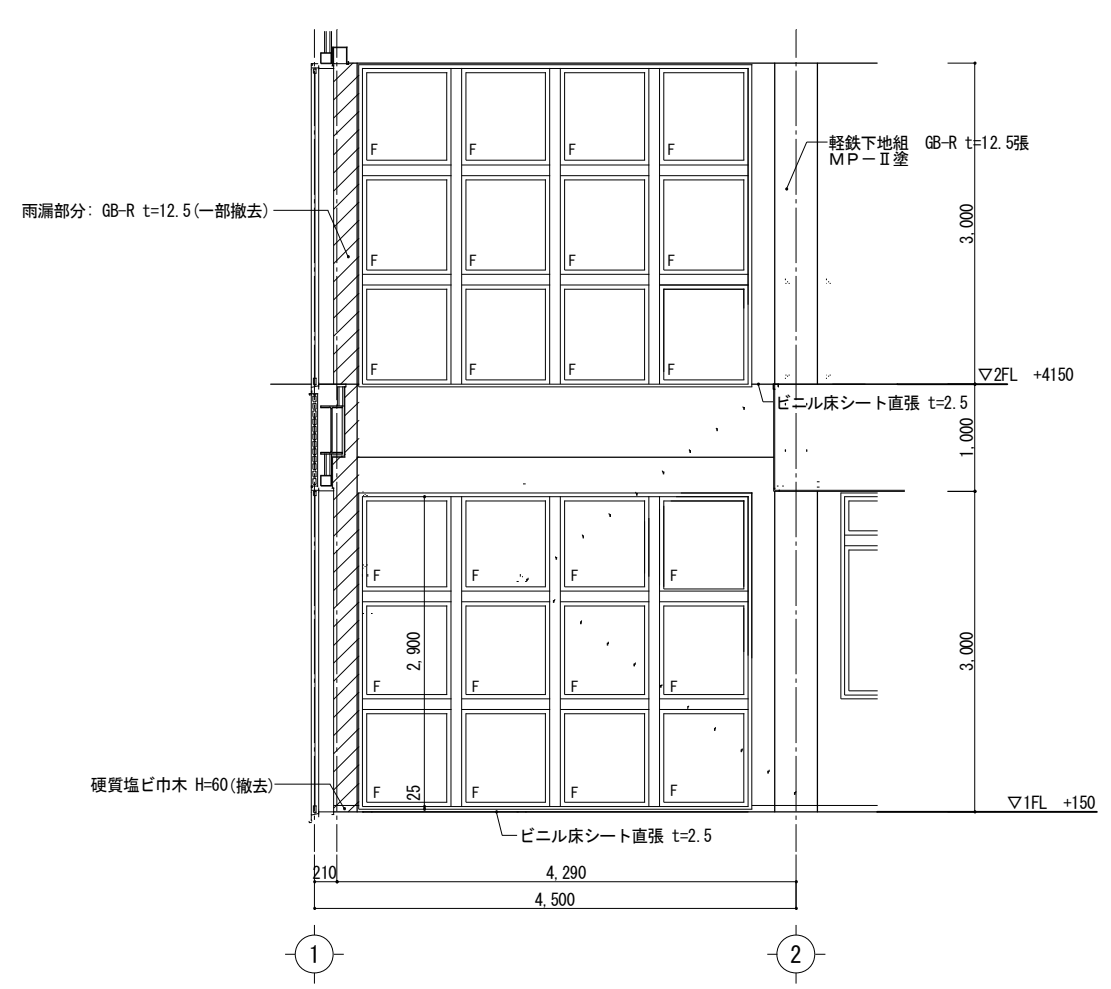
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50 (改修後) 1階廊下 平面詳細図		A-57



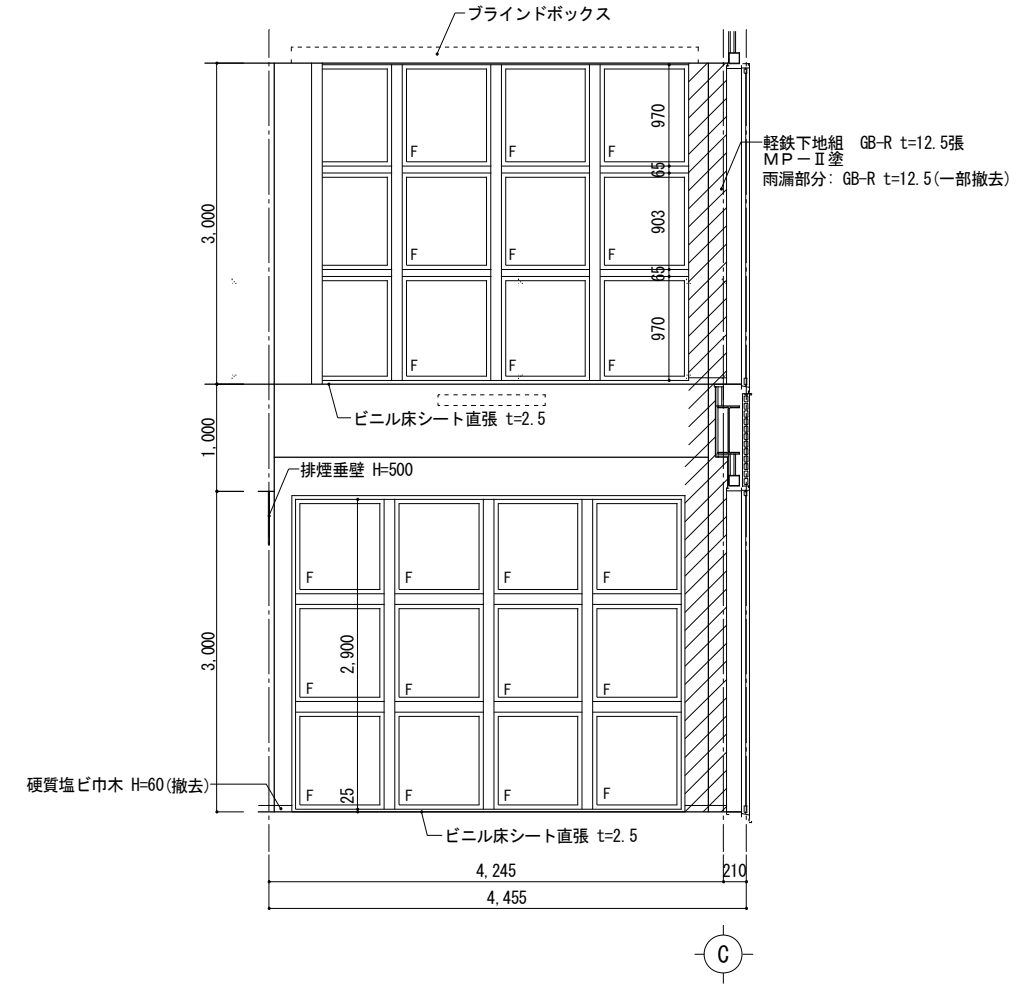
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階廊下 展開図			A-58



A面

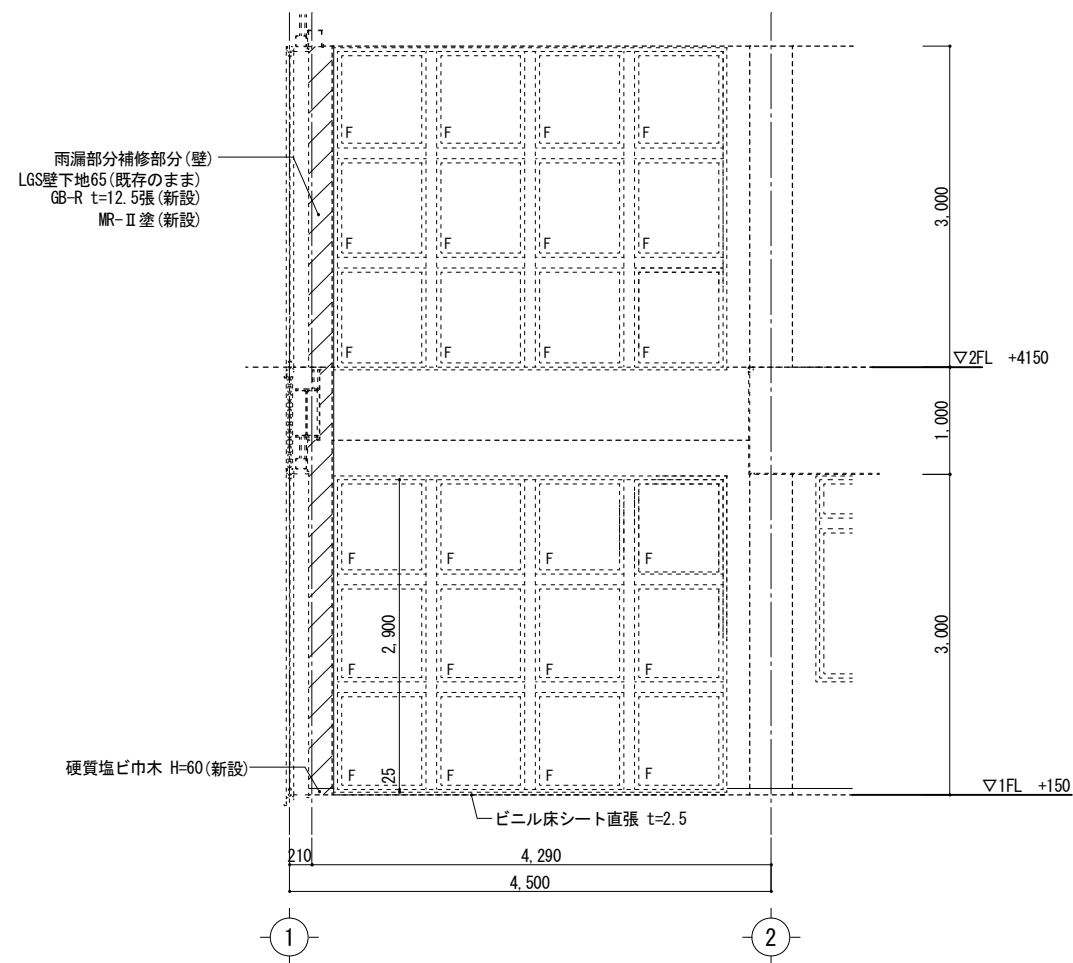


D面

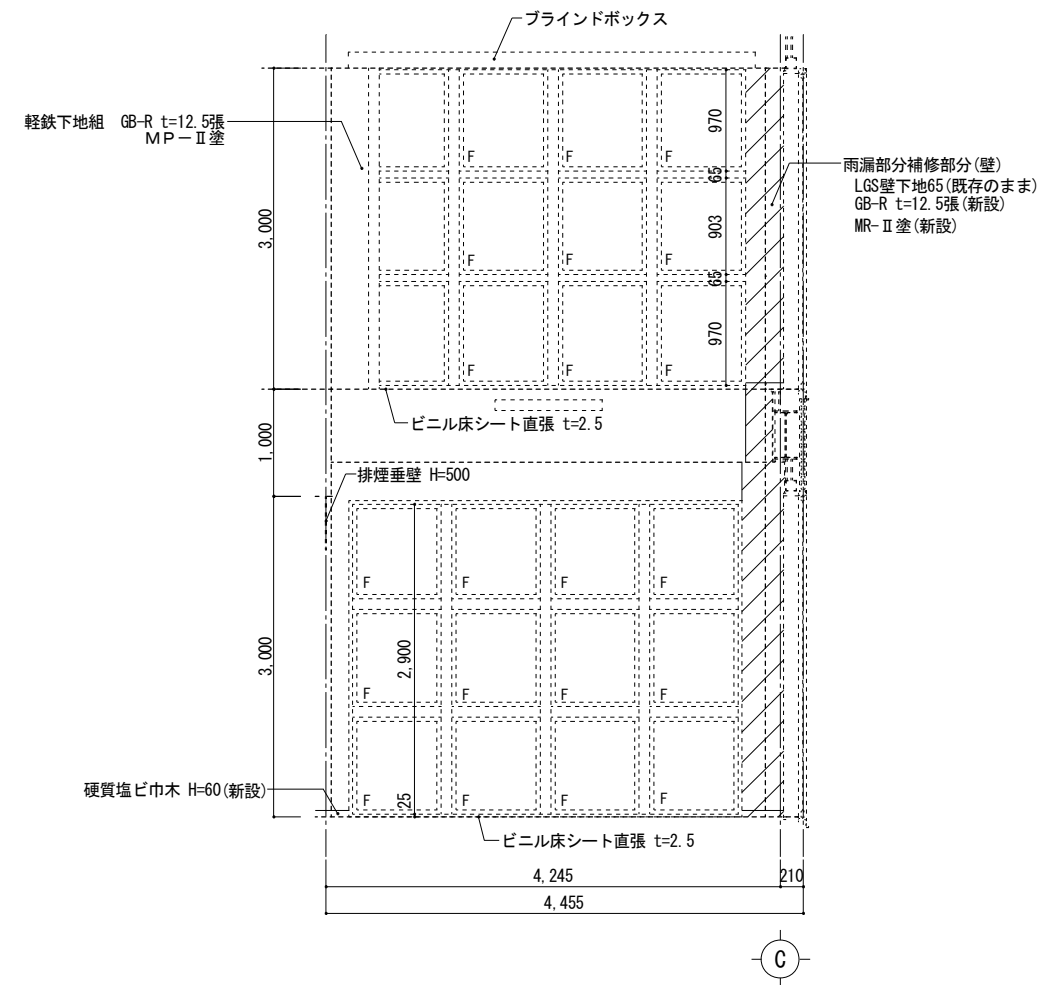
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	←←←	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 西側階段 展開図		A-59



A面

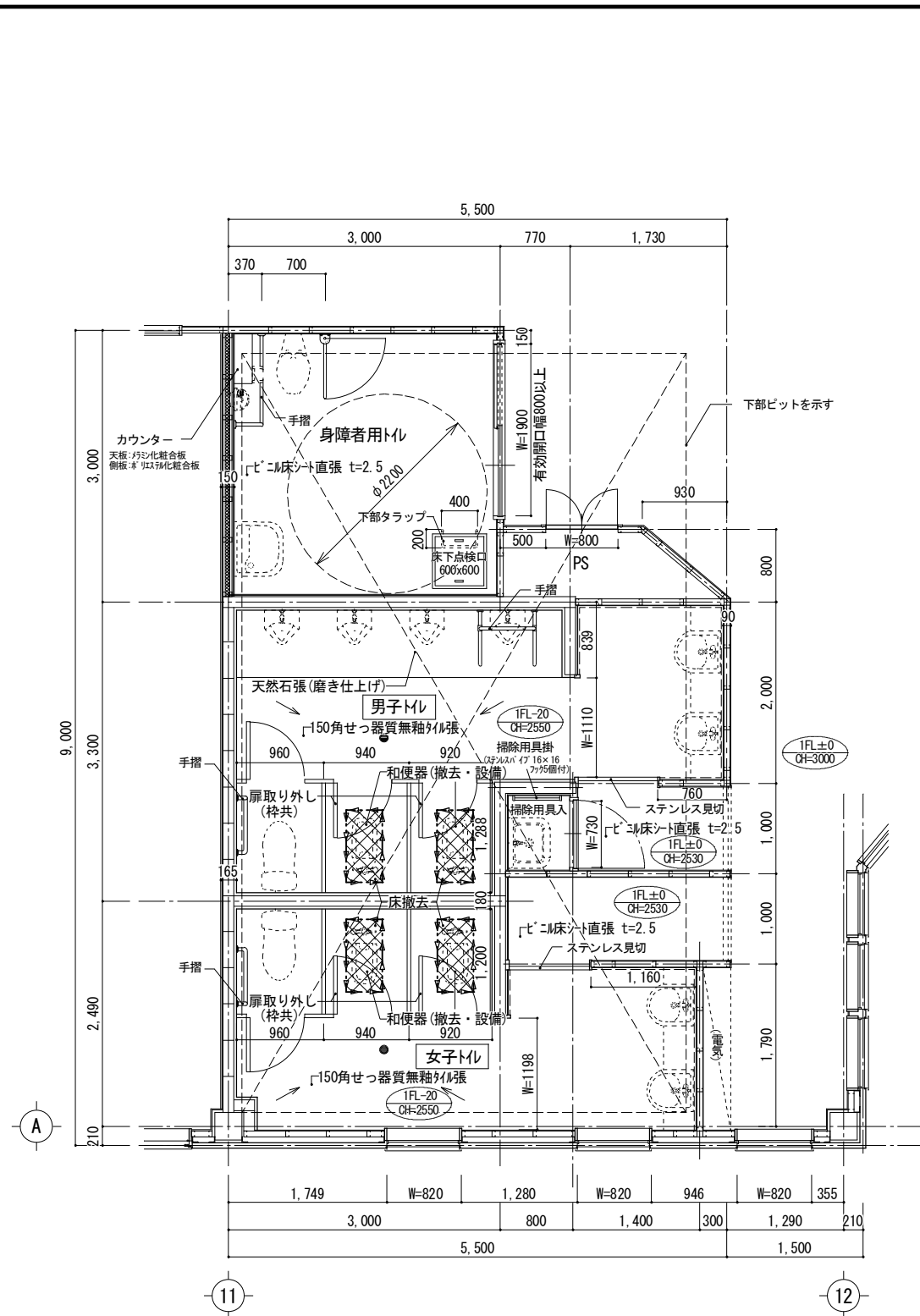


D面

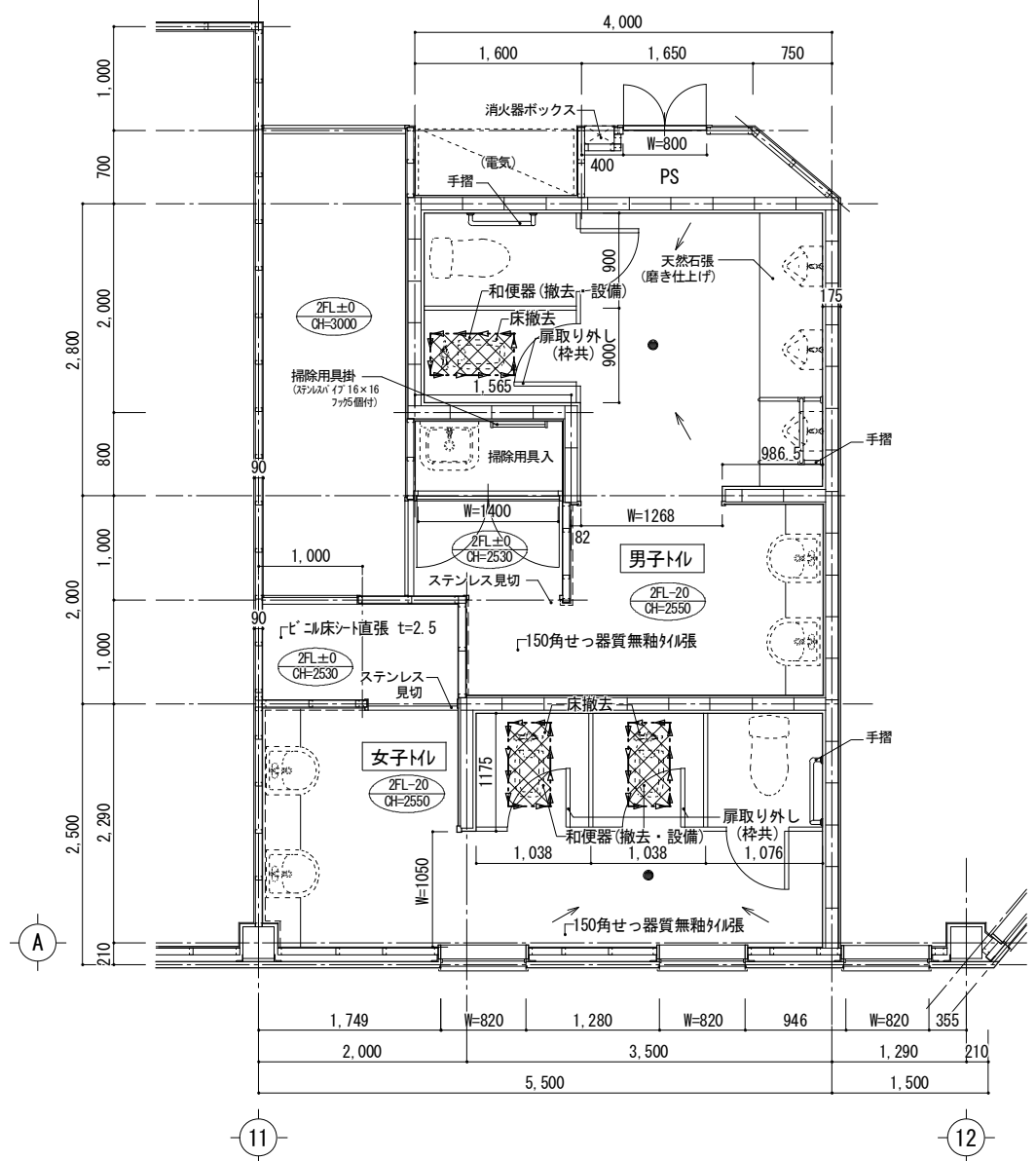
凡例

室名	工事対象室を示す。	———	改修範囲を示す。	-----	既存範囲を示す。
----	-----------	-----	----------	-------	----------

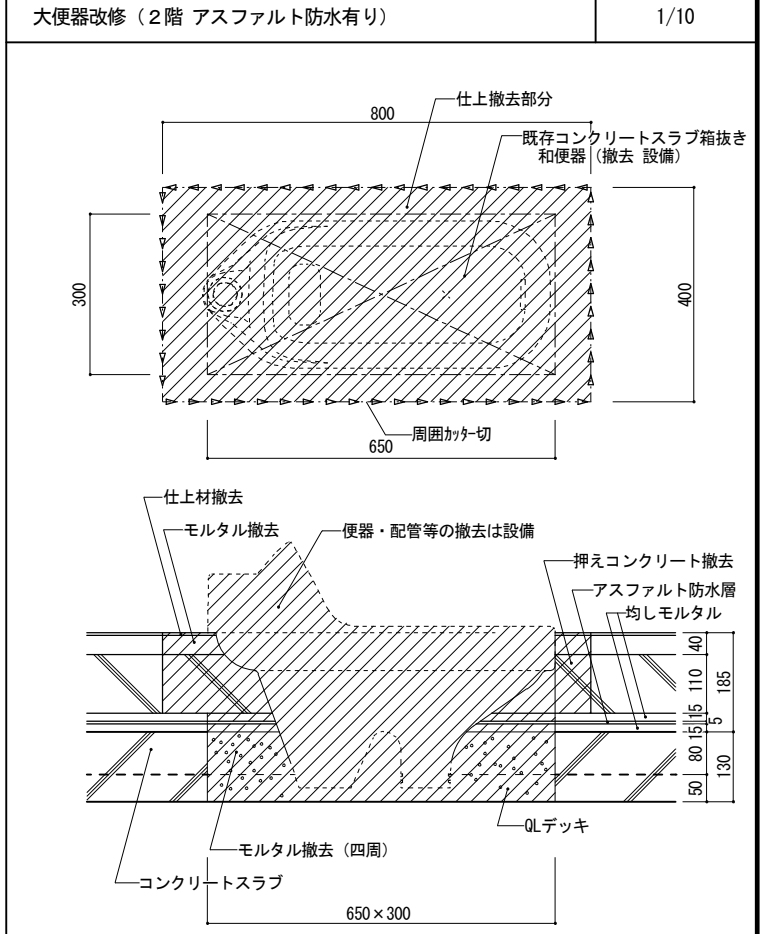
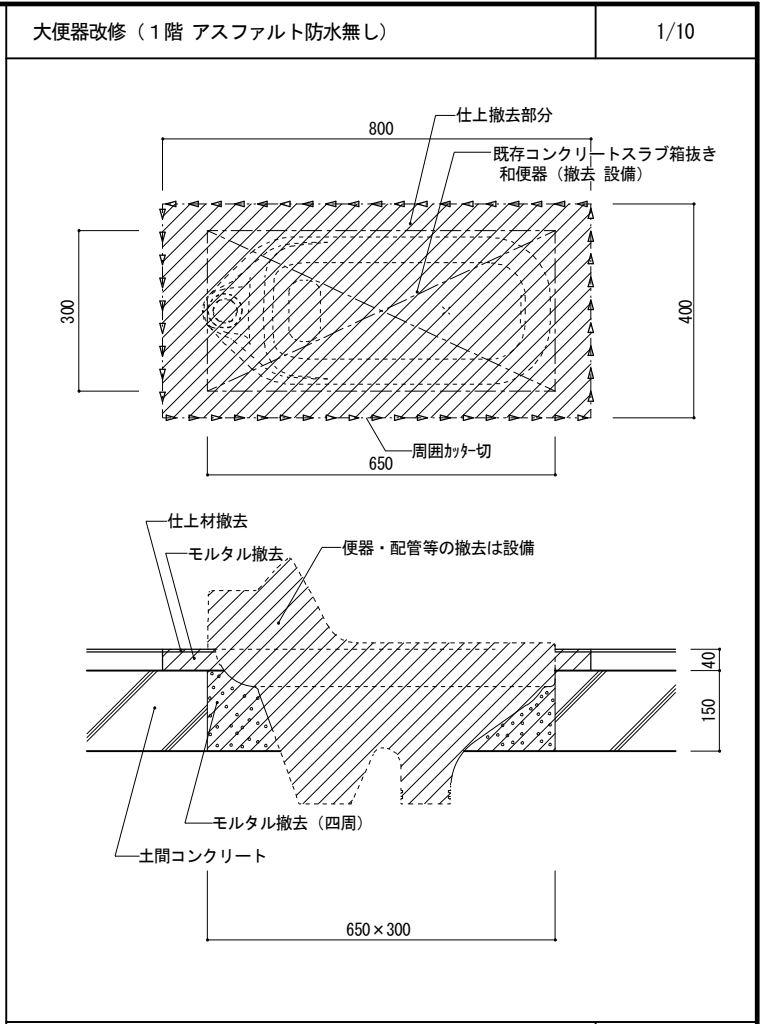
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 西側階段 展開図		A-60



1階平面詳細図 S=1/50



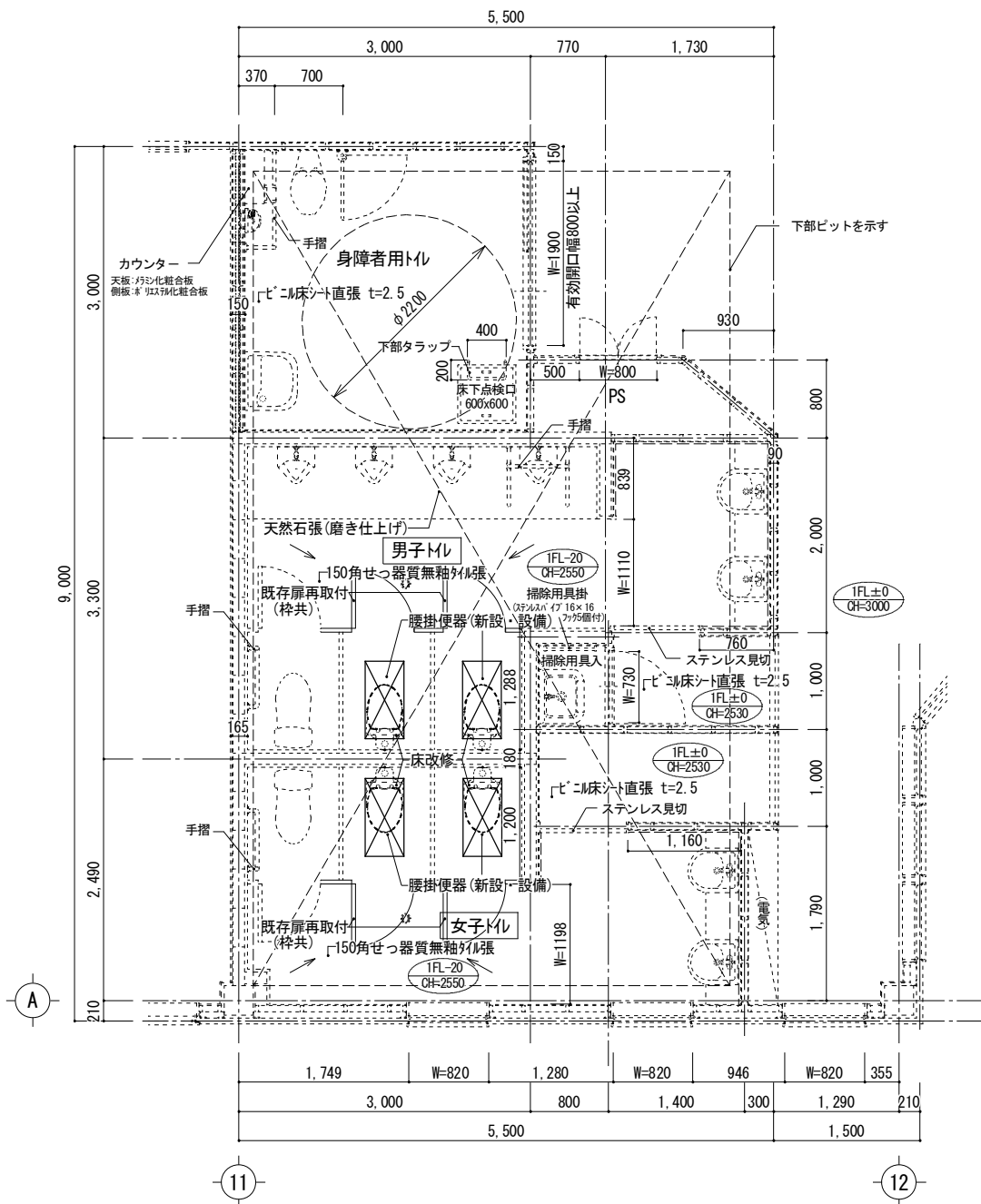
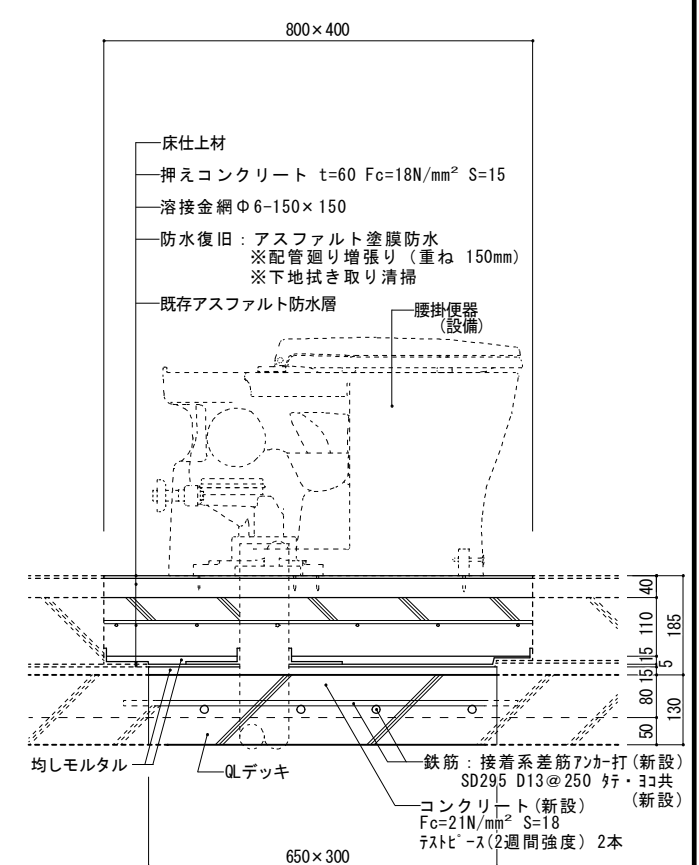
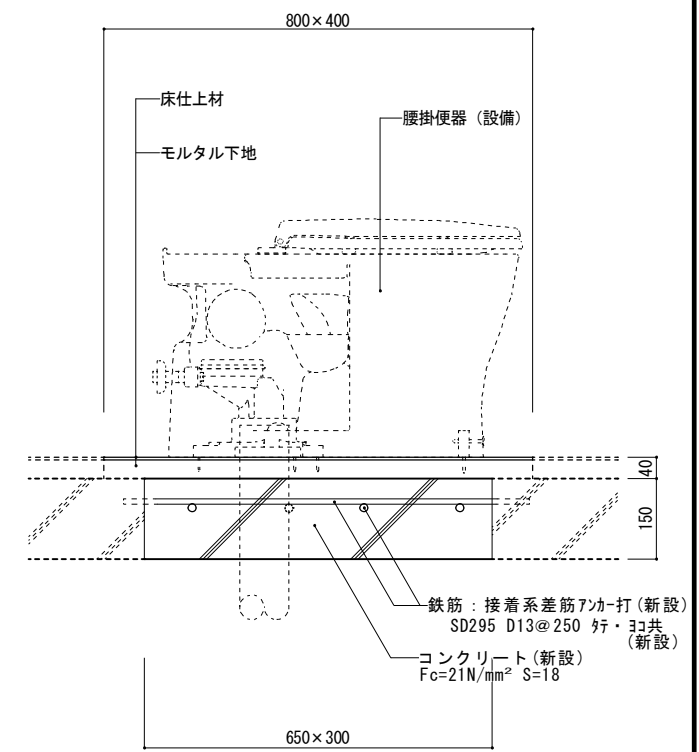
2階平面詳細図 S=1/50



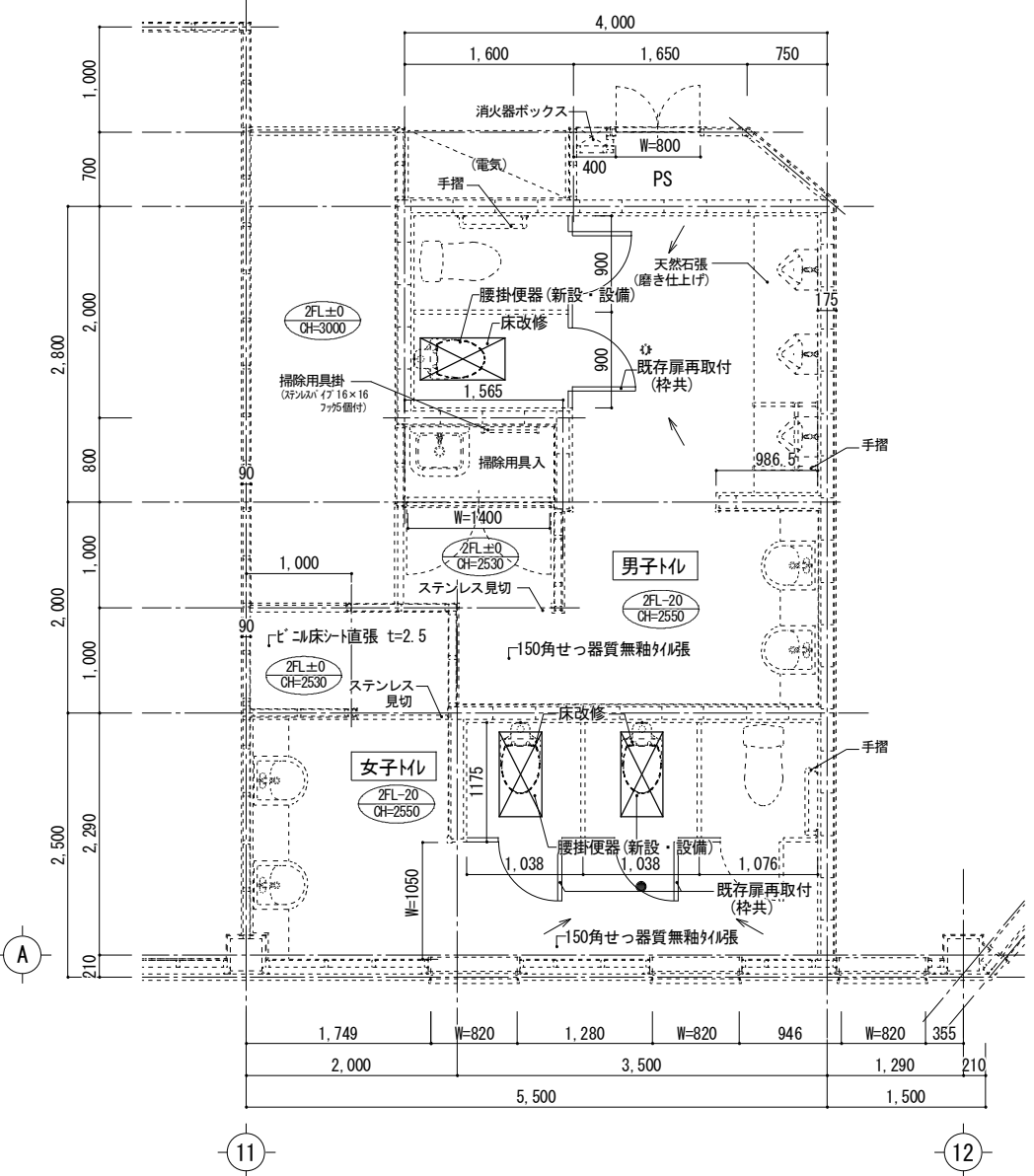
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50・1/10 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-61



1階平面詳細図 S=1/50

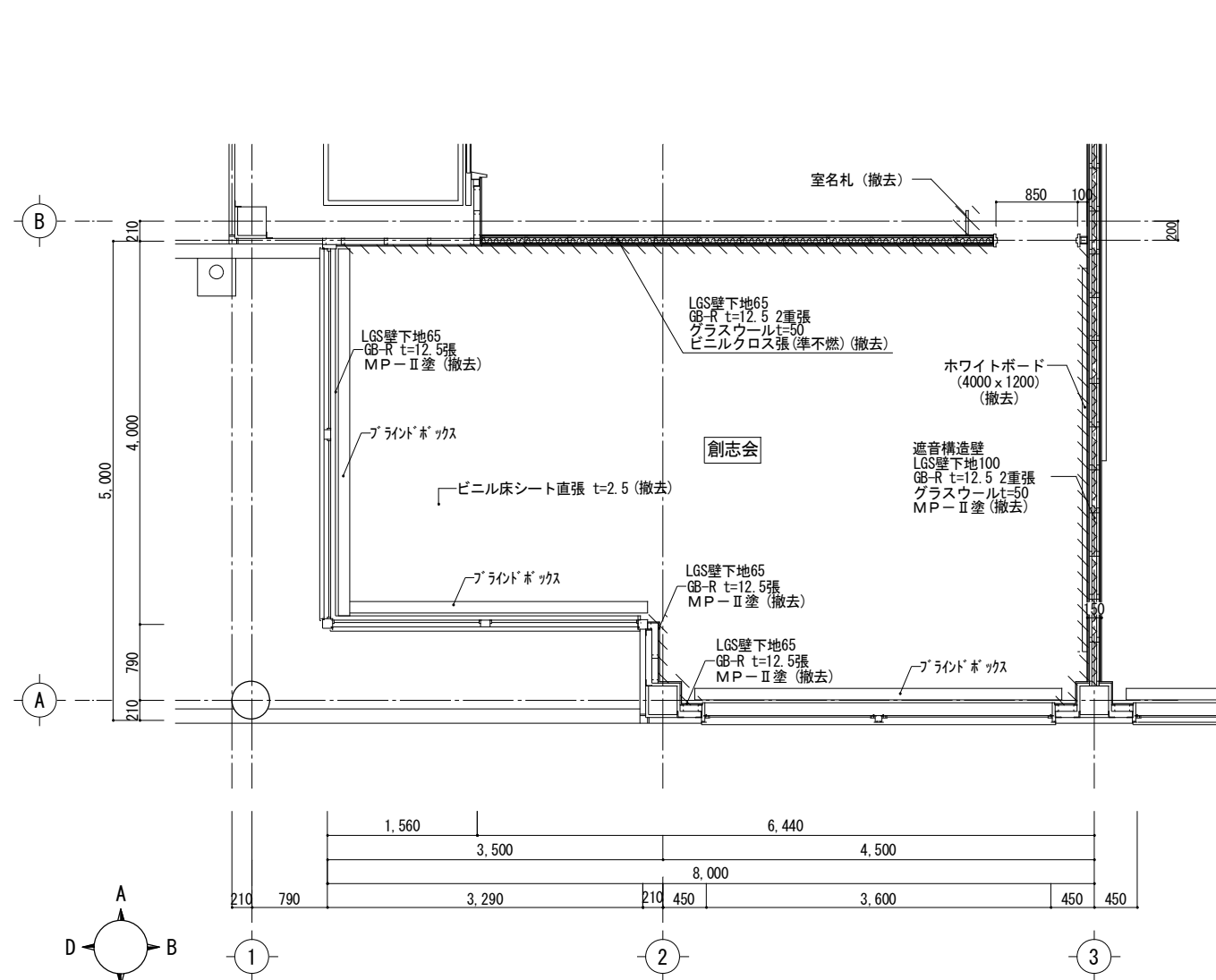


2階平面詳細図 S=1/50

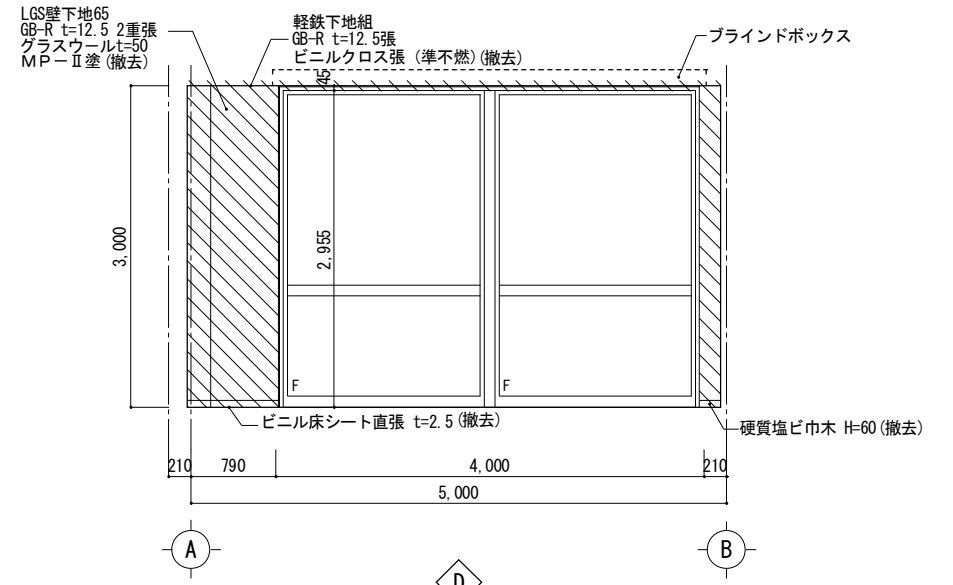
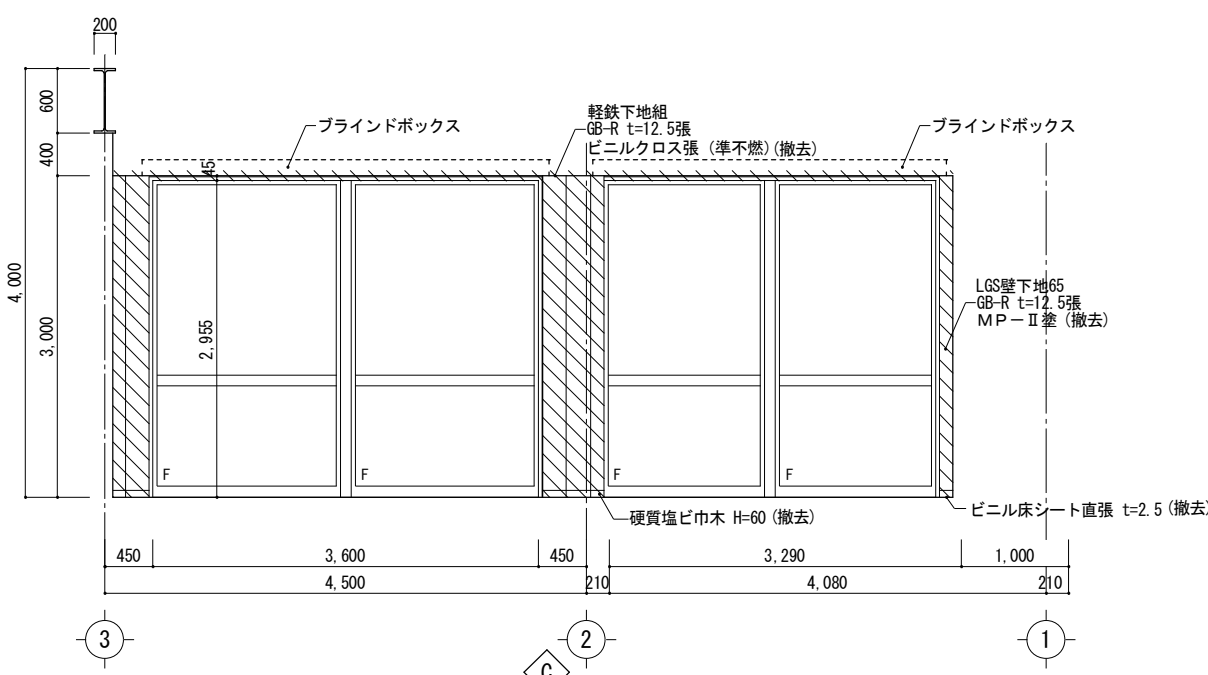
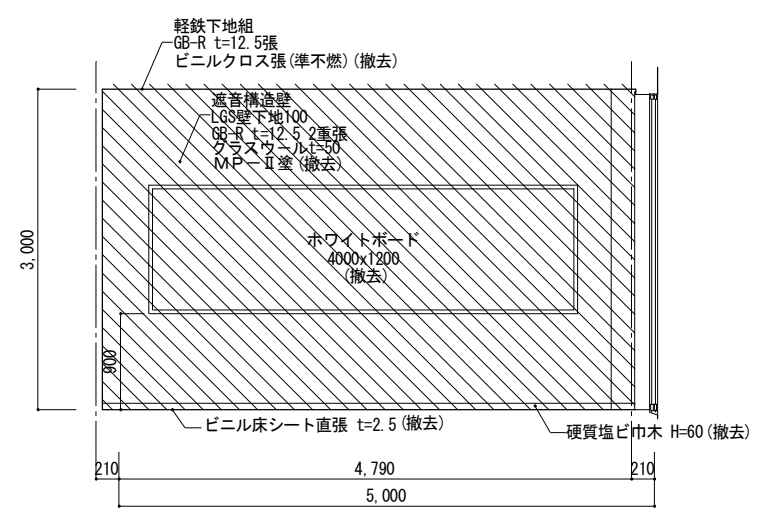
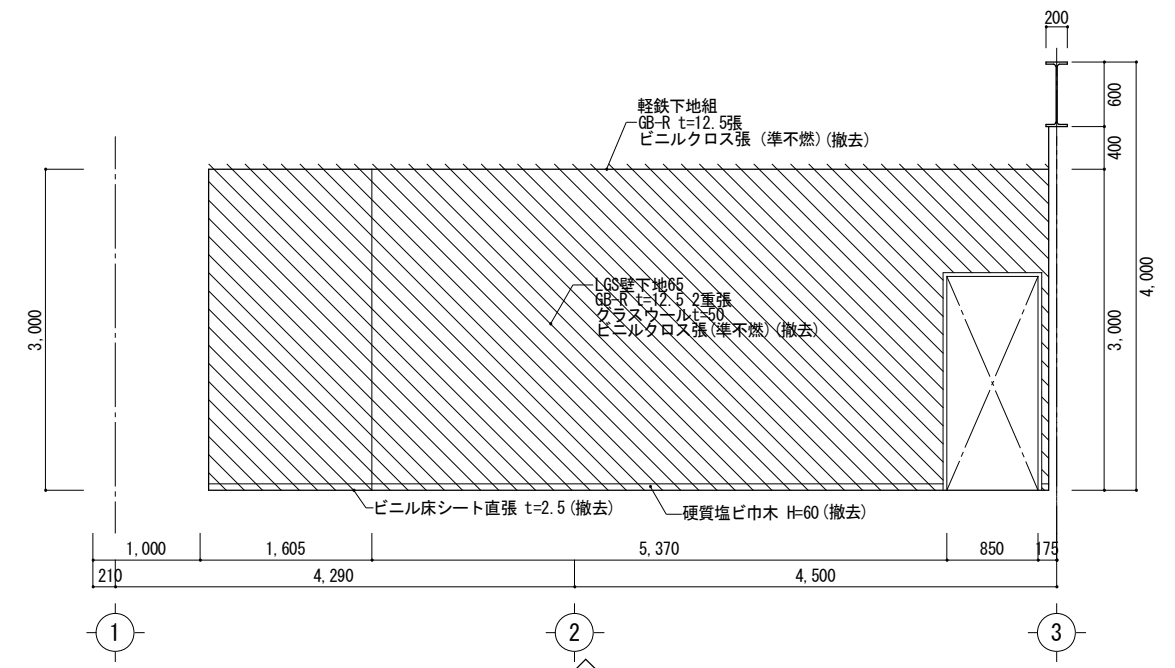
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	大 中 小	地域 施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50・1/10 (A3版-71%縮小)	図番 A-62
---------------	-------------	-------------	----------	----------	---------------------------------	--	---------------------------------	------------



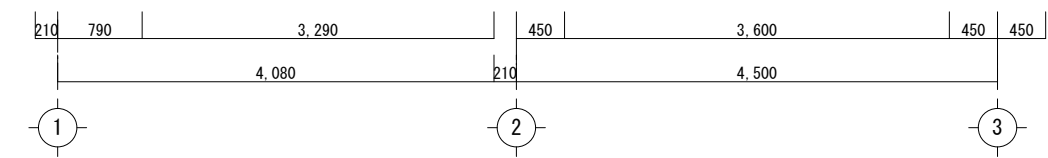
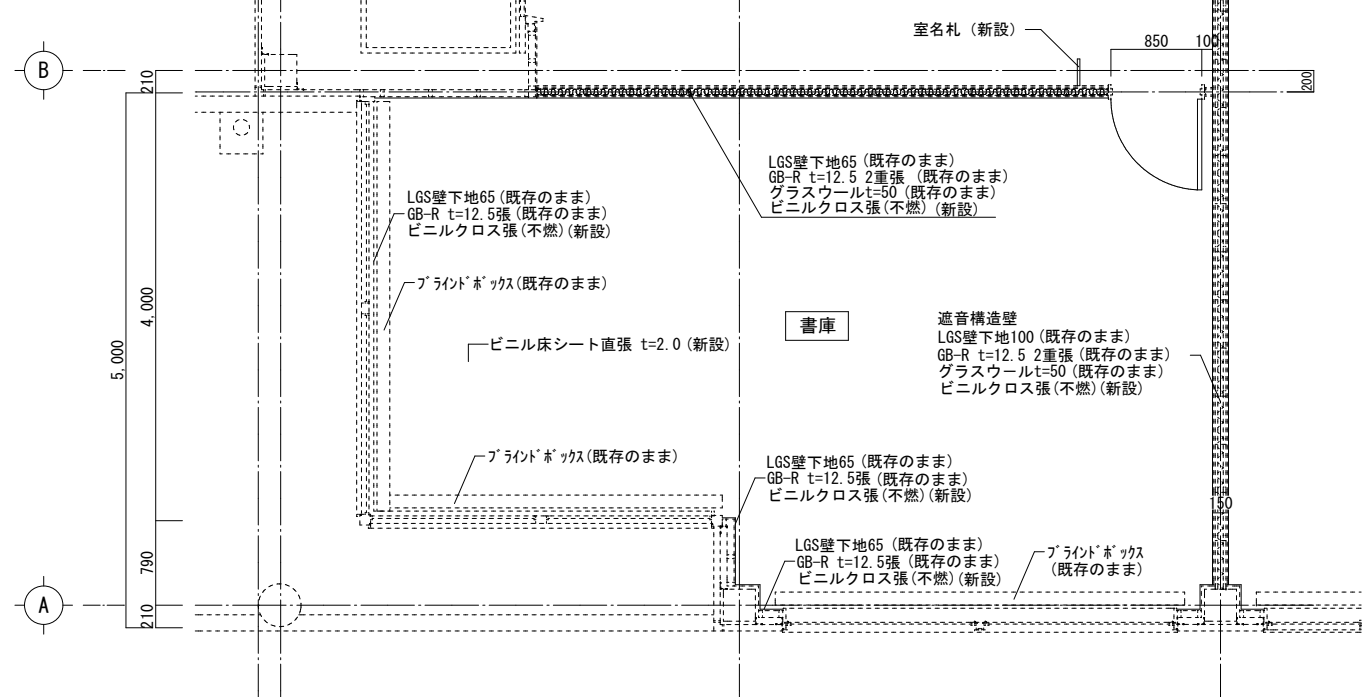
平面詳細図 S=1/50



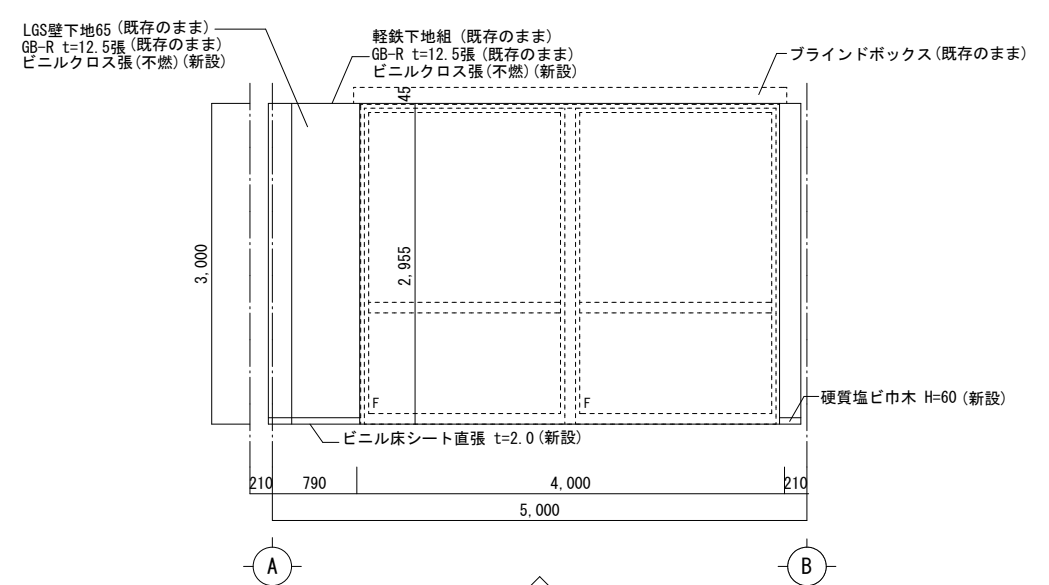
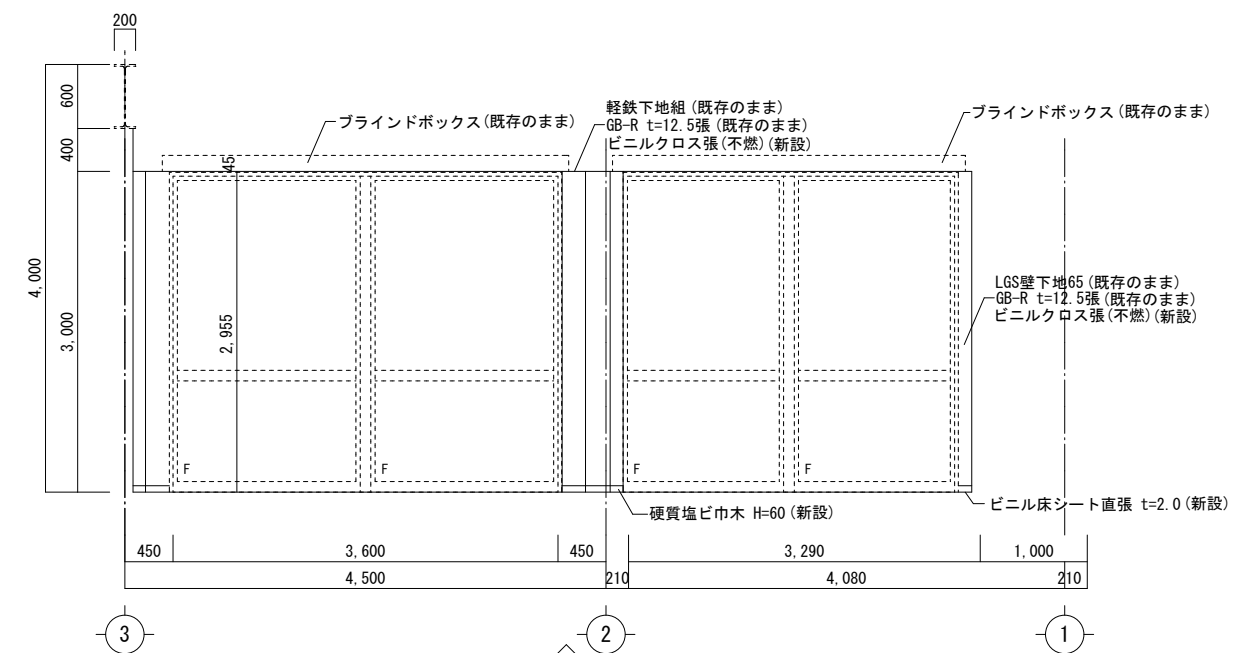
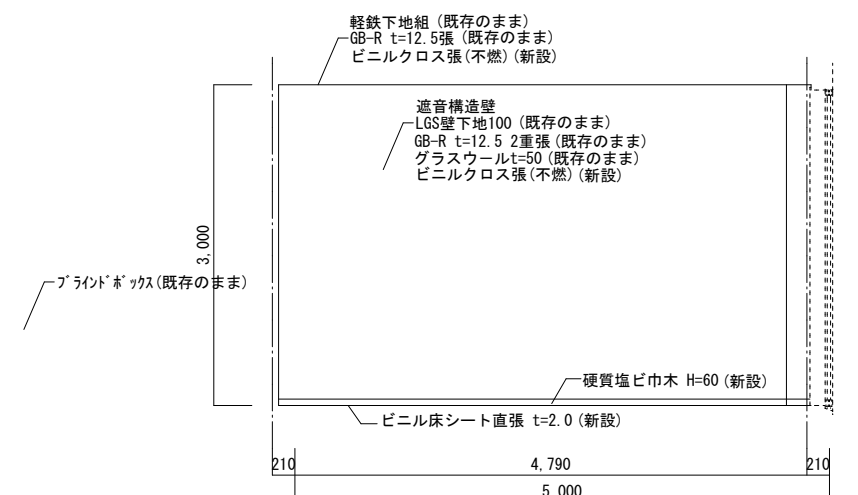
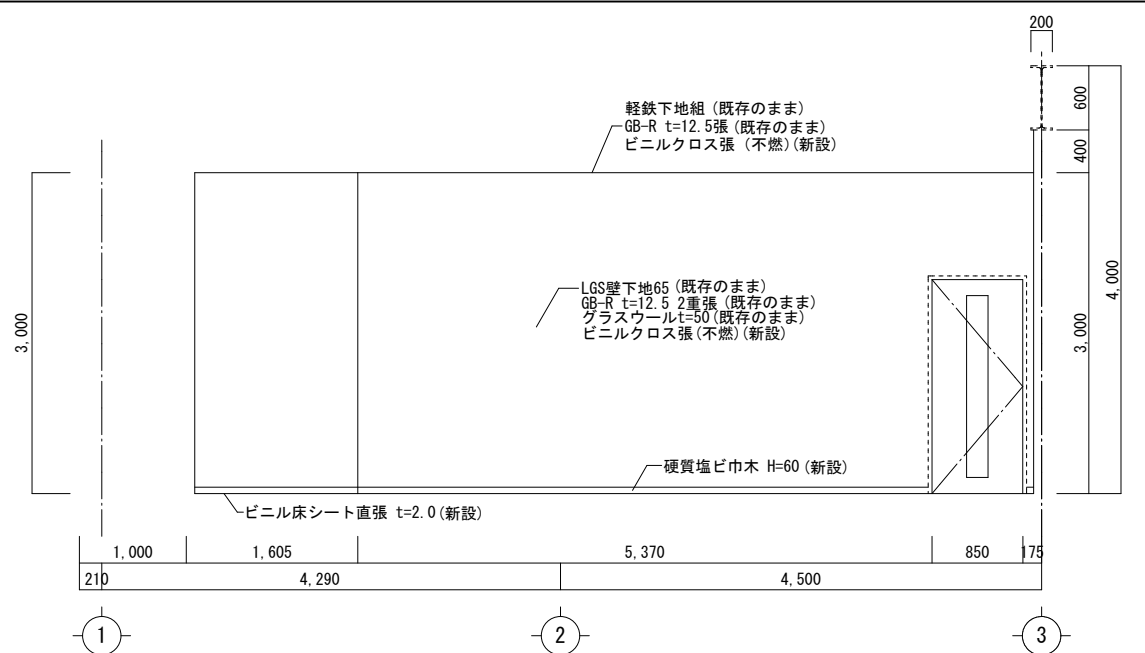
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 創志会 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小)	図番 A-63
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	--	--	-------------	------------



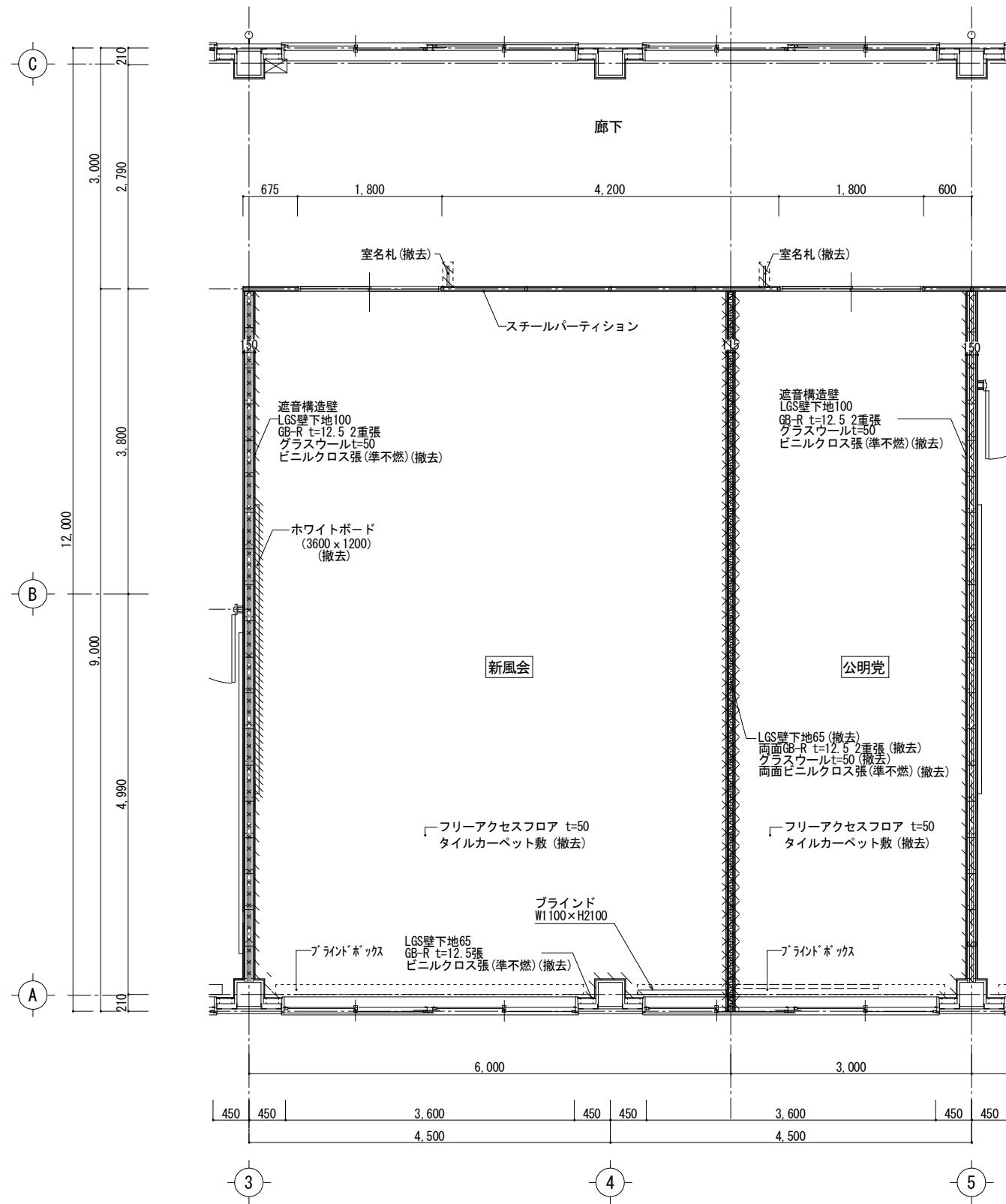
平面詳細図 S=1/50



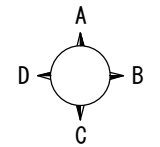
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松 靖之	S=1/50		A-64
工事完成	年度										(改修後) 書庫 平面詳細図・展開図		



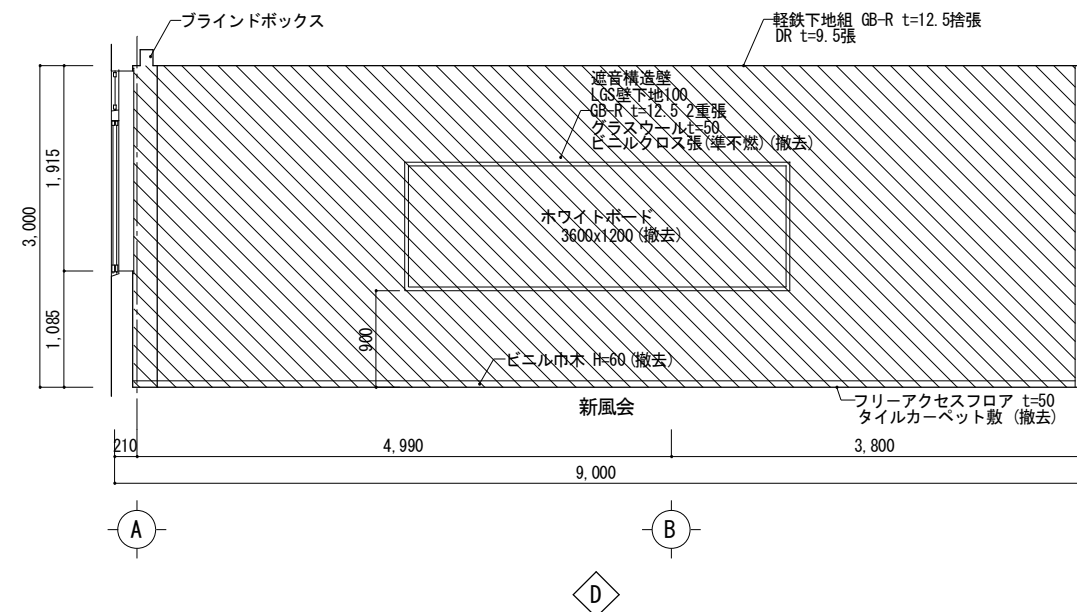
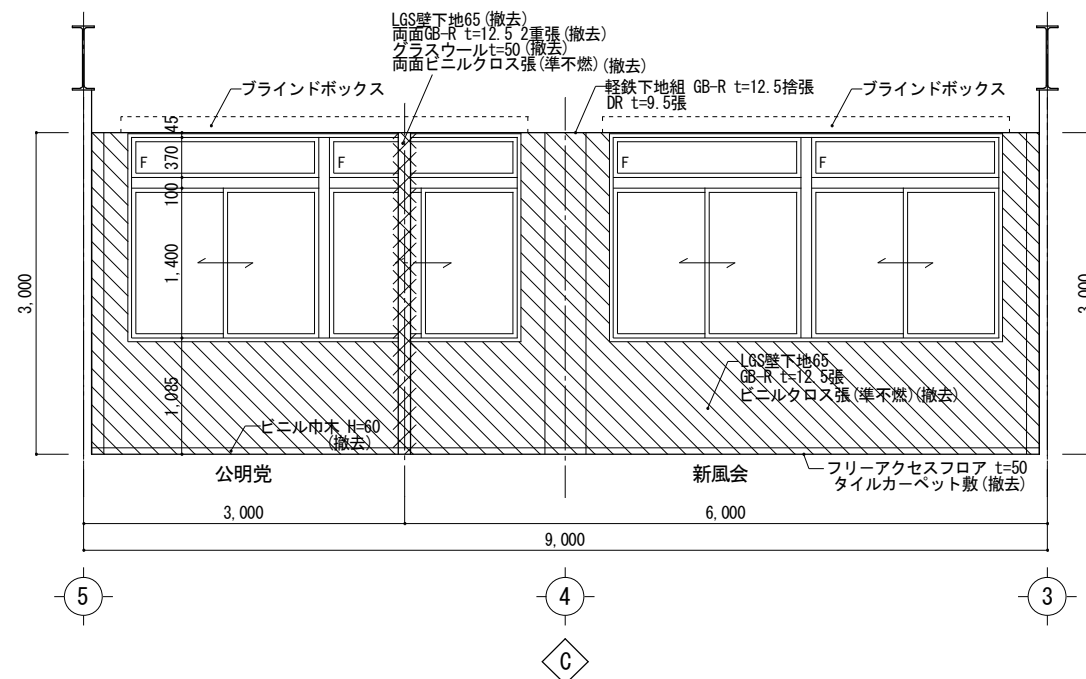
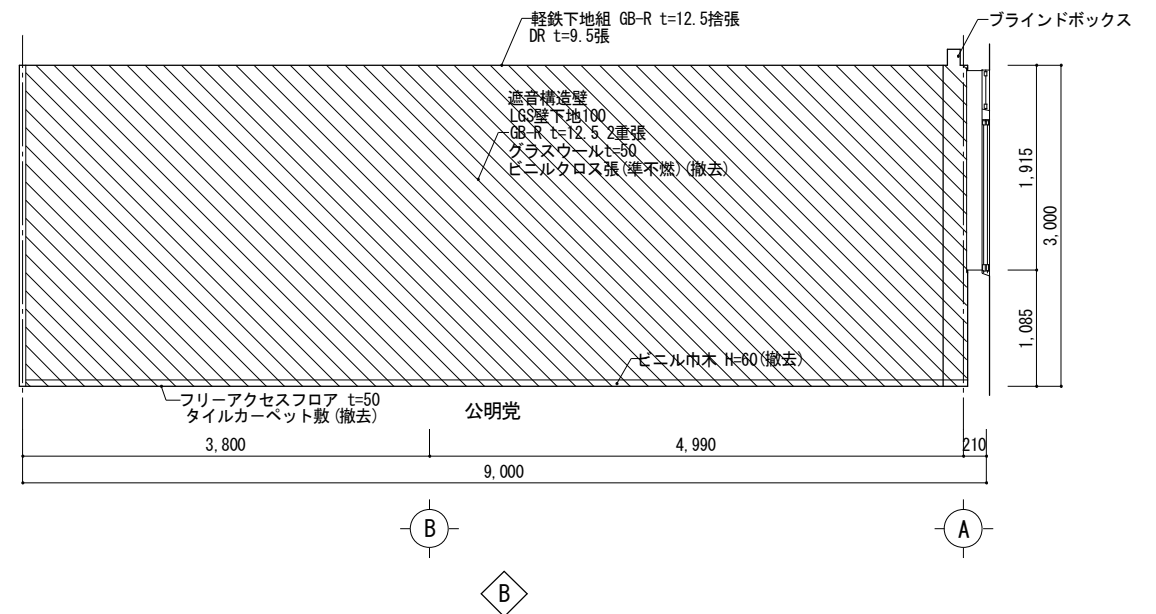
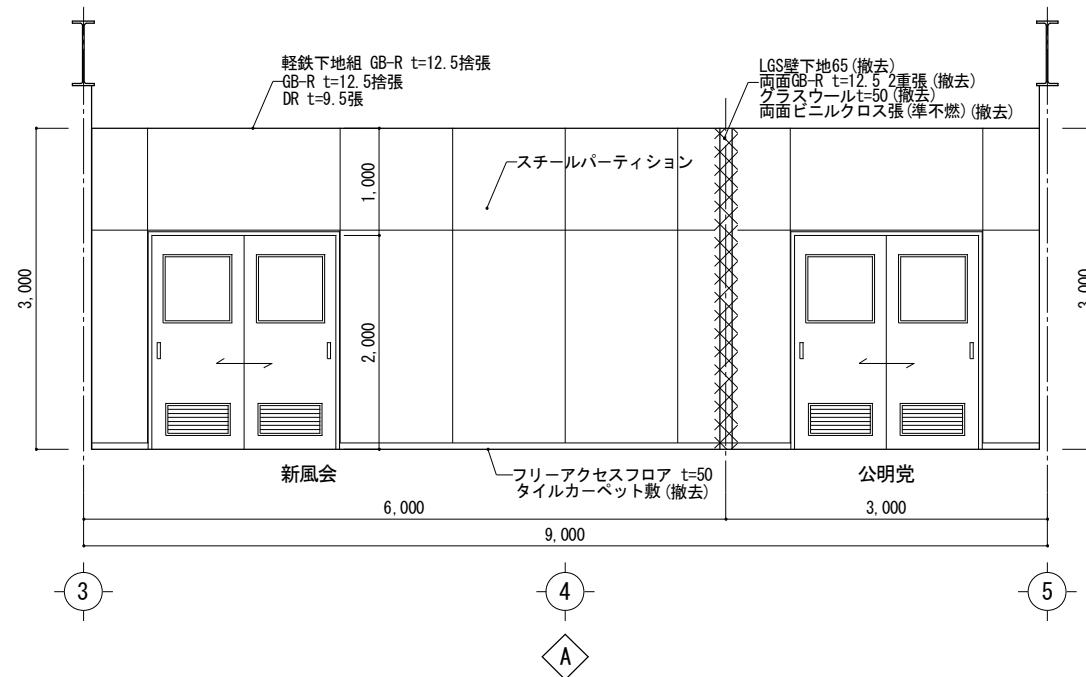
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

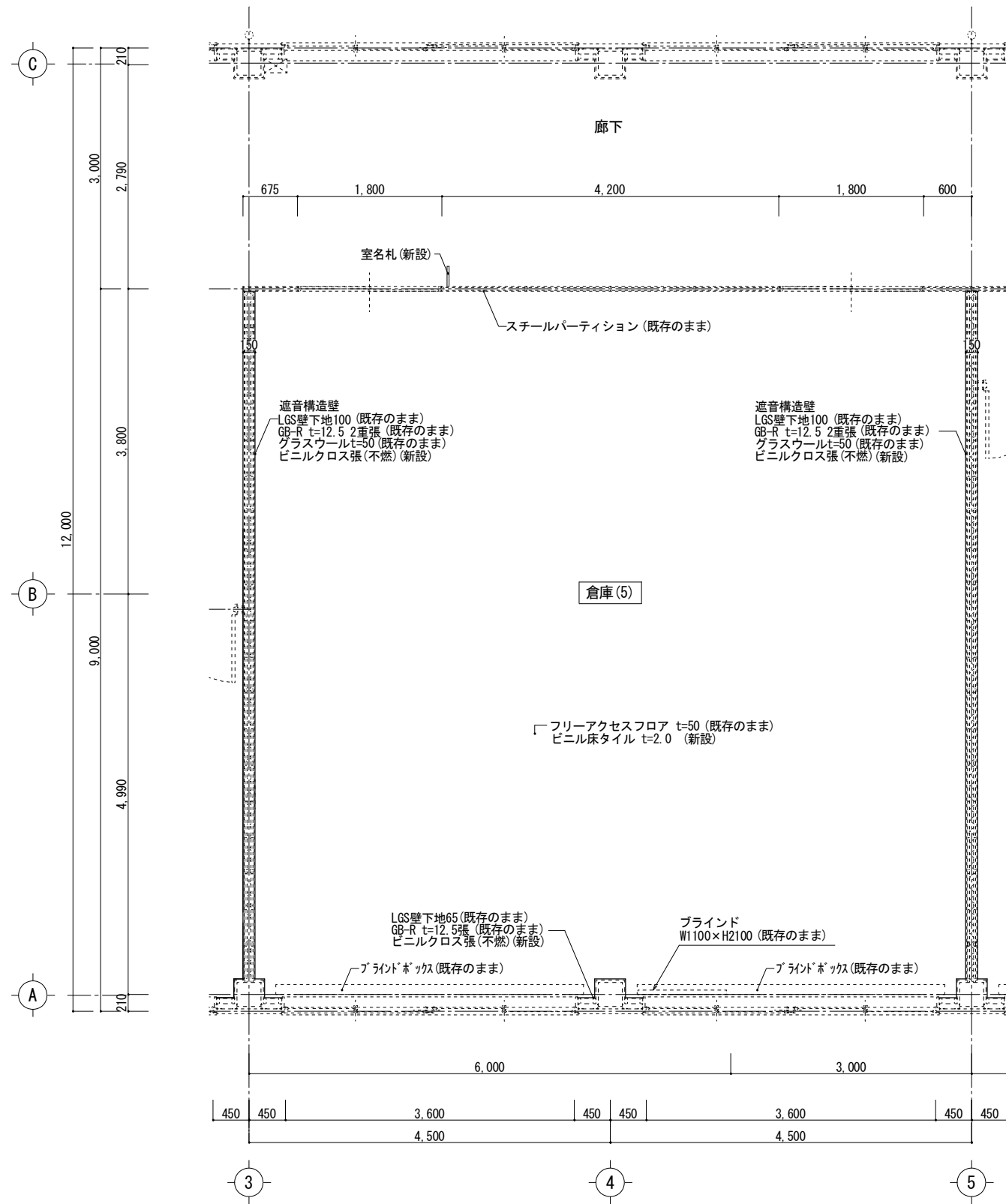
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 新風会・公明党 平面詳細図	A-65



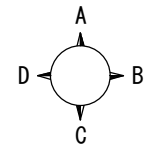
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前)新風会・公明党 展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-66
---------------------	-----------------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	---------------------------------------	------------------------



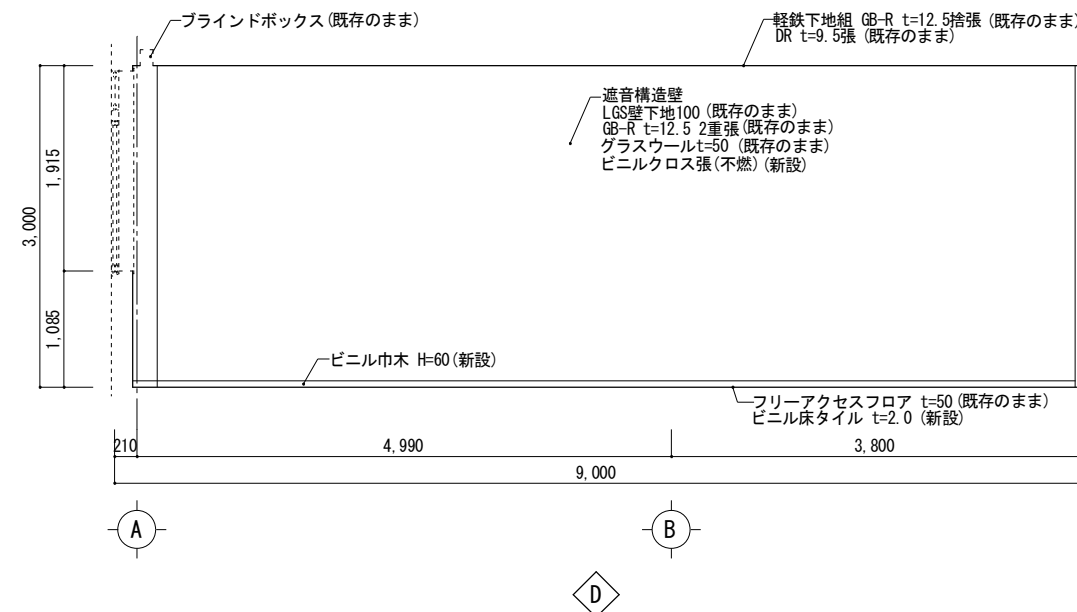
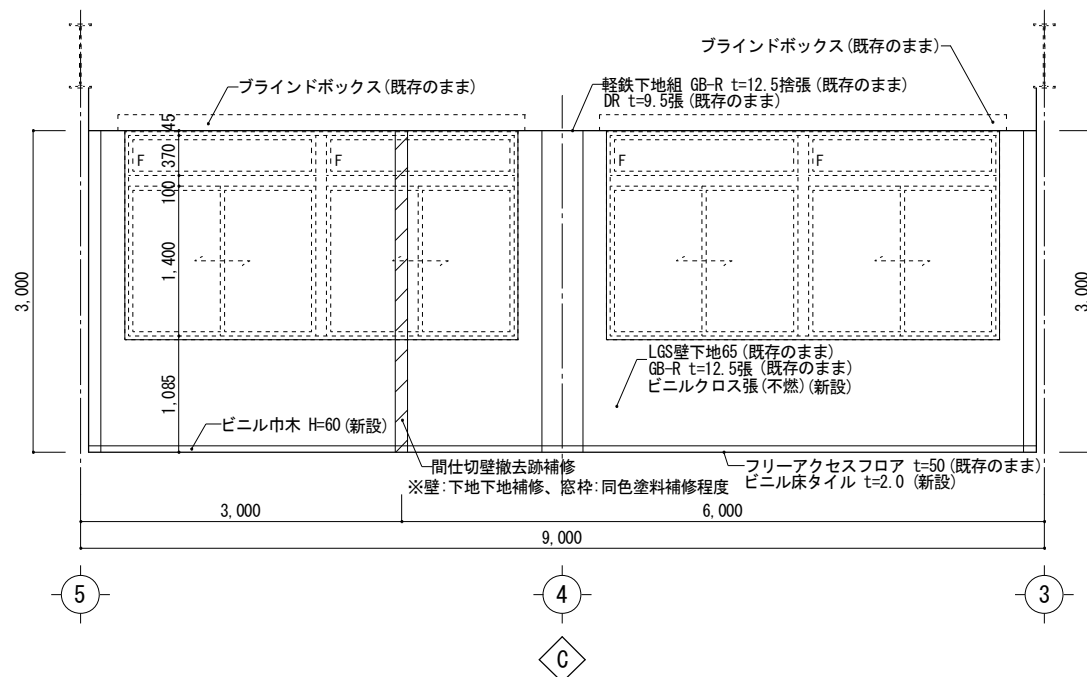
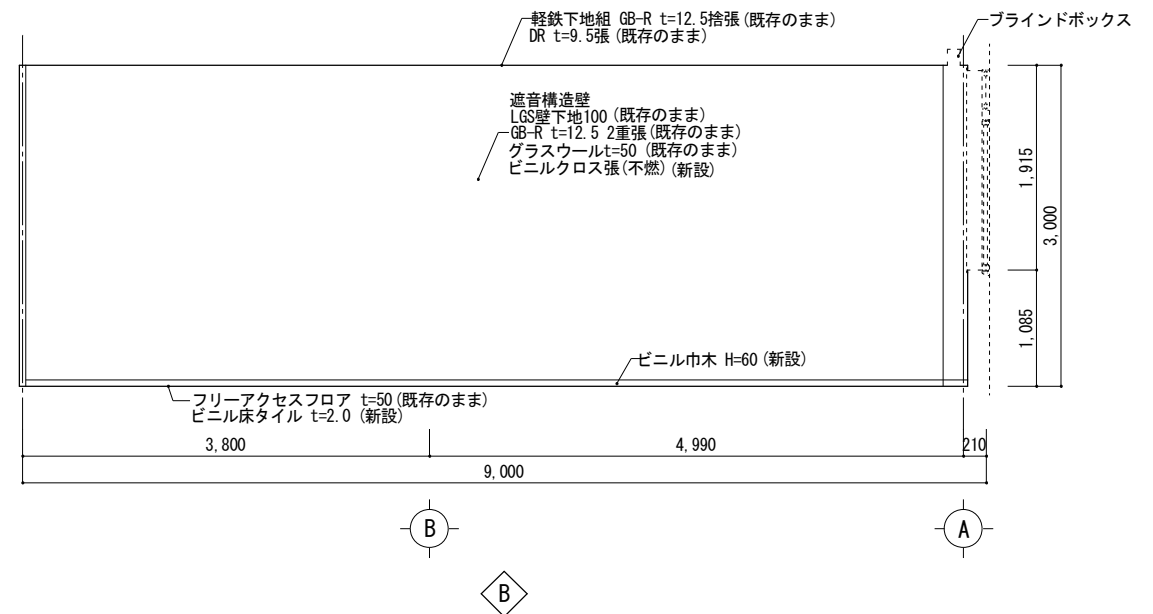
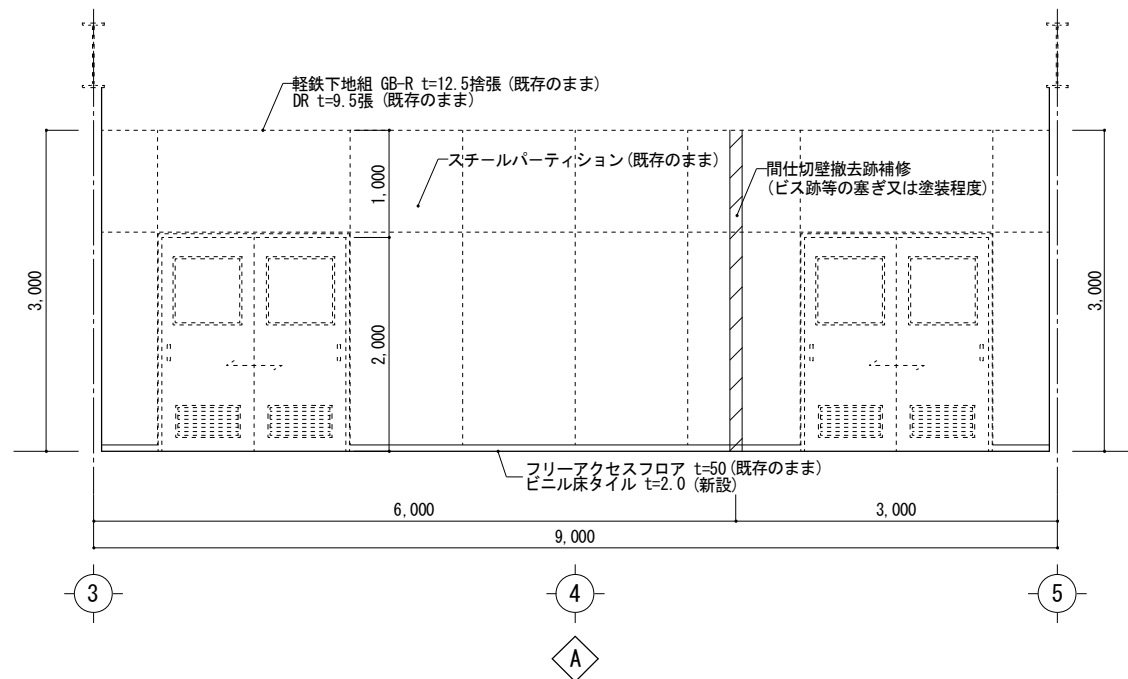
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

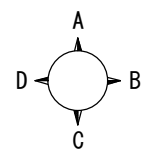
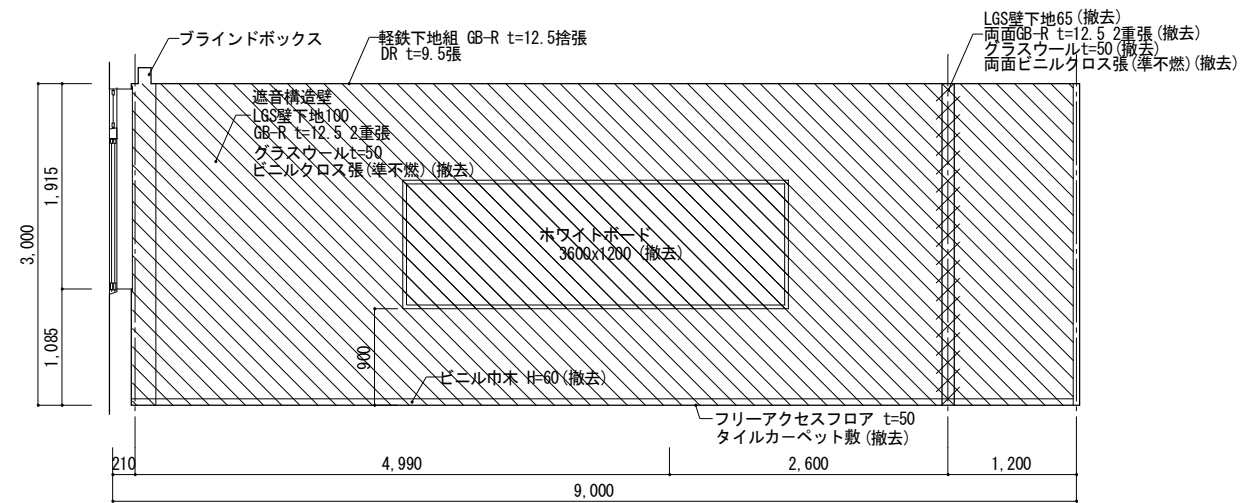
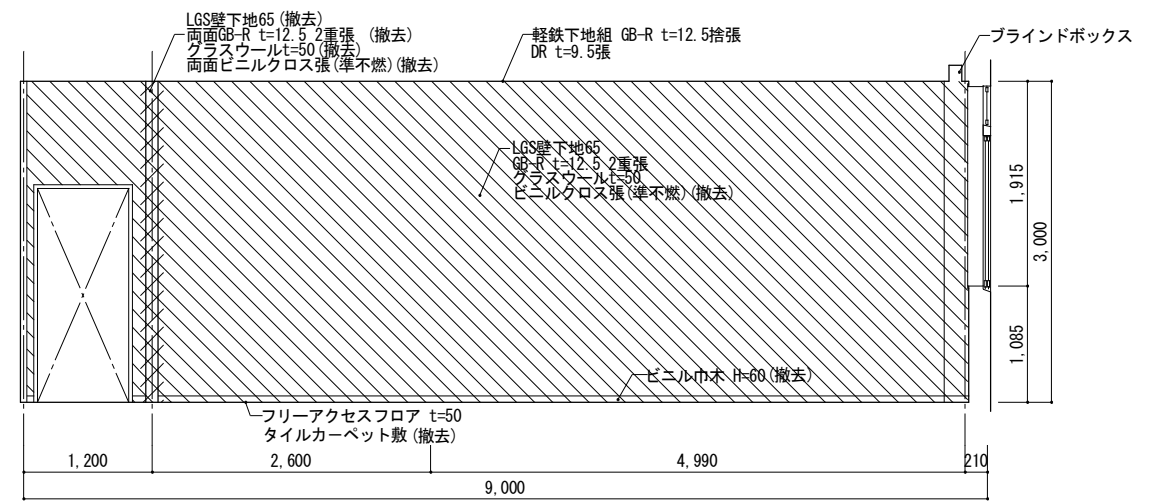
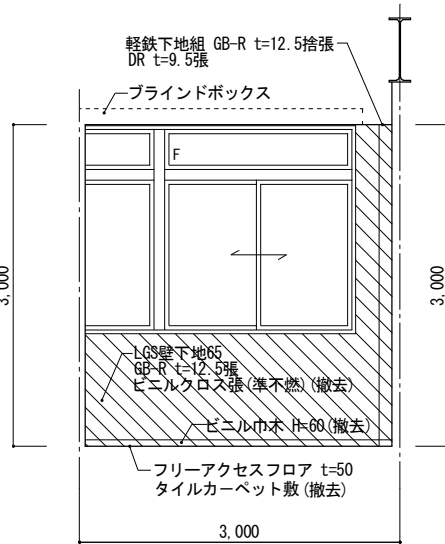
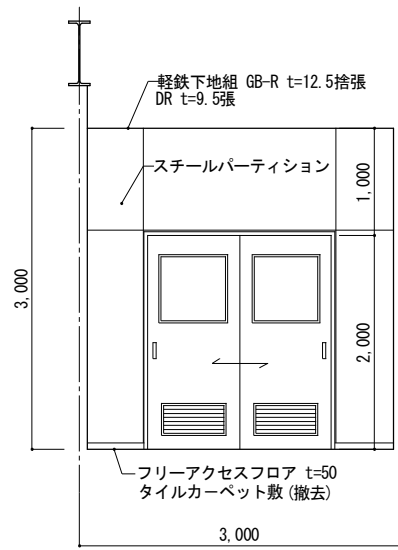
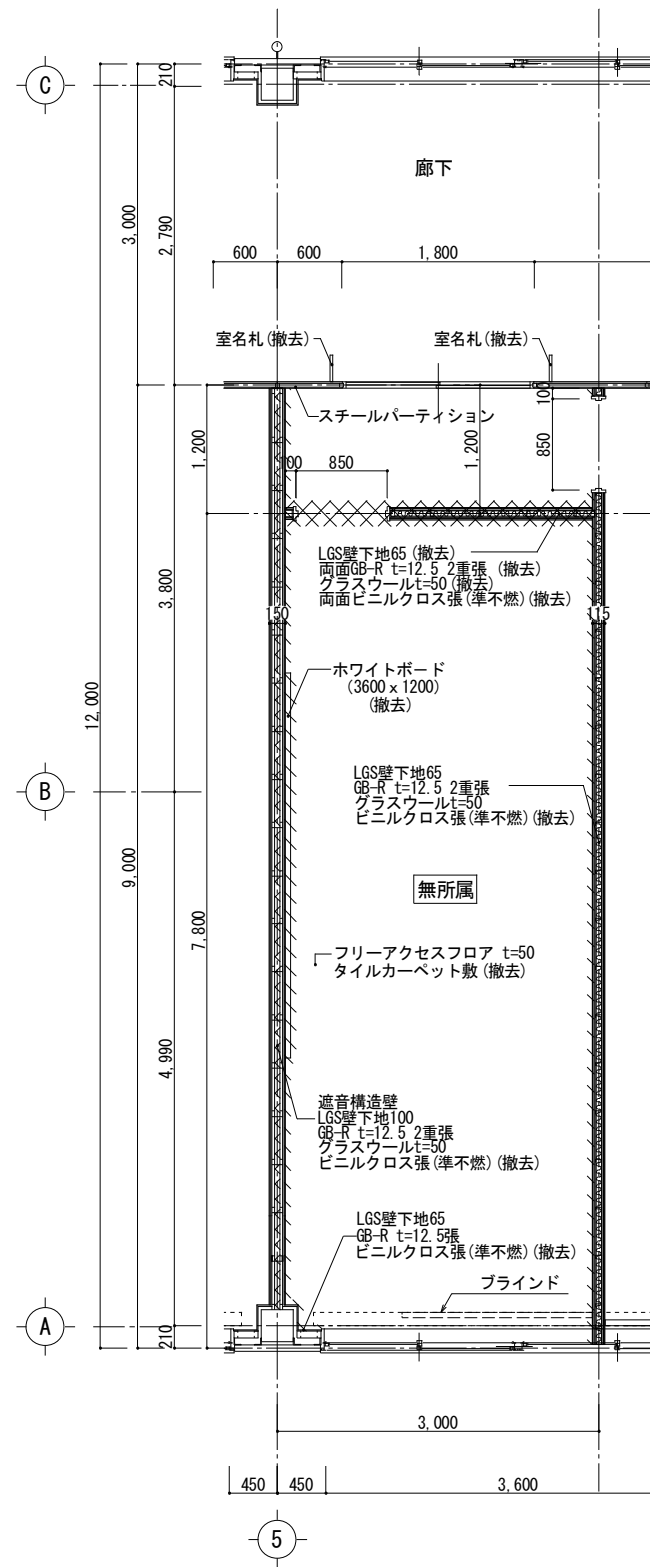
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 倉庫(5) 平面詳細図			A-67



凡例

室名	工事対象室を示す。	——	改修範囲を示す。	-----	既存範囲を示す。
----	-----------	----	----------	-------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 倉庫 (5) 展開図	A-68

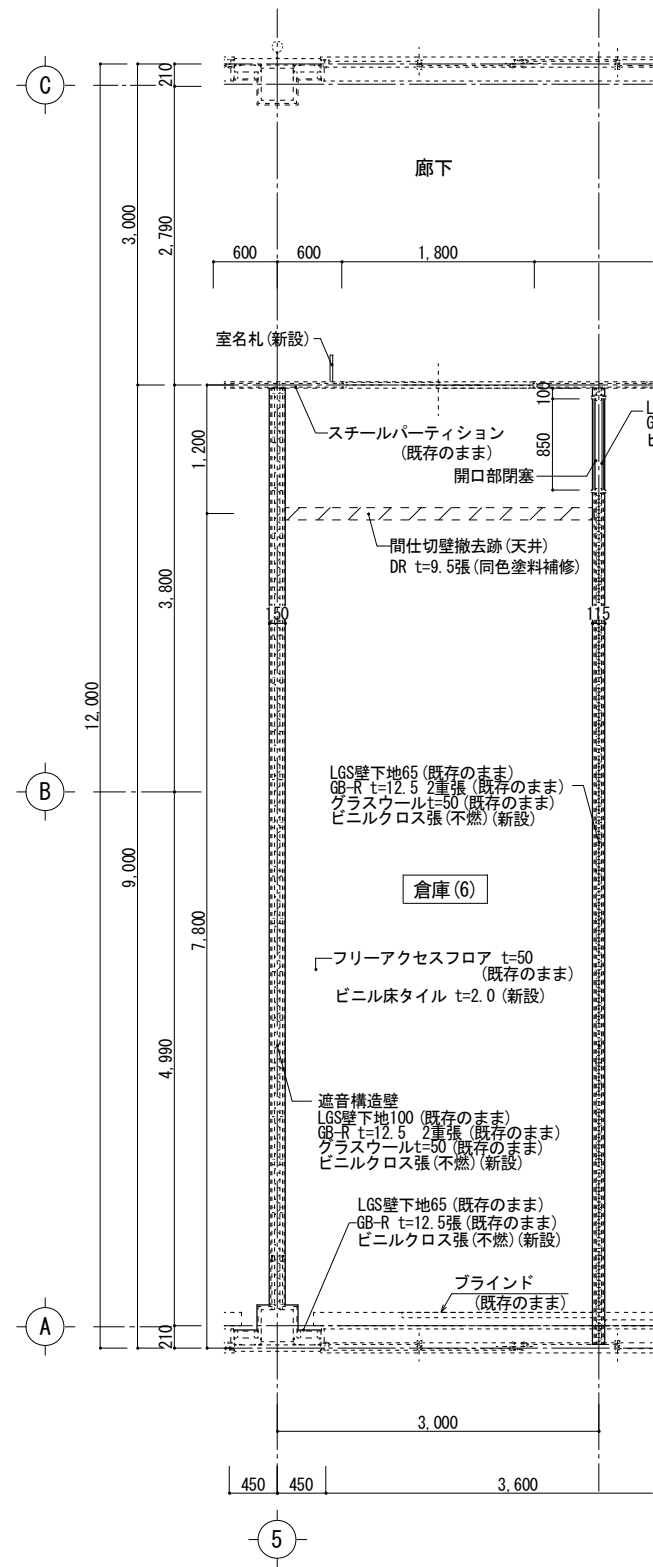


平面詳細図 S=1/50

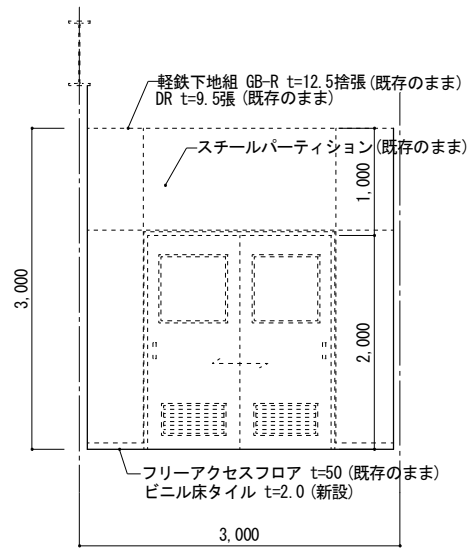
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

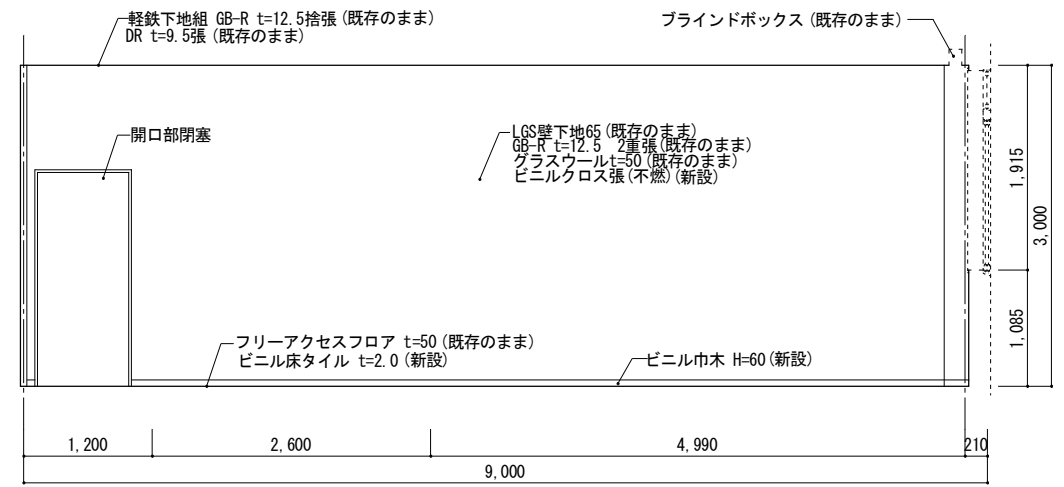
事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 無所属 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-69
---------------------	-----------------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	--	------------------------



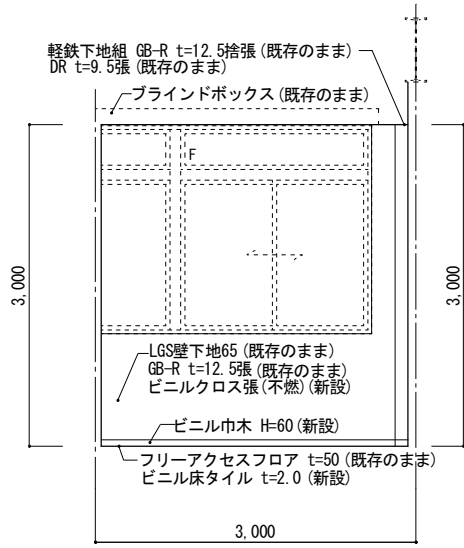
平面詳細図 S=1/50



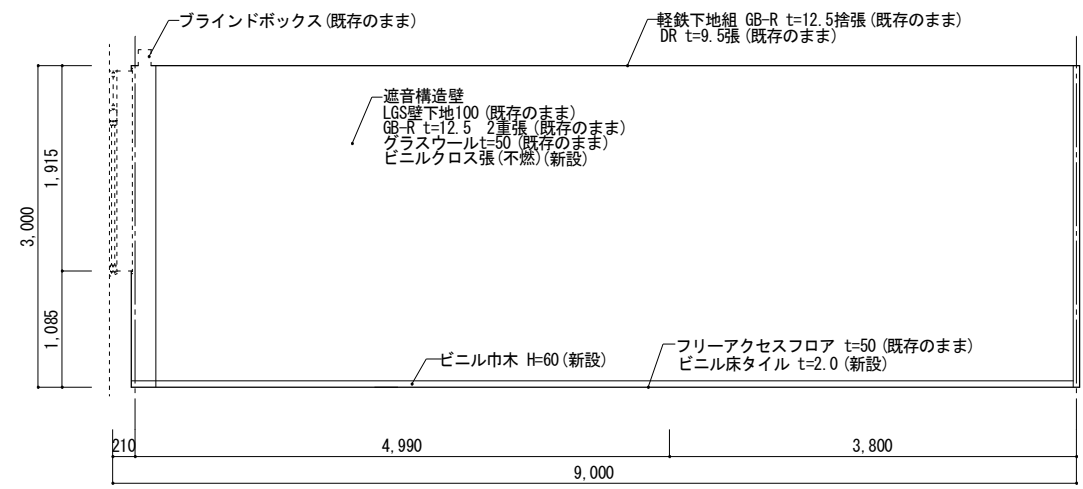
A



B



C



D

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度 年度	設計 令和 年月	大 中 小 地域 施設 種類	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修後) 倉庫(6) 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-70
------------	-------------	-------------------	---------------------------------	--	--	------------------------

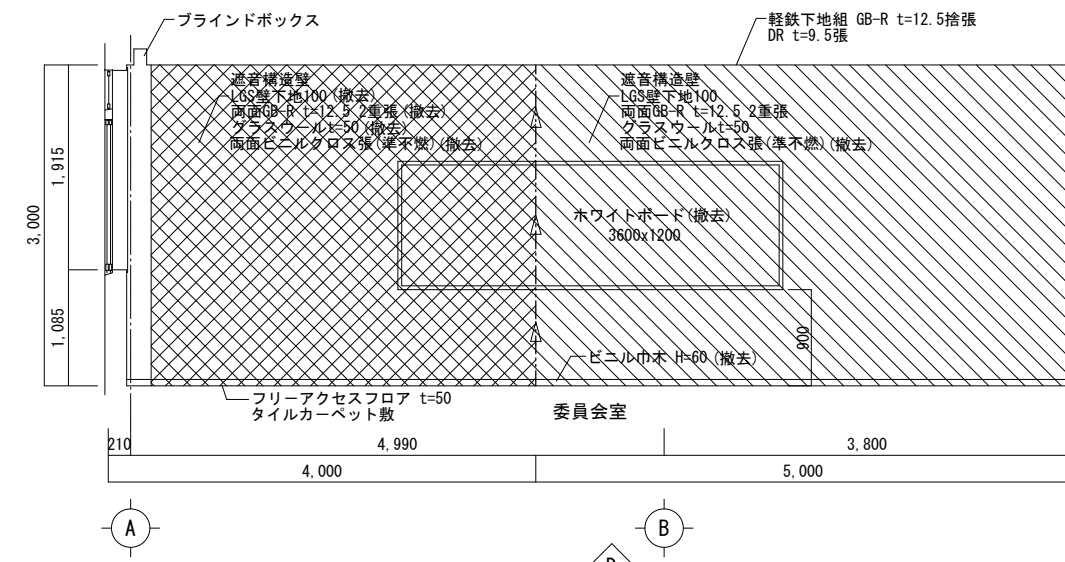
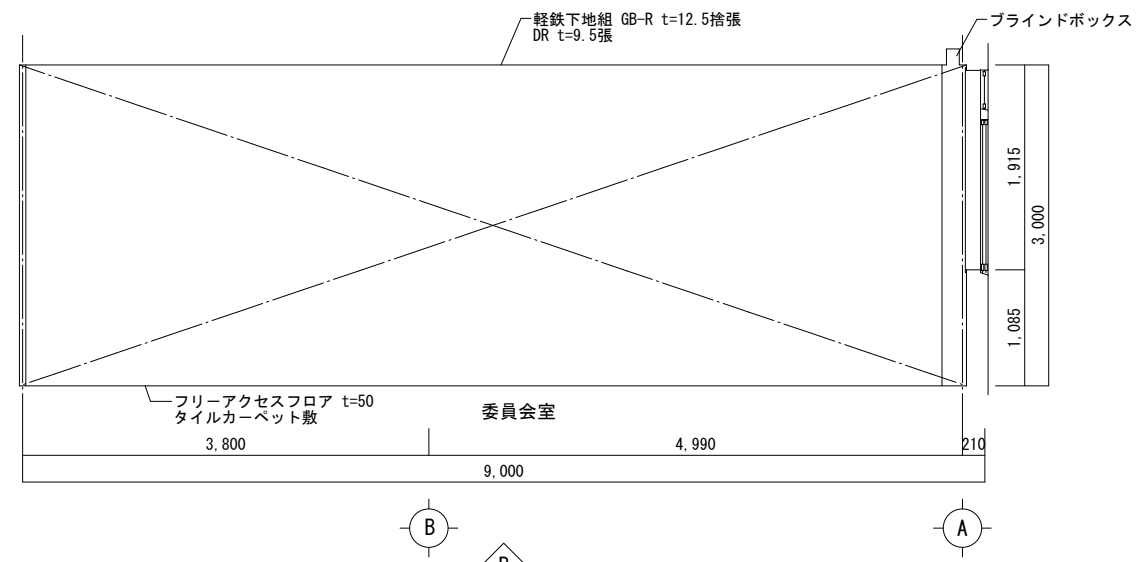
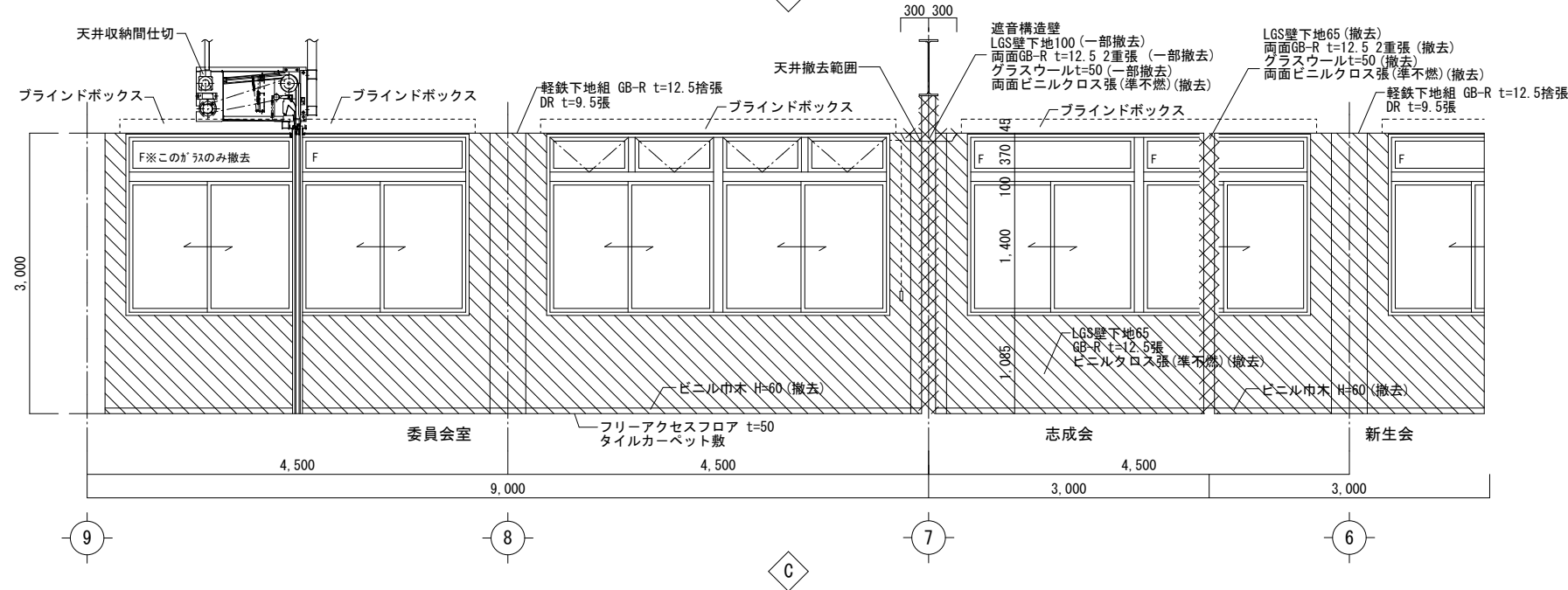
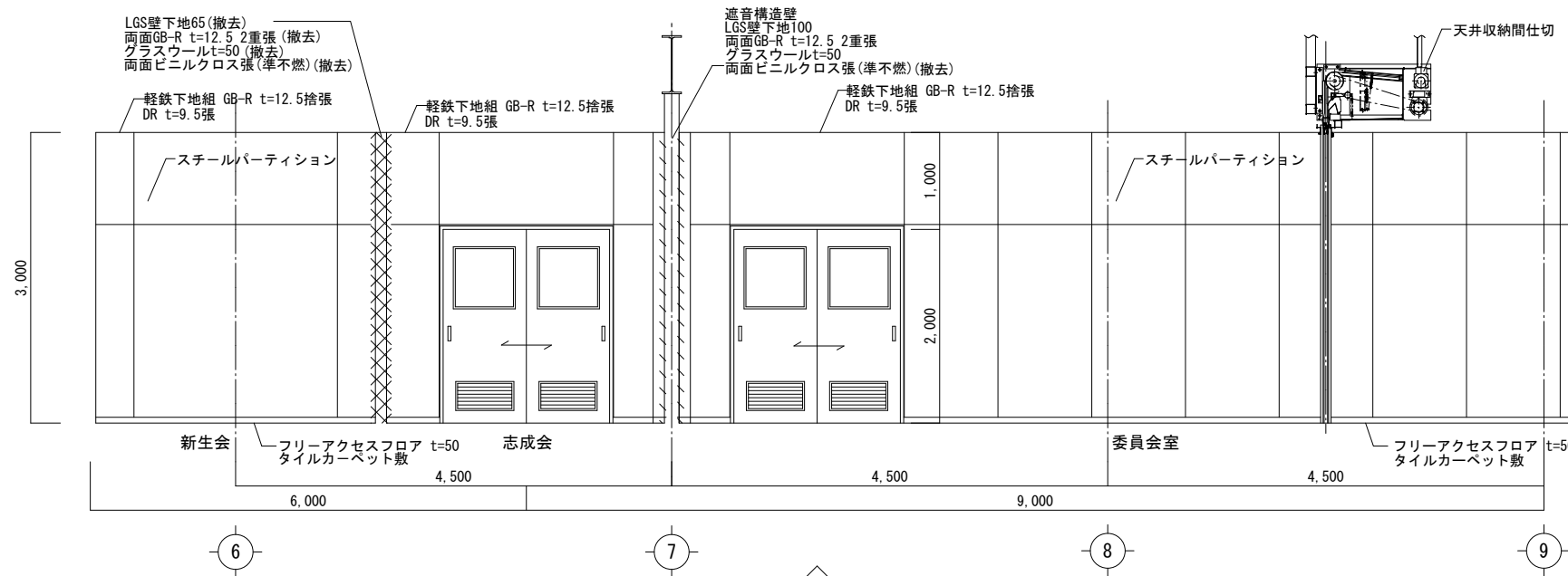


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

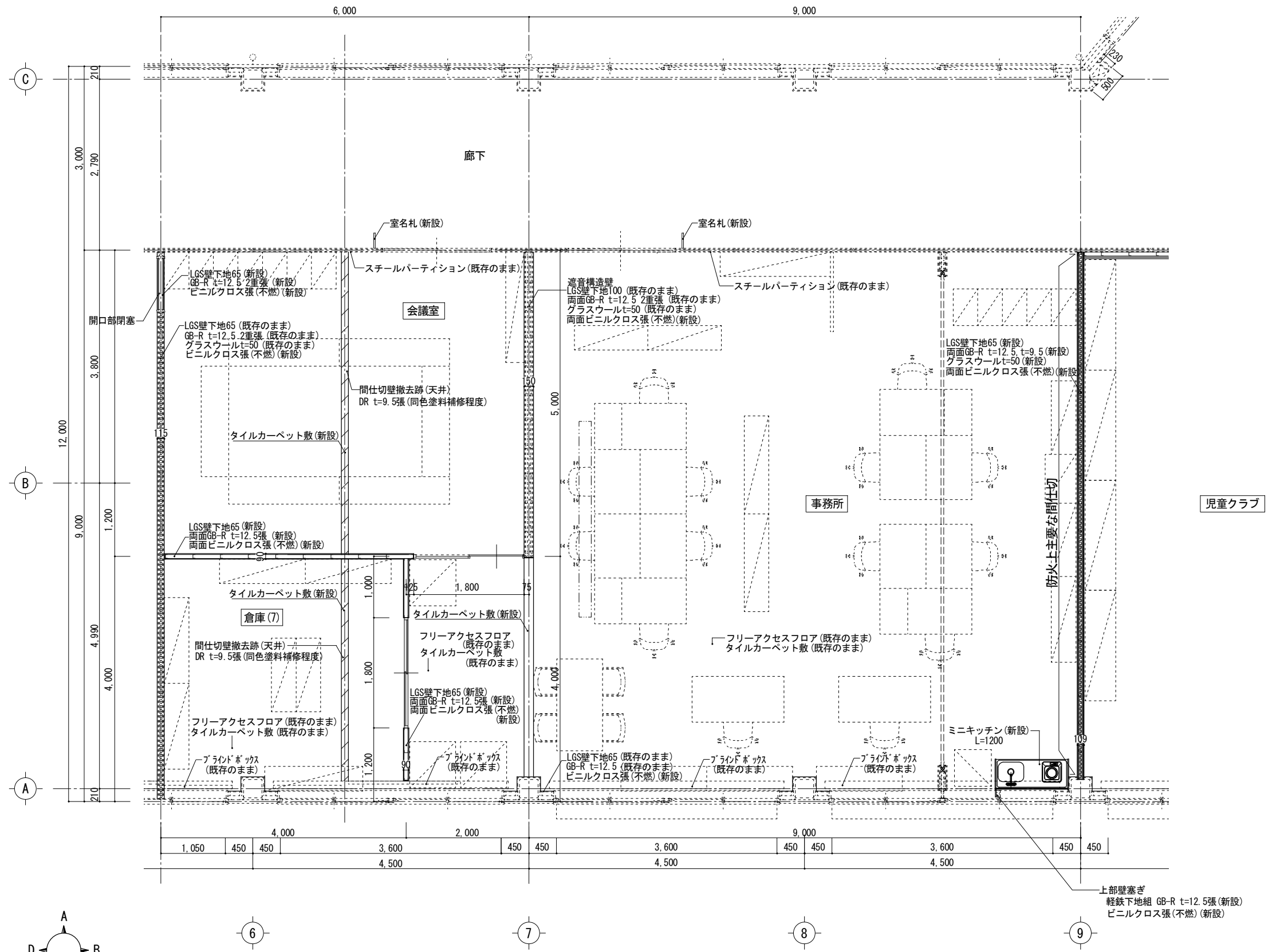
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 平面詳細図		A-71



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	S=1/50		A-72
工事完成	年度										(改修前) 新生会・志成会・委員会室 展開図		

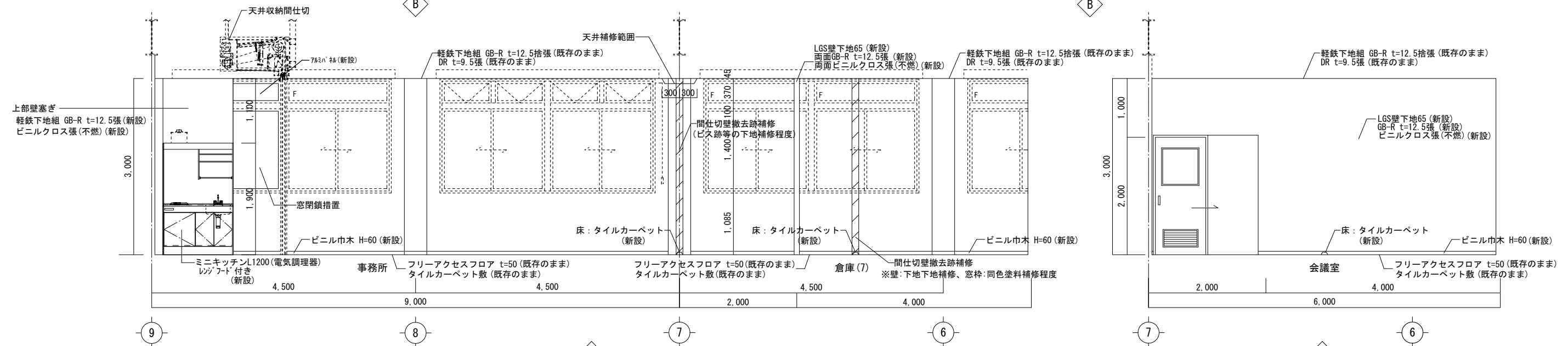
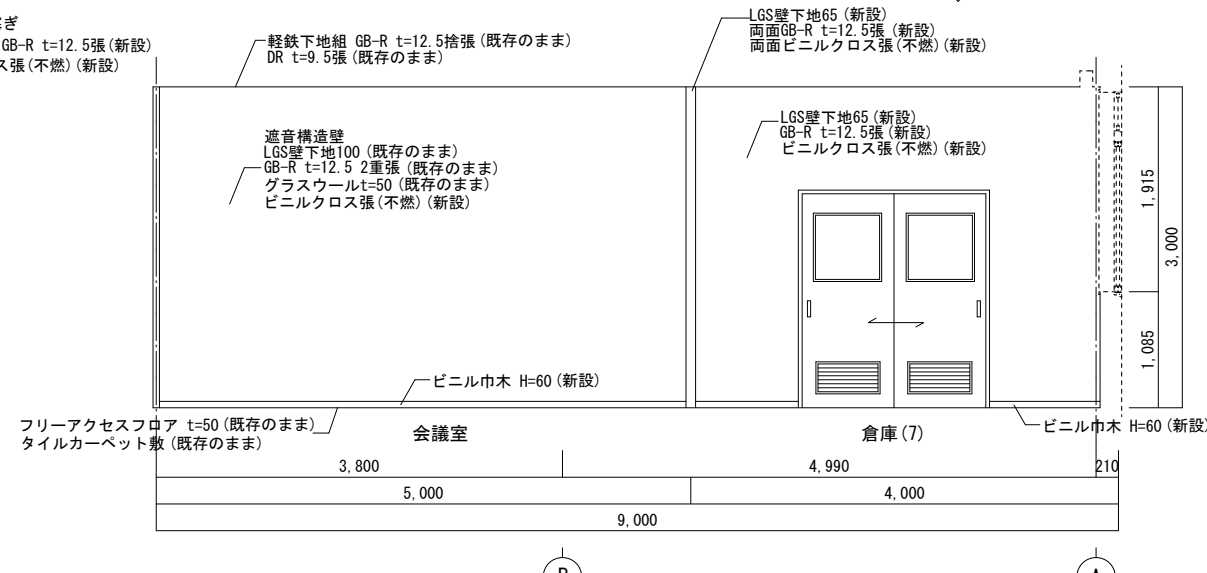
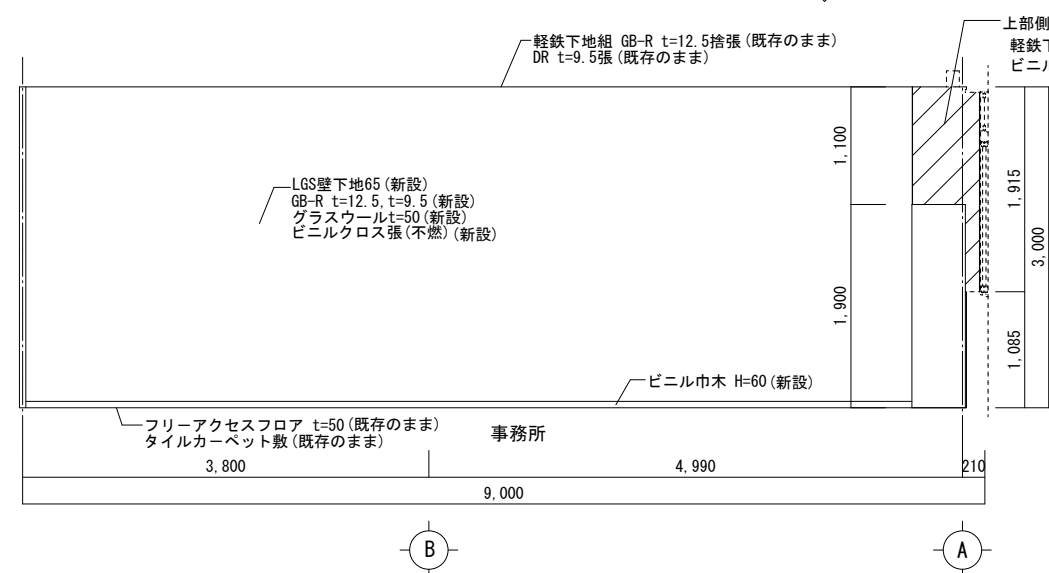
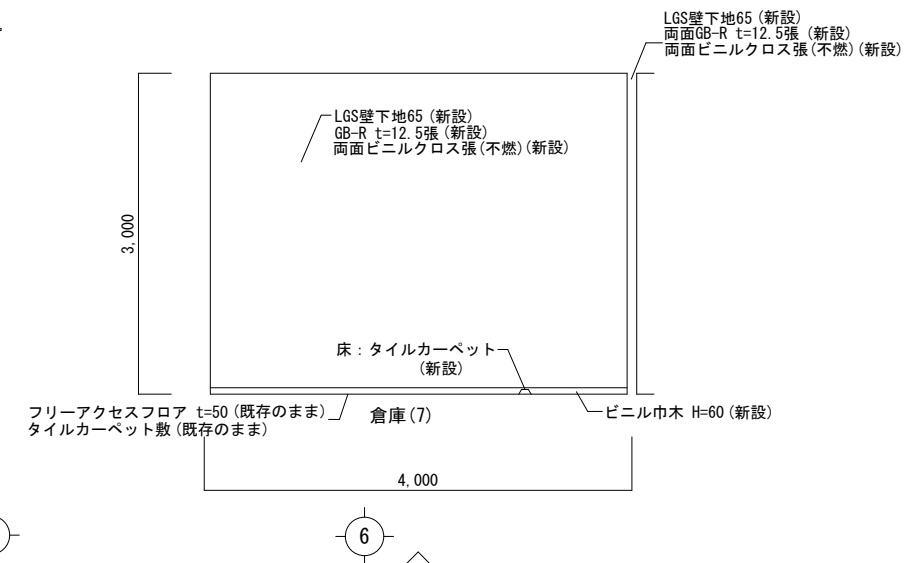
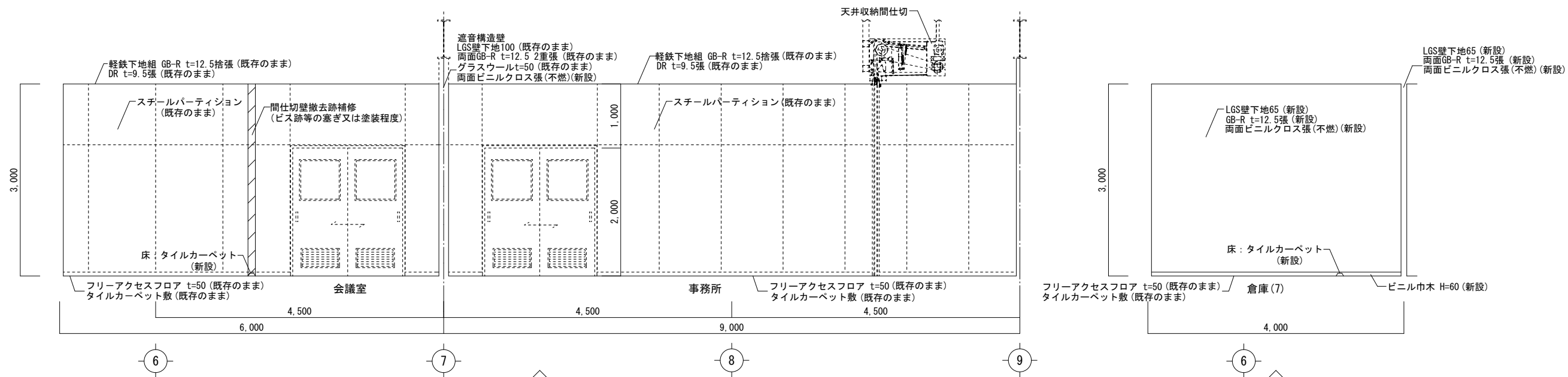


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

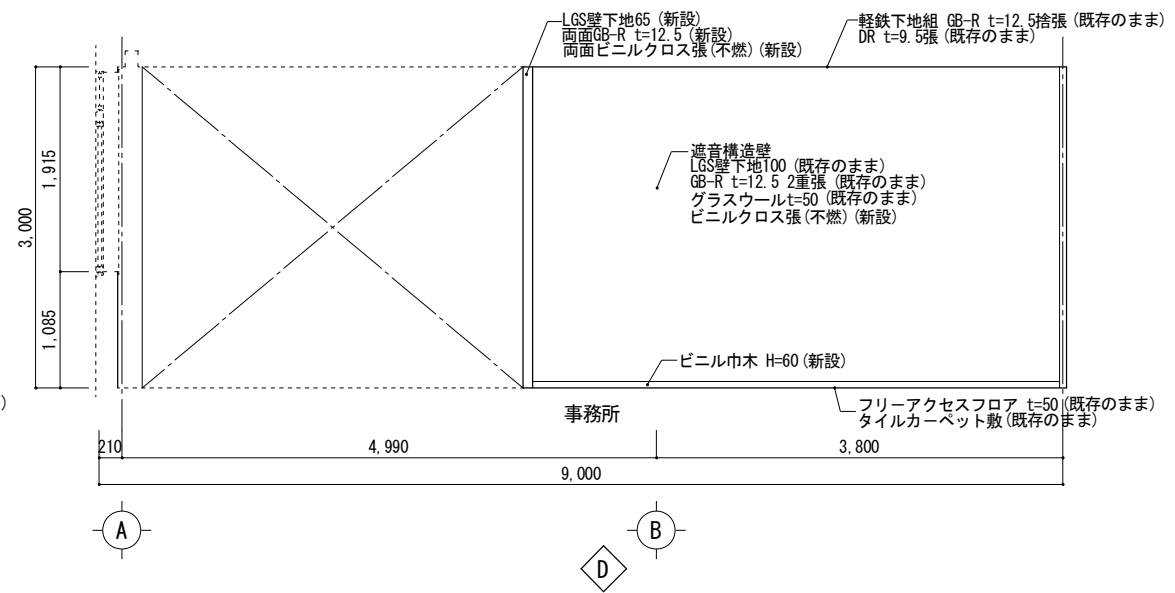
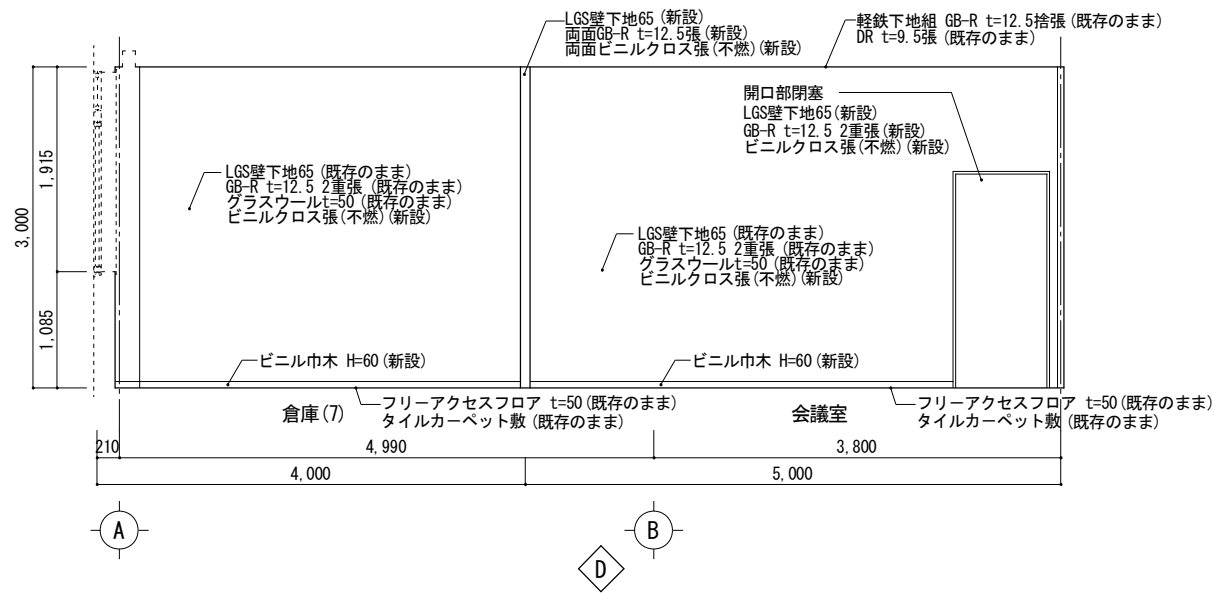
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 平面詳細図		A-73



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

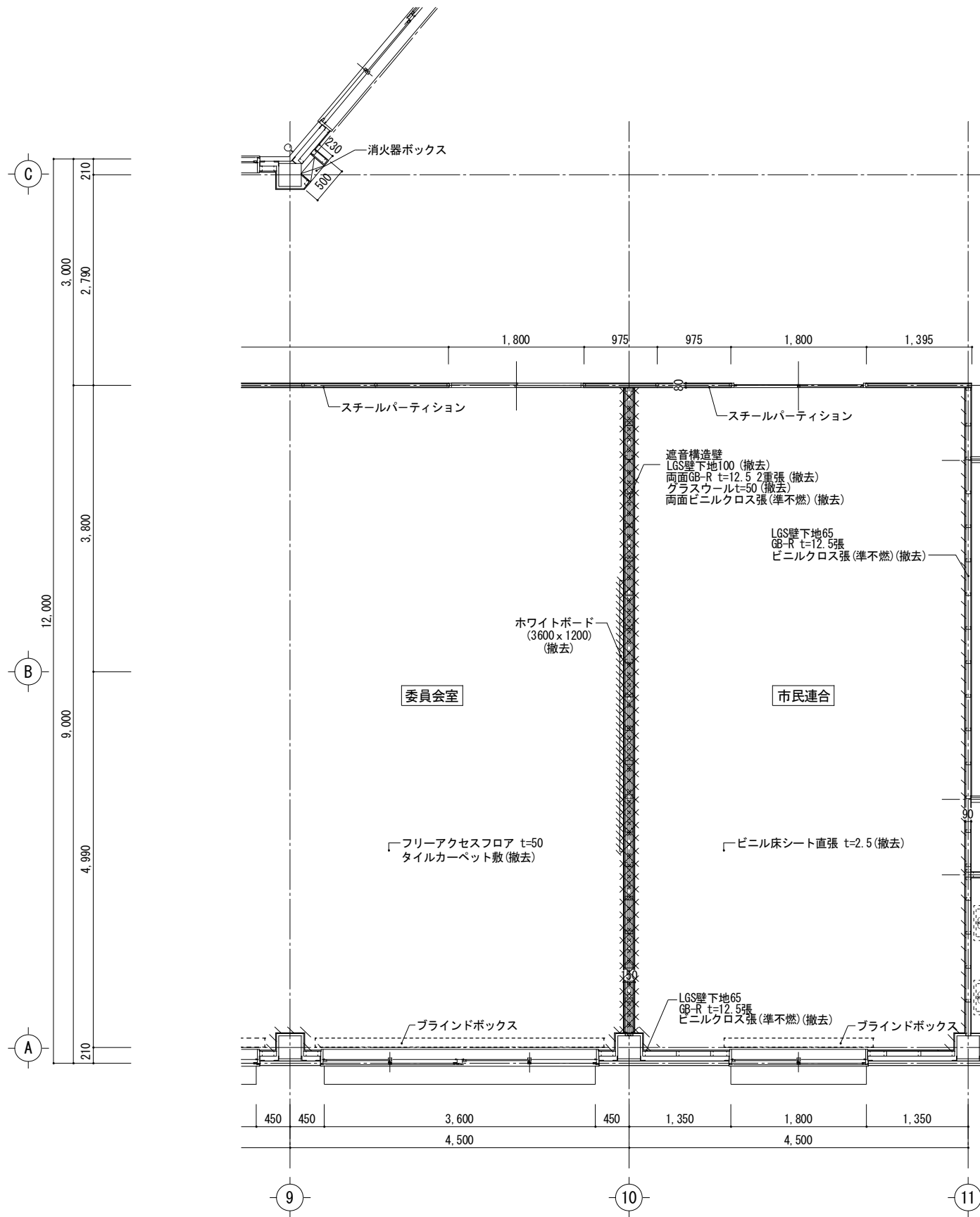
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之 印	S=1/50 (改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 展開図(1)		A-74



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 事務所・会議室・倉庫 (7) 展開図 (2)			A-75

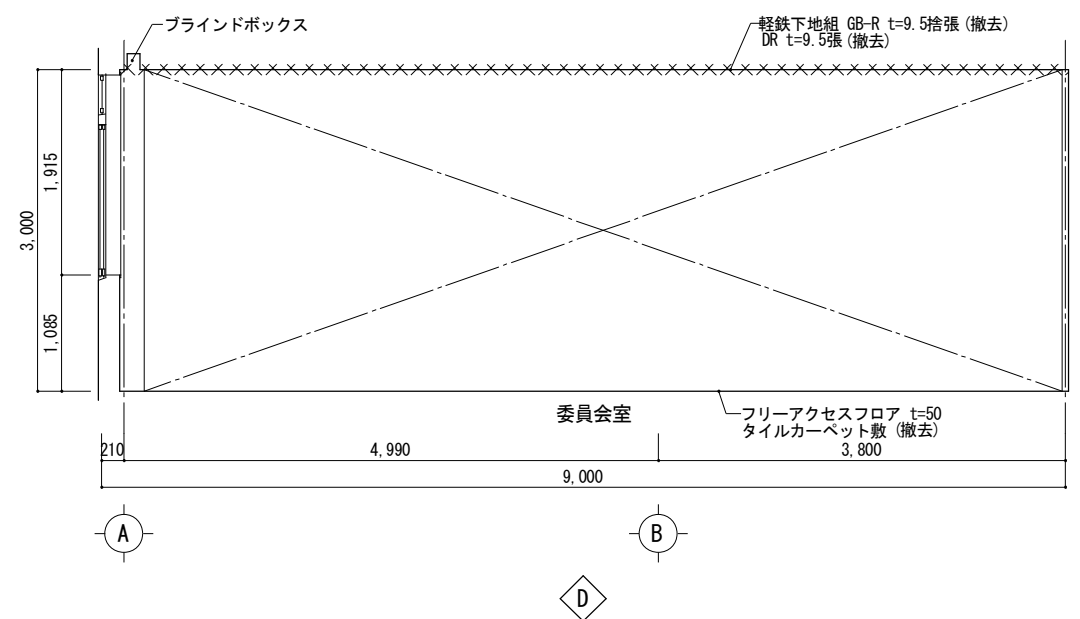
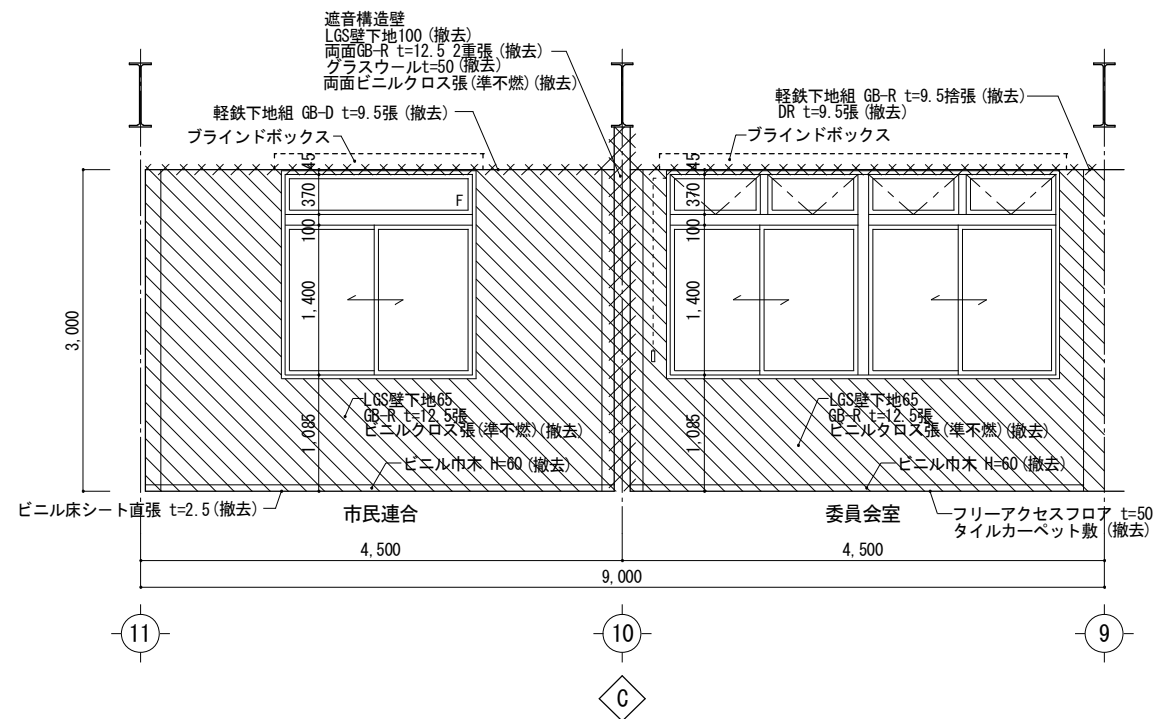
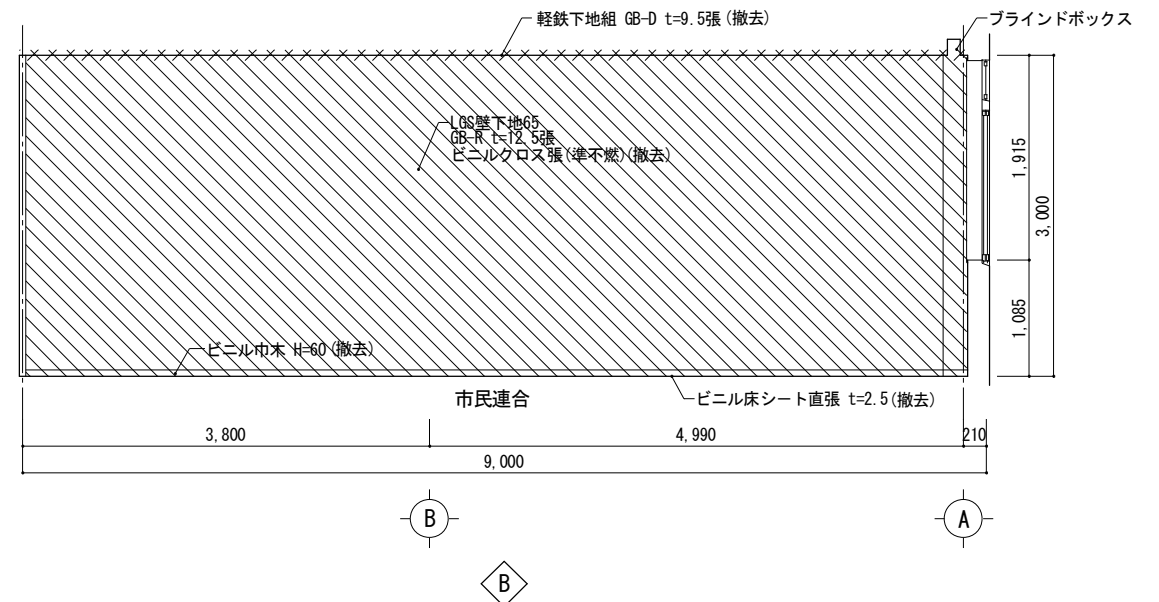
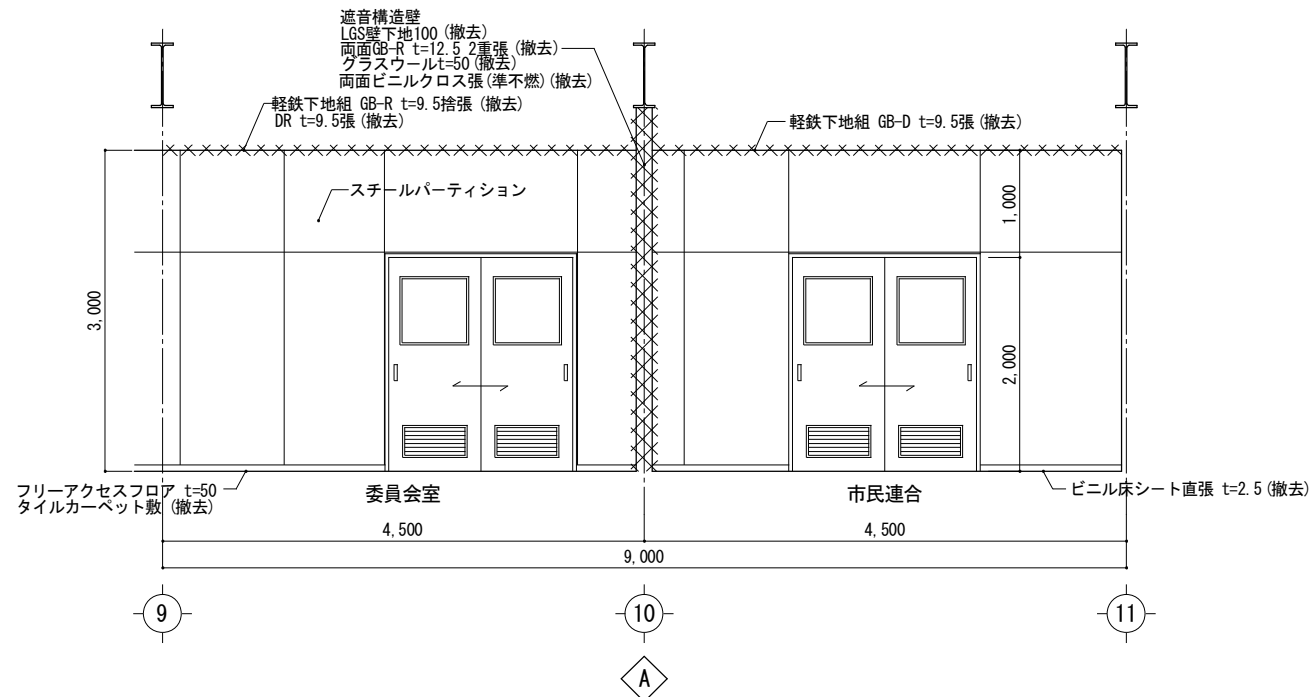


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

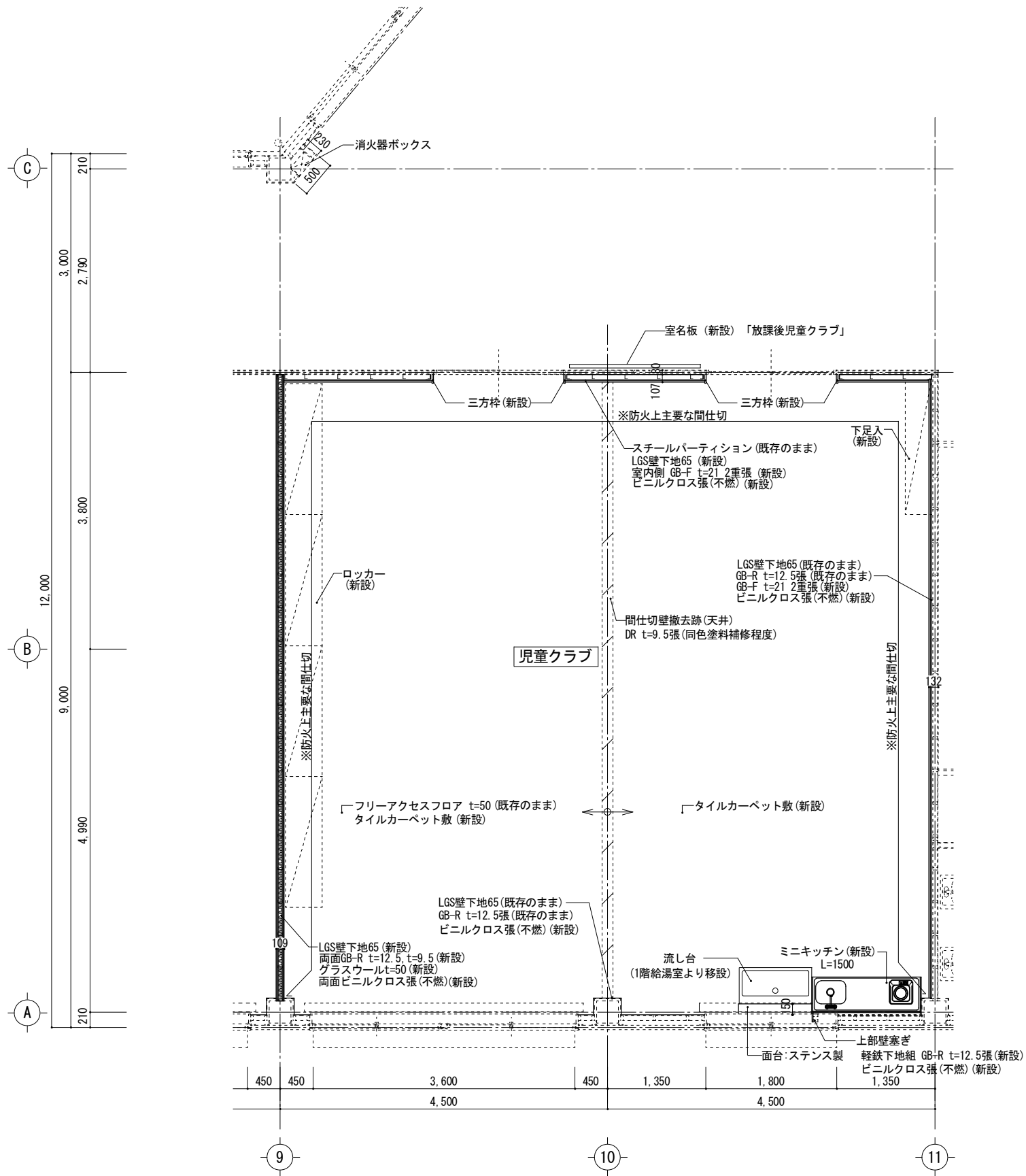
事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 委員会室・市民連合 平面詳細図	図番 A-76
---------------------	-----------------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	--	------------



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター一切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	------------

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 委員会室・市民連合 展開図	図番 A-77
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	--	------------

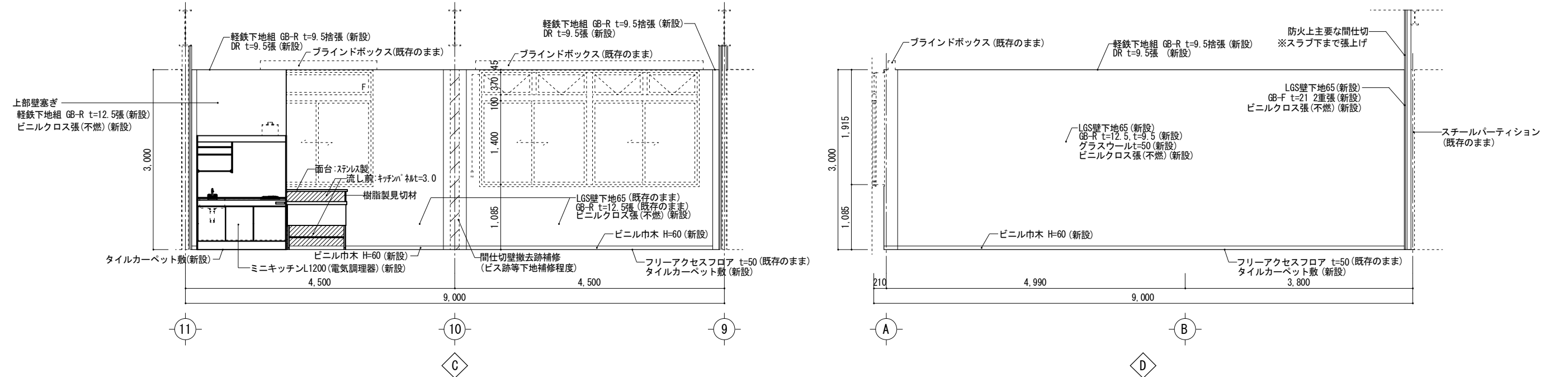
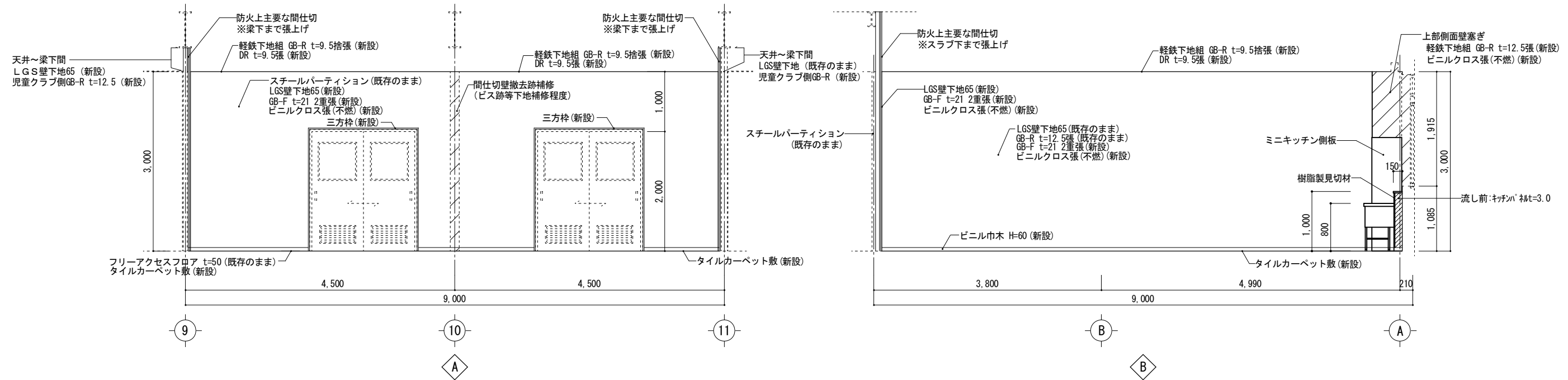


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

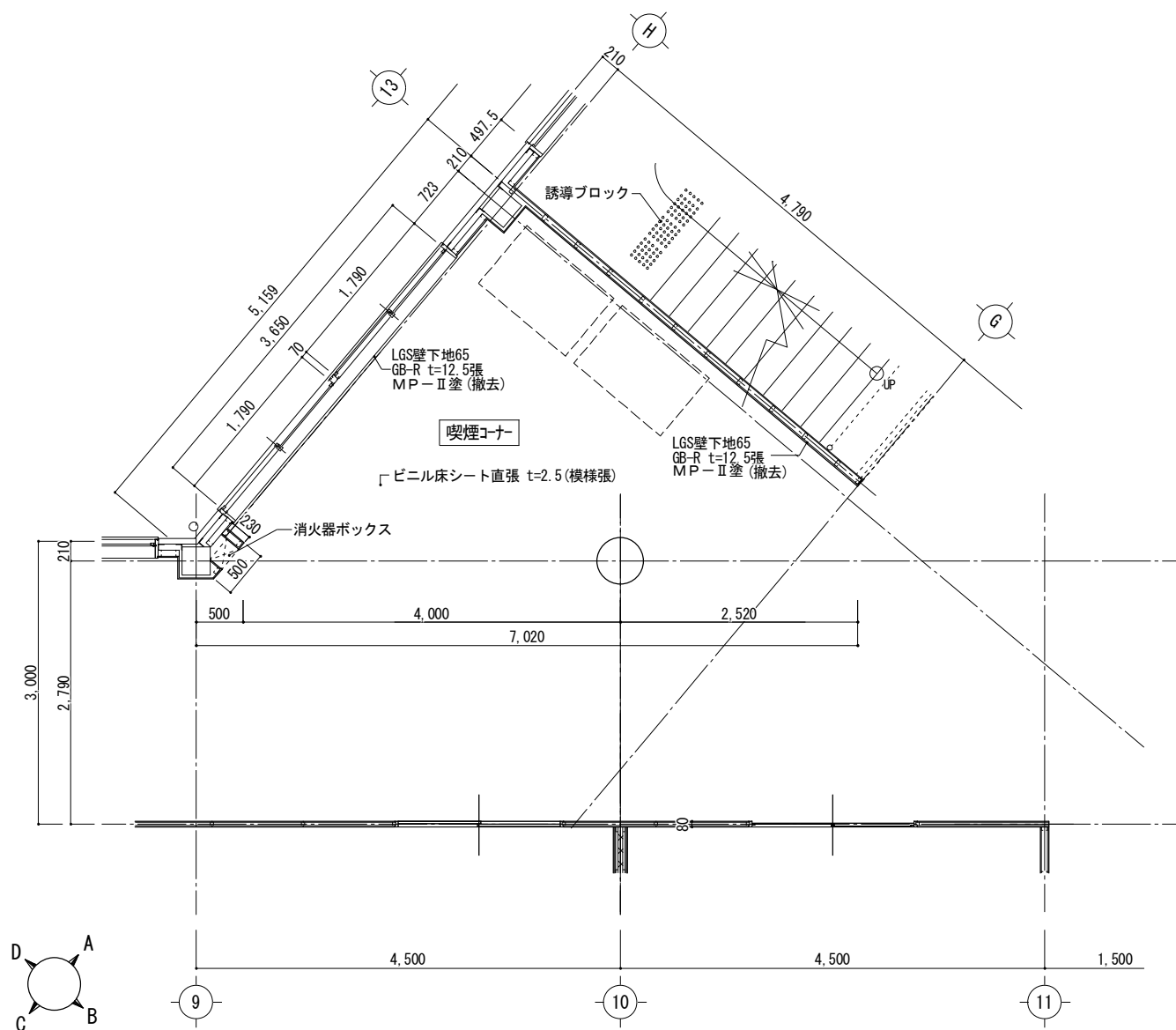
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 児童クラブ 平面詳細図		A-78



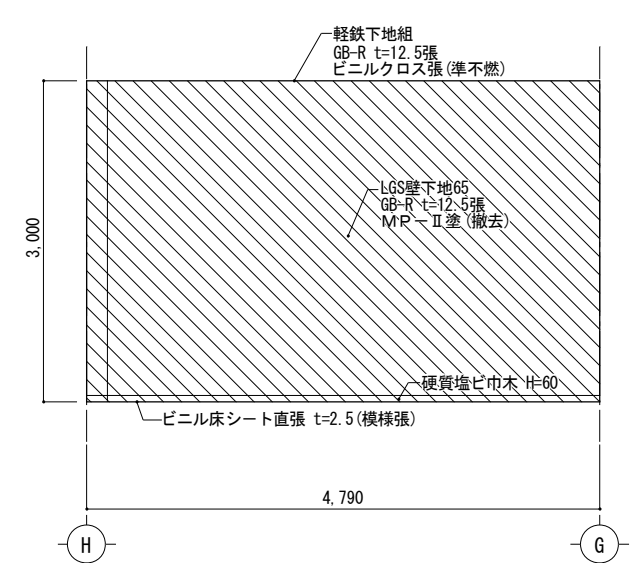
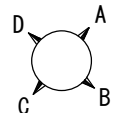
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

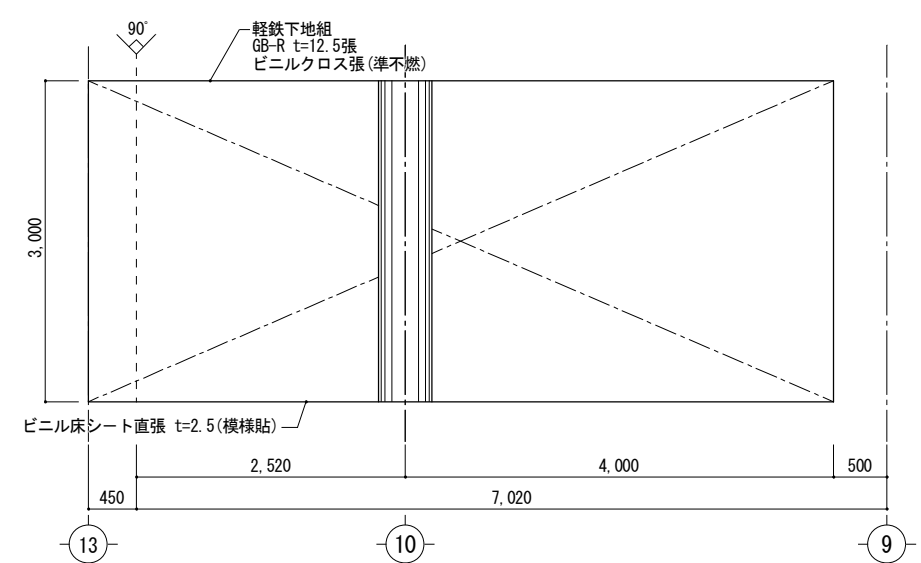
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 児童クラブ 展開図	A-79



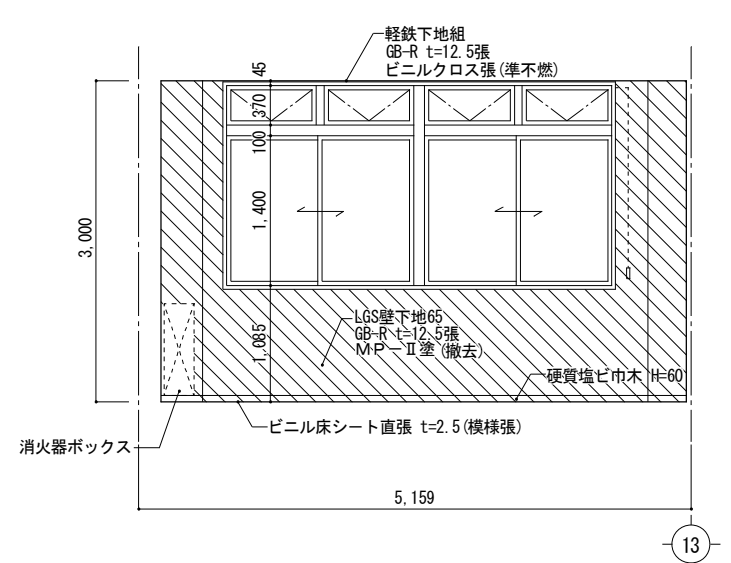
平面詳細図 S=1/50



A



B

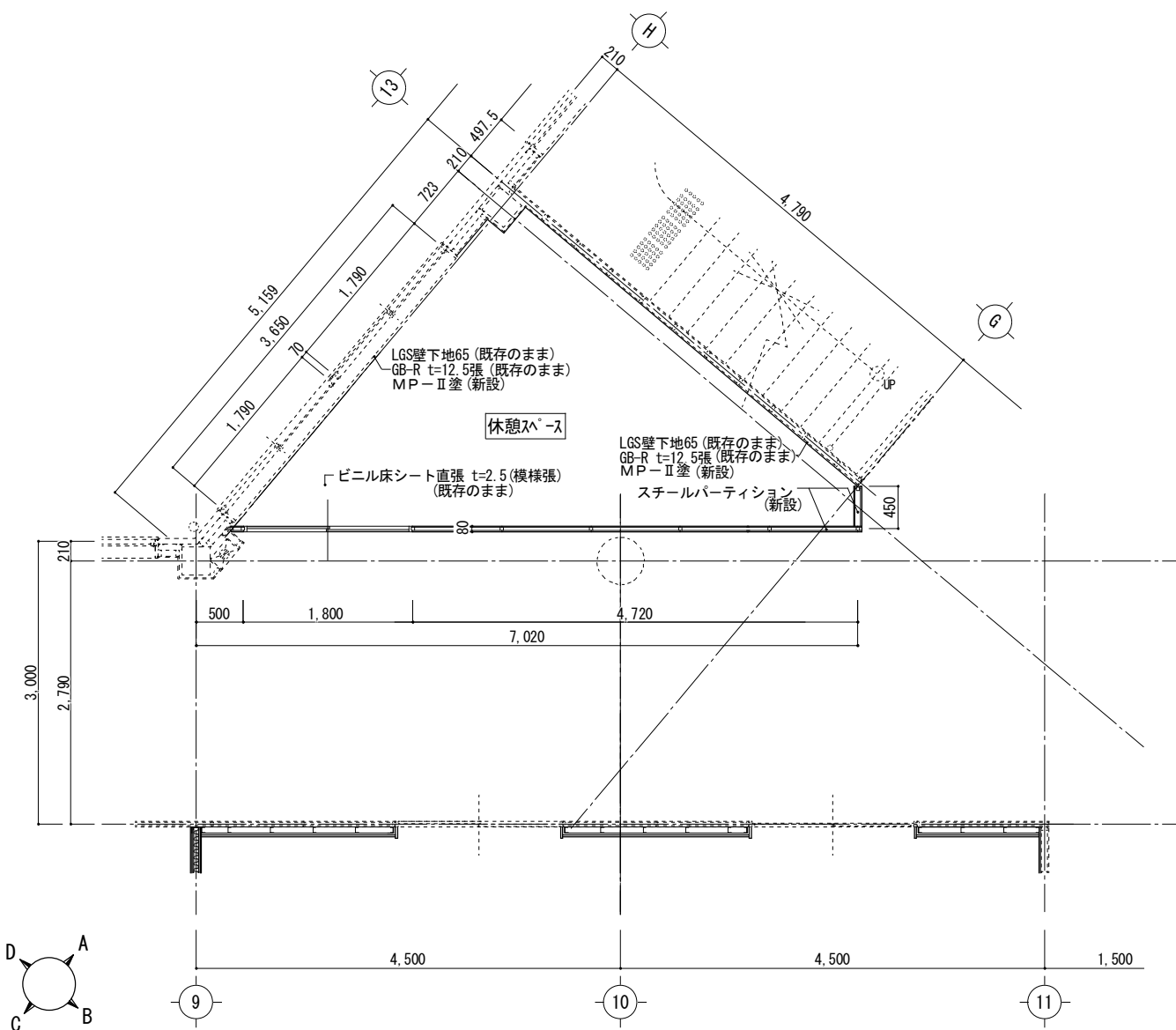


D

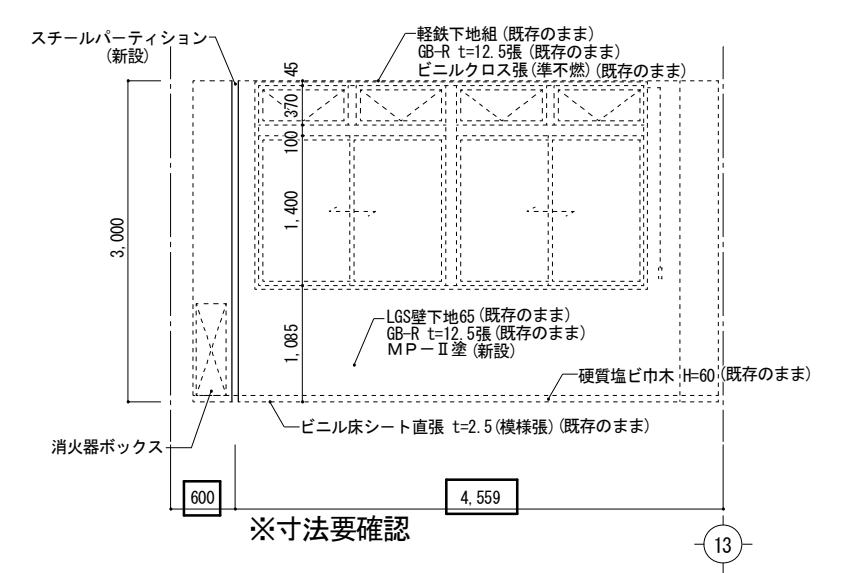
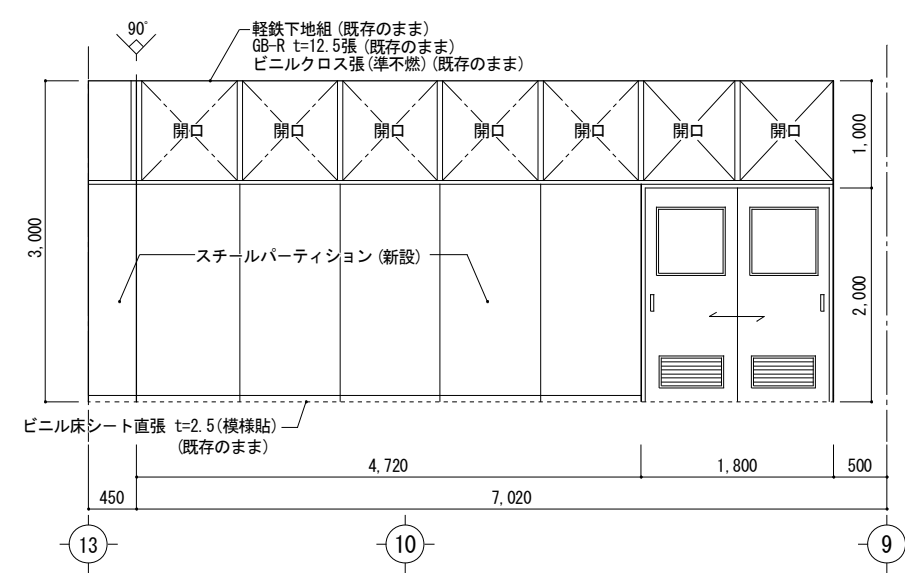
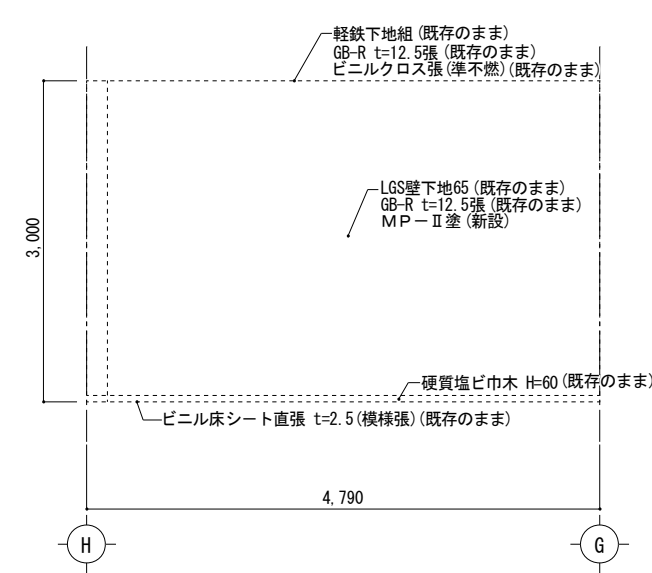
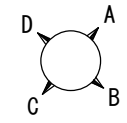
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 2階喫煙コーナー 平面詳細図・展開図		A-80



平面詳細図 S=1/50



※寸法要確認

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 2階休憩スペース 平面詳細図・展開図		A-81

符号	AW 3		AW 3		AW 3		AW 4			
改修内容	改修前 UVフィルムなし 排障有効面積 1.28㎡ 【外側し】0.37×0.871×4=1.28㎡		改修後 UVフィルム（新設）		改修後 ガラス撤去の上アルミパネル（新設）		排障有効面積 0.27㎡ 【引違い】0.295×0.94=0.27㎡			
形状・寸法										
形式	見込	70	70	70	70	70	70			
位置	ヶ所	事務所、児童クラブ、1階・2階廊下	6	1階廊下	2	1階廊下（東側階段隣）	1	児童クラブ	1	
仕上	ステンカラー									
ガラス	FL-5	FL-5、UVフィルム（新設）		ガラス撤去の上アルミパネル（新設）		FL-5				
金物	クレセント									
備考	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切			
符号	AW 3a		AW 3a		AW 7		AW 7			
改修内容	改修前 UVフィルムなし 排障有効面積 1.28㎡ 【外側し】0.37×0.871×4=1.28㎡		改修後 UVフィルム（新設）		改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム（新設）			
形状・寸法										
形式	見込	70	70	70	70	70	70			
位置	ヶ所	エントランスホール、1階・2階廊下	7	エントランスホール、1階廊下	3	書庫	1			
仕上	ステンカラー									
ガラス	網入磨-6.8、UVフィルム（新設）	網入磨-6.8、UVフィルム（新設）		強化ガラス-6・8、UVフィルム（新設）						
金物	クレセント									
備考	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、アルミ水切					
符号	AW 6		CW 3		CW 3		CW 4			
改修内容	排障有効面積 2.06㎡ 【縦すべり】0.77×0.892×3=2.06㎡						排障有効面積 3.47㎡ 【外側し】0.77×0.92×2=1.41㎡ 【外側し】0.77×0.895×3=2.06㎡			
形状・寸法										
形式	見込	70	アルミカーテンウォール（Fix窓+片引窓+排障窓）（Fix窓+片引窓）		150		アルミカーテンウォール（Fix窓+排障窓）		150	
位置	ヶ所	理事者控室	1		多目的ホール・吹抜		1		多目的ホール・吹抜	1
仕上	ステンカラー									
ガラス	FL-6	FL-5、型-4		FL-5		FL-5				
金物										
備考	アルミ額縁、アルミ水切		アルミ額縁、網戸、オペレーター				オペレーター			

符号	STD 1		CW 1		CW 1A		CW 2	
改修内容	改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム(新設) (B)室内側、屋外側		改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム(新設)	
形状・寸法								
形式	見込	自動ドア+Fix窓	120	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150	
位置	ヶ所	風除室	1 2	エントランスホール	1 A-1	エントランスホール	1	
仕上	ステンレスHL	強化ガラス-5・6、【ランマ】FL-5、UVフィルム(新設)		ステンカラー	FL-5、型-4、UVフィルム(新設)	ステンカラー	FL-5、型-4、UVフィルム(新設)	
ガラス								
金物								
備考								
符号	CW 2a		AW 1		AW 2		AW 2a	
改修内容	改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム(新設)		改修前 UVフィルムなし		改修後 建具撤去の上開口閉塞(新設) (展示室(1)(2)(3))	
形状・寸法								
形式	見込	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150	Fix窓	70	引違い窓+ランマFix	70	
位置	ヶ所	2階 階段	1	エントランスホール、書庫	4	展示室(1)(2)(3)、2階 倉庫(5)(6)、事務所	11	
仕上	ステンカラー	網入磨-6.8、網入型-6.8、UVフィルム(新設)		ステンカラー	強化ガラス-6、UVフィルム(新設)	ステンカラー	展示室(1)(2)(3)	
ガラス								
金物								
備考		乙種防火戸、アルミ額縁		アルミ額縁、アルミ水切		クレセント		
符号	AW 2		AW 2a		AW 2a		AW 2a	
改修内容	改修前 UVフィルムなし		改修後 ガラス撤去の上アルミパネル(新設) (倉庫(5)(6)のみ)		改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム(新設)	
形状・寸法								
形式	見込	引違い窓+ランマFix	70	引違い窓+ランマFix	70	引違い窓+ランマFix	70	
位置	ヶ所	展示室(1)(2)(3)、2階 倉庫(5)(6)、事務所	11	2階 倉庫(5)(6)	3	エントランスホール・2階 廊下	4	
仕上	ステンカラー	網入磨-6.8		ステンカラー	ガラス撤去の上アルミパネル(新設)	ステンカラー	展示室(1)(2)(3)	
ガラス								
金物		クレセント		クレセント		クレセント		
備考		アルミ額縁、網戸、アルミ水切		アルミ額縁、網戸、アルミ水切		防火設備、アルミ額縁、網戸、アルミ水切		

符号	AD 1		AD 2		SPD 1 鍵の取替のみ		
形状・寸法							
形式	見込	自動ドア	100	両開き戸+Fix窓+ランマFix	70	スチールパーティション(引違い戸)	80
位置	ヶ所	展示室(1)	1	1階廊下	1	展示室(2)、(3)	4
仕上		ステンカラー		ステンカラー			
ガラス		強化ガラス-6、【ランマ】FL-5、遮光フィルム(新設)		強化ガラス-5・6、【ランマ】FL-5		型ガラス-5	
金物							
備考		本締め錠		アルミ緑縁		鍵取替(内:シリンダー、外:シリンダー)※工事前に要確認	

符号	LSD 1 LSD 2		LSD 3		LSD 4		WD 1		WD 2		
形状・寸法											
形式	見込	片引戸	80	片引戸	80	引違戸	80	親子開き戸	36	片開き戸	36
位置	ヶ所	展示室(2)(3)	2	会議室	1	倉庫(7)	1	展示室(1)、受付	2	書庫	1
仕上		塩ビ被覆鋼板 t=0.8		塩ビ被覆鋼板 t=0.8		塩ビ被覆鋼板 t=0.8		チーク練付合板		チーク練付合板	
ガラス						型-4		型ガラス-4		型ガラス-4	
金物		ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		DC、丁番、フリス落とし、レバーハンドル、鍵(受付のみサムターン+シリンダー) 戸当り(既存の上SOP塗装)、戸枠(既設の上SOP塗装)		DC、丁番、レバーハンドル、握り玉錠、 戸当り(既存の上SOP塗装)、戸枠(既設の上SOP塗装)	
備考		ガラ W100xH800		ガラ W100xH800							

スチールパーティション

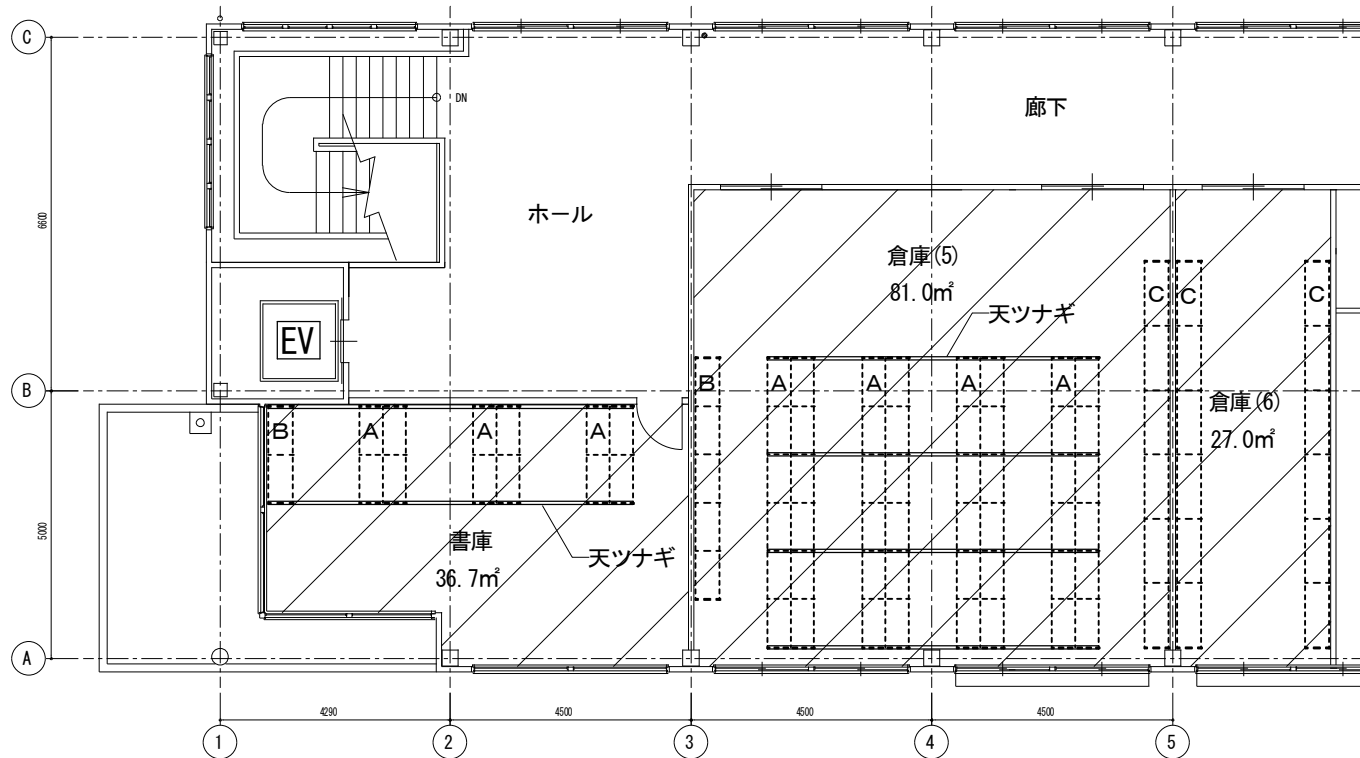
注記) ・スチールパーティション付の扉は建具表による。
・スチールパーティションの内蔵ブラインドは、立川ブラインド VBS-P43程度とする。
・スチールパーティション1は三和シャッター工業:*****程度(A-BE塗装)とする。
・スチールパーティション2は三和シャッター工業:*****程度(A-BE塗装)とする。(合わせガラス6mm+6mm)

種別記号凡例	スチールパーティションの仕上種別	その他の特記事項	注記
(P)rg	(P) スチールパーティション-1	G グラスウール充填	・部分平面図、平面詳細図に於て、特記なき限り(P)タイプとする。 ・各種設備用開口及び補強も本工事に含む。 ・シャウカステン(SH)の記号のあるものは下地補強をする。
G(P)g 形状 その他の特記事項	(P2) スチールパーティション-2	X 鉛2mm張	

スチールパーティションの形状	添字なし	g	g1	g2	gt	r0	rg	rs	l
姿図	全面パネル	腰高窓			全面ガラス	ランマ解放	ランマガラス		ローパーティション 添字は高さを示す l20はH=2,000を示す 特記なき限りh=2,000

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	建具表(外・内部)(3)	A-84

符号	TB 1		TB 2		TB 3	
改修内容	開き方向変更		開き方向変更		開き方向変更、吊元変更	
形状・寸法						
形式	見込	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース
位置	ヶ所	1階 男子トイレ	1	1階 女子トイレ	1	2階 男子トイレ
仕上		メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板
ガラス		-		-		-
金物		クレビティヒンジ、戸当り		クレビティヒンジ、戸当り		クレビティヒンジ、戸当り
備考		ステンレス巾木、ステンレス笠木				
符号	TB 4					
改修内容	開き方向変更					
形状・寸法						
形式	見込	トイレブース	40			
位置	ヶ所	2階 女子トイレ	1			
仕上		メラミン化粧板				
ガラス		-				
金物		クレビティヒンジ、戸当り				
備考		ステンレス巾木、ステンレス笠木				



2階 軽量棚 荷重計算範囲図 S=1/100

積載荷重 = 総重量 (書庫+倉庫+倉庫) ÷ 床面積 (書庫+倉庫+倉庫)
 = (1846 kg + 7770 kg + 958 kg) ÷ (36.7 m² + 81.0 m² + 27.0 m²)
 = 10574 kg ÷ 144.7 m²
 = 74 kg/m² < 800N/m² (事務室地震用積載荷重)

書庫

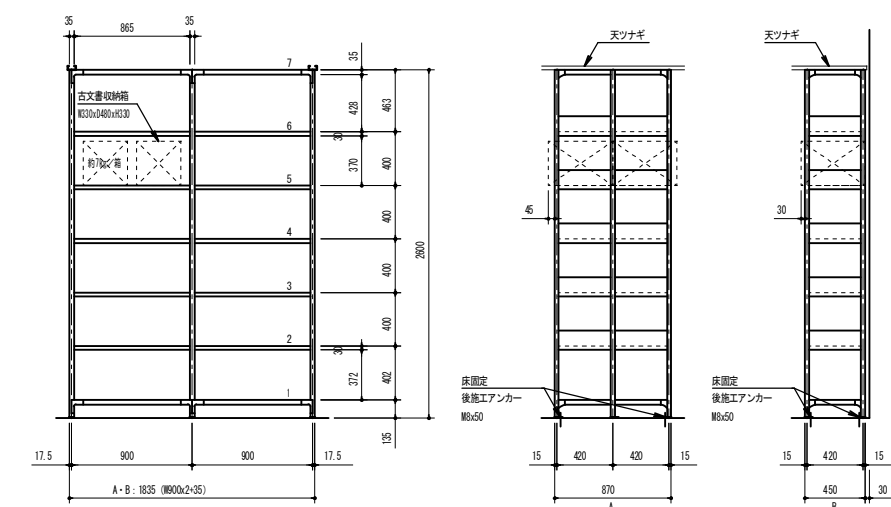
2階 書庫 軽量棚 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
A	複式2連 有効6段 KU 382-457WR	3	12	72	144
B	単式2連 有効6段 KU 382-457SR	1	2	12	24
合計		4	14	84	168

参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：古文書収納箱・W330×D480×H330・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

固定	: 床固定、天ツナギ
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、単式棚は2本柱、複式棚は3本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 複式 600kg/連・単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



軽量棚 姿図 S=1/40

倉庫 (5)

2階 倉庫 軽量棚 (古文書収納箱) 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
A	複式6連 有効6段 KU 386-457WR	4	48	288	576
B	単式5連 有効6段 KU 385-457SR	1	5	30	60
合計		5	53	318	636

参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：古文書収納箱・W330×D480×H330・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

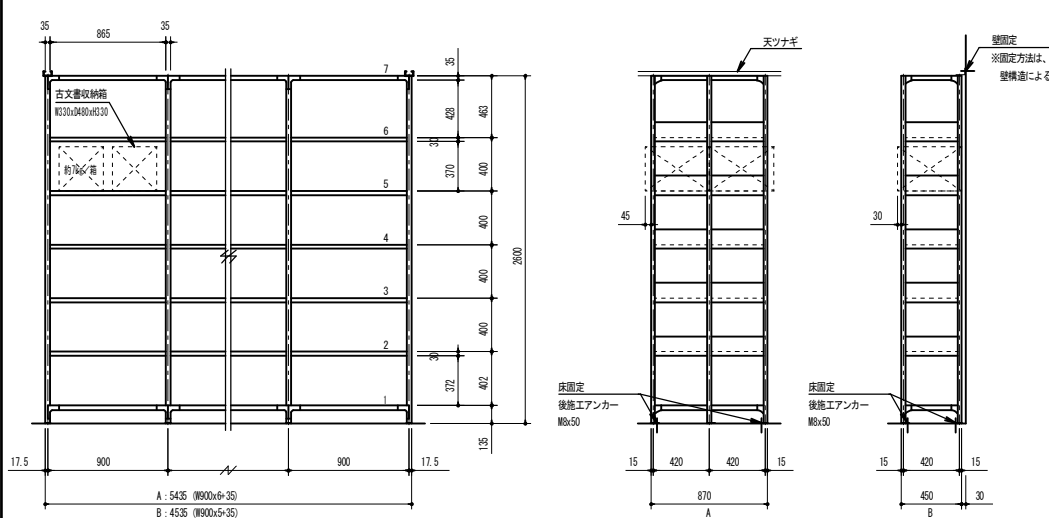
2階 倉庫 軽量棚 (新聞収納箱) 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
C	単式5連 有効7段 KU 470-458SR	1	6	42	84

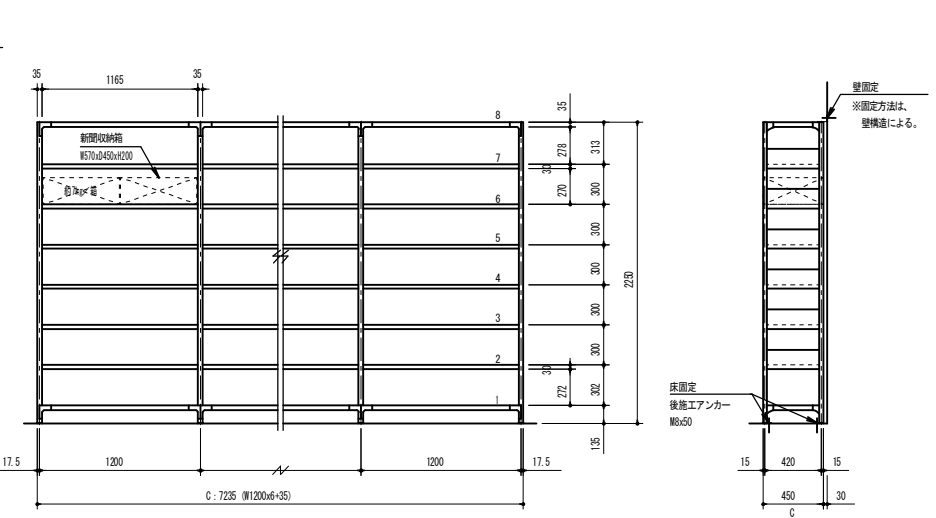
参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：新聞収納箱・W570×D450×H200・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

固定	: 床固定、壁固定、天ツナギ
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、単式棚は2本柱、複式棚は3本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 複式 600kg/連・単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



軽量棚 A・B 姿図 S=1/40



軽量棚 C 姿図 S=1/40

倉庫 (6)

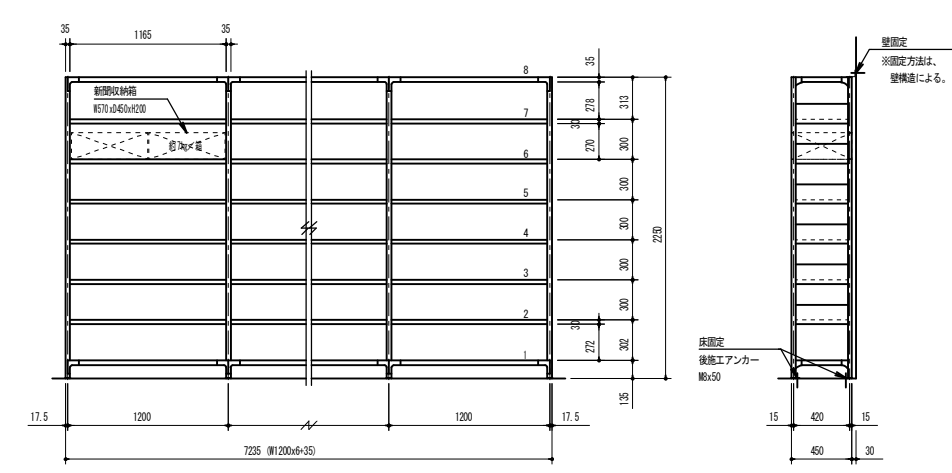
2階 倉庫 軽量棚 数量表

型式	台数	延床数	延段数	収容数
単式6連 有効7段 KU 470-458SR	2	12	84	168

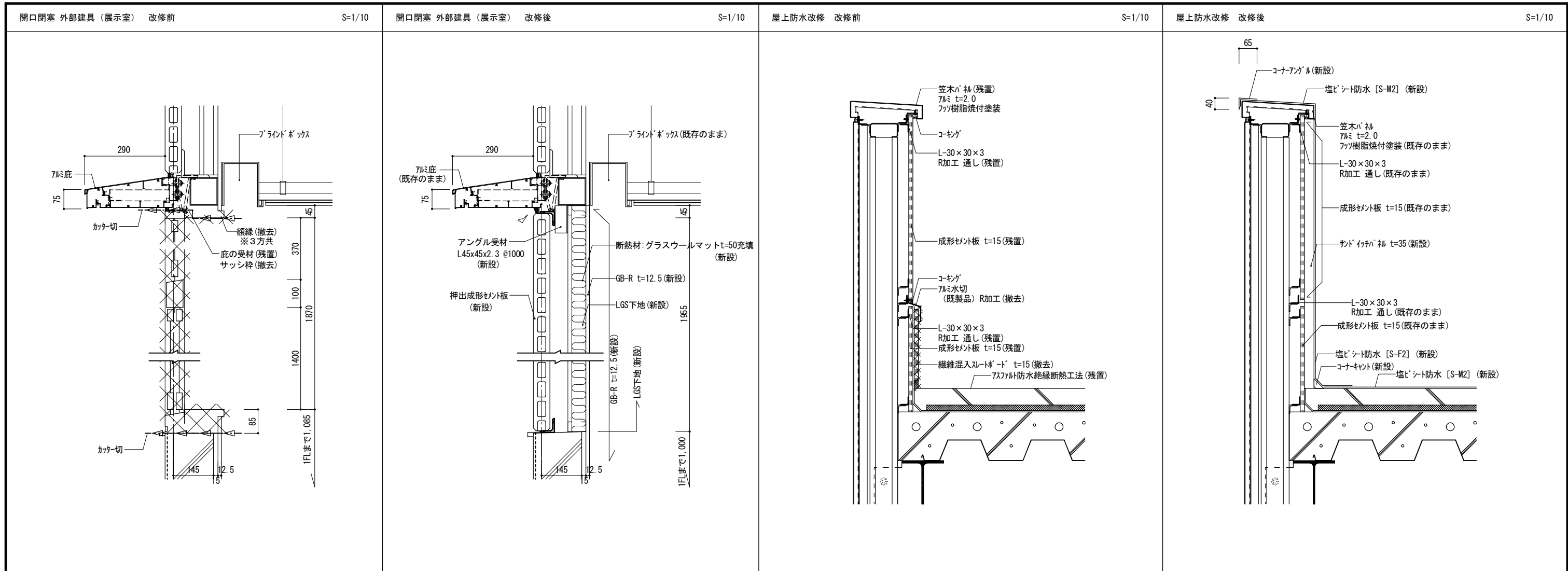
参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：新聞収納箱・W570×D450×H200・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

固定	: 床固定、壁固定
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、2本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



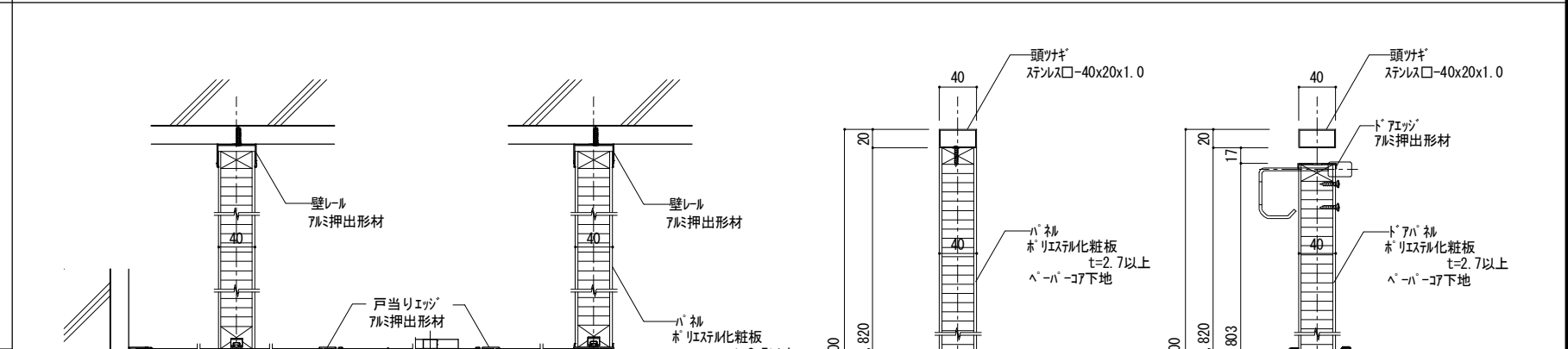
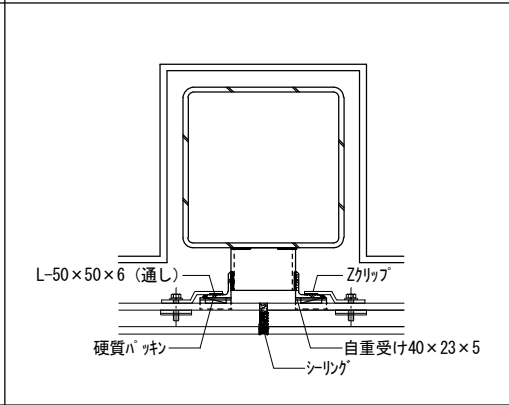
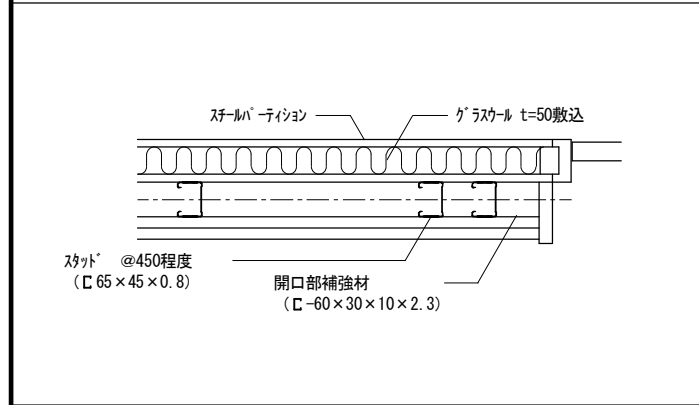
軽量棚 姿図 S=1/40



児童クラブ三方枠 詳細図 (新設) S=1/10

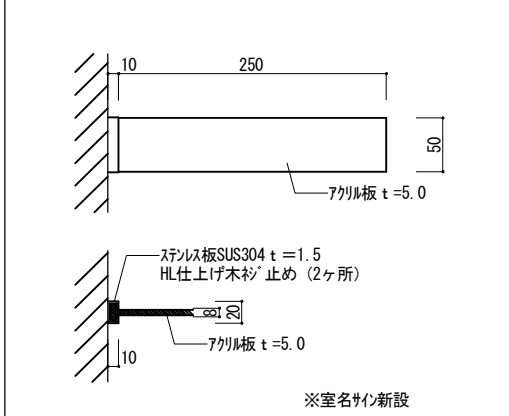
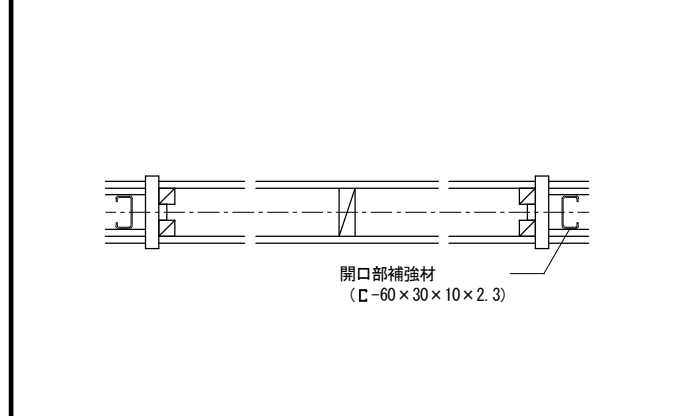
開口閉塞 押出成型セメント板 (新設) S=1/10

トイレブース S=1/5

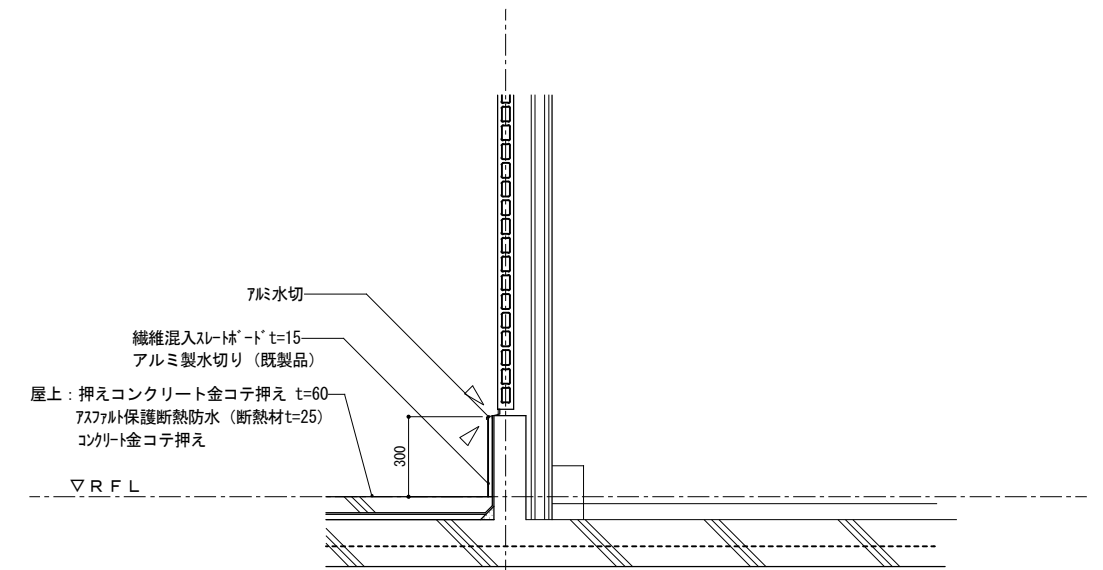
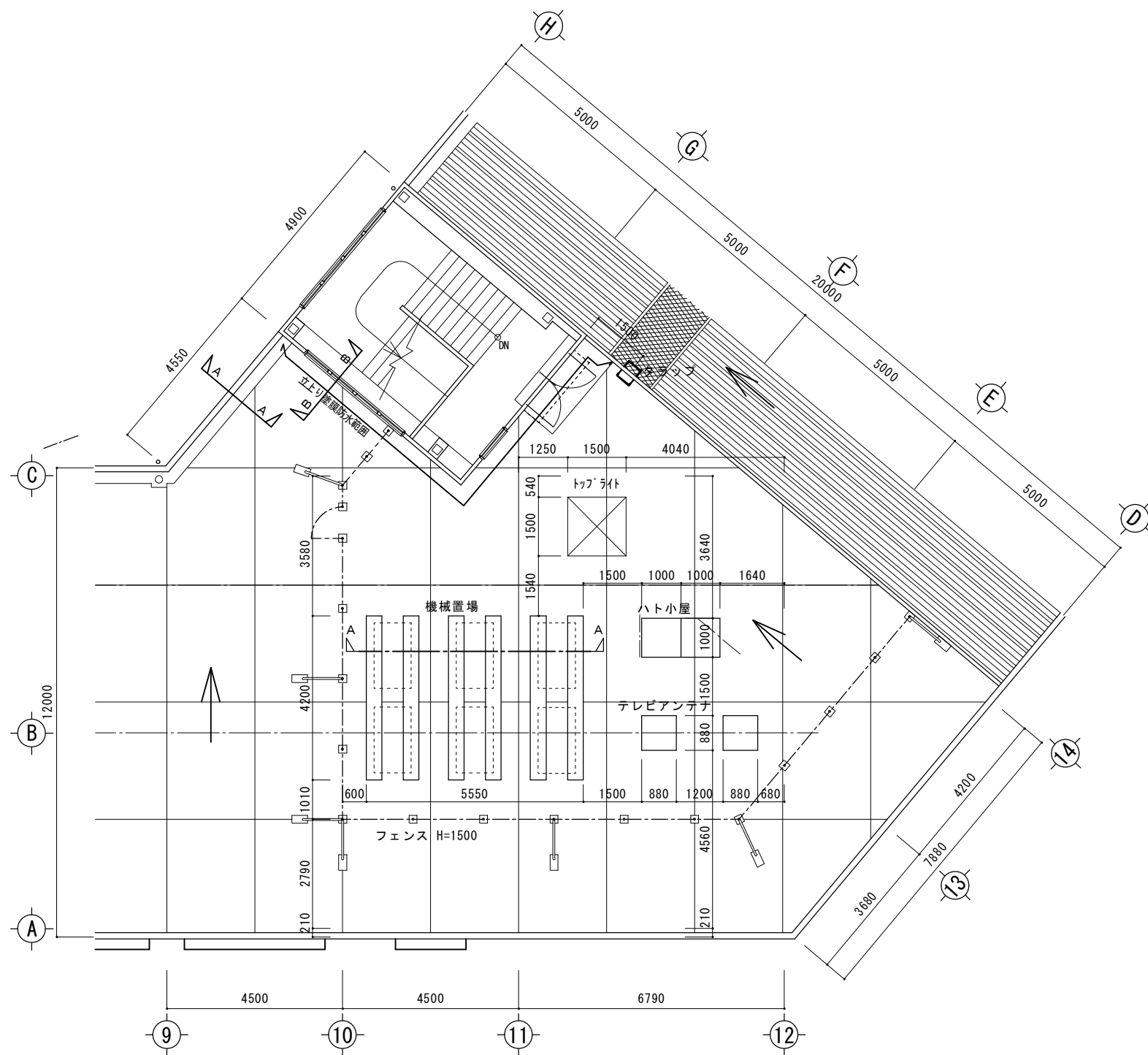


開口閉塞 詳細図 (倉庫 (6) - 会議室) (新設) S=1/10

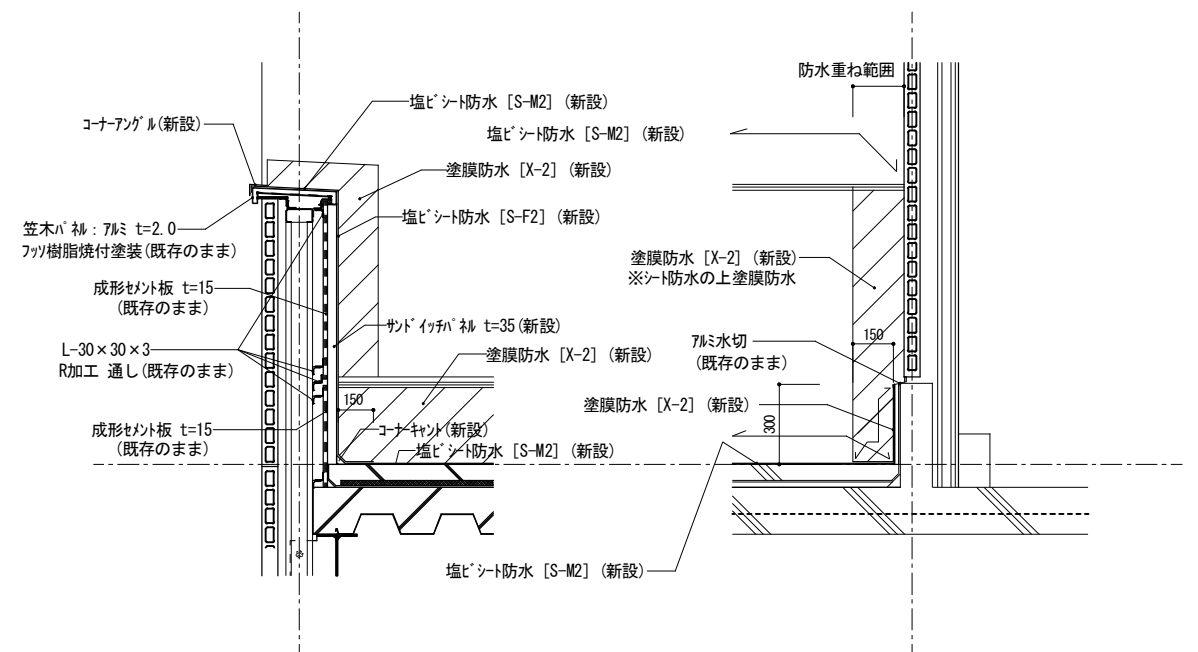
室名札 (新設) S=1/5



事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	部分詳細図 (1)		A-87



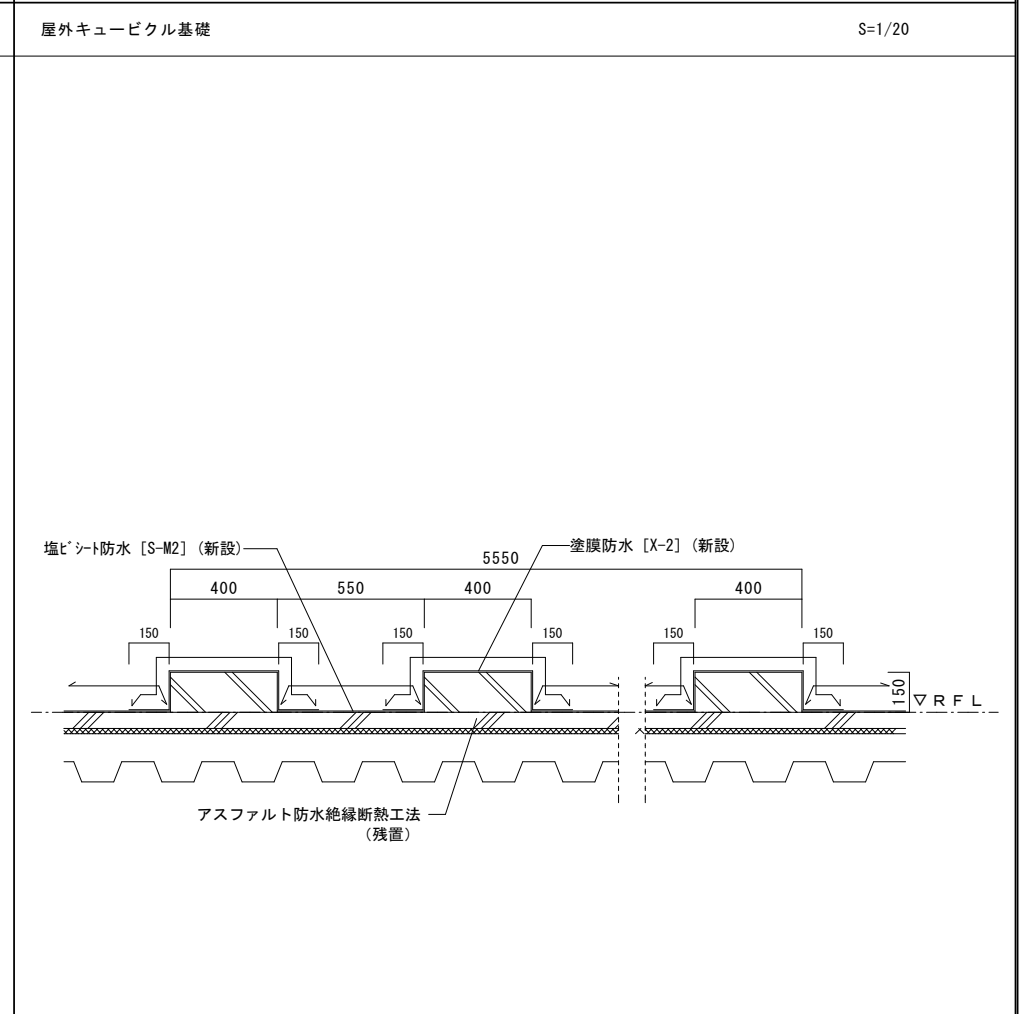
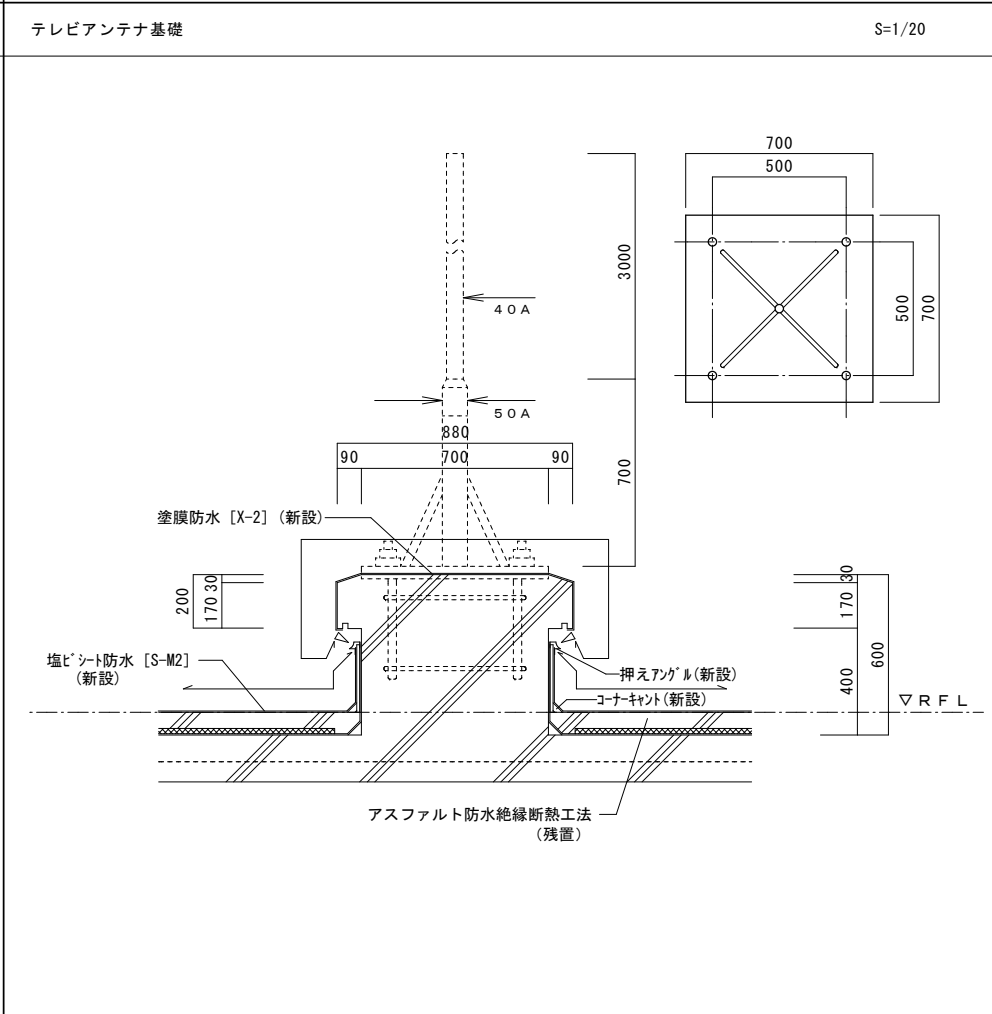
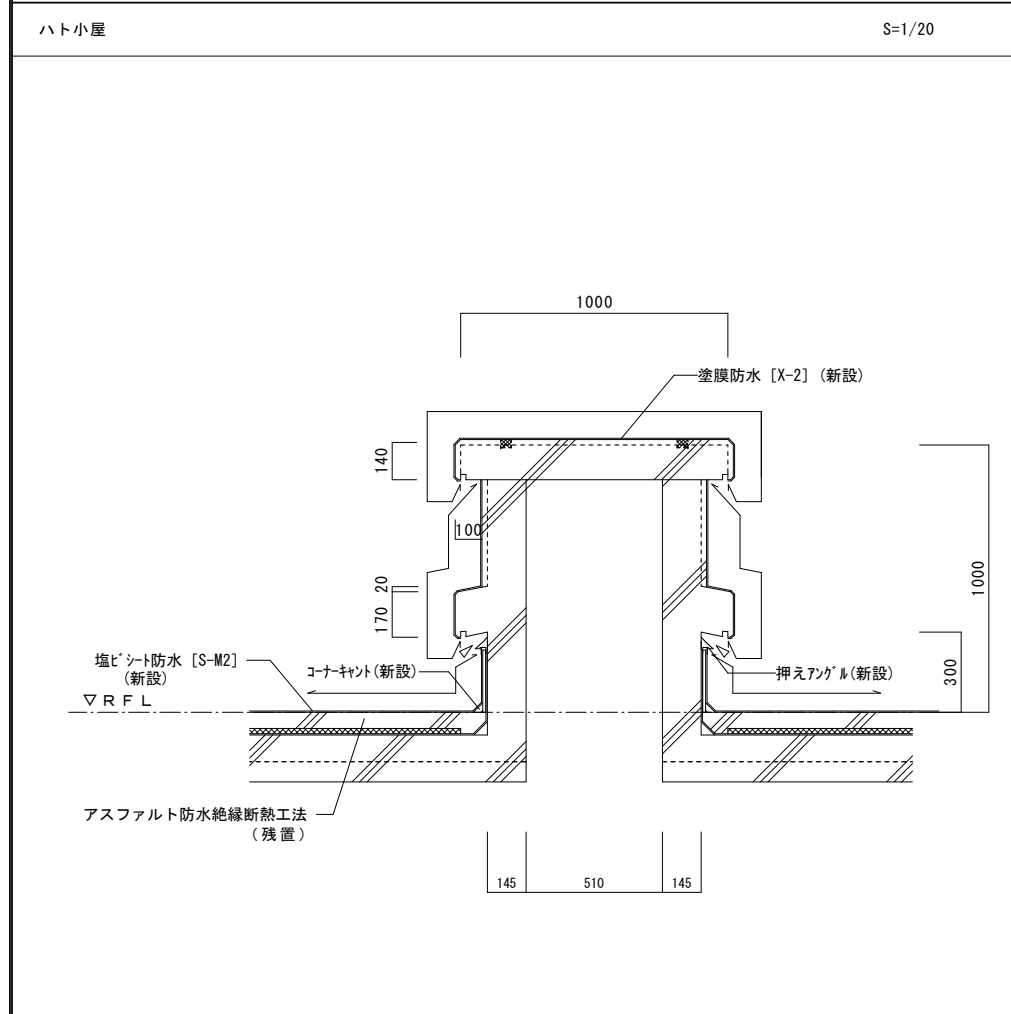
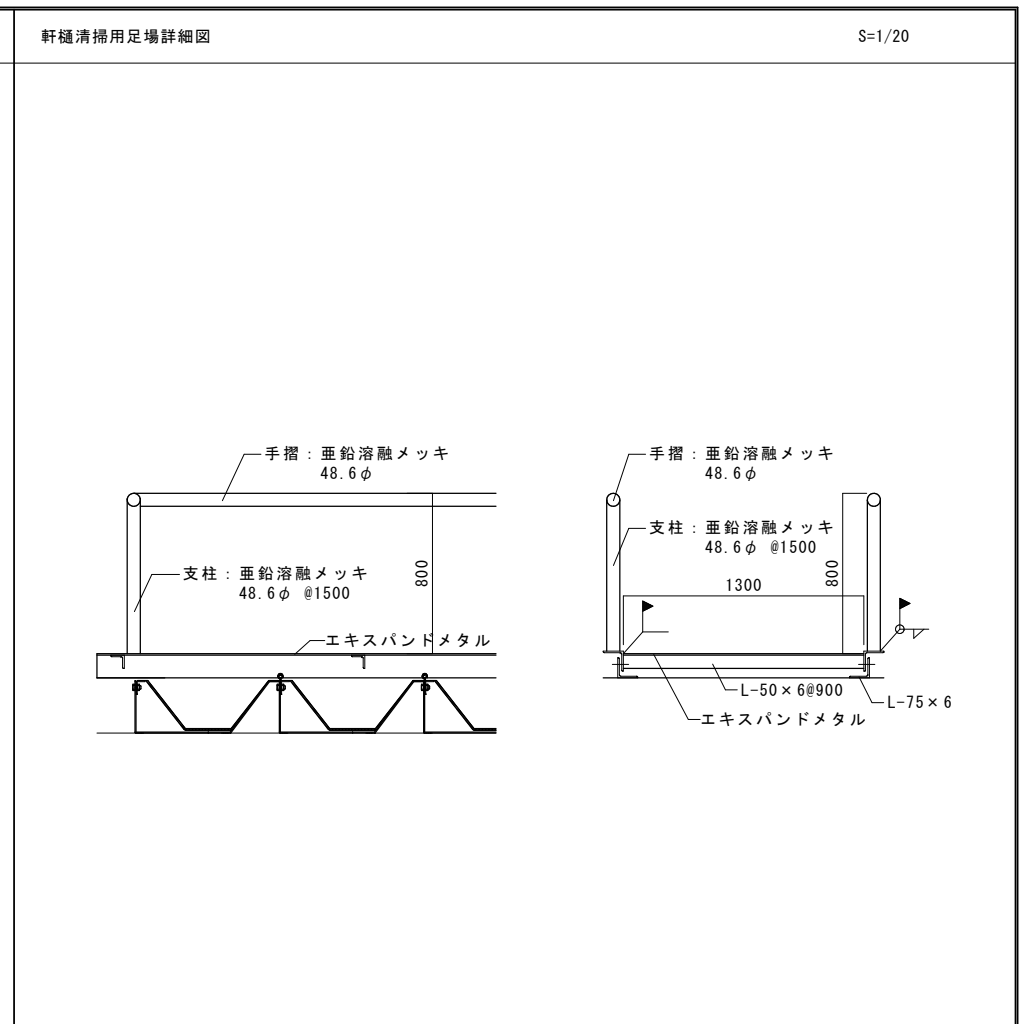
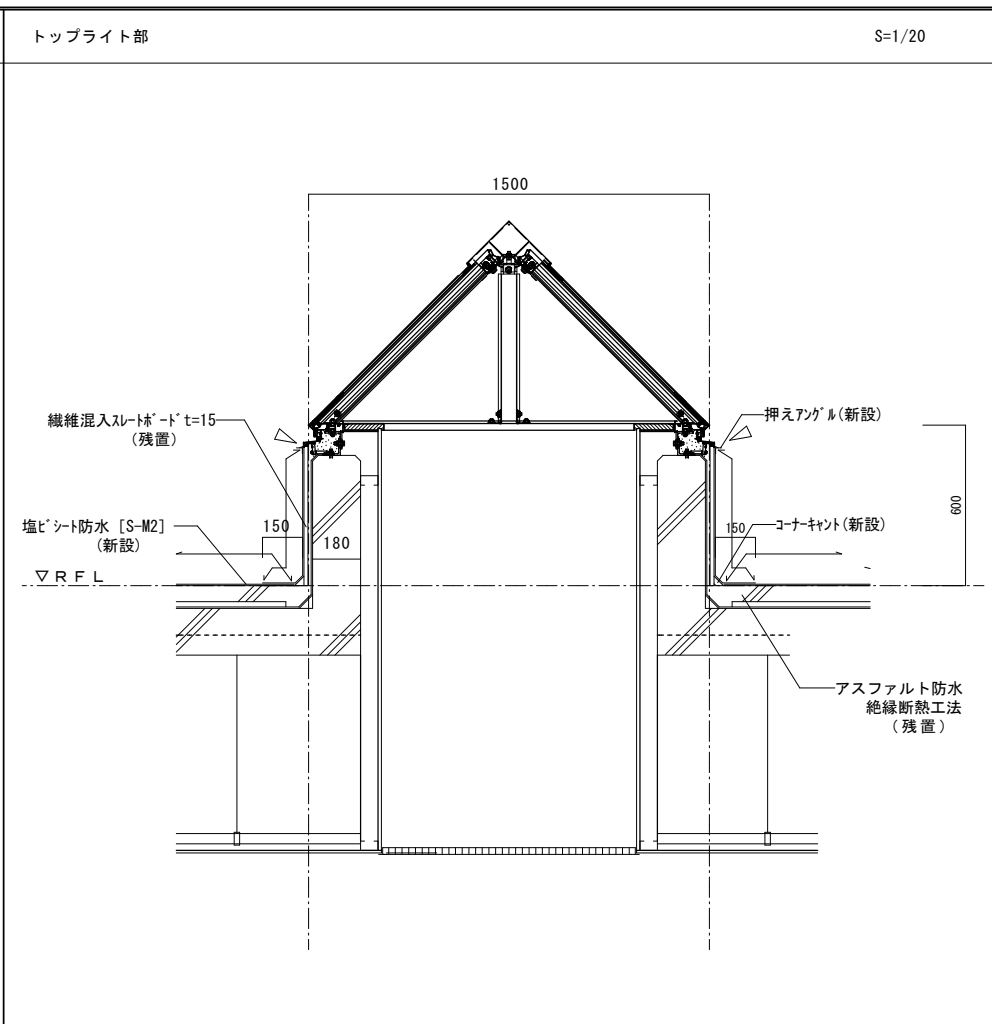
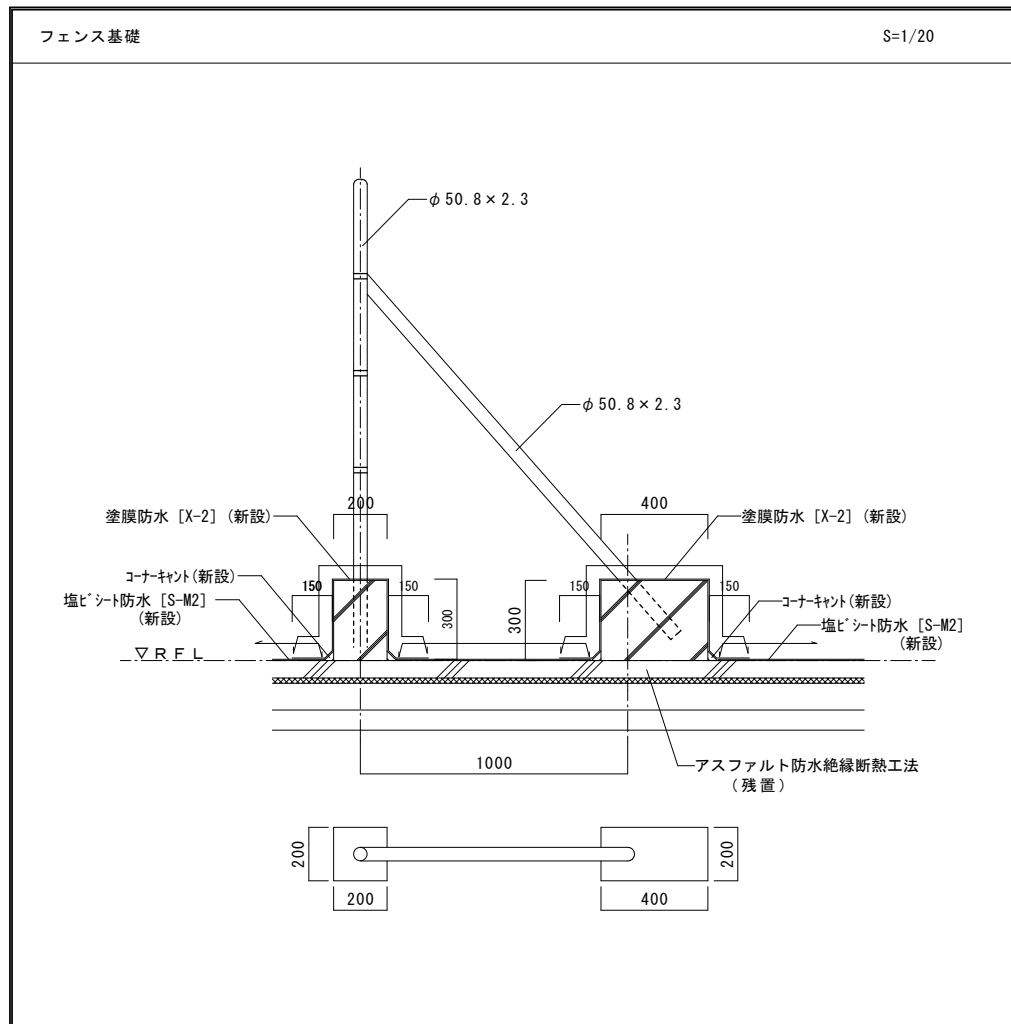
B-B断面詳細図 1:20 (改修前)



A-A断面詳細図 1:20 (改修後)

B-B断面詳細図 1:20 (改修後)

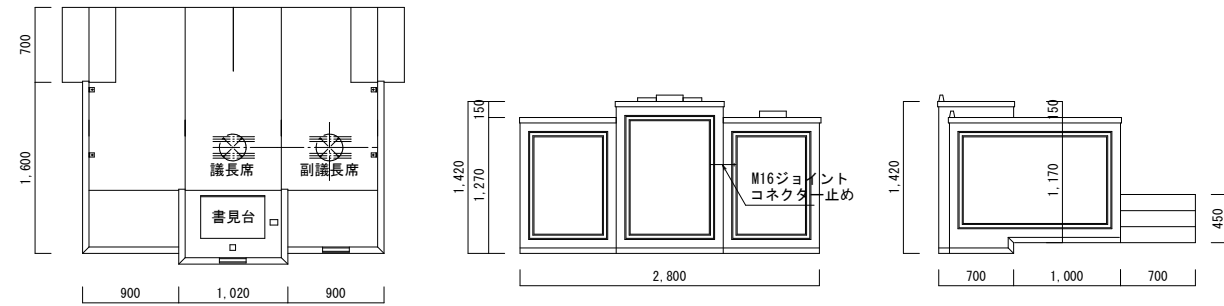
事業年度 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成 年度								建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)		部分詳細図(2)	A-88



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	部分詳細図 (3)		A-89

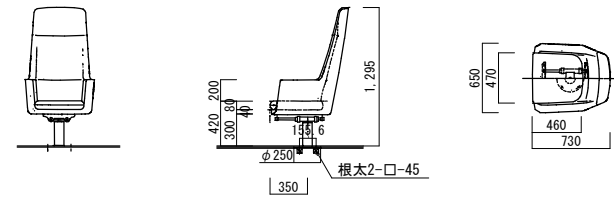
正副議長席姿図 (撤去)

S=1/50



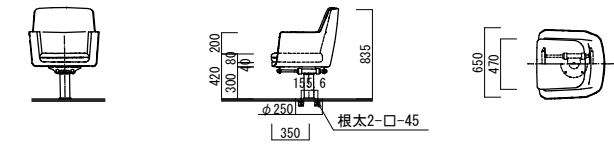
議長イス姿図 (撤去)

S=1/50

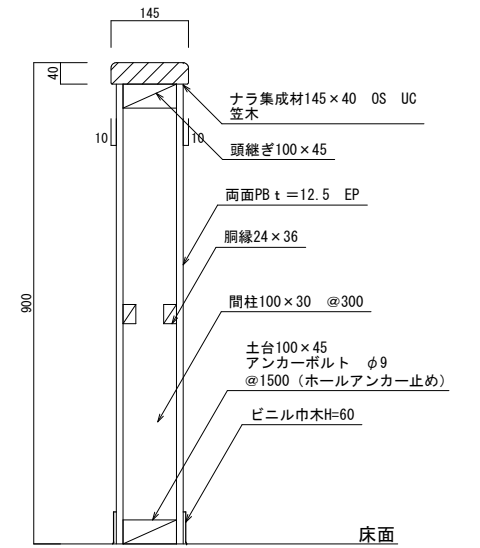


副議長イス姿図 (撤去)

S=1/50

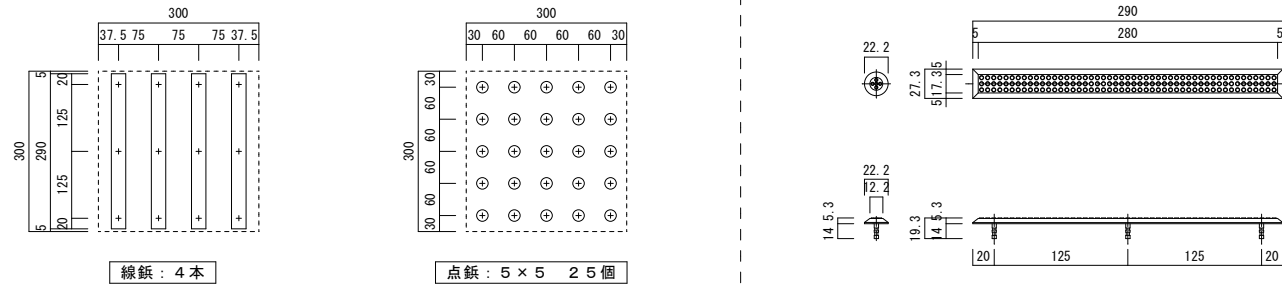


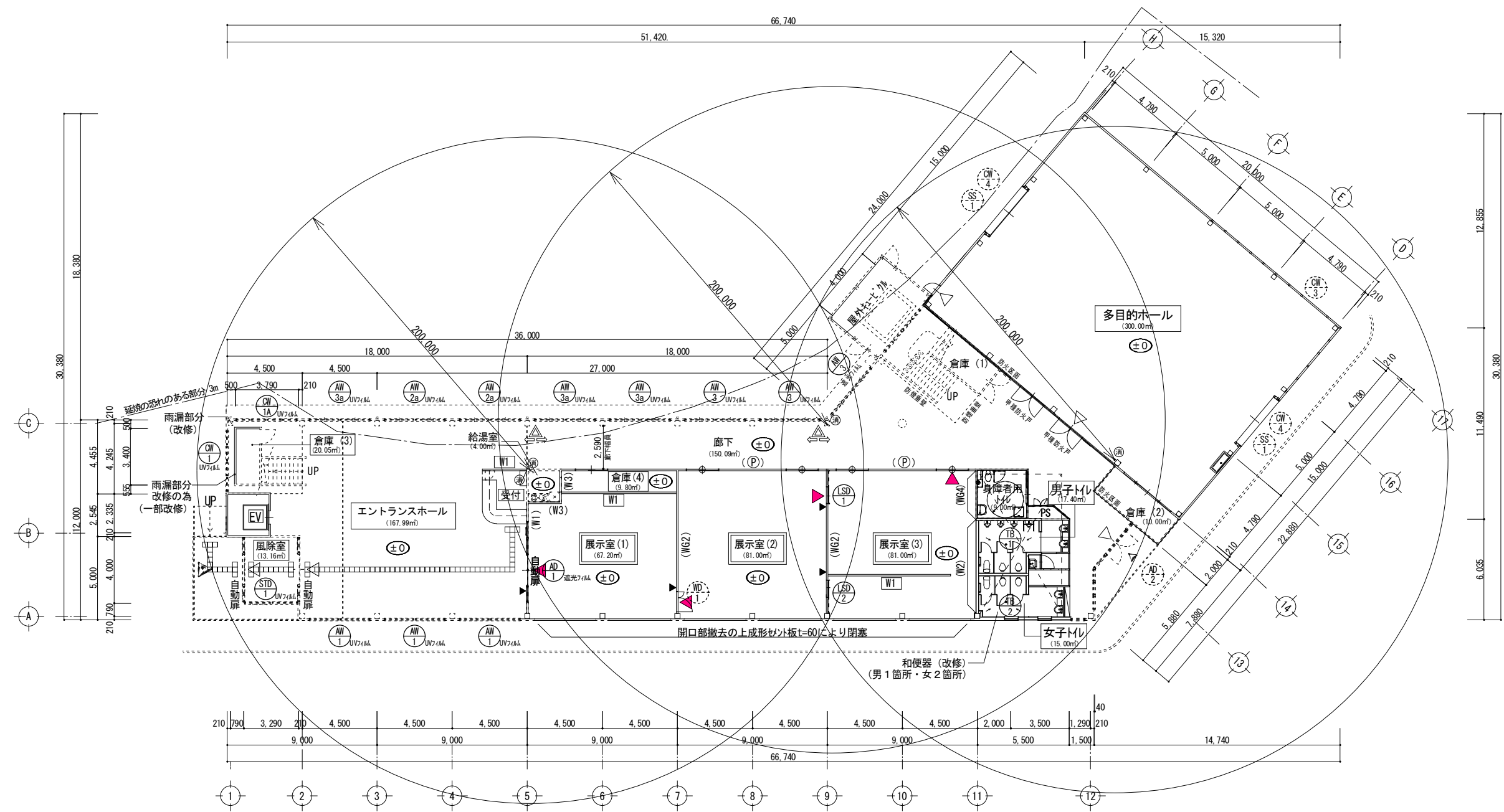
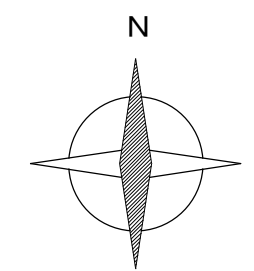
手摺 (撤去)



エントランス点字ブロック 詳細図 (新設)

S=1/5



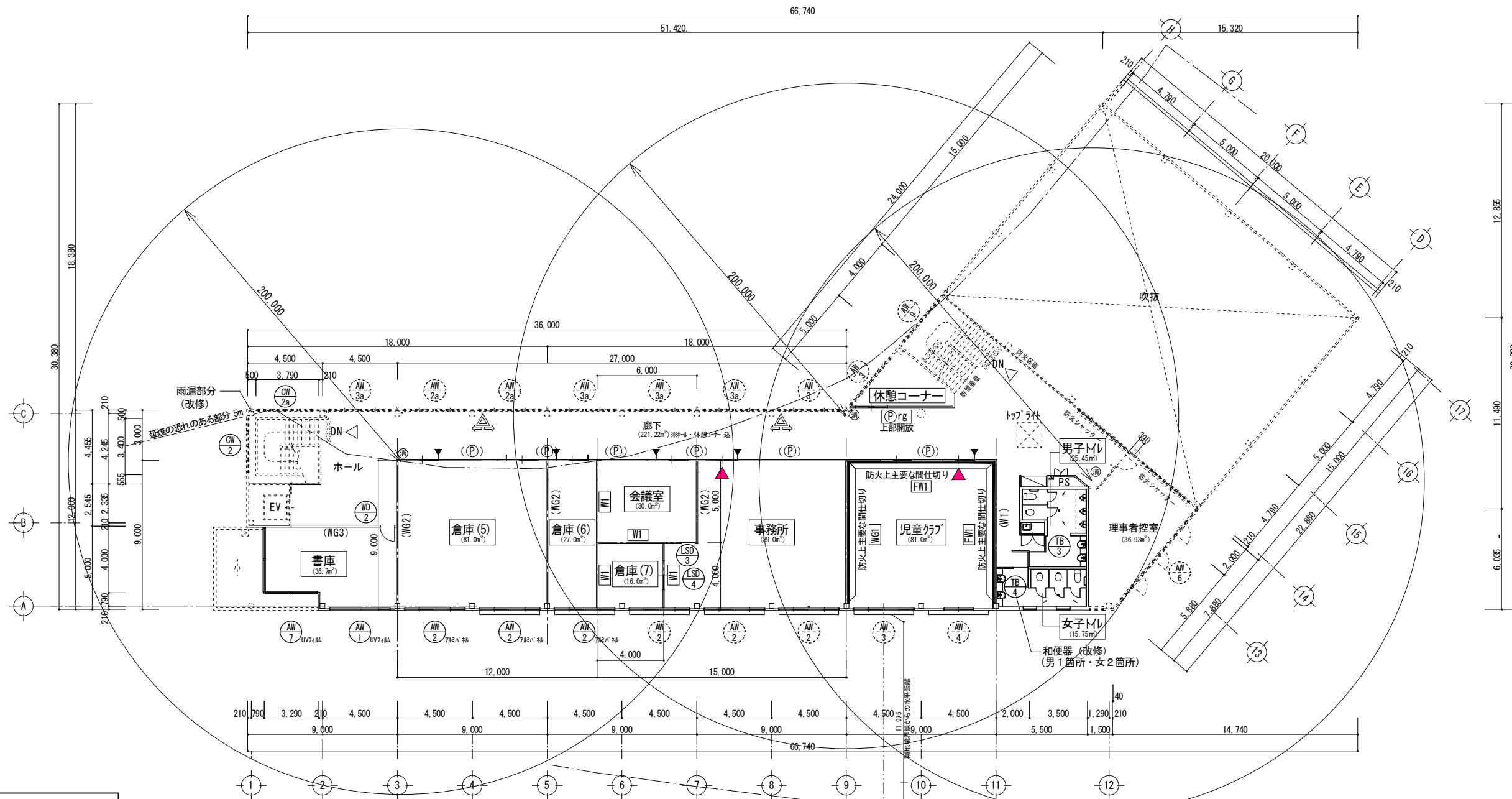
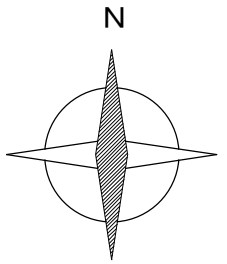


1階 平面図 S=1/200

▲	誘導標識を示す。(新設)
△	避難口誘導灯を示す。(新設)
▲	通路誘導灯を示す。(新設)
⊙	消火器を示す。(新設)

凡例	室名	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。	工事範囲を示す。	工事対象建具を示す。	符号	改修後壁下地を示す。	室名札
	室名	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。	室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。	(符号)	既存壁下地を示す。	鍵交換箇所(内:シリンダー、外:シリンダー)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	1階消火設備・避難設備配置図		A-91



2階 平面図 S=1/200

▲	誘導標識を示す。(新設)
△	避難口誘導灯を示す。(新設)
▲	通路誘導灯を示す。(新設)
⊙	消火器を示す。(新設)

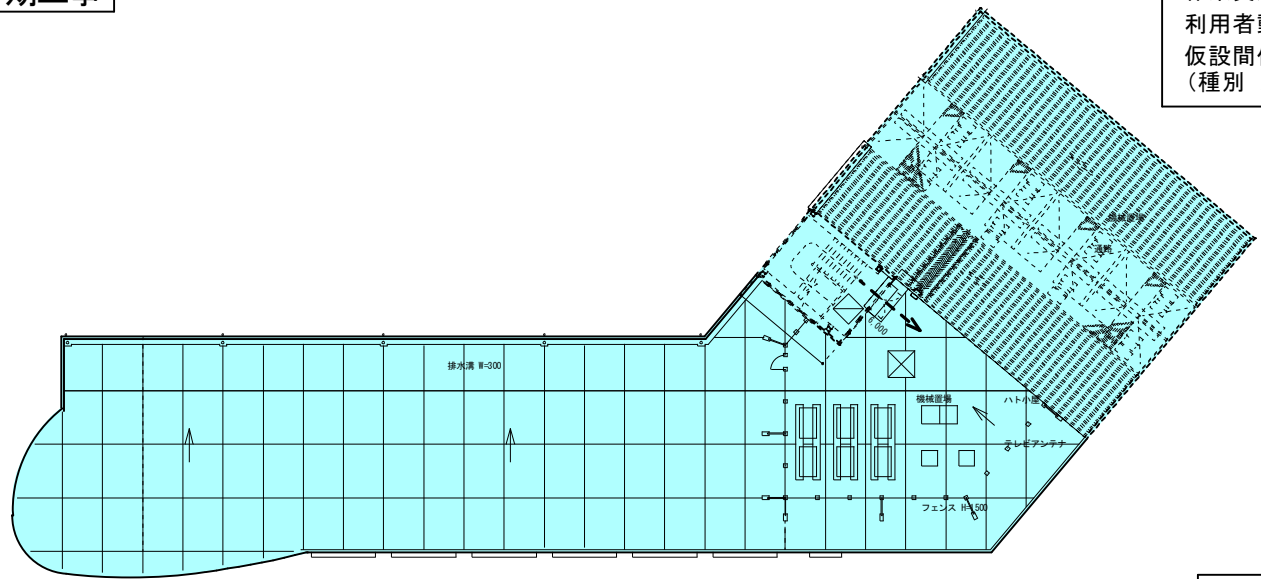
凡例

室名	工事対象室を示す。	工事範囲を示す。	工事対象建具を示す。	符号	工事対象壁を示す。	▼	室名札(持ち出し)
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。	(符号)	工事対象外壁を示す。		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	2階消火設備・避難設備配置図		A-92

1期工事

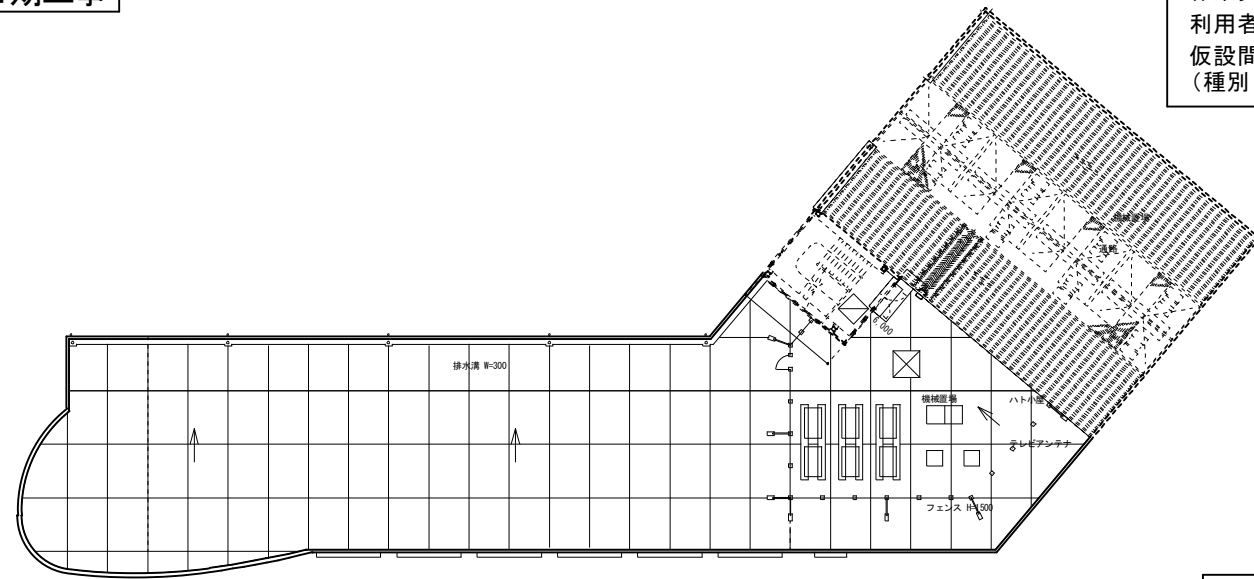
作業員動線 - - - - ->
 利用者動線 - - - - ->
 仮設間仕切 (種別 A種)



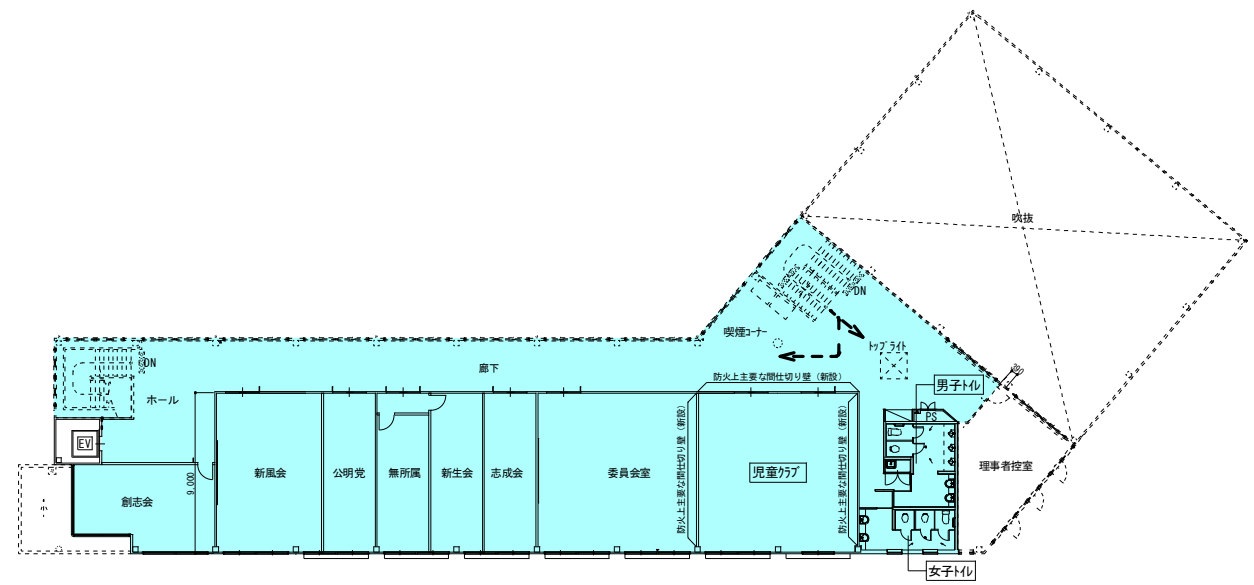
R階平面図

2期工事

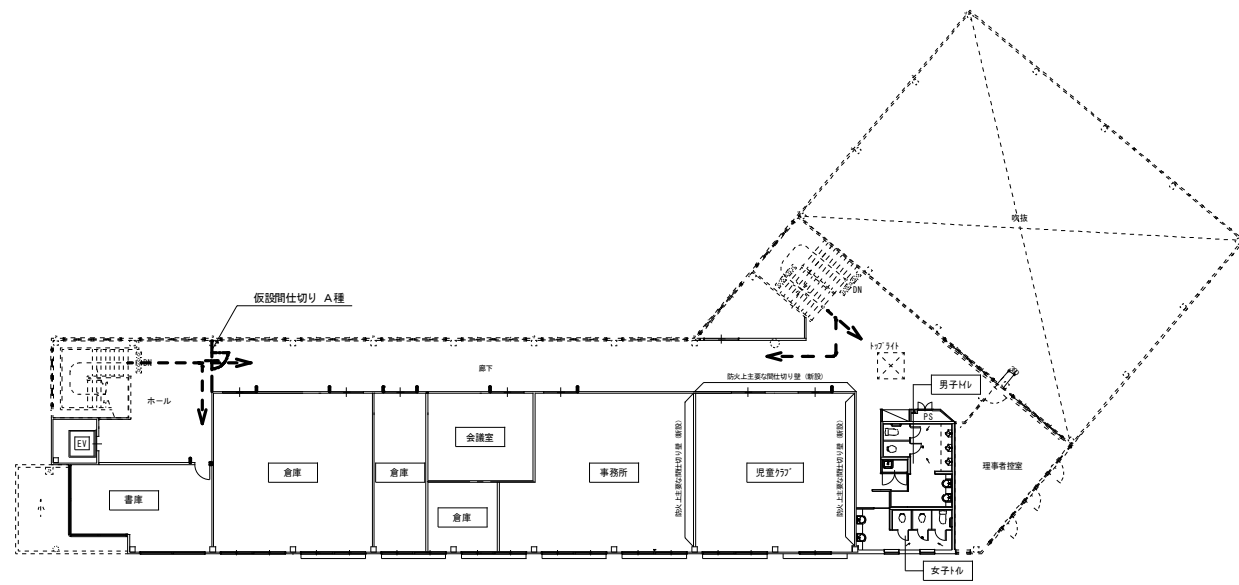
作業員動線 - - - - ->
 利用者動線 - - - - ->
 仮設間仕切 (種別 A種)



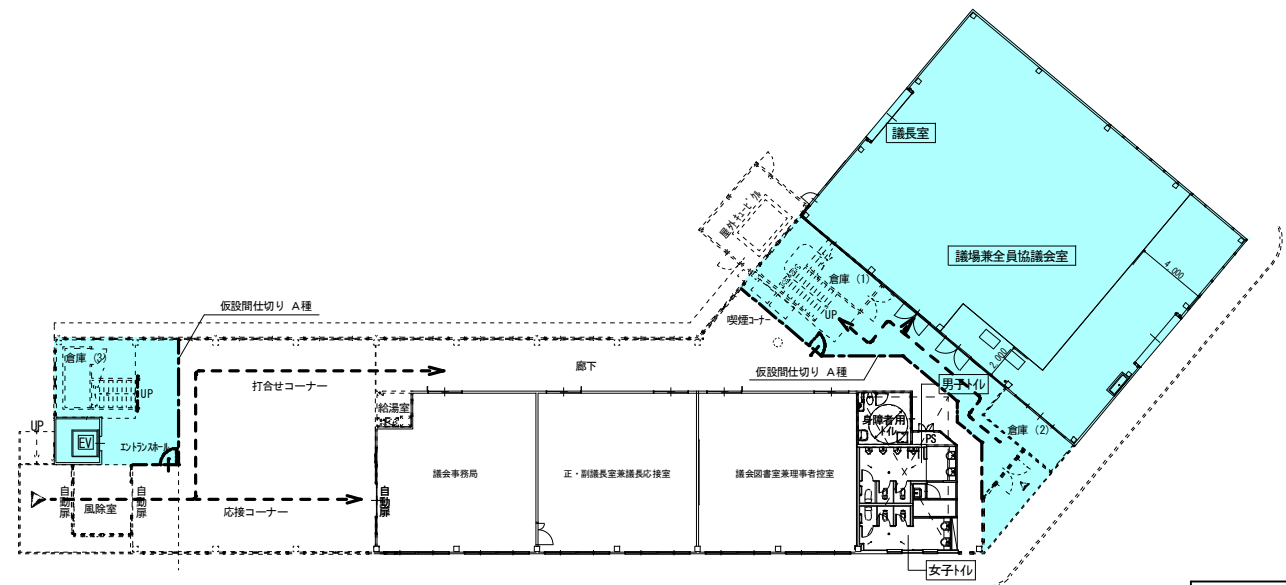
R階平面図



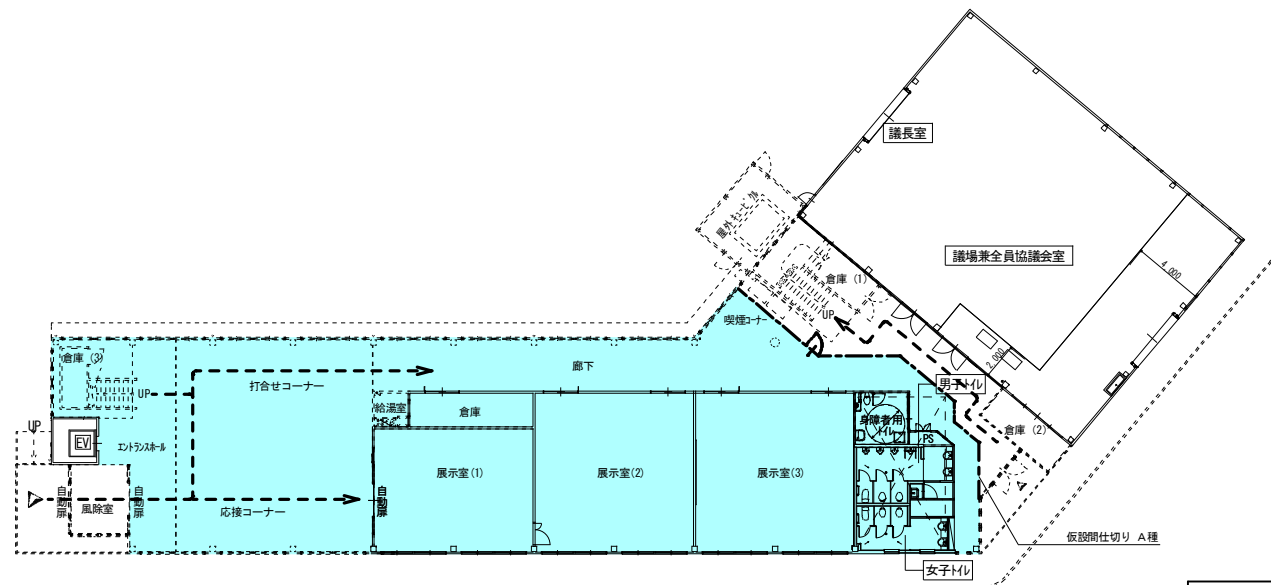
2階平面図



2階平面図



1階平面図



1階平面図

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/300	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	仮設計画図		A-93

参考数量書

工 事 名 称 元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市館町二丁目

[工 事 概 要]

用途, 構造, 面積	歴史民族資料館・放課後児童クラブ・事務所、鉄骨造 2 階建て、床面積1,689.55㎡	
工 事 範 囲	改修工事一式（建築主体工事）	
別 途 工 事	元ゆめきやりあセンター改修工事（電気設備工事）、元ゆめきやりあセンター改修工事（機械設備工事）、ゆめきやりあセンター改修工事（外構工事）、歴史民俗資料館展示工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和7年2月27日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額	
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 中科目別内訳

元ゆめきやりあセンター					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
鉄筋	内部仕上	1	式		
計					
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
型枠	内部仕上	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	ユニット及びその他	1	式		
計					
防水改修	防水改修	1	式		

建築工事 中科目別内訳

元ゆめきやりあセンター					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
外壁改修	外壁改修	1	式		
計					
建具改修	建具改修	1	式		
計					
内装改修	内装改修	1	式		
計					
塗装改修	塗装改修	1	式		
計					
解体	解体	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
内部仕上足場	階高4.0m以下	1,359	m ²			
内部階段仕上足場		20.3	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700	1,681	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 5か月	177	m			
スタクション	単管2本含む 盛り換え1回含む	24	m			
養生シート張り	防災I類 5か月	1,681	m ²			
墨出し(外壁改修)	タイル・モルタル塗替等 一般	150	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	150	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		150	m ²			
高所作業車	垂直昇降型自走式 H8-9m 作業床2.3m×0.81m 別途工事の使用を含む	72	日			
計						

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		ユニット及びその他		ユニット及びその他		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
流し台	BL型 幅1800 リンジフードメーカー標準品含む	2	台			
受付カウンター	L形2段カウンター 2641*3541*841*950 スイングドア含む	1	台			
ロッカー	900*400*1800	1	台			
児童用ロッカー	1800*500*1300	4	か所			
児童用下足入れ	800*350*1700	1	か所			
収納棚 A	書庫 複式2連 有効6段 1835*870*2600	3	台			
収納棚 B	書庫 単式2連 有効6段 1835*450*2600	1	台			
天ツギ	書庫	14	m			
収納棚 A	倉庫(5) 複式6連 有効6段 5435*870*2600	4	台			
収納棚 B	倉庫(5) 単式5連 有効6段 4535*450*2600	1	台			
収納棚 C	倉庫(5) 単式6連 有効7段 7235*450*2250	1	台			
天ツギ	倉庫(5)	25	m			
収納棚 C	倉庫(6) 単式6連 有効7段 7235*450*2250	2	台			
流し台移設	1F→2F	1	台			
暗幕カーテン新設	多目的+書庫 (124㎡+34㎡) レール共	158	㎡			

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		ユニット及びその他		ユニット及びその他		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
流し上部水切り	ステンズ製 -	1.5	m			
誘導標識	250mm×250mm 蓄光通路誘導標識 (消防認定品)	8	か所			
消火器	ABC10型 BOX共 既存処分共	9	本			
館名文字	300角 ステンズ焼付塗装 10文字 下地(ステンズ焼付塗装)共	1	式			
総合案内板	1250mm×950mm 木枠 シート貼り	2	か所			
室名札	平付 250mm×250mm スチール枠	11	か所			
室名札	突出 スイング型 250mm×280mm スチール枠	8	か所			
館内案内板	600×675 フィルム貼り	2	か所			
耐荷重表示板	アクリル板 (耐荷重表示: 書庫ほか) 250mm×250mm	3	か所			
点字標示板	トリ案内図300角 点字対応 (1F×2、2F×1)	3	か所			
VOC測定	1箇所8物質	5	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		防水改修		防水改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗い		17.3	m ²			
フェンス、フェンス基礎 一部撤去、 防水施工後復旧		2	か所			
伸縮目地キャップ撤去		479	m			
全面清掃		697	m ²			
立上り部雑部材 撤去	水切り金物・端末シール・保護板	117	m			
サトイッチャネル取付	直線部 (t=35、H1640mm)	92	m			
サトイッチャネル取付	R部 (t=35、H1640mm)	24.5	m			
既設笠木ジョイント処理	補強テープ張り	40	m			
樹脂モルタル平滑処理	鳩小屋・フェンス基礎・設備基礎	14	m ²			
配管基礎浮かし施工後復旧		50	m			
鋳鉄製ルーフトレン	横形ろく屋根用 アスファルト・シート防水用 SGP 80A 張掛け幅 100	5	個			
塩ビシート防水 平部	機械式固定 下地調整材C-2	694	m ²			
塩ビシート防水 立上り直線部	H1640 機械式固定	151	m ²			
塩ビシート防水 立上りR部	H1640 機械式固定	40.2	m ²			
塩ビシート防水 天端部等	天端・フェンス基礎・設備基礎 機械式固定	46.9	m ²			

元ゆめきやりあセンター		防水改修			防水改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
塩ビ被覆鋼板設置	立上り入隅直線部 15*50	92.1	m				
塩ビ被覆鋼板設置	立上り入隅曲線部 15*50	24.5	m				
塩ビ被覆鋼板設置	笠木天端直線部 70*50	92.1	m				
塩ビ被覆鋼板設置	笠木天端曲線部 70*50	24.5	m				
脱気筒	ステンレス製	10	か所				
ドレン周り処理	既設ドレン・周囲防水層撤去後 樹脂モルタル補修	5	か所				
塗膜防水(材工共)	Y-2 密着工法 コムアスファルト系 平面 表面塗装なし	2	m ²				
軒樋清掃	折板屋根	10	m				
エキスパントメタル切断	折板屋根の樋 ゴミ受け L=400	8	か所				
外壁シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	1,983	m				
計							

元ゆめきやりあセンター		建具改修		建具改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(建具)						
LSD1	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD2	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD3	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD4	上吊り引き分け戸新設	1	か所			
鍵取替	SD3	1	か所			
SPD1	上吊り引き分け戸 鍵取替	4	か所			
スチールパーテーション	W7.47*H3.00(上部開口あり)	1	面			
スチールパーテーション 扉	上吊り引き戸 新設	1	か所			
トイレブース1	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース2	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース3	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース4	内開き→外開き改修	1	か所			
木製扉新設	1200*2000	2	か所			
UVフィルム張り	清掃共	138	m ²			

元ゆめきやりあセンター		内装改修		内装改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
クレン	床	1,002	m ²			
ビニル床タイル	t=5.0 木目調	320	m ²			
帯電防止ビニル床タイル	t=5.0 木目調	557	m ²			
床ビニルシート張り	厚2.5 複層ビニルシートFS 一般床 熱溶接工法	166	m ²			
塗膜防水(材工共)	Y-2 密着工法 コムアスファルト系 平面 表面塗装なし	1	m ²			
床タイルカーペット張り	総厚6.5 500角 1種ループパイル 一般事務室用 全面接着工法(粘着はく離形接着剤)	111	m ²			
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	2.2	m ²			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	7.4	m ²			
ビニル幅木張り	高さ60	651	m			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30mm	38.5	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	233	m ²			
壁撤去部下地補修		12.8	m ²			
壁 せつこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 -	252	m ²			
壁せつこうボード (GB-R)	厚 9.5 準不燃	63	m ²			
壁 強化せつこう ボード張り (GB-F)	厚21.0 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-F 厚21.0共	179	m ²			

元ゆめきやりあセンター		内装改修		内装改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材	JIS A9521 2種 b スキン層無 厚50	79.8	m ²			
壁紙素地ごしらえ	ホート面 工程B種 -	1,537	m ²			
壁紙張り	ホート面	1,537	m ²			
化粧フィルム張り		39.9	m ²			
天井インサート	デッキ用	827	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	827	m ²			
天井 せっこうホート 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 突付け	893	m ²			
ロックウール化粧吸音板 (DR)	フラット 内部用 厚 9 不燃 300×600程度	247	m ²			
天井クロス 素地ごしらえ	ホート面 工程B種 -	651	m ²			
天井クロス張り	ホート面 不燃	651	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	272	m			
けい酸カルシウム板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	6.3	m ²			
天井撤去部下地補 修		8.3	m ²			
OPHスクリーン跡補修	900*3600	3	か所			
プロジェクター跡補修	450*900	2	か所			

元ゆめきやりあセンター		解体			解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
タイルベット撤去	集積共	702	m ²				
ビニル床シート撤去	集積共	265	m ²				
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	16.8	m				
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	2.9	m ²				
ビニル床シート撤去	集積共	34.8	m ²				
ビニル幅木撤去	一般 集積共	226	m				
壁クロス撤去	集積共	681	m ²				
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	407	m ²				
壁合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	3.4	m ²				
壁下地撤去	集積共	120	m ²				
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	34.5	m				
アルミ建具撤去	AW2	6	か所				
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	8.1	m ²				
既存塗膜除去	木部・ボード面 工程RB種	612	m ²				
天井クロス撤去	集積共	258	m ²				

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		解体		解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般集積共	258	m ²			
天井合板・ボード撤去	二重張り 一般集積共	632	m ²			
天井下地撤去	集積共	827	m ²			
大型ロッカー撤去		2	基			
ホリトボード撤去		4	か所			
手摺り撤去		1	m			
OHPスクリーン撤去	900*3600	3	か所			
プロジェクター撤去	450*900	2	か所			
大型ロッカー撤去		2	基			
繊維混入スレートボード撤去	一重張り 石綿含有 集積共 屋上立上り壁	66	m ²			
外壁シーリング撤去	集積共	1,983	m			
計						

元ゆめきやりあセンター		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	34.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	3.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	3.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 10.5km以下	18.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	2.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	5.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 10.5km以下	7.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 8.0km以下	1.8	m3			
計						

元ゆめきやりあセンター		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分	金属くず	34.9	m3			
発生材処分	木くず	0.6	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽチック	3.9	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ	0.2	m3			
発生材処分	がれき類	3.4	m3			
発生材処分	ﾎｰﾄﾞ類	9.3	m3			
発生材処分	紙くず	2.9	m3			
発生材処分	繊維くず	5.3	m3			
発生材処分	ﾎｰﾄﾞ類	7.1	m3			
発生材処分	ｱｽﾌﾞﾙ含有材 成形版 ｻﾞﾙ3	1.8	m3			
計						

